



2

0044962-000

特206-834

具体化せる小学地理教材と教授法

西亀正夫・著

厚生閣

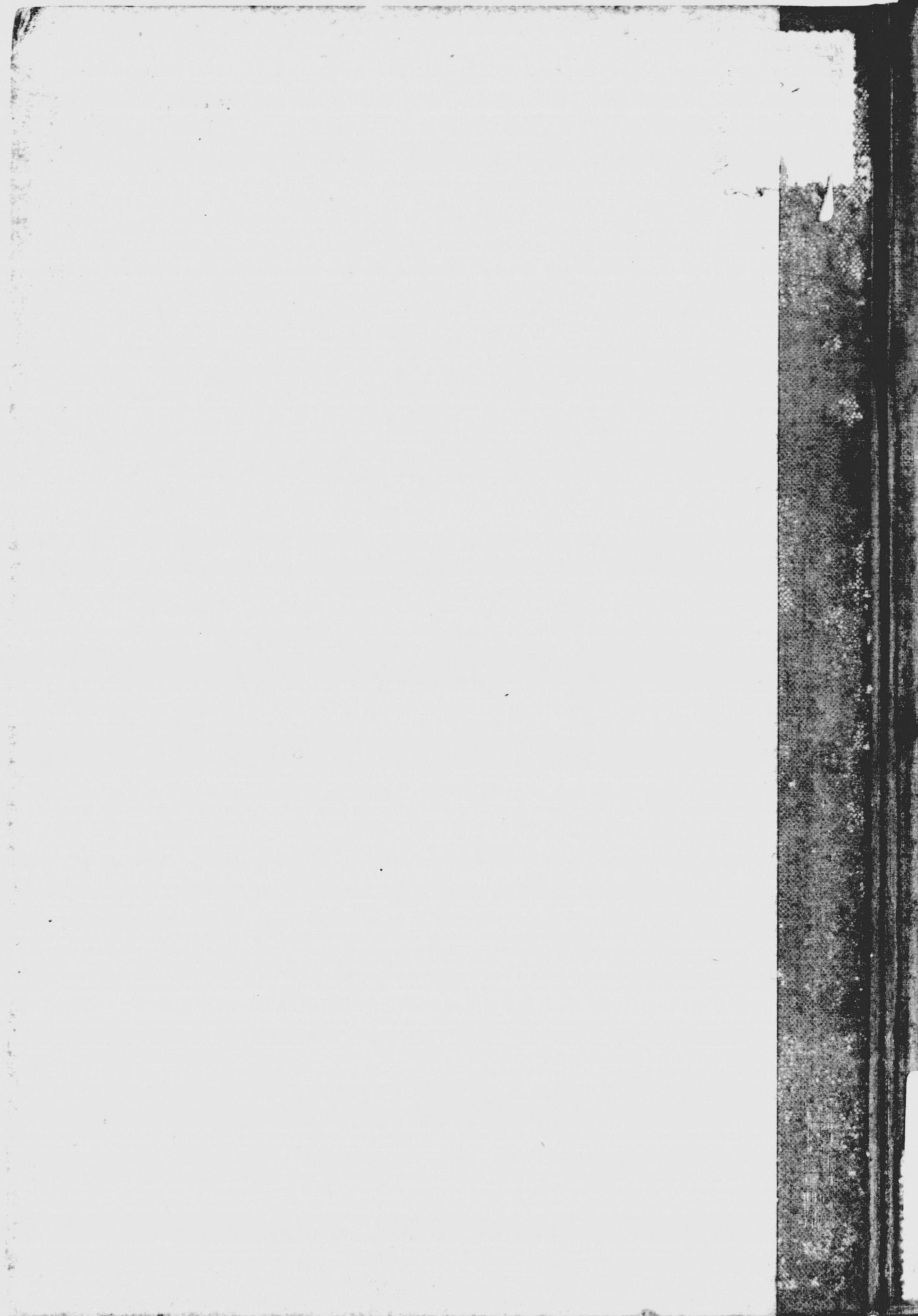
尋6

2訂版

昭和9

AHF

この著作物は、著作権者不明のため、著作権法第67条の規定に基づき、平成12年3月23日付けで文化庁長官の裁定を受け使用するものです。



456

特206
834

小學地理教科書
第三版
再訂版
法授教



西龜正夫著
厚生閣發行



緒言

- 一 地理は極めて多方面の學科であり、且つその内容は日々變動して止まない故に地理科の教材を徹底的に研究するといふことは、極めて困難なことであつて、小學教師諸君に對しては随分重荷であると云はねばならぬ。
- 二 そこで地理科の教授書とか参考書とか云ふ類のものが相當世間に行はれて居る。けれども多くはあまり詳し過ぎて却つて要點を逸して居る。これを読みこなすには多大の時間を要し、教室へ持つて出るにはあまりに仰々しい。
- 三 故に理想を云へば教科書の欄外に書き入れするに限るが、その勞たるや又容易でない。熱心な教師は實行して居るが、相當に骨の折れる仕事である。
- 四 こゝに於てか本書は生れた。だから本書は次の三つの特色を有する。
 - 1、教科書の本文がそのまま、縮刷してあるから、本書が一冊だけあれば、別に教科書を持つ必要がない。



著者小照

- 2、 主要教材の補説、兒童の質問しさうなこと、挿繪の解釋、新しい統計、教科書の誤謬に對する注意等が遺漏なく集めてある。
- 3、 最も精選されたノートに過ぎないから便利で手輕で代價も極めて安い。
- 五 尙卷末には教授法に關する私見を添へた。もとより一家言に過ぎないけれども、多少でも實際家諸君の參考たり得ば幸である。

昭和二年二月

廣島灣頭波靜かなる處

著者 識

改訂版に序す

國定尋常小學地理書が修正せられたため、本書も亦舊版を全部破棄して改訂版を出すことになつた。これ本書の使命の上から當然のことである。本書初版の世に出づるや、著者に向つて賞讃激勵の辭を寄する人頗る多く、或は叮嚀に誤植を指摘された學友もあつた。又その編述の考案に對してはこれを模倣するものもあると云ふ有様で、著者は日夜歡喜と感激の連續を味つた。

こゝに改訂版を出すにあたつて、顧みて魯魚の誤多からんことを恐れる。幸にして實際家諸君の高教を惜まれざらむことを希ふ。

昭和五年六月

著者 識

改訂版に序す

再訂版に序す

曩に教科書に第五回目の修正が行はれた時には、本書は單に改訂追補録を發行添付して責をふさいで居たが、今回更に第六回目の修正が加へられたので、本書も再び改版して諸君の期待にそふことゝした譯である。

昭和九年初夏

著者誌

目次

第一 北海道地方	一頁	第四 朝鮮地方	三六
一 區域	一	一 區域	三六
二 地勢	一	二 地勢	三七
三 産業	五	三 産業	四二
四 交通	一一	四 交通	四七
五 都邑	一三	五 住民・都邑	五〇
六 千島列島	一五	第五 關東州	五二
第二 樺太地方	一五	第六 我が南洋委任統治地	五七
一 區域	一六	第七 日本の總説	五九
二 地勢	一六	第八 アジヤ洲	八四
三 住民・産業	一八	一 總論	八四
四 都邑・交通	二一	二 滿洲	九一
第三 臺灣地方	二三	三 支那	一〇〇
一 區域	二三		
二 地勢	二三		
三 産業	二七		

目次

る せ 化 體 具
法 授 教 と 材 教 理 地 學 小

[用 年 六 常 尋]

目 次

四	シベリヤ	一〇〇
五	印 度	一一三
六	東南アジア	一一七
第九	ヨーロッパ	一二〇
第十	アフリカ洲	一四二
第十一	北アメリカ洲	一四八
第十二	南アメリカ洲	一六一
第十三	大洋洲	一六九
第十四	世界と日本	一七五
	地球の表面	一八一
	附 録	一
	小學校地理科教授法私見	一九一
	修正地理書卷二批判	一九八

目 次 終

【位置】

北海道は本州の北方にあつて、緯度四十一度半の附近以北にある。この位置の結果として、

- 一、氣候が割合に寒い。米が多く出来ない。
 - 二、文化が後れた。住民が少い。開拓の餘地が多い。
 - 三、水産物が多い。(水産業は熱い處に發達し難いから)
- 但し北海道や樺太を「寒くて凌げぬ土地」と思はしめぬ様注意を要する。たゞ冬が少し長いだけである。

【南西部の半島】

北海道は地勢上胴體部と半島部とその中間とに分ける。

- 一、胴體部は菱形といふよりも寧ろ不正五角形。
- 二、半島部は四つの枝を有する極めて複雑な形である。
- 三、兩者の中間は石狩平野、本道第一の生産地域。

【蝦夷山脈】

二列の山脈で、更にそれが南部と北部とに分れて居るので合計四つの山脈となつてゐる。

- 北見山脈 日高山脈
- 天鹽山脈 夕張山脈

北海道地方 區域 地勢

尋常小學地理書卷二より

尋常小學地理書卷二

第一 北海道地方

一 區域

北海道地方とは北海道本島、その近海の島々及び千島列島をいふ。この地方を管轄する北海道廳は札幌にある。

二 地勢

北海道本島は南西部の半島を除くと、大體菱形になつてゐる。

山

菱形の部分は蝦夷山脈が南北に連なり、千島火山脈が

北見・日高の二山脈が脊梁となり、天鹽・夕張の二山脈は比較的低くて前山の形をなし、兩者の中間に上川盆地があり、又天鹽川や空知川が縦谷を作つてゐる。

【千島火山脈】

カムチャツカ半島の火山脈に續くもので、千島列島を経て北海道本島の中央部に達してゐる。火山の總數三十餘、その中十四は活火山である。但し千島列島全部が火山島ではなく、一つの海底山脈の上に噴出したものである。

【これ等兩山脈】

蝦夷山脈と千島火山脈とを一緒にして『これ等兩山脈と云つたのは頗る不穩當である。火山脈は寧ろ火山帯と云つた方が適當で決して山脈の一種ではない。山脈は Mountain range. 火山脈は Volcanic belt である。』との山脈と火山脈との出合つてゐる……』と訂正すべきであると思ふ。

【大雪山火山群】

大雪山とは旭岳のことで、アイヌ名はヌタクカムウシユベ（高い臺地の神の集会所の意）である。大噴火口を頂く主峰の周圍には九坐の火山が環立して一大火山群を形成してゐる。これを大雪山火山群と名づけ、附近は一大高原状を呈してゐる。

大噴火口は長徑約二軒で、中に有毒温泉を噴出してゐる。雪線附近にあるから晩夏と雖も眞白い雪が點々として残存し、幾百年間の雪が積り積つて層をなしてゐる所謂萬年雪もある。

火山であるからアルプスの様な峻峻な景色は見られないが

【羊蹄山】（挿繪）

附圖にまつかり岳とあるものでアイヌ名はマッカリヌブリ一名しりべし山でこれに後方羊蹄の文字を當てたのを、近時略して羊蹄山と呼びならはすに至つた。別名蝦夷富士とも云つて缺尖圓錐形の美しい山である。

【駒ヶ岳と大沼】（挿繪）

駒ヶ岳は那須火山脈に屬し、頂上に楕圓形の大噴火口がある。圖の（イ）はその最高點で一千百米。この火山は昭和四年六月十七日に大噴火をなしたので名高い。大沼はその麓にある。駒ヶ岳の噴出物によつて谷が塞がれて出来たものである。

大小百餘の島嶼があつて何れも緑樹を頂き、風景は松島に似て更に一屬美しい。これ等の小島は皆火山噴出物の堆積したものである。

沼は瓢形をなし、その中間のくびれた部分を鐵橋によつて汽車が通る。北海道第一の風景として公園となつてゐる。湖の周圍は約二十七軒、湖水は冬季凍結するので、氷の採集が行はれてゐる。

麓から眺めた夕映は最も美しく、又山中には多くのお花畑があるので名高い。

【北海道本島の地勢の略圖と断面圖】（挿圖）

石狩平野が二三百米の高さになつてゐるのは誤り、これは百米以下の平野である。

(A)印の突起は無い筈である。

これによつて北海道が地形上三區（胴體部・中央平原・半島部）に分れることを發見させることが出来る。

東西に通つてゐる。これ等兩山脈が出合つてゐる中央部は旭岳を主峯とする大雪山火山群などがあつて、土地が高く、本島の大分水嶺となつてゐる。しかしその他の山地は一般にさほど高くはなく、處々に盆地もある。



北海道本島の地勢の略圖と断面圖

尋常小學地理書卷二より

尋常小學地理書卷二より

半島の部分には那須火山脈が南北に通つてゐて、駒ヶ岳、羊蹄山などの火山がある。中央部の分水嶺から出てゐる主な川は北に流れる天塩川、南東に流れる十勝川、南西に流れる石狩川である。いずれも我が國屈指の大きき川で灌漑發電に利用されてゐる。又その沿岸の




【屈指の大きな川】

名稱	流域面積	長さ	支流數
石狩川	一四、二五〇 ^{方軒}	三六五 ^軒	二五
十勝川	八、七八〇	一九六	一七
天鹽川	五、八二〇	三〇六	九

流域面積から云ふと、石狩川は利根川に次で内地第二、十勝川は第六、天鹽川は第十位である。但し朝鮮には石狩川より大きいものが四川ある。

【開墾が進んで】

石狩平野が最も開墾の進んでゐるのは、
一、多くの平野の中で最も内地に近いこと。
二、氣候も諸平野中最もよいこと。
三、室蘭・小樽の良港があつて近づき易いこと、今もこの二港は石狩平野の門戸として重要な役目を演じてゐる。

【港の設備】

函館は函館山の半島が突き出て半圓形の灣をかこみ、風波穏かな自然の良港である。
室蘭も殆どこれと同じ形の港で、函館よりも一層完全に半島が繞つて風波を防いでゐる。
獨り小樽は打開けた灣で北東の風を受けるから、防波堤によつて漸く安全な港となり得た。
港の設備とは防波堤や繫船岸壁や臨港鐵道などを云ふのであるが、そのみで出来た港といふわけで無く、自然に港の形が備はつて居たのである。
本文を熟讀すると、函館以下の三港は天然の良港ではないが、人工の設備のみによつて船の出入が出来る様になつた

は開けて廣い畑が出来るのである。
年々の新開墾面積は田畑併せて三萬乃至六萬ヘクタールである。

【他の地方から移住】

北海道へ移住するのは奥羽地方や北陸地方の人が多い。故に商店や旅館にも仙臺屋、越後屋などいふのが澤山ある。これは、
一、位置が近くて交通が便利なこと。
二、氣候が幾分似てゐること。
尙四國地方でも人口密度の大なる香川縣などからの移住者は少くない。

【生産額】

人口少く文化の進まない間は、破壊産業たる水産・林産等が主となつてゐるが、人口が増加し、文化が進むにつれて、助成及び加工産業が次第に盛になるものである。北海道でも今や工業及び農業が主要産業となつて來た。

千圓

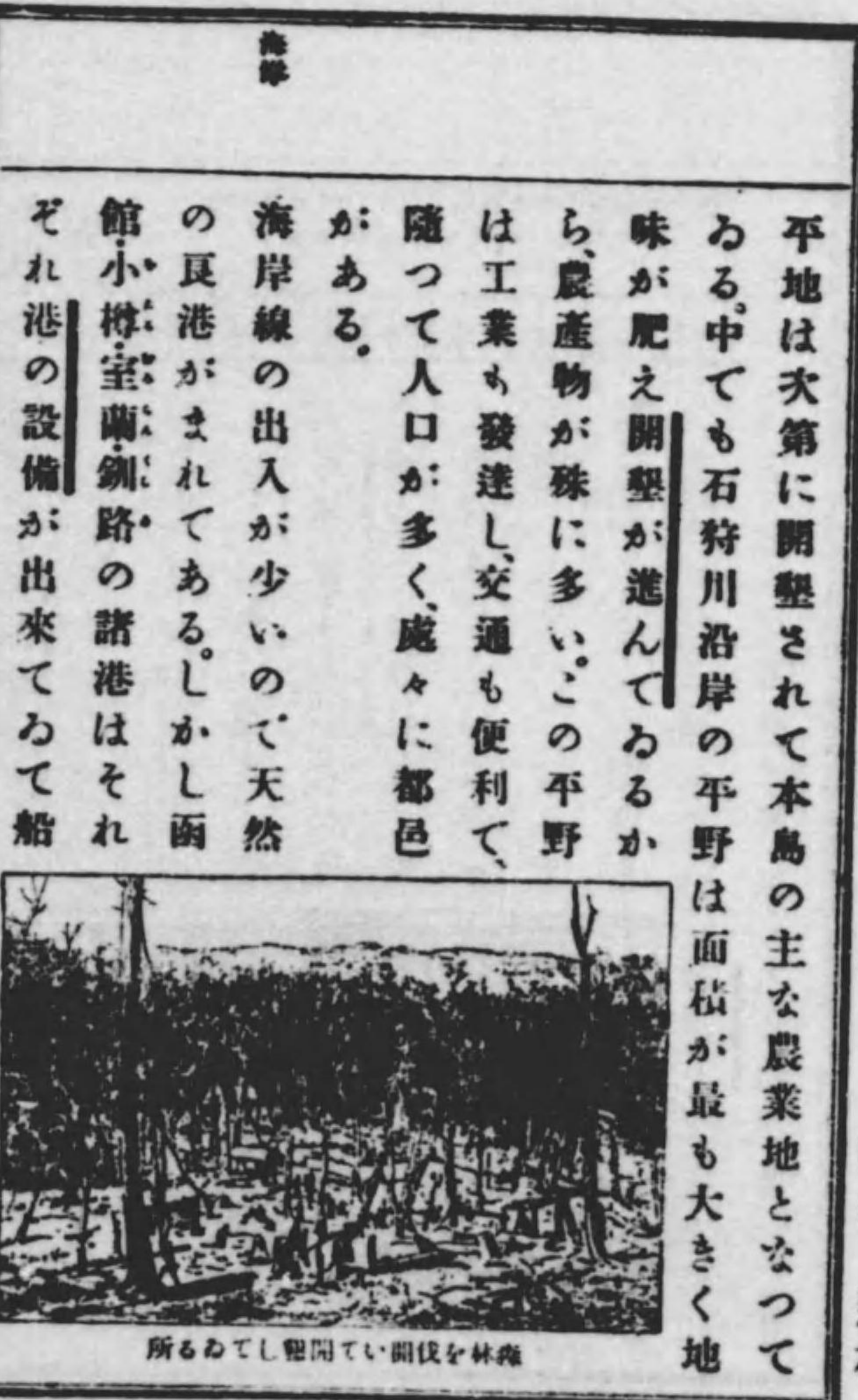
工業	一七二、六四七	農業	一一四、六九六
水産	七八、四九四	鑛産	四五、九九〇

北海道地方 産業

【森林を伐開いて開墾してゐる所】 (挿繪)

冬季積雪の間は農業が出来ないから、主に伐木又は家内仕事をするのである。圖の切り株が何れも高いのは、雪の積つた時に伐つたからで、大きな株は田畑となつた後も長く残つて、一種特別の景觀を呈する。

小さな家が見えるのは開墾前の假住居である。無論素人建築で、これを次第に改造して立派な住宅にする頃は、森林

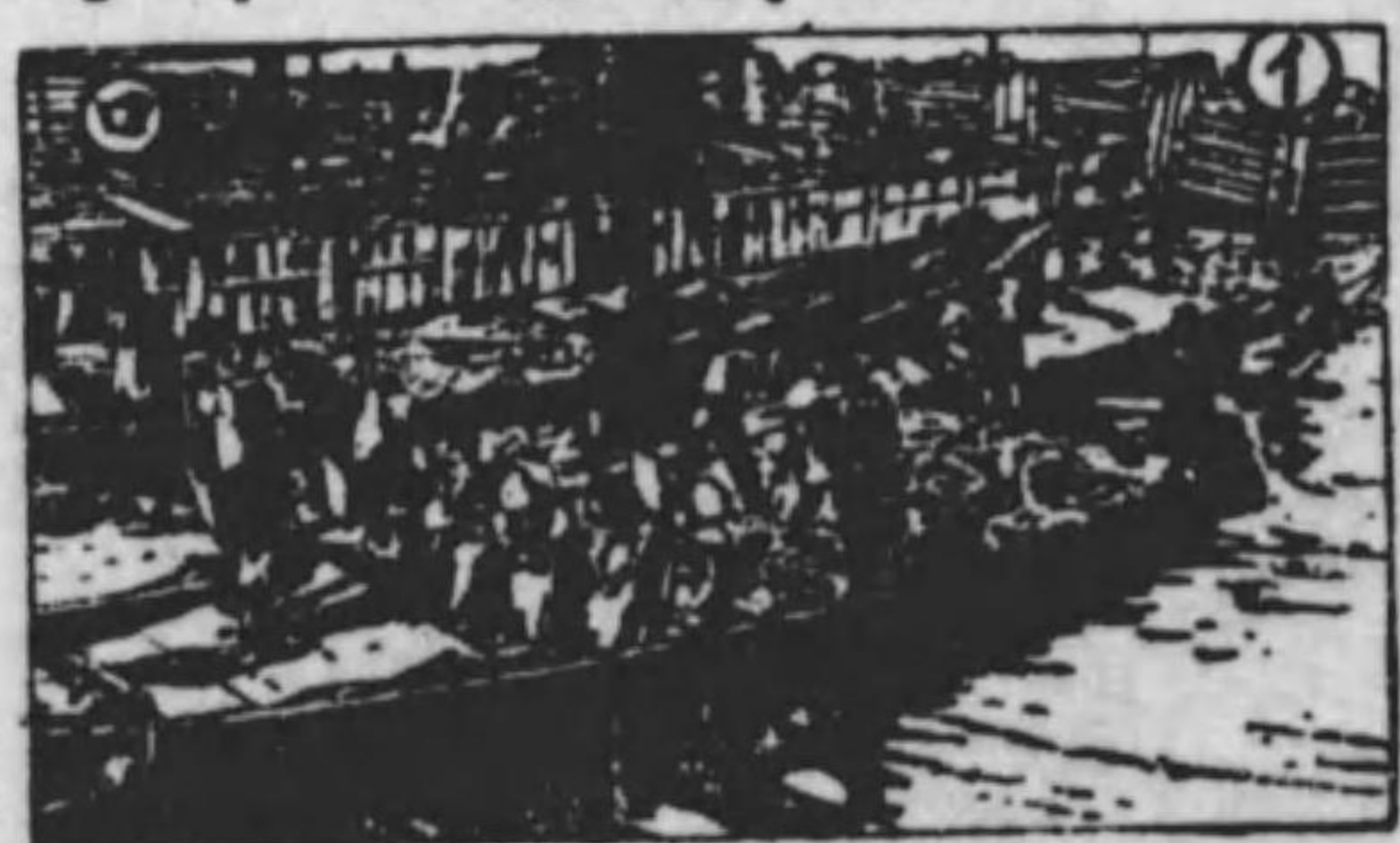


尋常小學地理書卷二より

の出入が便利である。

三 産業

本島はもと人口が至つて少く、産業は進まず交通も不便であつたが、他の地方から移住して來る者が多く、人口は年々増加して、今や二百八十萬を超え、多くの都會も出來、諸種の産業も大いに進歩して、きた殊に農業工業の進歩は著しく、生産額の多いこと



げ揚陸のんしにるけ於に島本道海北

尋常小學地理書卷二より

生産總額 四四〇、九一六 (昭和五年)

【北海道に於けるにしんの陸揚げ】 (挿繪)

數名の女子は四角な箱を背負つてゐる。この箱の中に鮭を入れ、陸に上つて身體を前に屈すると箱中の鮭は頭上を超えて一度に落ちるのである。

(イ) 防波堤。

(ロ) 身缺鮭の乾し場。

漁期は三四月を中心とし地方によつて遅速がある。

【寒流・暖流】

暖流對馬海流は北海道の西岸を北流し、一派は津輕海峽に入り一派は宗谷海峽に入る。夏は津輕海峽を出たものが本島の南岸を洗ひ、宗谷海峽を出たものは北見の海岸を南下するが、冬はその勢が著しく衰へる。

寒流千島海流は千島の南岸を下り、冬は本州の東岸に達する。又カラフト海流は北見の沿岸に達する。(附圖第二圖)

【世界で名高い漁場】

世界の三大漁場は北歐のノルウェー海岸、北米のニューファウンドランド、北太平洋の千島近海である。何れも氣候が寒く、暖流の流れてゐる點に注意を要する。

【内外各地】

漁獲物はそのまま生魚として消費することは少く、大部分は乾物・鹽漬・罐詰等に製造される。仕向先は内地では青森・新潟・伏木その他、外國では支那及び米國が多く、中でも昆布・鹽鱈・鰯等は支那人の最も好む所、罐詰は米國人の嗜好に投じてゐる。

【函館港】 (挿繪)


本道水産物の最大集散地であり、又オホーツク海方面への遠洋漁業の根據地ともなつて、海岸には冷凍庫や罐詰工場が澤山並んでゐる。港内に見ゆる船も大部分は漁船である。市街は度々大火に罹り、最近昭和九年四月にも大部分焼けてしまつた。

【農業には適して】

冬は農業が出来ないが、夏は氣温も高く且晝が長くて日照時間が多いため、農業には極めて好適する。

ては、いづれも従來本島第一の産業であつた水産業をしのぐやうになつた。近海は寒流暖流があるため魚類海産類が多く、世界で名高い漁場となつてゐる。にしん・いか・こんぶ・たらさけ等の産物の多いことは、我が國でこの地方に及ぶ處はない。これ等の漁獲物は乾物・鹽漬・罐詰等に製造されて、多くは函館小樽根室から内外各地に積出される。

この地方は冬は寒さがはげしいが、夏



港 館 函

尋常小學地理書卷二より

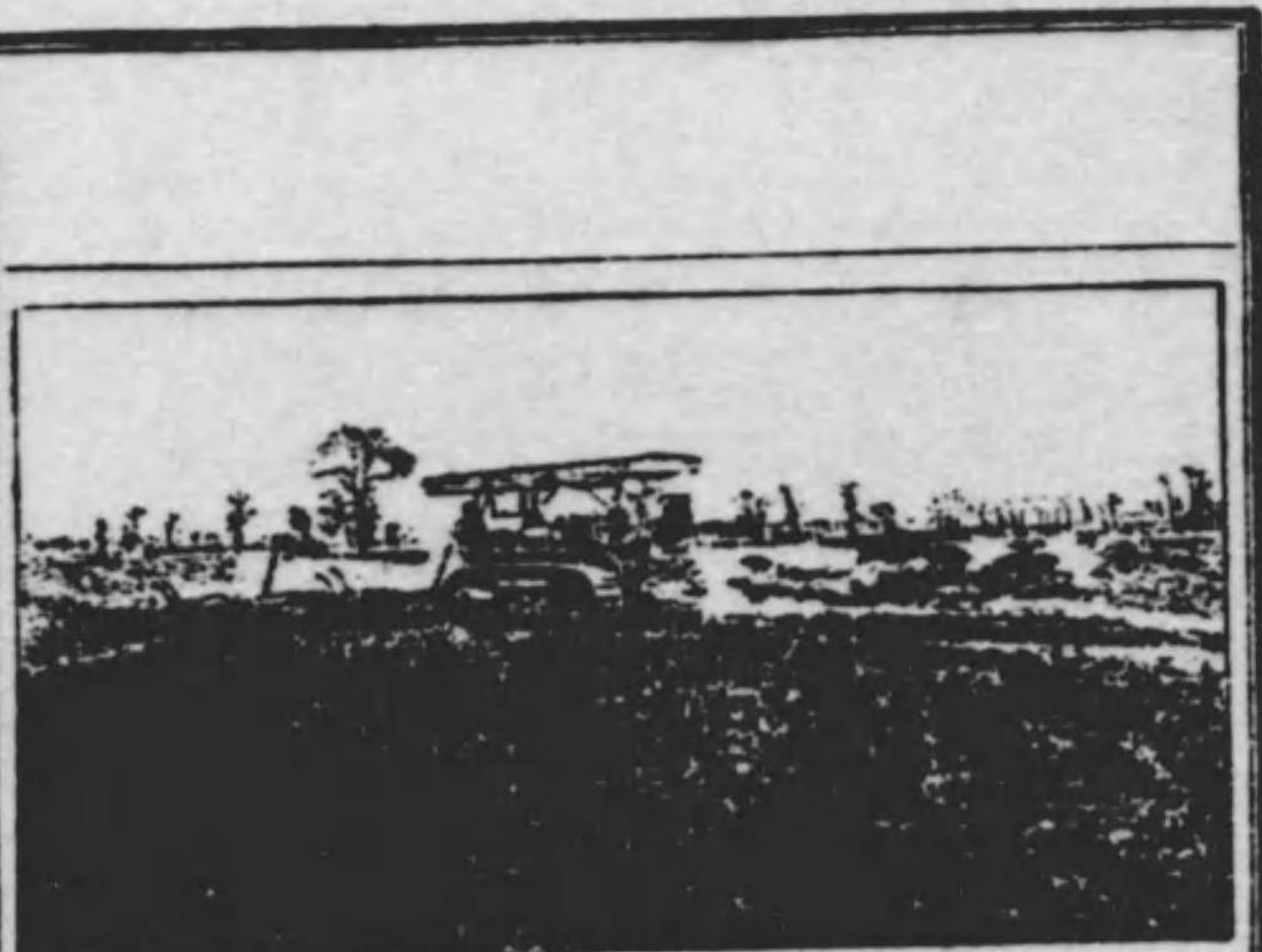
【大きく區劃...】

北海道の耕地は區劃が多きといふ特色をもつてゐる。これは本頁の寫眞及び八頁の寫眞で充分に窺ふことが出来るが、何故にかく大區劃であるかといふと、

- 一、地形が廣い平野であること。山地はまだ開墾されないで今は水平的な平野のみが開かれてゐる。
- 二、住民が少いから少人數で廣い面積を耕すこと、即ち農業が粗放的であつて内地の様に集約的でない。
- 三、動物や機械の力を應用して凡ての仕事が大仕掛けである。そうしなければ充分の収益が上らないから、自然大區劃の農場を作るのである。

【トラクター】 (挿繪)

發動機で動かす機械で兩側の車はタンクのように無限軌道になつてゐる。この圖にあるものは耕耘をやつてゐるので、機關の後方にあるものは攪土機とハローである。高一地理かゝる機械を用ひての大農法は、アメリカ合衆國に於て發達したもので、北海道の農業は凡てこれに倣つたアメリカ式農法である。



尋常小學地理書卷二より

は割合に氣温が高いため農業には適してゐる。近年人口が増加し開墾が進むに従つて農業は著しく發達して來た。本島の耕地は大てい大きく區劃されてゐて、トラクターなどの機械をも使用する農産物の主なものには米・燕麥・じゃがいも・豆・その他、薄・荷・亞麻・りんご・除蟲菊・甜菜も産額が多い。農産物の主産地は石狩平野・上川盆地・十勝

【甜菜】

本圖は五頁の繪と對照して教授するがよい。

甜菜は普通『てんさい』と云はないで原語で『ビート』と云つてゐる。原産地に於ててんさいでは殆ど通用しないのであるから、これはビートと云つた方がよからう。(からすみぎとあつたのをえんぱくと訂正されたのはよかつたが、又新にてんさいが加はつたのは遺憾である)

甜菜に就ては一二三及一二四頁を見よ。

【米の分布】 (挿圖)

ドットマップが始めて採用されたのは嬉しいが、ドットが何を代表するのかを明かにしないのは不都合極まる。作付反別か收穫高か、多分後者ではあらうが一點が何石か皆目見當がつかない。

米の北限界は天鹽川の流域で、東は釧路及び根室に全然産しないが、これは寒流のために夏の氣温が不足するからである。

上川盆地に最も多いのは氣候が大陸的で夏の暑さが道内第一であるによる。又氣候の暖かい渡島半島方面に比較的少いのは平地が少く、且大河がなくて灌漑の便を缺くことが主な理由である。

以上の事實は誘導的問答によつて成るべく兒童に發見させる様にしたら面白いであらう。

【水田の草取りと灌漑溝】 (挿繪)

これは石狩平野の水田を示したもので、豆腐を切つた様な眞四角な廣い廣い田に、正條植された稻は實に見事なものである。

【札幌附近の牧場】 (挿繪)

札幌市の東南約六軒の處にある眞駒内の牧場である。豊平川の清流に沿ひ、後方には月寒の丘陵をめぐらす形勝の地で、明治九年以來北海道種畜場が置かれて、道内の畜産振興の源泉となつてゐる處である。

牧場の面積は約三千町歩(二千九百ヘクタール)で、牛二百頭、馬二百三十頭、豚百三十頭、鶏二千羽、その他若干の小畜が養はれてゐる。

冬は舍内で飼ふが春から秋にかけては廣い牧場に放牧される。近景には馬、遠景樹下のあたりには黑白斑の乳牛が、青毛氈を敷きつめた様な野に遊んで居るのは、頗る長閑な景觀である。

【石狩炭田の炭坑】 (挿繪)

夕張炭山を示したもので、手前の方は夕張の商業街があつて更に新夕張炭坑に續くのであるが、それは圖外に逸してゐる。新夕張と合せて年産額百二十六萬噸、坑夫の總數一萬四千人である。

(イ)夕張驛。

カットは河水を堰き止めた水門を示したもので、近時この種の設備が各地に普及しつゝある。

【乳製品】

バター・チーズ・コンデンスミルク等をいふ。

北海道では肉牛の飼育は經濟的でないので、八三%は乳用牛を飼つてゐる。ホルスタイン種が最も多く、その質の優秀なことに於ては、世界第一流の米國と比肩してゐる。近時十勝・根室方面でも盛になつて來た。

平野網走附近であつて主な集散地は札幌小樽旭川帯広である。太平洋方面の平地では馬の牧畜が盛で、馬市が各地で開かれ石狩平野では牛の牧畜が盛で、乳製品の産額も少くない。

尋常小學地理書卷二より

産物の中では石炭が主なものに次ぐものは、石油、鉄、金、銅、硫黄、石炭、石、平野の東にある。

尋常小學地理書卷二より

- (ロ) 小學校、運動場には並木をめぐらしてゐる。
- (ハ) 選礦所、蛇の様に曲つた屋根の下に軌道があつて、炭車が來ると自動的にスクリーンに移されて粉炭と塊炭とに分けられ、塊炭は帶の様に長く並走する回轉帶の上に移動して女工によつて大小に選別せられる。
- (ニ)(ホ) 共に坑夫長屋で山麓に階段狀に建てられてゐる。その棟数は千餘棟で外に寄宿舎もあり、衣食の物資も分配所から配給される様になつてゐる。

【石狩炭田】

夕張山脈の西斜面、石狩平野までの間に広がる炭田で、北から順に歌志内・空知・美唄・幾春別・幌内・夕張・新夕張等の炭坑がある。

【苫小牧にある製紙工場】 (挿繪)

王子製紙会社の苫小牧工場で、本社は東京にある。日露戦争後に新聞紙の自給自足を計つて起工したもので、明治四十三年に開始し今は年産二億ポンドに達してゐる。こゝに設けた理由は原材料の得易いことが主であること云ふ迄もない。動力は支笏湖その他の水力電氣を用ひる。

工場の廣さ約五ヘクタール(一萬五千坪)職工千六百餘、碎木機五十臺で木材を碎いて物理的パルプを作り、蒸解釜五基で木材を煮て化學的パルプを作り、兩種のパルプを調合して十臺の抄紙機で抄く。製品は小樽から積出す。

(イ) 原材料のえぞまつ及びとまつ。

(ロ) 樽前山。

(ハ) 製薬塔 (一九頁挿繪参照)

(ニ) これは雲であつて遠山ではない。

【室蘭にある製鋼所】 (挿繪)

(ハ) 製鋼所の専用埠頭。

(ニ) 室蘭港の石炭積出し用大埠頭で高架棧橋。

(ホ) 室蘭線の鐵道。

別圖は工場内部の一部で、多數の砲身を並べて砲尾の仕上げ工事をしてゐる所である。

【えぞまつ・とまつ】

えぞまつは青森縣以北に産する松杉科の喬木で、高さ三十餘米、葉は長さ二種乃至三種、毬果は長さ六種餘ある。材質は緻密で建築材・船材・器具材及製材用として賞用せられる。とまつは主に北海道・樺太に産し、同じく松杉科の植物で材は白色を呈し稍粗である。用途はえぞまつと同じ。兩者は外觀上一見して區別することが困難である。最も簡単な見分け方は、とまつは葉はその尖端僅かに二つに割れてゐるが、えぞまつは一つになつてゐる。

【工業が盛になつた】

北海道は人口が少ないので家庭工業は發達せず、主として大規模の機械工業が急速に發展した。その理由は、一、原料が得易い。苫小牧・江別の製紙、函館附近のセメ

明治四十四年に出來たもので、北海道炭鐵汽船會社と英國のアームストロング會社、ヴィカース會社との協同で組織したもの、日本製鋼所と稱し大砲及び各種造船材料等を製造してゐるが、今は操業を短縮してゐる。

この圖は東方の高地から工場全部を見渡した景氣で、室蘭の市街は中央の丘陵の向側にある。

(イ) 母戀川。

(ロ) 埠頭の尖端に立つ百噸の起重機。



尋常小學地理書卷二より

尋常小學地理書卷二より

Text block with a diagram showing a map of the area and a list of locations: 樽前山, 室蘭, 苫小牧, 江別, 室蘭, 苫小牧, 江別, 室蘭, 苫小牧, 江別, 室蘭. It describes the industrial and geographical features of the region.

ント、札幌のビール及び製麻工業等皆その附近に原料を有するからで、その他馬鈴薯によるアルコール、水産物の罐詰等同一の理由から發達した。二、石炭が得易い。石狩炭田があるからで、石狩平野に工業の盛なのは一にそのためである。三、水力の利用が便利。苫小牧工場の動力は支笏湖その他七ヶ所の發電所から供給してゐる。全道各地にまだ利用せられぬ水力が頗る多い。

【室蘭を経て】

この鐵道は室蘭驛から東へ三つ目の東室蘭驛で分岐してゐるので、長萬部から岩見澤へ直行の列車は、室蘭までは行かないのだから注意を要する。この線を経由すると、函館線よりも五軒三分ほど近い。

【釧網線・石北線】

釧網線は釧路から跡佐登の鑛山を経て網走に至るもの、石北線は旭川から湧別線に連絡するもので、石狩と北見を連ねるから石北線と云つたのである。どちらも近時開通したものである。

【小樽港】 (挿繪)

小樽市の西南方山上から市街の北半と港内とを瞰下したものである。

- (イ)中央通り。
- (ロ)移住民休憩所。
- (ハ)小樽驛
- (ニ)第二防波堤、長さ千三百餘米、これと相對して右手の方に第二防波堤(二千三百餘米)があるのだが圖には見えない。尖端には燈臺がある。

(ホ)劇場中央座。

- (ヘ)手宮にある高架棧橋、石炭積込用である。
- (ト)日本郵船會社の小樽支店。
- (チ)手宮公園。

築港によつて極めて安全な良港となつたもので、樺太及浦鹽と定期航路が通じてゐる。札幌平野の門戸として、又西岸一帯の水産物の大市場として、如何に多數の船舶が輻輳してゐるかに注意せしめるがよい。

線根室本線である。函館本線は函館から小樽札幌岩見澤、釧路等を経て旭川に至る線、宗谷本線は旭川から稚内に至る線である。室蘭線は函館本線の一驛長萬部から分れ、室蘭を経て岩見澤に至つて再び函館本線と合する。根室本線は釧路から分れ、東の方、勝峠を越え、帯廣、釧路等を経て根室に達する。これらの線は共に我が國の鐵道の幹線の一部であつて、函館では青森と稚内では樺太の大泊と鐵道連絡船によつて互に連絡してゐる。

その他留萌線、名寄線、網走線、釧網線、石北線等が本島の主な鐵道線である。

尋常小學地理書卷二より

【霧が深く...】

津輕海峽から東北一帯、殊に根室海峽から國後・擇捉諸島の附近が最も甚しい。期間は四五月の頃から始まり、最も多いのが七月である。非常に濃密な霧であつて、霧といふよりも摩雨と云ふべき状態である。北海道ではこれをガスと呼ぶ。

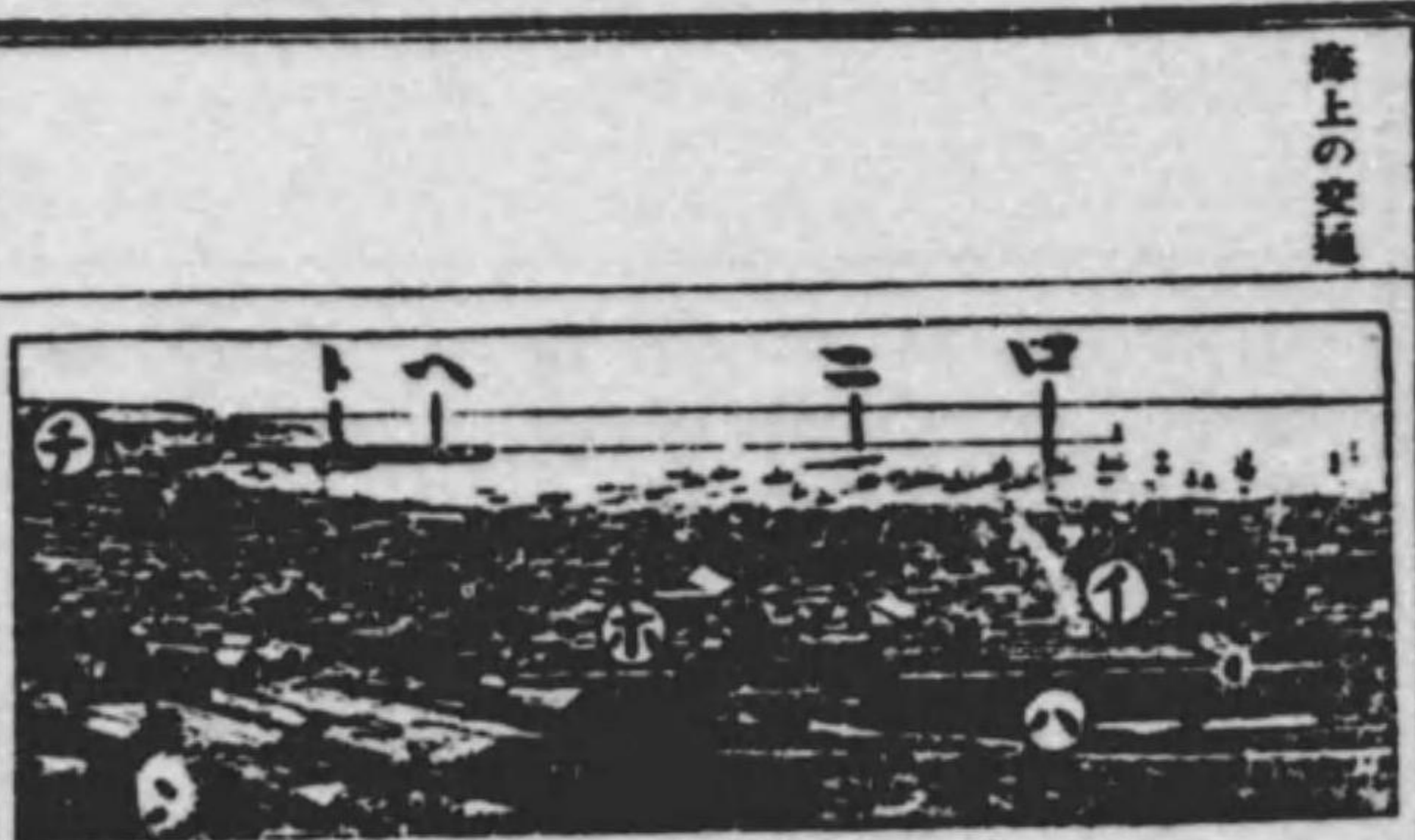
陸上では農作物を害し海岸二十軒以内は農業不能である。海上で航行を防げるのは勿論である。原因は寒流と暖流との會合點附近であるため、兩海流上の濕潤な空氣が混合し、その温度の差からして急に水蒸氣の凝結を來すのである。

【流氷】

オホーツク海一帯が冬が結氷するので、春になるとそれがこわれて流れて來る。北見の海岸では風のために澤山海岸に打ち上げられる。南岸では千島海流に流されて襟裳岬附近まで來ることがある。

【故障が多い】

東岸は結氷しても西岸は凍らないのは暖流のためである。



港上の交匯

尋常小學地理書卷二より

近海は冬季風波雨雪が多く、又季節によつては太平洋方面には霧が深く、オホーツク海方面には流氷が多いから、海上の交通はとく故障が多い。しかし函館小樽室蘭釧路の諸港は四季共に船が自由に出入する。中でも函館と小樽は殊に重要な港である。

本島で都邑の多い處は、産業の盛な石狩川沿岸の平地及び半島の部分の海岸である。都邑の中札幌小樽函館の三冬は風波と雪のために防げられる。これは主に西海岸であるが、東岸は結氷するので根室の如きも船が入港出來ないで背後の花咲を補助港とする。根室から國後島へ徒歩で渡ることが出来る。又東岸には流氷と霧の故障がある。

【都邑の多い處...】

石狩平野と半島の部は氣候がよいのと内地へ最も近いためとで、産業も盛になり人口も稠密で都邑も多くなつたのである。

【市區が正しく區劃】

札幌の市街は區劃が整然として、碁盤の目の様になつてゐる。これは明治初年開拓の當初に、主として米國式に則つて計畫を立てたからであつて、東西に通ずる中央の大通は幅百米、これと並行して幅十九米の通りが北に二十六條、南に三十條あつて、これに直角の南北の通りは中央を基準にして東に三十六、西に二十あつて各東西何町目と名づける。この式の街路系統をアメリカンシステムと云ふが、支那にも日本にも古くからあつて、奈良・京都は勿論各地にその例は多い。たゞ概して小規模である。

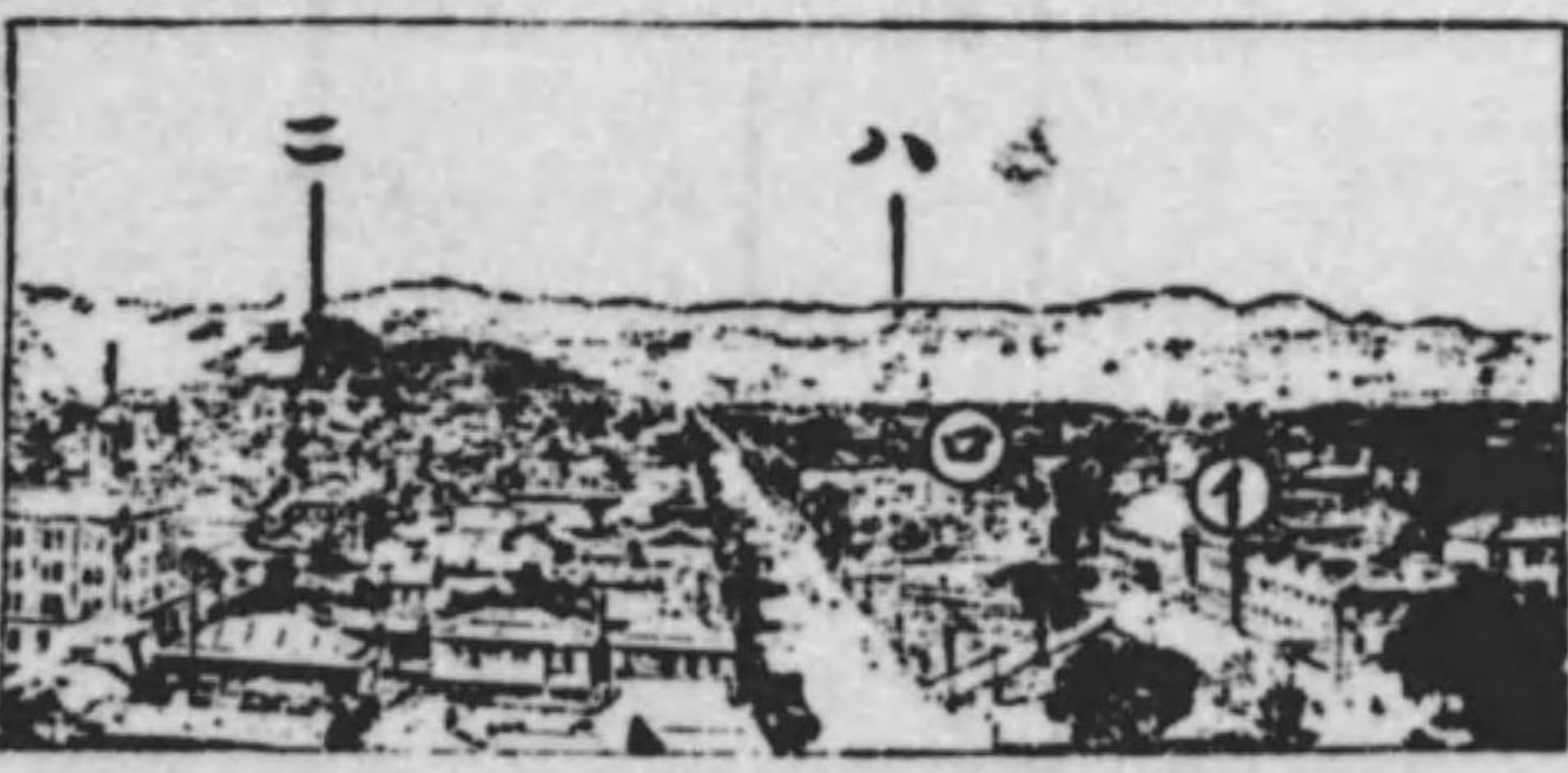
北海道の都會にはこの式のものが多い。旭川市の如きもこれと非常によく似て居り、何條通り何丁目といふ町名の呼び方までが同じである。

又都會に限らず農村でも、耕地を等面積に區劃して碁盤の目型にし、各戸が自己の耕作地の一隅に居を構へてゐるので、これから發達した小さい田舎町も亦等しく正しい區劃の町となる。

【札幌市街】（地圖及び挿繪）



市は最も重要なものである。中でも札幌は北海道地方での政治の中心地、又商工業の盛な處である。北海道帝國大學もここにあり、市街は一體に道幅が廣く、市區が正しく區劃されてゐる。小樽函館はいづれも海陸交通の要地、旭川は陸上交通



尋常小學地理書卷二より

街路は正しく東西南北でなくて少しく東北に偏してゐる。又西南部は丘陵のため、東南部は川のために遮られて幾分不規則になつてゐる。下の繪は大通りを東から西に見たもので芝生を作つて公園式になつてゐる。

(イ)郵便局、その手前に豊平館(公會堂)がある。

(ロ)永山屯田司令長官の銅像。

(ハ)三角山。

(ニ)圓山公園。背景は藻岩連山。

【三十餘の島々】

千島列島は國後島から占守島まで三十一個の島嶼から成つてゐて、その中擇捉島が最大であるから「擇捉島以下云々」と云つたのである。占守島の北東端は東經百五十六度三十二分に位して本邦領土の最東端をなし、對岸カムチャッカ半島のロバトカ岬と相對してその間僅かに十三軒に過ぎない。又阿頼度島の北端は本邦の最北端で、北緯五十度五十六分である。

この列島は殆ど本州と同じ長さがあるが、面積は總計して一萬方軒餘に過ぎないので岐阜縣よりも稍小さい。殆ど全部火山島から成り所々に第三紀層を見るのみである。

【冬の寒さ】

冬の寒さはげしいとあるが、擇捉島の中央北岸にある紗那に於ける氣温は一月の平均零下五度五分、二月同上零下六度八分、旭川・帯廣・網走等よりもずっと暖い。

【住民も少く】

國後・擇捉・色丹・得撫・占守の諸島を除けばその他に定住する人民は無い。その理由は、

北海道地方 千島列島 樺太地方

の要地である。

六 千島列島

千島列島とは擇捉島以下三十餘の島々をいふ。その北東端の占守島は千島海峡を隔ててロシアのカムチャッカ半島と相對してゐる。この列島は千島火山脈が通つてゐて、地勢がけはしく、地味もやせ、冬の寒さはげしいから、住民も少く、陸上の産物も極めて少い。けれども、付まけ等の水産物が多いから、夏の間は漁業のため各地からこゝに來るものが少くない。

第二 樺太地方

- 一、位置があまり北方に偏してゐること。
二、地勢が山ばかりで平地に乏しいこと。
三、氣候があまりよくない。

【夏の間は……】

夏季のみ漁業のために來住する人が多いので、冬と夏とで人口に大差のあることは樺太等と同様で、凡て氣候の寒い土地にはこゝにいふ人口の季節的移動が行はれるのを常とするのである。

【ロシア】

實際の國名は『ツヴェト社會主義共和國聯邦』であるが元の國名をそのまゝ『ロシア』と稱する。(一三八頁参照)

【北緯五十度】

北緯といふ語は始めて出たもので、これを了解せしめることは容易ではない。併しこの經緯度に關することは百八十二頁に出て居て、その際に委しく教へる筈であるから、ここでは單に『赤道から北極までを九十に分つて横に線をひき、南から順に教へて五十本目の線』といふ位のこと考へさせて置いたらよからう。

【我が國とロシアの國境及び境界標】 (挿繪)

國境附近は針葉樹の森林であるから、先づこれを幅十米位に伐り拂つて境界線を見易い様にした。圖に材木の散亂してゐるのは即ちこの林空作業の跡である。

境界標は天測境界標が四個、中間境界標が十七個あつて、圖は天測の第四號即ち西海岸を距る一杆ばかりの處にあるものである。

(イ)林空。

(ロ)天測境界標の木構。

(ハ)測量に使用した三角測點のやぐら。

カットの境界標石は花崗岩で作り、南面には菊花御紋章と、『大日本帝國境界』の文字、右側には『天第何號明治三十九年』とあり、北面には鷲の紋章とロシア文で『ロシア國境界』の文字、西面にもロシア文で『天測第何號一九〇六年』といふ意味が刻んである。中間境界標も大體これと同様のものである。



尋常小學地理書卷二より

【地勢】

地勢は三部に分れてゐる。

東部高地 東北山脈。鈴谷山脈。

中部凹地 幌内平野。鈴谷平野。

西部高地 樺太山脈。

【幌内川】

上流がロシア領で下流が日本の領分であるから一種の國際河川である(鴨綠江と比較)。たゞ河口附近を除いては流木が堆積してゐると川が浅いので航行が出来ないから、あまり國際的問題のやかましい河ではない。

全長は約三百軒、小舟は河口から六十軒の地點まで上ることが出来る。國境附近で幅僅かに五十米、その流域の平野はツンドラといふ濕地で、冬は氷結し夏は苔の類が密生し貧弱な落葉松が點在するのみで生産に適しない。

【樺太地方の地勢の略圖と断面圖】 (挿圖)

断面圖に出てゐる敷香山が地勢圖の方に無いから、これは附圖で發見させねばならぬ。断面圖の樺太山脈が二列になつてゐるのは、丁度留多加川の流れてゐる所だからである



尋常小學地理書卷二より

この位置では樺太山脈が鈴谷山脈よりも低いが、これは寧ろ北緯四十九度半の邊を切つた方がよかつたであらう。それでない、樺太地形の特徴が出て來ない。

【碎氷船】

西海岸の一部を除くと沿岸一帯に氷結するので、昔は冬になると交通が杜絶したが、今は碎氷船によつて僅かに船の出入が出来る。碎氷船は特別の仕掛けで船首が氷の上に乗るかゝつて、船の重みで氷を破る様になつてゐる。

【大泊】(挿繪)

町の中央にある神樂山から眺めたもので、最近完成した築港の様子がよくわかる。築港は大正八年から昭和三年までかゝつて工費五百八十餘萬圓を費したものである。

(イ)一軒餘の長い突堤の先端にある繫船壁で、三千噸級二隻二千噸級二隻を同時に繋ぐことが出来る。連絡船から上陸するとすぐに汽車に乗る様になつてゐる。
(ロ)船溜であつて小さい船はこの中に入る様になり、小岸壁が澤山出来てゐる。

【他の地方から移住……】

樺太への移住者は主に北海道・奥羽・北陸方面から来るものであつて、中部以南の地方から来るものは極めて少い。これは主として交通の便利な地方から集るのである。(四頁参照)殊に北海道から来るものゝ多いのは注目に價する。即ち必ずしも人口の密な處から来ると限らない。

【極めて少い】

アイヌ人 凡一千六百人
ギリヤク人 凡百人

【發達してゐない】

樺太の農業はまだ微々たるもので、たゞ都會の近郊に僅かに野菜を作つてゐる位に過ぎない。併し小沼にある農事試験場の實驗によると、麥類・蕎麥・豌豆・蠶豆・粟・さび・甘藍・白菜・馬鈴薯・いちご・すぐり・早生苹果等は何れも適作物であるといふ。故に品種と栽培法と利用法とを工夫すれば鈴谷平野の農業は前途有望である。

【豊原にあるバルプ工場】(挿繪)

豊原町の北部にあつて王子製紙會社豊原工場と稱する。大正六年に操業を開始し、主としてバルプと包装紙とを製造してゐる。用地面積百四十ヘクタール(四十二萬坪)。

(イ)原料のえぞまつ・としまつで、冬に伐つて雪の上を運んで來、一ヶ年位貯へて脱皮の上使用する。

(ロ)六本の黒い筒は排氣塔で、バルプを製する蒸氣罐である。

(ハ)製藥塔、この中で重亞硫酸石灰を作り、これで木材を煮てバルプとするのである。(十頁参照)

【からまつの林】(挿繪)

樺太地方 住民・産業

オロッコ人 凡二百四五十人

【期間が長く……】

十一月から翌年三月までは全樺太の月平均温度が氷點下であつて、北部では四月でも氷點下に下り、盛夏の候でも地下數尺の下は凍つてゐる。

鈴谷平野でも夏に手の指の凍へるのを覚えることがある。梅も櫻も桃も五月になつて咲く。そして十月にはもう雪が降るのである。

いづれも不凍港である。

三 住民産業

住民は約三十萬その大部分はこの地方が我が領土となつてから後他の地方から移住したものである。この外にアイヌ人ギリヤク人等の土人も住んでゐるがその数は極めて少い。この地方は我が國で最も北にあるので冬季はその期間が長く且寒さがはげしい。それ故地味の肥えた處が處々にあるにもかゝらず農業はあまり

尋常小學地理書卷二より



尋常小學地理書卷二より

發達してゐない。しかし森林は甚だ多くて、としまつ・えぞまつ・からまつの林など



がたくさん伐出される。落葉松は松杉科に屬する落葉喬木で、樺太島内到處に産し大抵は單純林をなしてゐるが、又時として白樺・えぞまつ・としまつ等と共に混生林をなしてゐることもある。材質は粗であるが水濕に強く、造船・建築・土木・電柱・枕木等に賞用される。

圖は落葉松の純林を示したものである。原始的の密林ではあるが熱帯地方の森林とはちがつて極めて近づき易く入り込み易い。故に林業が發達したのである。

【第一の産業】

樺太の森林は全面積の七割三分を占め、殆ど全部國有でその収入は樺太廳歳入の五割を超える。而して二十二の製材工場と八のバルブ工場とがあり、全工業従業員の八割はバルブ工業に従事してゐる。

併し森林は伐採と山火事と虫害とで已に三割五分を無立木地としたから、木材の供給は今後二十年しか支へぬ勘定となる。人工植林をやつても百五十年しなければ利用する程度には生長しない。心細いことである。

【バルブ製紙工場の分布】 (挿圖)

川の口にあるのは材木を運び出す便利からである。最初は南部にあつたが原料が不足するので次第に北方に分布するに至つた。又石炭の産地に近いことも注意を要する。

【各地】

豊原郡川上、榮濱郡東白浦、元泊郡樺保及び知取、泊居郡大榮、名好郡大平の六ヶ所。

【棒だらの乾場】 (挿繪)

これは西海岸の一部を寫したものである。棒だらを製する

には生鱈を脊から三枚に卸し、頭と脊骨とを除いてよく洗ひ、十四五日間日光で乾かすので、その光景は圖に見る通りである。

鱈は主に西海岸にとれる。口が大きく體圓く、脊には黒い斑點があり腹は白い。身長は九十糎に及ぶ。常に深海に泳いでゐるが産卵期には海岸に来るのでこれを漁る。この肝油はビタミンAを澤山含有してゐる。棒だらは盛に支那に輸出せられる。

製造業及び製紙業が各地で極めて盛である。バルブ製造業及び製紙業はこの地方第一の産業である。



バルブ製紙工場の分布



棒だらの乾場

樺太山脈には石炭が廣く分布され各地で採掘されてゐる。近海ではにしんをはじめ、こんぶたらさけますすが盛にとれる。漁期には他の地方から来て漁業に従事するも

尋常小學地理書卷二より

【海豹島】

北知床岬の南方にある一小島で、長さ六五五米、幅七三米の細長い島である。全島岩礁から成つて樹木が生えてゐない。中央にテーブル状の丘陵がある。

この島は海豹島と名づけられてゐるけれども海豹(あざらし)はあまり居ないで臘胸獣が主である。

尙本島には數十萬の鴨が群集して居る。俗にロツベン鴨と云ふ。それで外國の地圖には島の名をロツベン島 Robben と書いてゐる。

【海豹島のおつとせい】 (挿繪)

圖は海豹島の東南岸の砂濱に、無數のおつとせいが群集して居る模様である。毎年約二萬餘頭のおつとせいが上陸する。その繁殖を保護するために、この島の附近へは人の立ち寄ることを嚴禁してあつて、島の丘陵の上には監視所を置き、おつとせいの上陸期には監守一名、警官十數名が駐在して居るのである。

おつとせいは毎年五六月頃から上陸し、水際の附近に群居して牡は咆哮し、牝はその周圍を取りまき、仔獸は相戯れ

尋常小學地理書卷二より

のが多い、水産業は又この地方の重要な産業である。海豹島はおつとせいの繁殖する處で、その繁殖を保護するために勝手に捕獲することが禁じられてゐる。夏から秋にかけて、無數のおつとせいがこの島の海岸に群集してゐる有様は誠に奇觀である。



海豹島のつとせい



樺太地方は都邑が少い。主

或は泳ぎ或は匍匐する。かくて仔獸を哺乳しその游泳に馴れしめると、間もなく秋になるので相携へて南方に去り、翌春再び歸つて來るのである。

【都邑が少い】

樺太は九州と殆ど等しい面積を有してゐるのに、その人口は福岡市の人口より少し多い位に過ぎないから、都會の少ないのも尤もである。そして農業が振はぬから、随つて又内地の様な散點的の村落も殆ど見られない。

【大泊】

カラフトで最も古い都會で、松前領時代にも出張番屋を置かれた所である。市街は元のポロアントマリとクシユンコタンとの二部より成り。前者を本町、後者を楠溪町と云つて居る。丘陵を繞つてへの字形になつて居る。

開港場であるがあまり盛でない。それは種々の缺點即ち

- 一、港の浅いこと。
- 二、風波を避けるに困難であること。
- 三、冬は海面が氷結すること。

等によるのであるが、最近大規模の築港も完成したから、第一第二の缺點は除かれた。(一八頁参照)

【豊原】(挿繪)

大泊の北方約四十軒にある。露領時代にはウラジミロフカと稱する百戸内外の小村落であつたが、明治三十九年にこの地を首府と定め、密林を伐り開いて市街の區劃を定め、東西千四百米、南北千五百米の方形市街とし、中央大路の西側に七條の街路を設けた。併しまだ建築物の出来ぬ街路のみの部分が澤山あつて齒が抜けた様になつてゐる。

家には板壁柿葺又はトタン屋根が非常に多い。又丸太小屋も往々にして見られる。

【眞岡】

前面に暖流が流れてゐるためにカラフト中最も氣候のよい場所、海水も氷結しない。開港場であり且つ漁業の根據地として重要である。冬になると各方面の漁業者などが皆この地へ集るので、樺太の他の地方とは反對に、この町では夏よりも冬の人口の方が却つて多い。

なものは大泊豊原知取眞岡である。大泊は樺太地方の門戸で稚内小樽函館の諸港と航路が相通じ、殊に稚内との間には鐵道連絡船が往來してゐる。豊原は政治の中心地で、眞岡は水産物の集散地である。知取は製紙業によつて發達した處である。



尋常小學地理書卷二より

【五つの州と三つの廳】

州と廳とはどう違ふかといふと、

一、州には知事の諮問機關として協議會といふものを置き、州の歳入出豫算、州税、使用料等の賦課徴收、起債その他の重要事項に關して州知事の諮問に應ぜしめる。これは内地の府縣會の様な公選議員でもなく又議決機關でもないが、兎に角自治の準備訓練である。然るに廳にはこんなものは無い。

二、州知事は州を代表し州の事務を擔任するが、廳の費用は臺灣總督が管理し、廳長はたゞ總督の指揮命令によつて事務を所理するに過ぎない。

廳は比較的開けない地方で住民も極めて少いから、この様な特別の制度によつてゐるのである。

【南北に長く】

東西は百三十軒、南北は三百六十軒に及ぶ。南端はバシー海峡中にある七星岩で、北緯二十一度四十五分である。こゝは東京を中心とすればわが領土の中で最遠の距離にあることになる。

尋常小學地理書卷二より

豊原眞岡間には横断線がある。

第三 臺灣地方

一 區域

臺灣島と澎湖諸島とを合はせて臺灣地方といふ。この地方は行政上五つの州と三つの廳に分たれ、これを總轄してゐる臺灣總督府は臺北にある。



二 地勢

臺灣島は南北に長く、南はバシー海峡を隔てて、

【臺灣地方の地勢の略圖と断面圖】(挿圖)

地勢圖に本島の北端から澎湖諸島へかけて火山脈が書いてある。あれを大屯火山脈と云ふのであるが、近頃の學説では澎湖島は火山脈ではなく、大屯火山脈は島の北端から南に走つて火燒嶼(圖中イの島)の方に行つて居るといふことである。

地形圖と断面圖との縮尺が違つてゐるが、これは附圖により同一縮尺で断面圖作製の練習をするがよい。

【澎湖諸島】

澎湖島を中心とする六十四個の群島で、澎湖・白沙・漁翁の三大島が相抱いて馬公の良港を形成してゐる。最西にある小島花嶼の西端はわが領土の最西端で、東徑百十九度十八分にあたる。(二六頁参照)

【高い山脈がいくつも……】

主脈は臺灣山脈と云ふが、その北部は棲蘭・南湖の兩山脈に分れ、南部には新高・郡大等の支脈がある。

主脈の西にあるのは蕃界嶺山脈で、新高山脈の前山をなし第三紀層から成つて居て所々河流で切開されてゐる。

東方には臺東山脈がある。高くないが山は概して急峻で、東縁は断崖を以て海に臨む所がある。

【新高山】 (挿繪)

圖は阿里山の方面から東方に向つて新高山を望んだ光景で(イ)は新高の主峯である。

新高山は一の山彙であつて、孤立して居ないから富士山の様な遠望の秀麗さは見られない。主峯の外に斗六新高(北山)・臺東新高(南山)・東山・西山等が深い谷を距て、相

【富士山よりも高い山々】

富士山は三七七六米であるが、これより高い山は、

- 新高山 元壹 次高山 元一 新高東山 元三
- 斗六新高 元壹 新高南山 元元 秀姑巒山 元三
- マボラス山 元六 南湖大山 元七

【絶壁】

島の東北端なる三貂角から最南端の南岬に至る間は、概して山岳直ちに海岸に屹立し、殊に蘇澳の南方では中央山脈直ちに海に没して六百米内外の断崖が壁立して居る。又花蓮港の北には數百米の絶壁があつて世界無比と稱せられ、怒濤岩を嘯んで壯絶凄絶、舳舳すら近づくことは出来ぬ。花蓮港の南方にも臺東山脈の海に迫るところ、峻峻の地が頗る多い。

近時この絶壁に道路が通じたので、蘇澳から花蓮港へ自動車に通ふ様になつた。

【良港も少く】

東岸の港と云へば築港された蘇澳のみである。花蓮港の如きは汽船が定期に寄港するけれども、波が高く上陸が不

對して居る。

山は回歸線の附近にあるけれども、高度が大であるから頂上附近には一木一草も生育せず、突兀たる岩體を風に曝して居る。但し雪は多くない。

山の麓には熱帶植物、四五百米から千八百米までは暖帶植物、それから三千米までは温帶植物、三千米以上には寒帶植物があるが、三千五百米から上は不毛である。圖の(ロ)は扁柏で、これは阿里山の一部が撮られたのである。



尋常小學地理書卷二より

尋常小學地理書卷二より

山脈で、本島の大分水嶺をなしてゐる。その中には富士山よりも高い山々があつて殊に新高山は高さが三千九百五十メートル、我が國第一の高山である。東部の山地の東側は傾斜が急で、海岸が處々絶壁をなしてゐる。それ故道路もまだよく開けず、良港も少く陸上海上共に交通があまり便利でない。隨つて産業の發達も遅れてゐる。しかしこの山地の西側は、東側よりも傾斜がよほどゆるやかで、次第に廣い平地となつてゐる。この平地は住民が最も多く、交通の便も大いに開け、農業工業がよく發達してゐる。西海岸には遠淺の處が多く、海岸線の屈曲が少いから、

能のために、空しく引き返さねばならぬ様なことが屢あるのである。

【遠淺】

- 一、大きな船が陸岸に近づくことが出来ない。
- 二、波が荒くて小舟と雖も危険であるから、竹で作つた竹筏と稱する特殊の舟が用ひられる。
- 三、砂濱を利用して製鹽業が行はれる。

【淡水】

淡水港は河口を利用した港であるから、年々砂泥が堆積して浅瀬を生じ、船舶の出入が次第に不便となつた。殊に近來基隆港が築港完成して非常に便利となつたため、その盛況を彼に奪はれるに至つた。

臺北との間は小舟を通じ、又鐵道もあつて交通が便利である。近時海水浴場として知られ、ゴルフ場なども出來、來遊者が年々多くなり、臺北の住宅町たらんとしてゐる。港の後方には三百年前西班牙人の築いた城の址がある。

【高雄港に於けるバナナの積出し】 (挿繪)

高雄港は砂嘴に圍まれた長さ十二軒の高雄灣に臨んで居るが、灣内の水深は干潮面下一米位で、港外も亦頗る浅く、港口は僅かに百五十米であるが附近には岩礁や浅瀬が多いと云ふわけで、小舟さへも出入が困難であつた。

それを明治四十一年に築港に着手して、大正十四年に完成したので、港内三十萬坪は干潮面下六米乃至九米の水深に浚渫し、港口の岩礁を除き、港外も船の通路だけを深くし、灣内には浮標十二個、岩壁八百七十米を築き、起重機・上

屋・臨港鐵道等の設備も整つた。

(イ)岸壁までバナナを積んで來た貨車。

(ロ)起重機。

(ハ)岸壁に横付された巨船。

カットはバナナの實のつた有様である。(二九頁参照)

【淡水河・濁水溪】

河とは河道の一定してゐるもの、溪とは自然に放流して河道の定まらぬものを云ふのが普通である。



其灣が殆どなく、港には淡水河の下流を利用した淡水と海岸に港としての設備を施した高雄とがあるばかりである。北部の東支那海沿岸には基隆がある。この港は實に臺灣唯一の自然の良港で、港の設備もとのつてゐる。臺灣山脈から流れ出る主な川は淡水河・濁水溪・下淡水溪で、いづれも西

尋常小學地理書卷二より

【疏水運河】

臺灣に於ける灌溉の設備を埤圳といふ。埤圳とは溝渠のこととで、近時大規模のものが着々完成してゐる。中でも嘉義の南にある嘉南大圳は四千二百萬圓を投じて十五萬ヘクタールを灌溉するといふ大仕掛のものである。

【灌溉の一方】 (挿繪)

内地の踏み車に類し、少し水準の高い處へ水を汲み上げる仕掛で龍骨車と稱するものである。足で踏んで回轉させると、ベルトに装置された多くの板が箱の中を上つて行つて水を揚げるのである。背景に見えるのは水牛。

【嘉義から南は……】

北緯二十三度半の線即ち北回歸線は嘉義の附近を通過して居るから、これから南は熱帯、北は溫帯といふわけで、そこには北回歸線標が建てられて居る。併しこの線を境として急に氣候の變化するわけではない。熱帯・溫帯といふのは單に太陽の運行を基とした區劃で、氣候上の區劃とは異なるからこの點誤解の無い様にせねばならぬ。

「嘉義から南は熱帯にあつて氣温が殊に高い」とあるが、

尋常小學地理書卷二より



部の平地を流れてゐるが川水が季節によつて著しく増減するので、船の交通にはあまり利用されない。しかしこれ等の川からあまたの疏水運河が開かれて灌溉に利用されてゐる。三 産業 臺灣地方は我が國で最も南にある上に近海に暖流があるのて年中氣候が暖かい。嘉義から南は熱

何も嘉義を境として高くなるのでない。又平均温度では南の方が高いけれども、最高温度は却つて北部の方にある。即ち南端の恒春よりも却つて臺北の方が暑い。又南半は概して夏に雨が多くてために暑さが和げられる。こんな關係で臺灣では北部よりも南部の方が氣候がよいのである。

【四季の區別】

大體乾季と雨季に別れ、南部は五月から十月まで、北部は十一月から四月までが雨季である。

【がじまる・びんらうじ】

かじまるは榕樹の一種で幹や枝から多くの氣根を垂れる木である。印度にあるものはバンヤン樹で一本で一大森林をなして居るものもあるが、がじまるにはそんなに大きいのはなく、日蔭用として庭園に植えられて居る。

びんらうじ(檳榔樹)は棕櫚科に属する木で、南洋あたりの土人は未熟の果實を石灰と共に嚼む風習がある。材は美しいので床柱などに用ひられる。

【バナナ・パイナップル】

熱帯は凡て果實の豊富なもので、臺灣の如きも種々の果實が年中絶間なく生産される。就中代表的のものはバナナで臺中州を主産地とし、基隆及び高雄から主に内地に送られる。原産地に於ける価格は内地の十分一以下である。

パイナップルはパイナップルと發音する。高雄及臺中方面に多く、他作物の出来ぬ傾斜地を利用するので將來頗る有望である。罐詰として海外にも輸出される。

【水牛を使って耕作してゐる所】(挿繪)

西部平野に於ける水田の模様で、水牛二頭づゝ並べて犁を


曳かせて居る。

水牛は體軀肥大、力強く粗食に堪へる。好んで水中に入るので水牛といふ。力役に用ひられるのみでなく、皮も優良角も種々の細工に用ひられる。性質は勇敢で、殊に水に入れないと非常に兇暴となり、時として人間を襲撃することさへある。併し水に入れてやれば温順となり、よく子供にも制禦せられる。臺灣では多く去勢を行つてゐる。皮膚が硬く毛が少くて暑さにはよく堪へる。

かやうに氣温が高い上に雨量も多いから樹木が繁茂し、大きなひのきくすのき、熱帯植物のがじまるびんらうじなどが森林をなしてゐる。又バナナ・パイナップルをはじめ種々な熱帯の果物が多い。

家畜には水牛豚などがある。水牛は性質がおとなしく、力が強く、暑さに堪へるので耕作に使用され、臺灣では農業にかくことの出来ないものになつてゐる。

臺灣は農業が盛で、米さたうきびさ



所るめてし作耕てつ使牛水

尋常小學地理書卷二より

【年二回收穫】

年中暑いのであるから何時でも栽培されるわけであるが、降雨その他の関係もあつて大體に時期が一定して居る。即ち第一回は一二月頃播種、三月頃挿秧、六七月頃收穫、第二回は六七月頃播種八月頃挿秧、十一月頃收穫するのである。

米質は幾分外米に似て居て、内地米よりも粘りが少い。併し近年内地種の栽培に成効したので、これを蓬萊米と稱し盛に内地に移出してゐる。將來臺灣の産米を悉く内地に送り、外米を輸入して本島人の食料に充てるといふ計畫が進められてゐる。

また耕作法が幼稚であるから、二回の收穫で漸く内地一回の收穫と同じ位の反當收量であるが、將來は大に增收の見込がある。

【丘陵地】

茶は排水のよい土地を好むので北部の丘陵地が最も好適してゐる。而も氣候の關係上年十數回の摘葉が出来る。製品は烏龍茶・包種茶・紅茶等であつて、烏龍茶は紅茶の一種で

尋常小學地理書卷二より

つまいもバナナ茶等を多く産する。米は農産物中第一位を占め主に西部諸州の平地に産し、年二回收穫され内地に移出される額も少くない。茶は北部の丘陵地に産し、臺北で精製され、海外にも輸出される。さたうきびは主に中部の平地及び南部の山地に栽培され、嘉義臺中附近をはじめ各地の製糖工場で砂糖に製造される。砂糖は臺灣第一の工産物で、多く内地に送ら



のびきうたき

輸出される。さたうきびは主に中部の平地及び南部の山地に栽培され、嘉義臺中附近をはじめ各地の製糖工場で砂糖に製造される。砂糖は臺灣第一の工産物で、多く内地に送ら

アメリカ向、包種茶はこれに香料を加へたもので南洋向である。

【さたうきびの畑】(挿繪)

臺灣南部の甘蔗畑の一部を示したもので、如何に長く生長して居るかは人物と比較すればわかる。(持つてゐる物差の長さは約五米である)この圖は十二月頃で正に收穫せんとする時の模様である。收穫すると直ちに輕便鐵道で工場に送る。(三〇頁参照)

【製糖工場】（挿繪）

圖は臺南の北方蕭壩にある明治製糖株式會社の工場である。高い建物は甘蔗の莖を壓搾して粗糖を製出する工場で、今澤山の原料甘蔗が輕便鐵道によつて工場内に運び込まれて居る處である。この輕鐵は甘蔗畑に續いて居る會社専用の私設線で、この種の鐵道が全道に二千軒近くもある。

この粗糖は多く内地に送られ、大里附近（北九州）や川崎附近（京濱）で精糖に製せられる。

舊式製糖法と大に異なることは尋五地理書一四三頁の繪と比較すればよくわかる。近時は粗糖のみでなく糖汁から直ちに精糖をも製造する様になつた。

【製糖工場の分布】（挿圖）

製糖工場は甘蔗畑と分布を等しうする。甘蔗は量の大きいもので遠方に運ぶことが困難なからである。

甘蔗の栽培は氣温・地質・雨量等の影響を受けるので、臺灣では中部以南が殊に好適して居る。但し南部では成熟前に暴風の害を受けることが多かつたが、今は早熟種の栽培によつてこの害を免れて居る。

工場の總數は四十八で能力總計四千三百萬噸、その最も多いのは臺南州である。

【東洋屈指の大製材所】

嘉義の製材所は阿里山材を所置するために設けたもので、阿里山との間に専用鐵道を通じ、一日六列車を運轉してゐる。特に米國西岸の製材所に學んで長大材を處理する特殊の装置を有する點に於て、わが國各地の工場にその例を見ないのである。



臺灣山脈にはひのきの良材が多く、中には年輪が凡そ三千直徑が七メートルもあるものもある。阿里山製材所は、この良材を伐出し、鐵道を利用して各地に輸送する。隨つて製材業も處々に起り、殊に嘉義には東洋屈指の大製材所があつて製材高が甚だ多い。

尋常小學地理書卷二より

【阿里山のひのき】（挿繪）

圖は阿里山に於けるひのきの森林を示したもので、一部伐採した處である。圖の左方に人物があるからそれによつて大きさを想像させることが出来る。

阿里山は極めて有名ではあるが、その缺點とする處は地勢が峻しくて伐採作業の困難なこと、市場との距離も大であり高度も大であるために運搬に手數がかゝること、適當な川が無いので鐵道で運搬するから運賃も高くつく。

已に最も有利な部分は伐り盡されんとして居る。伐つて後の人造林は三十四年で伐採するから今後巨大な老木は多く見られなくなるであらう。

明治神宮や樞原神宮の大鳥居等の長大材は皆阿里山のひのきを用ひたものである。

【粗製樟腦工場】（挿繪）

臺灣の山地に於ける樟寮の光景である。
（イ）甑、この中に樟腦の細片を入れ、釜の上に乗せて蒸すと蒸氣が出るから、それを管で別の水槽に導き凝結させる。（この水槽は圖では明瞭に見えない）



中部北部の山地では、くすのきから樟腦及び樟腦油を製し、基隆から内外各地に送り出す。樟腦は本島の特産物で、外にも有名である。その他アルコール・肥料セメ

尋常小學地理書卷二より

（ロ）かくて凝結した樟腦から樟腦油を滴下させる。

【本島の特産物】

樟腦は南支那その他に多少産するだけで、臺灣は殆ど世界唯一の産地である。薬用・除蟲用等に供せられるがセルロイドの原料として最も重要で、内地及び米・英・獨・佛に輸出される。

近時ドイツの人造樟腦が出来たので大に打撃を受けた。

【近頃盛になつて...】

臺灣は北海道と同様に原料を澤山産するから、各種の工業が盛になるべき筈であるが、従来はあまり手がつけられなかつた。近年に至つて次第に隆盛に赴き、その總額が農産總額を凌ぐ様になつた。

原料が多く、労働者も得易いが、石炭が割合に少く、氣候が暑くて労働能率の上らないことは缺點である。近時日月潭に大規模の水力電氣工事が出来て石炭の不足を補はんとして居る。

【漁獲高】

水産物は豊富であるけれども、従来水産業は頗る振はなかつた。それは、

- 一、氣候が暑くて漁獲物の腐り易いこと。
- 二、海岸によい漁港の乏しいこと。
- 三、市場に速く、交通が開けなかつたこと。

等の理由によるが、近年漁具や漁法の改良、交通の發達、漁港の築造等が進んで次第にその産額を増す様になつた。併しまた内地や北海道に比べると著しく劣つてゐる。

【良港が少い】

東岸は平直な断崖で、波が高く船を寄せることがむづかしい。僅かに花蓮港・臺東等の小港があるに過ぎない。近頃蘇澳は漁港としての築港が完成した。

西岸は低平であるが屈曲が少く、又概して遠淺であるので良港がない。高雄は大規模の築港によつて良港となつたがその他には安平・東石・鹿港・梧棲・舊港等小舟のみに入る小港があるに過ぎない。併し支那と相對して居るので東岸に比べると交通が開けて居る。

北岸には淡水と基隆とがあるが、淡水は河口であるから年々浅くなつて大船が入れぬ。基隆は自然の良港で、近頃築港によつて一層完全な港となつた。

【基隆港】（挿繪）

基隆は臺灣の支關口で、北海道の函館、樺太の大泊、朝鮮の釜山に相當する位置にある。

港は三方に山を繞らし、東北から西南に向つて深く灣入した自然の良港で、港口には社寮島があつて風波を遮り、入口の岩礁は除かれて非常に便利になつた。

【天日によつて...】

天日製鹽はわが國では臺灣・朝鮮・關東州等に行はれてゐる。これは日射の強い、風の多い、空氣の乾燥した土地で行はれるもので、臺灣は多雨であるが西海岸の中央部のみは極めて雨が少いのである。

天日鹽は不純物を混するから食用とするには更に精製しなければならぬ。故に鹽田で結晶するのを待たずに、濃い鹽水となつたものを直ちに汲み取つて煮沸する處もある。

鹽田の製造など種々の工業が近頃盛になつて来た。鹽産物の主なものには石炭、石油である。石炭は鹽産物中最も重要なもので、基隆附近が主産地である。金は金瓜石、石油は錦水出礦坑が主産地である。

たひまぐろかつきの漁獲高が多く、魚類の養殖も盛である。又西海岸では汐濱を塩田に利用し、天日によつて塩を製してゐる。

四 交通

西部の平地には鐵道の便が大いに開けてゐて、その幹線は基隆を起點として南方に通じ、臺北をはじめ臺中、嘉義、台南等、主を都會の連絡をとつて、高雄に達してゐる。

尋常小學地理書卷二より

海上の交通



尋常小學地理書卷二より

又東部の太平洋沿岸地方にも南北に通ずる鐵道がある。臺灣には良港が少いので、海上の交通は不便である。しかし北部の基隆と南部の高雄には港としての設備がと、のつてゐるので、船の出入が便利である。隨つて内地の諸港をはじめ支那、東南アジアの諸島の各地の港と航路が開けてゐる。

五 住民

殊に埠頭の設備が完成し、延長二千五百七十米の岸壁には三千噸乃至一萬噸級の船舶十五隻を同時に繋留し、一ヶ年に百六十萬噸の荷役能力を有するに至つた。

(イ) 第二・第三・第四岸壁で二列六棟の大倉庫の並んでゐるのが見える。倉庫の前にも後にも鐵道があつて、船と倉庫と汽車と直ちに荷物の積卸が出来る。岸壁は第十八までである。

(ロ) 哨船頭と稱する主要商業區である。

【支那民族】

元來支那の廣東・福建二省から移住して来たものが多いので、風俗習慣等悉く支那風である。これを臺灣では本島人と呼んでゐる。廣東系統のものと福建系統のものとは言語風習を異にし別々の聚落を作るものが多い。

【土人】

土人即ち蕃人は本島最古の住民で、元來平地に住んで居たが支那民族に追はれて次第に山中に退避したものである。馬來系統の人種で内地人と大差は無いが眼の太く鋭いのが特徴である。

タイヤル・ブヌン・バイワン等七種族に分れてゐて夫々言語風習を異にするが、何れも皇化に浴して温順な農民となつてゐる。(尋五用五頁にタイヤルの繪がある)

タイヤル族の如きは慍悍で首狩なども行つてゐたが、今は全然行はない。子供は學校に通つて國語を解し、内地人と同じ着物を着て水田を耕すものが多い。中には内地風の家を建て、床に花を生け坐蒲團を敷き、電燈を用ひミシンを使用するものもある。又小學校教師や醫師となつてゐるも

のもあつて文化は意外に進んでゐる。

【都邑】

臺灣の人口は大部分が西の平野に住んで居るから、人口も稠密であるけれども、都會はまだあまり多くない。これは農業が主なる産業で、まだ商工業の發達が充分でないからである。但し朝鮮に比べると餘程多い。

最大の都會は臺北で人口二十五萬、その他に人口五萬以上の都邑が五つ、二萬以上が二十ある。

臺灣地方の人口は約四百七十萬である。その大部分は支那民族で、大てい西部の平地に住まつて農業商業を營んでゐる。内地から移住してゐるものは二十餘萬、又土人の數は十餘萬である。この土人は多く山地に住まつてゐる。

六 都邑 附澎湖島

西部の平地は産業が發達し、交通も便利であるから、人口が割合に多く、住民の數が臺灣地方の人口の九割餘に當つてゐる。都邑も多く、その主なものには鐵道の幹線に沿つてゐる。基隆は臺灣の門戸で、船の出入が多く商業が盛である。

尋常小學地理書卷二より

【臺北の市街の圖】 (挿圖)

市は淡水河の右岸にあつて、城内・萬華・大稻埕の三部に分れて居る。

城内は四角形の城壁に圍まれて居たが、今はこれを破壊して道路や鐵道としたので、たゞ二三の門のみが保存されて居る。圖中四角形の大道路は城壁の址を示す。

萬華は埠頭であつたが、河底が埋れて船が入れなくなつたので、今は大稻埕にその繁榮を奪はれた。

大稻埕には運送店が並んで荷物の積卸しが盛である。各國の領事館がある。

【臺北】 (挿繪)

圖は總督府の高塔から東に向つて臺北公園及び市街の一部を俯瞰したものである。堂々たる大建築の並んで居る有様は内地の市街以上で、よく植民地の特徴をあらはして居るのである。

(イ) 臺北醫院

(ロ) 臺北州廳

(ハ) 記念博物館

(ニ) 音樂堂、この公園には兒玉大將の大理石像がある。

臺灣地方 都邑附澎湖島

尋常小學地理書卷二より



臺北は政治商業陸上交通の中心地で、道幅が廣く清潔で、洋風の大きな建物が立並んでゐる。臺北帝國大學も臺北にあり、臺北には臺中嘉義臺南高雄屏東等の都會があつて、いづれもその附近の商業の中心地となつてゐる。又嘉義屏東は工業が盛な處で、高雄は海陸交通の要地である。

(ホ) 總督府民政長官の官舎

臺灣に於ける市街の特徴は、街路の兩側に亭仔脚と稱して商店の軒下を通路としてゐる點であるが、この圖には見えない。これは暑さと俄か雨を避けるに妙である。

【嘉義・屏東】

嘉義の工業は製材と製糖は最も有名、その他に尙竹材・電燈・清酒等の諸會社がある。屏東の工業は主として製糖業。

【花蓮港】

花蓮港廳の所在地で東岸屈指の都會であるが、港は不完全であるから波の高い時は上陸も乗船も全く出来ない。前面は打開けて居て一帯の砂濱には巨浪が常に傾倒してゐる。その北方には有名な世界一の絶壁があるが、今は自動車を通ずる様になつた。

附近の平野には内地人が移住して新開の村が出来てゐる。吉野村・林田村・賀田村・豊田村等は主なものである。

【岩の多い低い島々】

最大島の澎湖島は漁翁・白沙の二島と共に鼎立して本群島の主島をなして居る。

全島火山岩から成り、低平で殆んど山と稱すべきものがない。そして廣い海中に存在するので風が極めて強く、ために表面の土砂は吹き飛ばされて、至る處岩盤が露出して居るのである。

又風が強いために樹木が育たない。庭園等に樹木を植えても、土壌が浅いのと風のためとで間もなく枯れてしまふ。農産物としては落花生・甘藷・高粱等があるが、あまり盛

でなく、暴風に際しては海水の飛沫が風と共に飛んで来て作物を害することが多い。たゞ重要なのは水産物で、島民の大部分はこれに従事して居る。

三大島にかこまれた澎湖灣は自然の良港で、その一隅の馬公に海軍要港が置いてある。これは主としてその位置が軍事上重要なからである。

臺灣海峡は東亞・北米と印度・歐・弗方面との交通路にあたるから、日本の近海では交通量の最も多い海峡である。

東海岸には花蓮港がある。その附近には近頃内地人の村が多くなつて、さうきびの栽培が次第に行はれてきた。

澎湖諸島は岩の多い低い島々であるが臺灣海峡にあるので交通上の要路に當つてゐる。その中で最も大きいのは澎湖島で、海岸線は出入が多く、海軍要港の馬公港がある。

第四 朝鮮地方

一 區域

朝鮮半島とその近海の島々を合はせて朝鮮地方と

尋常小學地理書卷二より

【十三道】

慶尙南道	慶尙北道	全羅南道
全羅北道	忠清南道	忠清北道

以上六道を三南といひ、次の二道を加へて南鮮ともいふ。

京畿道	江原道	
黃海道	平安南道	平安北道
咸鏡南道	咸鏡北道	

以上五道を北鮮ともいふ。

【朝鮮地方の地勢の略圖と断面圖】 (挿圖)

京城から元山に引いた線を境として北鮮・南鮮に分けることが出来る。

北鮮は北東から南東へ走る山脈が並行して數條あり、その間に高原を挟んで居るので土地が一體に高峻である。

南鮮には南北に走る山脈と、その支脈が西南に向つて出て居るが、概して陵夷してあまり高くない。併し東岸地方は山地が多く、西岸に平野が多いのである。

断面の位置を示す(口)の矢印が極めて見出し難いのは遺憾である。



尋常小學地理書卷二より

いふこの地方は行政上十三道に分たれこれを總轄してゐる朝鮮總督府は京城にある。

二 地勢

朝鮮半島は日本海と黃海との間に北から南に向つてつき出た半島で長さ約一千キロメートル、南は朝鮮海峡を隔て九州地方と相對してゐる。北

断面圖は半島の西部が險しくして西部が低平なことを示すためには都合のよい位置を選んであるが、あまり背景を澤山書き入れたので變なものになつて居る。(A)の部の如きは殊に兒童には不可解に見えるだらう。又(B)の部は低平で殆んど海面と異ならぬ土地である筈、これは地形圖の方も誤つて居る。

又漢江が海面下まで喰ひ込んで居るのも無論誤りである。どうもこの断面圖は出來がわるい。

【白頭山等が境】

朝鮮の北境は大部分が鴨綠江と豆満江とである。鴨綠江の水源と豆満江の水源とは、僅かに數百米を距て、居るので、その間だけが白頭山の一部を以て境としてある。併しそれは白頭山の絶頂ではなくて、絶頂の東側四軒ばかり下つた山肩の部分である。

故に單に『鴨綠江・豆満江が境となつて居る』と云つても敢て差支はないわけである。本文の『白頭山』の文字は極めて軽い意味に取扱はねばならぬ。

【白頭山の頂上】（挿繪）

白頭山は山體の約四分の一が朝鮮に屬して居るのみで、頂上附近は全く滿洲の領内である。随つてこの寫眞も滿洲領である。黒いのは岩石、白いのは雪では無く火山灰で、白頭山の名はこれから起つた。

【長白山脈】

長白山脈は滿洲の國內にある山脈であつて決して朝鮮にある山脈では無い。随つて又朝鮮の地形には殆ど何等の影響も無い山脈であるから、これをこゝに提示することは甚だ

不適當であると思ふ。

朝鮮北部の地形は長白山脈とは關係のない白頭山（火山）の南方に擴がる大熔岩臺地たる蓋馬高臺が中心となり、それから西南に向つて二三條の小山脈が出てゐるのである。白頭山は火山であつて長白山脈の主峯と云ふは當を得ないこれが如何なる火山脈に屬するかは未決定であるが、大體南北の方向に走り、北は北滿洲から南は日本海の鬱陵島に向ふものだらうとの説がある。



尋常小學地理書卷二より

【金剛山中の勝景】（挿繪）

金剛山は朝鮮第一の勝景たるは勿論、實に東洋第一と云つても差支なく、朝鮮人は自ら世界一だと誇つて居る。内地にもこれに負けない勝景もあるけれども、多くは規模に於て到底彼に及ばない。實に金剛山は内地の耶馬溪と妙義山と寒霞溪と松島とを合併した様なものである。

大別して内金剛・外金剛・新金剛・海金剛の四部に分ける。その全部を探勝するには少くとも十日以上を要する。

圖はその一部たる萬物相の奇岩を示すもので、岩質は花崗岩で暗黒色に分解し、縦横の節理があつて削剝されて居る。秋の紅葉は非常に美しいが春の花の少いのは遺憾である。山中到る處に古寺があつて、高塔が樹間に隱見するの面白い。朝鮮には他に風景のよい處が一つもない。全鮮の風景が皆一ヶ所に集まつた形である。

【小白山脈】

小白山脈の支脈で、あまり高くはないが主要な分水嶺となつて居る。京釜線のこの山脈を横ぎる處に有名な朝鮮第一の省峴トンネルがある。



尋常小學地理書卷二より

【東にかたよつて……】

大白山脈が東に偏してゐるために、
一、一方は土地が狭く一方は広い。
二、一方は平地が少く一方は多い。
三、一方は交通が開け一方は開けない。
四、一方は産業が進み一方は進まない。
そしてこれは朝鮮ばかりでない。北鮮もやはり分水嶺が東偏してゐるために同様の事情がある。

【平壤牡丹臺と大同江】（挿繪）

平壤市街の上空から眺めた景色である。平壤の市街は東方大同江に臨み、北から西にかけて丘陵を繞らした形勝の地である。その北部の丘陵に城壁をめぐらし牡丹臺・乙密臺等の城壘、玄武門・七星門等の城門がある。これ等は日清戦役の古戦場として名高い。

（イ）は大同江で東から来て大迂曲して南流して居る。そこ（ロ）の綾羅島がある。（ハ）は即ち牡丹臺である。

大同江はこの邊から下流に澤山島を抱いて居る。平壤以下河幅も廣く水深も大で航運の便が少くない。殊に下流の鎮南浦までは航洋の大汽船も上ることが出来る。源は狼林山で、河の全長は四三九杆、舟行は二六〇杆に達する。

【水運の便は少い】

朝鮮の河の缺點とする處は

- 一、水量の少いこと、これは雨量の少いこと、森林の乏しいこと等にもより、又河身の手入が不充分で自然のままに放流してゐるから、一般に廣く浅いものにもよる。
- 二、冬季は中部以北の川は悉く氷結する。

併し又長所も少くない。

一、河口が三角江になつたものが多く、群山・鎮南浦等の良港があることは内地で見られぬ。

二、河が長大であるから内地の川よりも舟行の區域は大である。（鴨綠紅六九九杆・漢江三一四杆）流れも亦寛して緩かである。

『水運の便は少い』とあるのは、河がわるいのでなくて、産業が發達せないためまだ『充分利用されない』であらう。



地が狭く傾斜が急で、大きな川も平地もなく、産業も進まず、陸上交通も不便である。

しかし、黄海方面と朝鮮海峡方面とは、土地が廣く、傾斜がゆるやかで、大同江・漢江・洛東江をはじめ、大きな川がいくつもある。これ等の川は水量がゆたかたなく、冬は結氷するものもあつて、大い水運の便は少いけれども、下流は漕漑に利用される。随つて下流沿岸の平地では農業が

尋常小學地理書卷二より

【日本海方面】

日本海方面の海岸は割合に屈曲が少いが、併し平直な海岸では無くして小屈曲があり、又決して斷崖絶壁のみでは無い。即ち漁船を入れる位の自然の良港は到る處に存する。その商港が發達しないのは主として陸上の地形がわるくて、交通も産業も發達せず住民も少いからである。

『海岸線の出入が少くて良港が少い』とある一句は特に注意しないと誤解を起し易い。臺灣の東岸とは趣が違ふ。

【黄海方面と朝鮮海峡方面】

この方面の海岸に屈曲の多いことは勿論著しいが、同時に海が浅くて巨船の出入不便な港が多く、又潮汐の干満も大であり、そのために潮流も急であるから自然の良港は決して多くないのである。

又黄海方面に於ては單に海岸の出入のみでなく、大河の河口が打開けて良港をなせるものゝあることを特に注意する必要がある。これは東岸や南岸では見られぬ事實である。

【仁川港】（挿繪）

仁川港の發達した地理的條件は

尋常小學地理書卷二より

海軍



は海軍の要港となつてゐる。

發達し、都邑も多く、交通も便利である。日本海方面は海岸線の出入が少くて、良港が少い上に、産業も陸上の交通も發達してゐないから、元山・清津の外よい港がない。

一、漢口下流の平野を背域とし、殊に首府京城の門戸として重要な位置を占めてゐること。（内地の神戸や横濱と相似た點がある）

二、支那に近いこと、朝鮮と支那との貿易は大部分本港によつて行はれてゐる。

圖はドック内の岸壁で長さ約四百五十米、四千五百噸の汽船三隻を繋ぎ得る。右に見えるのは上屋である。堆積してゐる貨物は米であらう。

【仁川港の圖】(挿圖)

(イ)干潮面下三米餘に浚渫してあるから、干潮の時でも船は自由に入港出来る。(特別設備ではない)

(ロ)開門即ちドックの入口。

(ハ)ドック内は満潮時の水深十一米干潮時でも八米餘になる様に水門を閉じて水を溜めて置く。故に干潮時にはドックの内外で七米半だけ水位の差がある。

【特別の設備】

仁川港に於ける特別の設備とは開門式即ちドックのことである。これは干潮の際水位の下るのを防ぐため、決してこゝにある様に、干潮の時に「船の出入が出来るやうにするための設備ではない。

又干潮時にも入港の出来る様浚渫はしてあるが、ドック内とは水位の差があるから、干潮時にドックに出入するには二個の開門を交互に開くのであつて、これはパナマ運河と同一の様式である。(一五九頁参照)三池港にはドックはあつてもこの設備は無い。(五年用一三〇頁参照)

この文章は全然仁川港設備の趣旨を知らない人が書いた

【朝鮮第一の産業】

各種生産物の産額から云ふと、農産物は生産総額の七十三%を占め、工産は十六% 水産は五%に過ぎない。

又人口の上から見ると、総人口に對する各職業別人口の割合は、農林牧畜業の八十二%が最高で、商業及び交通業の七%がこれに次いでゐる。

何れから見ても農業は朝鮮第一の産業である。

【群山港に於ける米の積出し】(挿繪)

群山港は錦江の河口に臨む良港で、水陸交通の要衝にあたり、開港場で米の輸移出が最も多い。

夥しく山積されてゐるのは吠に入れた米である。

今朝鮮労働者がこれを船に向つて背負つて運んで居る。

(イ)の人物の背にあるのがその背負ふ道具即ちチゲである。港内無数の船舶はこれを積込むのである。帆檣の林立せる有様を見よ。

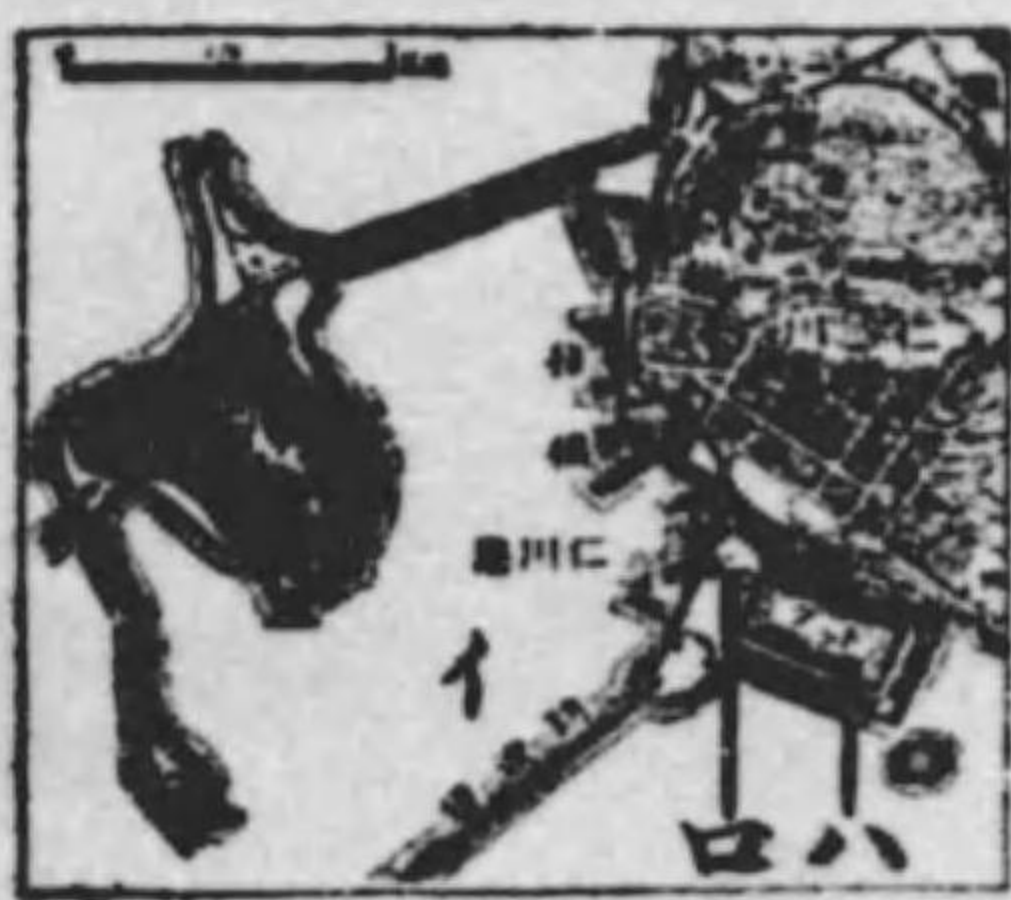
如何に米の産が多いか、如何にその輸出が盛であるかを想像せしめることが必要である。

【煙草の耕作】(挿繪)

らしい。

【雨量が少い上に……】

朝鮮に森林の少い理由を雨量の少いこと、濫伐と二つの結果に歸してあるが、雨量の少いことが森林の繁茂を妨げるといふ程ひどくはない。もつと雨の少い滿洲にも大森林があるし、朝鮮でも寺院の境内等は非常によく繁つて居る。又鴨綠江の森林帯は最も雨の少い區域である。つまり濫伐の結果一つであると云つた方が穩當である。



黄海方面は潮の干満の差が大きい。殊に仁川港ではその差が十メートルもあるの干潮の時には船の出入が極めて困難である。故に特別の設備を施し、船の出入が出来るやうにしてある。

朝鮮地方は雨量が少い上に、古來樹木の保護が行届かなかつたから、山地の大部分には良材が乏しい。又平地も灌漑の便が乏しく、原野が多くて耕地が割合に少い。しかしそれにもかゝらず、農業は昔から朝鮮第一の

尋常小學地理書卷二より



部分農業者は、近年來、農業者は農業者の近く、水源の養法や灌漑

尋常小學地理書卷二より

朝鮮の農村に於ける煙草耕作の様態を示したものである。一面の廣い畑に、苗を植付けてまだ間のない時、その畦間を耕して居る有様である。

朝鮮の煙草は内地と同様に總督府の專賣で、忠清北道と江原道が最も多く、全部鮮内で消費せられる。

犁の形、牛に曳かせる仕掛け(内地ではあまり見られぬ首木の仕掛)男女農夫の風俗、背景に見える農家の形狀など兒童に珍らしい點が随分多い。

【耕地が著しく廣まった】

朝鮮では少しく人力を加へれば耕地になる様な場所が澤山打捨てゝある。これは主として永い間の悪政の結果である。故に近年著しく耕地が増加する。それは
一、河畔の低地は少しく手を加へれば水田になる。
二、山麓などの緩斜地は灌漑の設備で水田になる。
三、海岸の浅瀬を埋め立てゝ耕地をつくる。

【綿】

綿は内地でも多少栽培されて居るが、開花期の九月頃に雨が多いため品質が非常に劣るので、漸次衰頹して行くばかりであるが、朝鮮ではその時期に雨が少いので栽培には好適して居る。

主な栽培地は南部の諸道である。品質は繊維が細くて長くて弾力も強く艶もあり、埃及綿にも劣らぬ優良なものであるが、その産額は今の處内地に於ける需要額の百分の一をも充たすことが出来ぬ。併し將來はもつと盛になるであらうと思はれる。

【人参畑と人参】 (挿繪)

朝鮮人参の栽培は非常に手数のかゝるもので、苗圃に種を下し、発芽したら小屋を掛けてこれを保護する。その小屋は必ず南側を塞いで北側のみをあけ、そこには蘆簾を下げる。そして晴天の日には灌水し、風の吹く日は簾を下して日光と風を防ぐのである。植付後五六年して收穫する。
(イ)苗圃。今二人で灌水して居る。
(ロ)灌水用の柄杓。瓢を切り底に穴をあけて如露にしてある。別圖は人参の根



の工事が進んで耕地が著しく廣まったので、農産物の産額が大いに増加して来た。農産物の主なものは米大豆麥である。米は釜山群山仁川から大豆は主に仁川から多く内地へ積出される。
又中部から南では煙草綿の栽培が盛に行はれ、開城附近では古來朝鮮人参が栽培されてゐる。朝鮮人参は朝鮮の特産物として知られてゐるもので、薬用として支那へ多く送られる。

尋常小學地理書卷二より

【牛の牧畜】

昭和七年末牛の頭数は朝鮮が百六十四萬頭で、内地が百五十三萬頭である。朝鮮の農家には數十頭を飼養してゐるものも珍らしくない。

朝鮮牛は毛色が褐色で性質が非常にとなしく、力が強く且つ粗食に堪へ、而もよく肥満してゐる。

【大森林】

朝鮮は至る處禿山が多いが獨り國境の附近には千古の大森林がある。これは何も氣温や雨量の關係ではなくて、要するに住民が少くてまだ斧鉞が入らなかつたからである。

この地方は國有林になつて居て、營林廠の手で管理經營し、殖林・伐木・製材・販賣等の事業をやつて居る。

鴨綠江流域では咸鏡南道の甲山・三水・長津各郡、平安北道の厚昌・慈城・江界各郡で伐採し、筏流しとして新義州に集めて製材する。

豆滿江流域では咸鏡北道茂山郡から伐採し、やはり筏にして豆滿江の下流に下すのである。

【新義州にある製材所】 (挿繪)



牛の牧畜が廣く行はれ、その頭数は我が内地よりも多く、内地へ送られる数も少くない。又牛皮の産額も多い。鴨綠江豆滿江の流域には大森林があつて、うぜんまつからまつもみ等の良材が伐出される。殊に鴨綠江の流域は木材の産額が多く、この川を下る木材の主な集散地は新義州である。新義州には大きな製材所がある。

尋常小學地理書卷二より

朝鮮總督府營林廠の經營する大製材所の第一工場の内製工場の様である。

(イ)鴨綠江の水を引いて材木を貯へて居る貯木場。鴨綠江は工場に向ふを流れてゐるのでこの圖では見えない。

(ロ)鴨綠江を距て、對岸滿洲にある鳳凰山。これと相對して鴨綠江の右岸には安東縣の製材所がある。それは鴨綠江流域の支那側の森林を伐採して居るので、日支合辦の鴨綠江採木公司の經營である。

【鑛産物】

附圖に出ている各鑛山についてその産物を挙げると、

- 金 昌城・雲山・三成
- 銅 甲山
- 鐵 价川・安岳・殷栗・載寧・利原
- 石炭 平壤

全鮮産額金九百萬八千圓、石炭五百二十萬圓、鐵鑛四百六十萬圓である。(昭和六年)

【水産業】

朝鮮従來の漁業は漁具や漁船の不完全なためあまり振はなかつたが、内地人が出漁する様になつてから大に面目を改め、近年産額が益々増加するに至つた。

内地人の漁獲物は鯖・鱈・鱒・鯛・鱈・鱒・鱒・鯨・鯨等、朝鮮人は明大魚・石首魚・ふのり・わかめ・鰻等の漁獲採集を主とする。右の大明大魚・鯨は東海岸、石首魚は西海岸、鯛・鱒は南海岸に殊に多い。

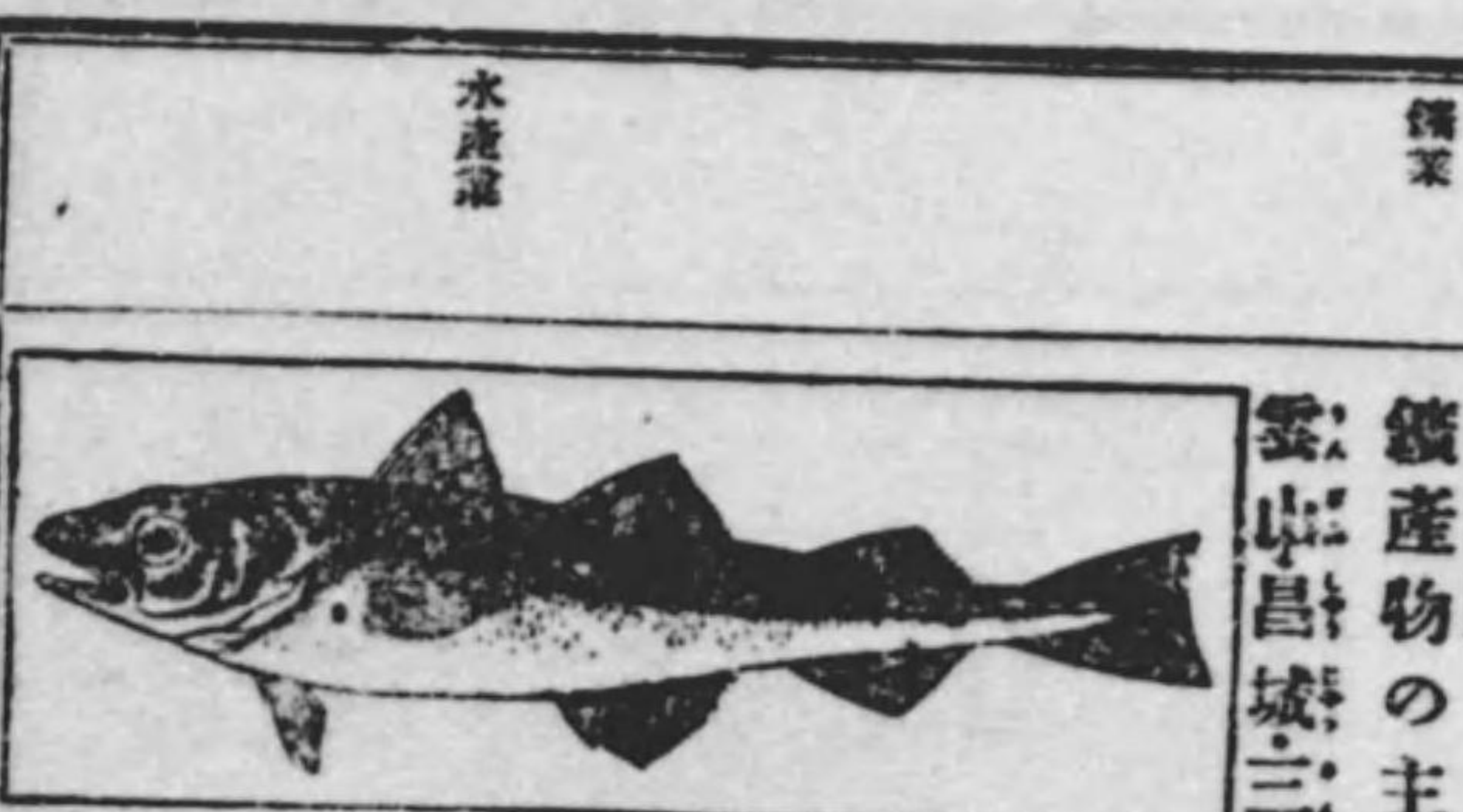
【めんたい】(挿繪)

鱈の一種であつて内地ではすけいといふと稱して居る。普通

通體長五十種内外、體色は灰白色で側面に黄黒色の斑點がある。

鮮食する外素乾ともするし鹽漬にもする。朝鮮では祝日や佳節には必ず缺くべからざるものとしてあるので需用は頗る多い。主な産地は江原道と咸鏡南道で、内地では北海道その他に産する。

めんたいの卵を唐辛漬にしたものは、近年盛に内地に移入せられ、俗にたいの子又はまこなどと稱せられる。



鑛産物の主なものは金鐵石炭である。金は雲山・昌城・三成等平安北道を主産地とし、鐵鑛は利原・下聖・載寧等の各地で採掘される。鐵鑛は八幡の製鐵所に送られて製鍊されるものも多い。石炭は平壤附近が主産地である。水産業は近年著しく發達して、いよいよさばぐちめんたい等の漁獲高が甚だ多く、水産製造物の産額も少くない。

大分	九州	九州	九州	九州	九州
大分	九州	九州	九州	九州	九州
大分	九州	九州	九州	九州	九州
大分	九州	九州	九州	九州	九州
大分	九州	九州	九州	九州	九州
大分	九州	九州	九州	九州	九州
大分	九州	九州	九州	九州	九州
大分	九州	九州	九州	九州	九州
大分	九州	九州	九州	九州	九州
大分	九州	九州	九州	九州	九州

尋常小學地理書卷二より

【ぐち】(挿繪)

又いしもちとも云ふ。頭の中に白くて硬い石の様なものがある。内地にも産するが最も多いのは朝鮮西岸で全羅南道・忠清南道・黃海道・平安南道は殊にその漁獲が盛である。

色は灰綠色で體長は三十種許である。春夏の頃淺海に群集するから、その時に網又は釣で獲るので、鮮食にも供し又乾製する。

【鐵道の幹線】

- 一、この方面は土地が低平で産業が開け、住民も多いといふ様な經濟状態のよいこと。
- 二、北に滿洲といふ大平野を控へて、内地との連絡上通らねばならぬ位置にあること。

【釜山港の大觀】(挿繪)

- (イ) 港の前面をかこむ絶影島、
- (ロ) 第一棧橋。今關釜連絡船がついて居る。
- (ハ) 第二棧橋。主として貨物船用。

尋常小學地理書卷二より

又黃海の沿岸には塩田があつて天日を利用して塩を製して居る。

鐵道の幹線は朝鮮海峽方面及び黃海方面にあつて釜山を起點として北に向ひ京城を経て新

釜山港の大觀

釜山港の棧橋に於ける船車の連絡 (挿繪)

(A) 京釜線の汽車が今棧橋まで到着した處。

(B) 棧橋待合室。

今多數の乗客は汽車から下り、長蛇の列をなして連絡船に乗り込みつゝある。

埠頭設備の極めて便利に出來てゐることが知られる。

【京城・新義州間】

京義線は京城・新義州間とあるけれども、實は滿洲の安東までである。即ち鴨綠江の鐵橋は安奉線ではなくて京義線の方に屬せしめてある。

【鴨綠江の開閉橋】 (挿繪)

圖は鴨綠江の右岸、支那側の安東縣の方から東方に鐵橋を望んだ所である。

橋は鴨綠江口から四十五軒の上流にある。鐵桁は十二連あつて、東方の六連は各六十米西方の六連は各九十米ある。その朝鮮側から數へて第九の鐵桁が、これを支へる橋臺の上を左に廻つて開く様になつて居る。

この鐵桁には三十三個の小車が付いて居て、滑車を用ひてあるから極めて簡単に軽く動く。即ち僅かに二名の人夫によつて開閉するので、電力等を用ひるのではない。

鐵桁の高さは満潮の時八米、干潮の時十二米あるから普通の小舟は何時でも自由に橋下を通ることが出来るが帆柱の高い船のみ開橋の時を待つて通るのである。

上のカットは本圖と同様に橋の開いた所を示してあるが、

多數の船が輻輳して居るのを大きく示したのである。

橋は無論鐵道橋であるが、鐵道の兩側に歩道が設けてあつて人も通ることが出来る様になつて居る。(一二五頁参照)

【毎日一定の時間】

鴨綠江の開閉橋は毎日三回午前五時と九時と午後二時とに各一時間づゝ開く定めである。但し冬季は河水が氷結して舟の往來が杜絶するから、無論橋を開くことはない。開くのは通例四月から十一月までの間である。



鴨綠江の開閉橋

尋常小學地理書卷二より

【滿洲の鐵道と連絡】

清津から更に北に延びて隱城に至る鐵道も咸鏡線と呼ばれる。この線の上三峯から分岐して圖們江岸に達し、鐵橋を渡れば滿洲の鐵道である。滿洲ではこれから新京及びハルビンへ連絡が出来るのであるが、清津は北滿洲を背域とする港としてはあまりに不完全なので、もつと北方にある羅津を築港してこれを北滿の門戸とすることに決定され、今や盛に工事中である。

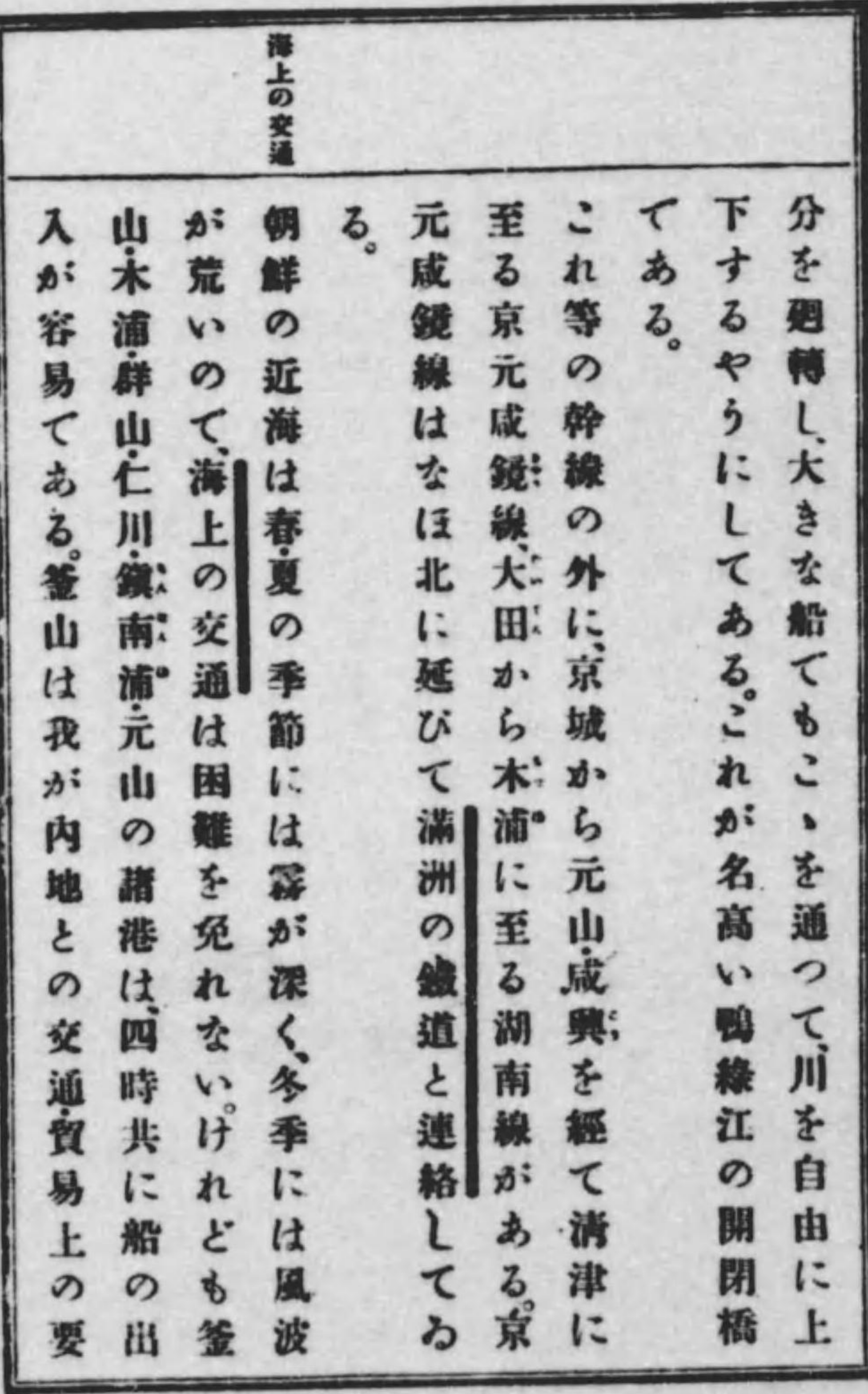
そこで鐵道も延吉から圖們に廻ることゝなつて、名も京圖線と改められ、そこから江を渡つて朝鮮に入り、雄基を経て羅津に延びることゝなつた。そして羅津からは日本海を渡つて敦賀その他へ連絡が出来、わが裏日本と北滿洲とを最短路で結び付けるのである。

この計畫は日本が數十年前から立てゝゝたところで、滿洲國の獨立後やつと實現せられたものである。

【海上の交通】

朝鮮の海上交通に對する障害は、
一、地形上から見て東岸には漁港程度のものは澤山あるが

尋常小學地理書卷二より



海上の交通

分を廻轉し、大きな船でもこゝを通つて川を自由に上下するやうにしてある。これが名高い鴨綠江の開閉橋である。

これ等の幹線の外に、京城から元山咸興を経て清津に至る京元咸鏡線、大田から本浦に至る湖南線がある。京元咸鏡線はまほ北に延びて滿洲の鐵道と連絡してゐる。

朝鮮の近海は春夏の季節には霧が深く、冬季には風波が荒いので、海上の交通は困難を免れない。けれども釜山浦、蔚山、仁川、鎮南浦、元山の諸港は、四時共に船の出入が容易である。釜山は我が内地との交通貿易上の要

巨船を入れ得る良港は乏しく、西岸は海が遠淺であるのと潮汐の干満が多く潮流も激しい等のために、種々の困難を伴ふ。

二、氣候上春夏の季節には霧が深い。殊に東岸には寒流が南下してゐるために、それと暖かい空氣との接觸で毎日の様に霧が出来る。又冬は概して各方面とも風波が荒いので、そのためにも海上交通の妨げられることが少くないのである。

【朝鮮人のつば責り】 (挿繪)

朝鮮族の風習を示すものである。背負つて居る壺は土器であつて、水を入れて頭上に乗せて運び、その他臺所に於ける種々の用に供する。

(イ) 休憩して長い煙管で煙草を吸つて居る。

(ロ) 竹で編んだ大きな笠で、親の死んだものは三年間この笠を常に被るのである。但し荷を背負つては被り難いから荷の上に乗せて居る。

【大邱の大都市】 (挿繪)

大邱は人口七萬六千を有する朝鮮第三の都會である。こゝでは東門と西門と二ヶ所に市場があつて、東門市は毎月四と九の日、西門市は二と七の日(何れも陰曆)に開かれるから、合計一ヶ月に十二回の市がある。又毎年二回の大都市は秋夕(内地のお盆に相當する)前と舊正月前とに開かれ米・雜穀・魚類・海草・綿布・生牛・陶器・金屬器その他あらゆる日用品雜貨等が取引される。

この外大邱には昔から名高い藥種の市がある。これは元春秋二季に開かれてゐたが現在は毎年一回十二月中に開くこ

とになつてゐる。これは二百七十年の歴史を有する市で南城町に開かれ、各地から集るものが非常に多い。この圖は西門市の様を示したものであるが寫眞が非常に古く現状と全く違つてゐる。この市場は大正十一年に新町に移轉したから、今はもつと立派な町で面目は一新されてゐるのである。

(イ) 朝鮮に於ける普通の民家は皆こんな風である。
(ロ) 瓦葺でもこれは朝鮮式の家である。

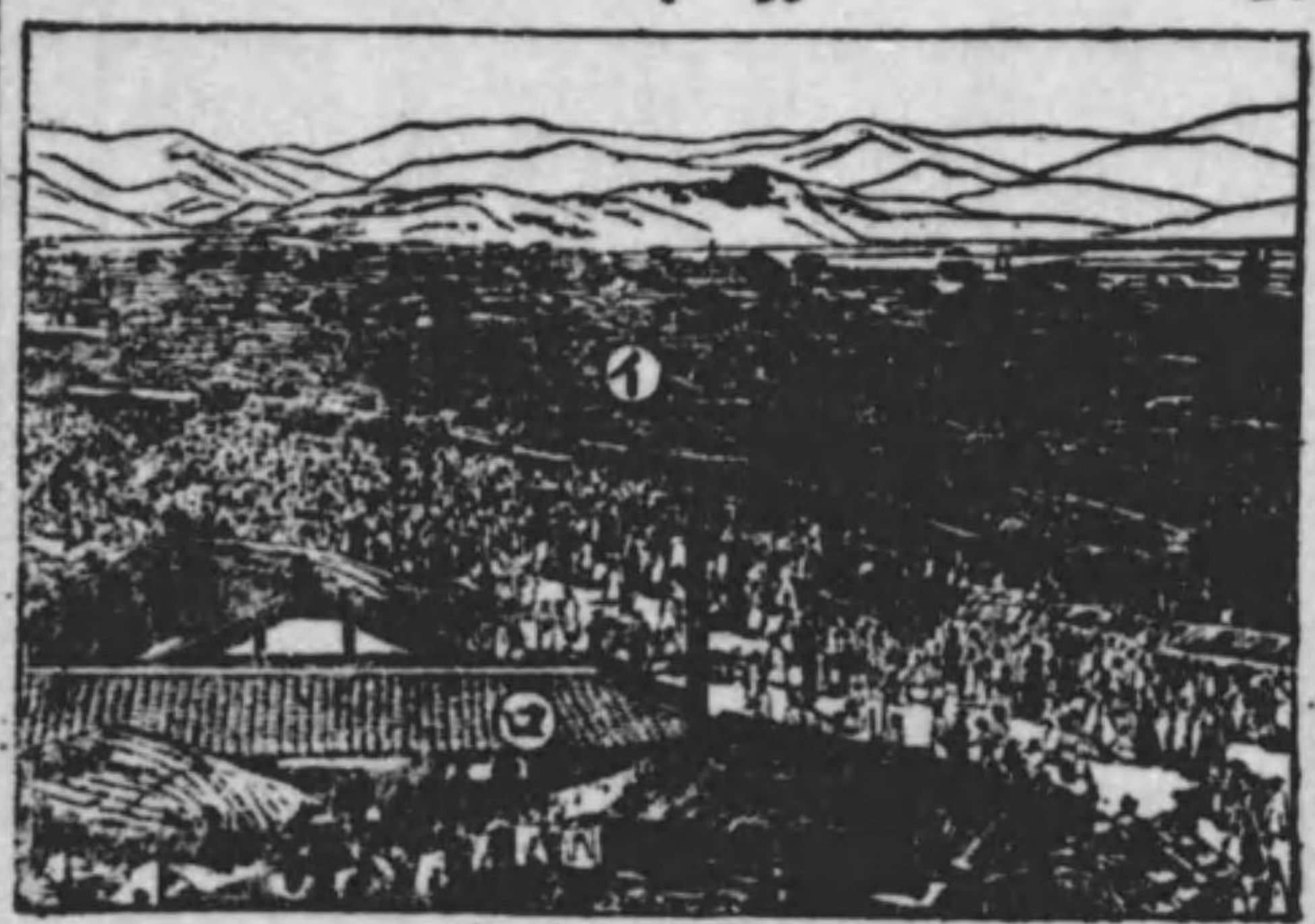
地であり、仁川は支那との貿易が盛な港である。

五 住民都邑

朝鮮地方の人口は二千一百萬を超えてゐる。大部分は朝鮮人で、内地人は四十



朝鮮人のつば責り



大邱の大都市

尋常小學地理書卷二より

【住民の最も多い處】

大體義州の附近から蔚山の附近へかけて一直線をひくと、その線を境として北東は人口の疎な地方南西は人口の密な地方といふことになる。これは、

一、一方は人口の多い滿洲に續き、一方は人口の少いシベリヤに續いて居るといふ位置の關係。

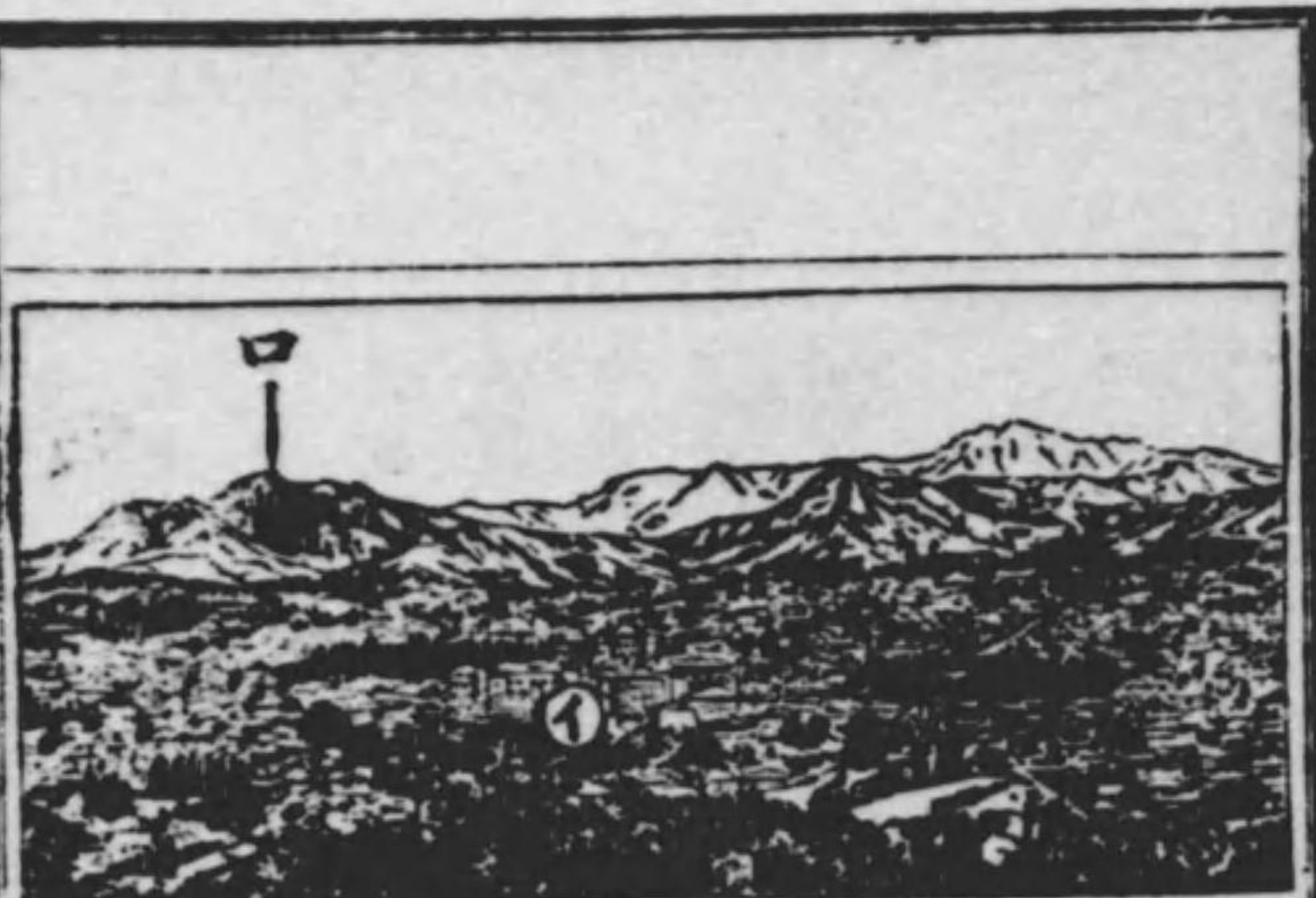
二、一方は地形が低平で一方は峻峻であること。

【大邱には定期に大都市】

この文章では市は大邱にのみ開かれて他には無いかの様に考へられるがこれは非常な誤である。

人口が稀薄で、交通が開けず、經濟状態の幼稚な朝鮮に於ては、まだ店舗商業といふものが充分に發達しないで、大部分は市場商業のみ行はれて居るのである。従つて如何なる田舎でも少し大きな部落では定期に市場が開かれる。ほんの人口千か二千位の處でも附近の田舎から澤山集合して農産物や手工品の交換をする。

又人口一萬も二萬もある様な小都邑では定期市の外に常設の市場もある。店舗は内地人の住む都邑に限ると云つても



七萬に過ぎない。住民の最も多い處は黃海方面の平地でこれに次ぐのは朝鮮海峽方面の平地である。隨つてこの兩方面の平地には都邑が多く、大きなものは大てい農産物の集散地となつてゐる。殊に大邱・群山・平壤は米の主な集散地である。又大邱には定期に大都市が開かれて、雜貨も取引される。

尋常小學地理書卷二より

よい位である。故に『又大邱には』以下の文章を次の如く訂正するがよい。
一般に定期の市によつて穀物や雜貨が取引されるが、中でも大邱の大都市は殊に盛である。

【京城】 (挿繪)

これは南山の中腹倭城臺から北方に瞰下した光景である。

(イ) 朝鮮銀行。

(ロ) 北漢山。

【京城の内地人の町】（挿繪）

京城の町はその主要部が殆んど内地化して居るのである。圖は本町の一部で寧ろ町幅の狭い部分である。

(イ)本町郵便局。

(ロ)これから右へ南大門通りに通ずる。

(ハ)これから左に入れば長谷川町である。

南大門通りや黄金町などの電車通りは、もつと廣潤で且つ建物も堂々たる大建築が立ち並んで、東京や大阪にも負けぬ美しい町である。

【鎮南浦】

大同江の河口から數十軒の地點にあるが、河幅は三軒もあり、水深も十米乃至二十米あつて自然の良港である。附近の平野に出来る穀物の輸出がこの港の生命である。この地は元來一漁村であつたが、日清役後内地人の移住者が多く遂に今日の盛況を呈するに至つた。

近時精米・線綿・製粉・皮革等各種の工業が起り、又久原の經營する製鍊所もある。

日露戦争の當時わが第一軍の上陸した處で、一時運送船八

十隻を浮べたことがあり、又英國東洋艦隊の巨艦四隻の入港したこともあつて、河口港としてかゝる良港を有することはわが國では他に全く例がない。

【滿洲から租借】

元ロシヤが租借した時は二十五ヶ年の期限であつたのを、わが國が繼承してから後に九十九年に延長したのであつて昭和七十二年度までとなつてゐる。そして滿洲が獨立したから、この國から租借したことになつてゐる。

あつて政治交通の中心地となつてゐる。京城帝國大學もこゝにある。仁川は京城の門戸で黄海方面にある重要な港である。平壤は朝鮮北部の名高い都會で、鎮南浦はその門戸である。日本海方面では元山咸興羅南清津羅津が主な都會である。



町の人地内の城京

第五 關東州

關東州は滿洲の遼東半島の南端部で、わが國が滿洲から

尋常小學地理書卷二より

【關東州の鹽田】（挿繪）

關東州では所々の海岸に天日製鹽が行はれて居る。殊に東岸の鏡子窩附近は有名である。これはこの地方が雨量が少く空氣が乾燥して居て蒸發が盛なからである。但し七八月頃は雨期で、大雨が屢來するので製鹽が出来ず、冬は鹽田が氷結するから十二月から四月までは駄目である。

圖は旅順の西北にある雙島灣の鹽田を示したものである。

(イ)蒸發池に海水を充たし、それを攪拌して蒸發を促して居る。

(ロ)結晶池で已に食鹽が結晶して居るのを掻き集めつゝある。

池の底はタイル又は石を敷きつめてある。一つの池と次の池とは順次五種乃至七種位づゝ下げて築造し、濃くなつた海水を次第に次の池に流れ込ませるのである。臺灣・朝鮮等でも行はれて居る。(三三頁・四七頁参照)

【旅順】

この地が軍港として發達した理由は、

一、位置が非常によい。遼東半島の尖端にあつて、威海衛



尋常小學地理書卷二より

ら租借してゐる處である。面積約三千五百平方キロメートル、人口九十六萬、その中内地人は約十一萬である。この地方を治める關東廳は旅順にある。州内は山が多くて平地が少く、農業は盛でない。しかし近海では漁業が行はれ、處々の砂濱では天日を利用して塩を製してゐる。海岸線は出入が多く、黄海の沿岸には旅順大連の二港がある。

と相對して渤海灣の入口を扼して居る。

二、港口は狭く、港内は完全に山を以て圍まれて居るので地形が軍港として理想的である。

併し商港としては缺點がある。即ち、

一、港口が狭くて出入が不便であり、港内も亦淺い。

二、背後に平野が無いので陸上交通が不便である。

今は海軍の要港として防備隊を置き、又一部を商港として開放してゐるが貿易は盛でない。

【爾靈山上の記念碑】（挿繪）

爾靈山は海拔二百三米の高地であるから二百三高地と呼ばれて居たのを、乃木大將が二〇三と同音の文字を充て、かく命名したものである。

日露の役わが軍惡戰苦闘して占領しては奪回されること五回、六回目に漸く確實に占領した處で、死傷八千を算した。その死者のために建てた記念碑がこれである。

乃木大將の「爾靈山險豈難攀、男子功名期克艱、鐵血覆山山形改、萬人齊仰爾靈山」の詩に名高い。

【冬も港内が結氷しない】

これは事實と聊か相違して居る。一月の平均温度は零下四度七で、海水の水結することは珍らしくない。河水の如きは十一月から氷結し三月下旬から四月頃になつて解ける。酒や鶏卵の水することも度々ある。

殊に港の西部の如きは随分厚く結氷することもあるが、たゞ防波堤内は割合に結氷することが少く、稀に碎氷船を用ひることもあるけれども、甚しく船の出入を防げるといふ程では無い。

【南滿洲鐵道】

本線は大連・長春間で、旅順・營口・安東等へ支線を通ずる外奉天に於て北寧線に、長春に於て東支線・吉長線に連絡して居る。大連又は朝鮮方面から支那又はシベリヤに入る幹線となつて居るのである。

南滿洲鐵道株式會社は半官半民の會社で、鐵道の外に炭坑・海運・港灣・製鐵・電氣・瓦斯・旅館・地方經營（土木・教育・衛生）等の事業を營み、宛然一地方廳たるの觀がある。



及ばない。しかし旅順は州内政治の中心地である。又その附近には

明治二十七八年並びに三十七八年の兩戰役に關する名高い戦跡が多い。

大連は滿洲の門戶、世界交通の要地で、その港は廣く深く埠頭の設備がよくと、のひ、冬も港内が結氷しないから、四時船の出入が多く、我が内地及び支那の諸港との海上の交通が便利である。又この地を起點とする我が南滿洲鐵道は、北滿鐵道や奉天鐵道と連絡し、世界

尋常小學地理書卷二より

【奉天鐵道】

北寧線とは元京奉線と云つて居たもの、即ち北京・奉天間の線路である。北京が北平と改稱せられ、奉天省が遼寧省と改稱せられたので、鐵道も北寧線と稱するに至つた。（附圖にはこれ等が凡て舊名のまゝとなつてゐるから訂正せしめねばならぬ）

【豆粕製造工場】（挿繪）

大連に於ける日清豆粕製造株式會社工場の内部を示したものである。この會社は明治四十一年の設立で、年産豆粕百萬枚、豆油四百五十萬斤の能力を有する大連最大の油房である。

圖の左方に並んで居るものは壓搾器で、煮た大豆を入れて螺旋仕掛けで壓搾する様になつて居る。

在來の支那式油房は手搾りの極めて幼稚な仕掛けである。

【大連港の埠頭】（挿繪）

東洋第一を誇る大連埠頭の壯觀で、三個の大棧橋中の中央にある旅客棧橋を示したものである。

（イ）前面にある大防波堤。

尋常小學地理書卷二より



大連港の埠頭

（ロ）船客待合所で、僅に一萬人を收容する廣さがある。手前の半圓形の屋根の處はその入口、向ふに續く四角な建物は乗降場である。
（ハ）この棧橋は幅百米、長さ六百米あつて右側は客船左側は貨物船の繫留する處となり、中央には多くの軌條が見えてゐる。
（ニ）倉庫であつて一棟に約一萬噸の貨物が入れられる。こんな倉庫が總計四十九棟ある。

【大連】(挿繪)

大連は東洋一の文化都市と稱せられる、その街路系統は最新式の放射式で、圖はその中心にある中央廣場を示し、東南から北西の方向に望んだものである。

(イ)市の建設に大功勞のあつた大島子の銅像。

(ロ)奥町。

(ハ)正金銀行。

(ニ)大山町。これを真つ直に行くと北大山通を経て大山埠頭に出る。そこは支那船の集合するジャンク波止場であつて、大小の帆船が輻輳する有様は實に壯觀を呈するものである。

大連にはこの中央廣場の様な小公園が所々にある外に、中央公園の如き大公園もあり、上地下水等と共に保健・衛生・娛樂・休養の設備至らざるは無い。街路には多くアカシヤの並木があつて、五六月開花の頃は一大ガーデンシチーが出来上る。路面は凡て割石舗道で、アスファルトの様に夏に柔くなつたり嚴寒に龜裂する等のことは無い。大街に面する建築は四階以上の煉瓦建築ばかりである。

【豆粕】

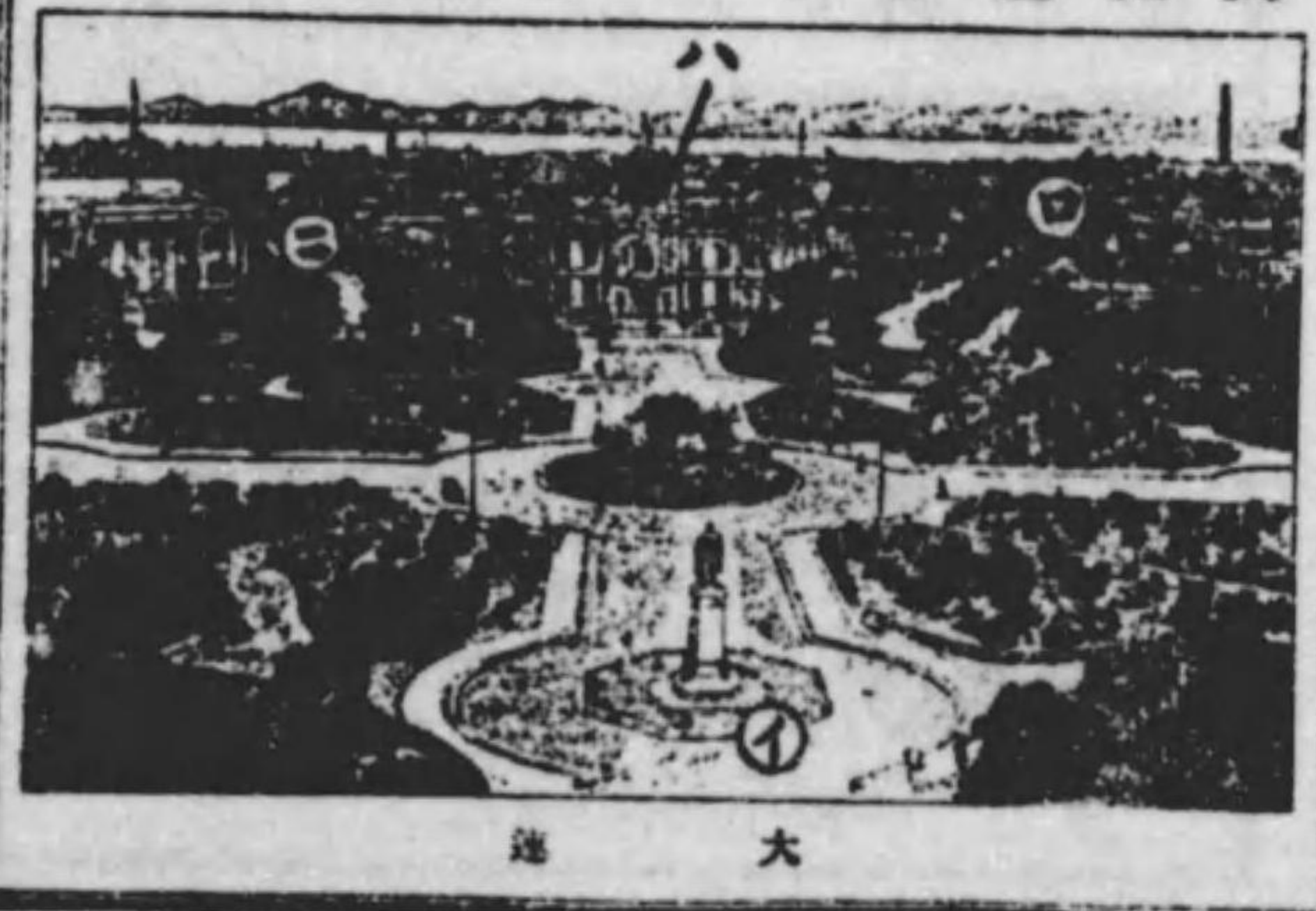
豆粕は大豆を搾つて油を採つた粕で、家畜の飼料に供せられるがわが國では主に肥料とする。

『大豆を原料として』云々とあるから、大豆粕の方が主産物で油の方が副産物の様に聞えるが、これは油が主産物で粕が副産物と云つた方がよくはあるまいか。

大豆油は食用とする外石鹼の原料その他工業方面に用ひられ、英獨その他へ盛に輸出せられてゐる。

として、から我が内地及び支那本部に積出され、滿洲の重要輸入品たる我が國産の綿織物綿線粉は多くここから滿洲各地へ送られるのである。

豆粕は大連をはじめ滿洲各地で大豆を原料として製造し、大部分は横濱神戸に送り出すのであるが、その生産高は大連が第一である。



尋常小學地理書卷二より

【大戰の結果】

世界大戰の結果ドイツやトルコの領土であつた土地を國際聯盟の所屬とし、その統治を便宜の國に委任する形式をとつた。これを委任統治地と云ひ、中には將來獨立せしめることを目的とし、已に獨立國を作つてゐるものもあるが、南洋諸島は土人が未開でもあり、又位置の關係上日本の領土同様に見做さねばならぬといふので『日本の領土の一部』として統治することになつてゐる。

【面積】

二千方方軒と云へば沖繩縣よりも狭く、ざつと東京府と同じ廣さ、千島列島の五分の一しかない。併し東西四千二百軒、南北二千三百軒の廣さにちらばつてゐるから、日本列島全部の廣がりよりも一層廣いわけである。

【土人と石貨】(挿繪)

土人は總稱してミクロネシア族と稱し、細別してカナカ族・チャモロ族等とする。チャモロ族は性質温順で文化も稍進み、洋式の服装をして洋式の家屋に住み、ピアノを備へてゐるものさへある。

我が南洋委任統治地

尋常小學地理書卷二より

第六 我が南洋委任統治地

我が南洋委任統治地は、赤道から北の舊ドイツ領の全部、即ちカロン群島・マーシャル群島の全部とマリヤナ群島の大部分とで、世界大戰の結果我が國が統治するやうになつた處である。島の数は數百もあるが、面積は約二千方方キロメートル、人口は約七萬に過ぎない。この群



土人と石貨

併しカナカ族は多くは未だ開けないから、西部諸島では殆ど裸體跣足であり、概して懶惰で勤勞を厭ひ安逸を食する習慣がある。

珍らしいのは石貨で、これはヤップ島に用ひられてゐる。主に石灰質の石で製したもので、遠隔の島から取り寄せるのである。小さいものは通貨としても使ふが、(イ)の如き巨大なものは只財産として家の前などに並べて置き、結婚の際の結納などに遣取せられるのみである。

【全部熱帯】

赤道から北緯十五度までの間に位するから全部熱帯圏内である。併し面積の狭い島嶼であるから、海の影響を受けて比較的凌ぎ易い。気温の最高二十八度から三十度位まで、最低も二十度を降らないから年中暑いと云つてよいが、内地の様には三十四五度以上に昇ることなく、且つ海風のため気温の割合に涼しいのである。又毎日定まつた様にスコール即ち夕立がやつて来るから非常に爽快である。各島共に飲料水が乏しいので多く雨水を用ひてゐるが、幸にして十日も続く旱天は無いから飲料水の腐敗する様なことは無い。風土病も少く極めて健康地である。

【コブラ】

椰子の果實の中の胚乳の固まつたもので、また固らない水の様なもの飲めば非常に爽快を覚える。固まれば白い肉質のものとなるので、これから油を搾つて石鹼や蠟燭を製し、搾り粕は家畜の飼料等に供せられる。

南洋には椰子の木が多いのでコブラの産も少ない。四時結實し、一本から六十個位得られる。

【燐礦採掘場】(挿繪)

圖はアンガウル島の燐礦採掘場である。
(イ)白く見えるのは燐礦。
(ロ)掘つた燐礦を海岸へ運ぶ汽車の機關車。
島は約十六方呎の小島であるが、表面數米の深さに悉く燐礦で蔽はれて居る。これを鶴嘴で掘る。
燐礦はさんご石灰岩に鳥糞が作用して出來た燐酸石灰で、肥料として重要なものである。



島を治める南洋廳はコロール島にある。
この諸島は全部熱帯にあるので、四季の別がなく、気温は年中高い。土地が狭く且平地が少ないので産業があまり發達しない。たゞさたうきびの栽培が相當に盛で製糖業はこの諸島第一の産業である。その他の主な産物はコブラと燐礦とで、砂糖と共に多く内地に送られる。又主な島々と内地との間には定期に我が汽船が往來してゐる。

尋常小學地理書卷二より

【日本の總説】

これから八十四頁までは日本地理の總論である。これを教授するに就て注意すべきことは、

- 一、多くの個有名詞は凡て既習のものであるから、古い記憶を喚び起すこと。
- 二、これ迄は凡て局部的に觀察して居たのであるから、これを總括して纏りをつけること。
- 三、全體を通觀した上から各地方の特性を明かにすること。殊に自己の郷里附近を中心とし、その地方が全國に對して如何なる地位に立つて居るかを常に顧みること。
- 四、わが國の自然・人文に關する概念をはつきりと把ませて置いて、これから後に學習する世界地理の出發點とする。
- 五、世界地理の學習に際しては常に日本を比較の對照とせねばならぬから、その都度日本總説に戻つて來なければならぬ。

【三千メートル以上】

三千メートル以上の高山は全國に約七十あるが、その中五十は臺

尋常小學地理書卷二より

第七 日本總説

日本列島は山岳丘陵が到る處に起伏し、殊に本州の中央部は地勢が極めてけはしく、三千メートル以上の高山が少なくない。主な山脈は中央部から南西又は北東に向つて列島を縦に通じ、相連なつていくつもの山系をなし、その中の主なものが列島の大分水嶺となつてゐるのである。

南西に向ふ主な山脈は二つの山系に總括される。その一つは飛騨山脈・中國山脈・筑紫山脈を連ねたもので、他の一つは赤石山脈・紀伊山脈・四國山脈・九州山脈・琉球列島にあつて内地にあるものは二十に足りない。

即ち富士山は第六位、白根山は第四十一位、鎗ヶ嶽は第四十三位、赤石嶽は第四十九位である。

これによつて見ると臺灣の地勢の峻峻なことは到底内地の比ではない。

然るに日本列島中本州中部のみがけはしいと云つて臺灣のことは全く忘れた様な書きぶりは感心しない。こゝは是非とも附説修正を要することである。

【三つの大きな弓形】

山系が三つの弓形を造つて居るので、これに伴つて列島も三つの弓形をなして居る。三つの山系は千島列島の山系・東北派山系・西南派山系である。そして東北派山系は『三國山脈・奥羽山脈・蝦夷山脈・樺太山脈』を連ねた山系であることは明記してある。然るにこの頁の最終行には、

中央部の弓形には北海道本島・本州・四國・九州が……とあつて樺太が除いてあり、且つその次を見ると、六十一頁の二行目に、

これ等の三つの弓形と樺太・朝鮮半島とによつて……とあるのは前後矛盾撞着の書き方である。

抑も樺太なるものは日本列島の中であるのか無いのか、讀者の頭は餘程變になつて来る。

故に六十頁最終行の『弓形には』の次に『樺太』の二字を入れ六十一頁三行目『三つの弓形と』の次の『樺太』の二字は除くべきである。

【日本の山系の】 (挿圖)

この地圖には縮尺が無い。必要で無いといふのか知らぬが地圖としては縮尺のある方がよからう。少くともあつて邪魔にはならぬ。(六五頁の地圖も同様である) 山系の圖とあるけれども山脈の外に火山脈も書いてある。名實相伴つて居ない。 舊版には火山脈の位置に二ヶ所の誤謬があつたがこれは正しく訂正された。慾を云へば千島列島と琉球列島との山脈が書いて無い。



日本の山系の圖

尋常小學地理書卷二より

【火山脈】

火山脈は山脈と違つて直接目に見えるもので無いから、その方向とか幅とかを決定することは非常に困難である。故に日本の火山脈に就ても種々の説があつて必ずしも確定しては居ないのである。

火山脈の特質としてこの際注意すべきことは

一、火山脈は通例弓形になる。これは地殻に出来た割れ目であつて、その割れ目は地殻の皺に伴ふものであるから皺が弓形をなす以上は火山脈も弓形になる場合が多いのは當然である。

二、火山脈は通例山脈に並行し、これと重なり合ふか若くはその内側にある。那須火山脈は奥羽山脈に、千島火山脈は千島海底山脈に重なつてゐるし、白山・阿蘇・霧島の諸火山脈は明瞭に山脈の内側にある。富士火山脈のある處には小笠原海底山脈があるのであつて、これもやはり山脈と並行してゐるのである。

【阿蘇山の噴火口】 (挿繪)

阿蘇山の中岳の頂上にある噴火口の景である。この火口



阿蘇山の噴火口

四國九州があり、北東部の弓形には千島列島南西部の弓形には薩南諸島琉球列島臺灣がある。これ等の三つの弓形と樺太朝鮮半島とによつて、日本海オホーツク海東支那海が區劃されてゐる。 火山脈は多くは上に述べた山系に沿つて列島を縦に走り、北東部には那須火山脈千島火山脈があり、南西部には白山火山脈阿蘇

尋常小學地理書卷二より

は第一から第五まで五個の火口が弓形に並んで居る。その中で最も激しく噴火して居るのは第四火口で、第一・第二は單に熱湯を湛へ、第三と第五とは全く休止して居て、第五火口の火口底には下りて行くことが出来る。圖はその第五火口から第四火口を望んだものである(五年用一二三頁参照) (イ)第五火口の火口底。 (ロ)火口壁の一部、灰や砂が層狀に堆積して居ることがよく見える。

【たゞ富士火山脈は……】

こゝでは富士火山脈のみは山脈に關係の無い様な説明ぶりであるが、前頁に云つた通り小笠原海底山脈に沿つてゐるのであるから誤解させてはならぬ。

【圓錐形の火山】

火山には塊狀・層狀の別もあり、單式・複式の種類もある。單式の層狀火山は、噴出した物質が火口の周圍に落下堆積して出来るものであるから、圓錐形を呈するのが自然である。たゞ爆裂等のために山體が破壊したり、寄生火山等のために形が崩れることもある。

富士山は最も完全な圓錐形の山としては世界的に有名である。わが國人がこれを歎美憧憬する情の切なることは、全國到る處に富士の別名を有する山のあるのでもわかる。(但し中には形は似て居ても火山で無いものもある)

【温泉岳】 (挿繪)

温泉岳は二個の二重式火山の合體した極めて複雑な構造の火山である。その中腹の爆裂火口の跡に温泉があつて、盛に熱湯及び水蒸氣を噴出して居る。圖はその温泉場を示し

たものである。

洋風の大旅館や別荘の澤山あるのに注意せよ。これは位置の關係上香港や上海地方の西洋人が澤山避暑に來るからである。火口底の草原がゴルフ場になつて居るのも、海岸から温泉地まで自動車道の出來てゐるのも、皆外人客に對する施設である。

(イ)噴氣のために岩石が彎朽して白くなつたもの。

(ロ)西火山の中央火口丘たる千々石岳。

火山脈霧島火山脈がある。たゞ富士火山脈は本州の中央部を横ぎり更に延びて太平洋中で伊豆諸島小笠原諸島となつてゐる。これ等の火山脈中には富士山をはじめ圓錐形の火山が多く、淺間山阿蘇山などたえず煙を噴いてゐるものも少くない。火山地方は一般に景色が美しく、處處に温泉が湧出てゐるので保養遊覽に適する處が多い。



尋常小學地理書卷二より

【地震も多く……】

火山と地震とに直接の關係があるか無いかは尙不明の點もあるが、火山の存在することゝ地震の頻繁に起るといふ事實とは、共に地帯構造の複雑であるといふ共通の原因から來たものであることは疑ひない。

『土地の成立が複雑』だと云つたのは、即ち多くの山脈があつて地殼の著しく變動した地帯であることを指したのである。併し兒童には難解であらう。

我が國は世界有数の地震國である。大正十二年の關東大地震、十四年の但馬地震、昭和二年の丹後地震等近年は殊に多い。

【富士川】 (挿繪)

富士川の中流、山梨縣南巨摩郡飯富村附近の景である。

(イ)共和村の村落である。背後の丘陵は河岸に迫つて居るが、傾斜地も畑となつて居る部分が多い。

(ロ)砂洲である。洪水の時に流されて來た砂礫は、平水時には水面上に露出する。河床が浸蝕されて下つて行けば後には洲の上が開墾される様になる。

尋常小學地理書卷二より

川

復雜であるから、火山が多いばかりでなく、地震も多くて、世界の主な火山地帯地震地帯となつてゐる。

日本列島の中央部から北へは、列島を縦に通つてゐる山系が大分水嶺となつてゐるから、川は太平洋方面のもの、日本海方面又はオホーツク海方面のものに分れてゐる。又中央部から南へは、二條の主な山系が大分水嶺とな

(ハ)治水工事。竹の蛇籠に石を入れ、更に杭木で嚴重に固定してある。如何に水勢の強いかを想像することが出来る。

河舟の細長く、兩端尖つて居るのは、一般急流に用ひられる舟の特徴を示して居る。

川の屈曲點に於てその彎入部(圖の左側)は浸蝕が強く、突出部(圖の右側)は水勢が緩かで堆積の行はれる原理を呑み込ませるに都合のよい圖である。

【川はいづれも……】

わが國の河川の特質と、そのよつて來る原因と、そのため起る人生への利害との關係は次の通りである。



この複雑な相互關係は極めて重要な且つ興味深い事柄であるから、充分に實例によつて討究することを要す。

洪水の多いことは實に世界に稀なほどで、そのために人畜の死傷、家屋の流失、田畑の荒廢、作物の被害等直接に受ける損害と、これが復舊や防禦に要する費用とは年々數億圓にも上るほどである。

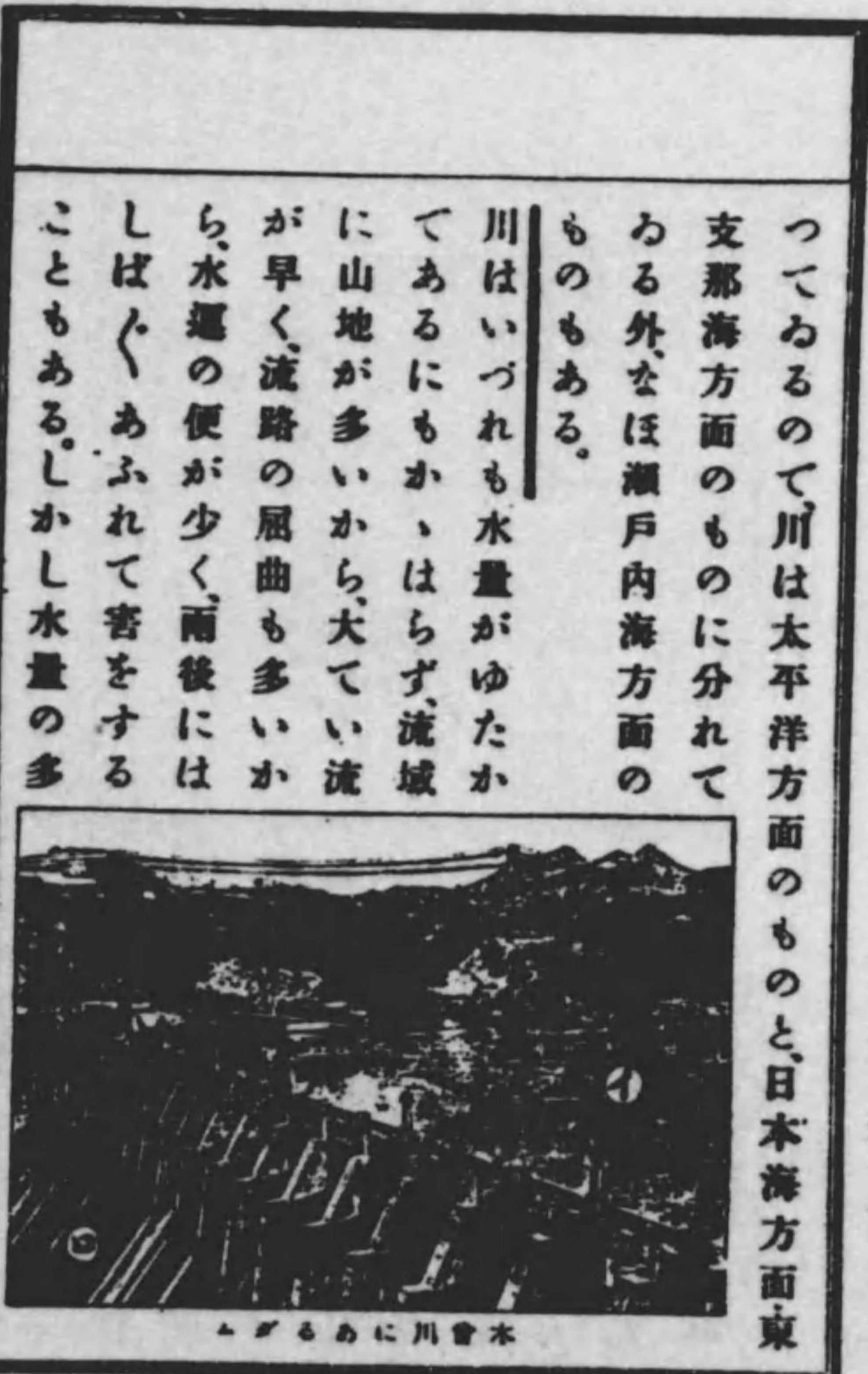
【木曾川にあるダム】 (挿繪)

木曾川の中流、惠那郡蛭川村にある所謂大井のダムで、規模の大なること東洋第一と稱せられ、惠那峽の急流を遮斷

して一大峽湖を出現し、長さ約十一軒に二千七百萬軒の水を湛へ、五十五米の落差を得て四萬二千九百キロワットの發電をやつてゐるのである。

發電に都合のよいのは湖と瀧である。湖は水量の變化を少くし、瀧があれば落差が得易い。而して近時の發電所は人工によつて湖と瀧をつくるダム式が多く採用される。即ち(イ)は人工湖、(ロ)は人工瀧である。

發電所は圖の對岸の左手にあるのだが圖外に逸してゐる。



尋常小學地理書卷二より

【米作の發達】

米は凡ての作物中最も水分を多量に要するものである。故に河流の無い處では溜池を掘つて雨水を貯へて置かねばならぬ。大河の沿岸に水田の多いのはそのためである。

灌漑と云へばわが國では殆ど米作に限られてゐる。雨の多い國であるから米以外の作物には殆ど灌漑の必要なく、天水のみで充分栽培が出来るからである。

【内地に於ける水力發電所の分布】 (挿圖)

發電所の最も多いのは中部地方、關東の北部、奥羽の南部及び九州等である。これは大河の存在と大都市の存在とに關するのである。即ち、

- 一、北海道には大河はあるが大都市が少いからまた水電事業が起らない。四國や朝鮮・臺灣も同様である。中部地方には大都市は少いがその電力は東京と大阪とに送られるのである。(附圖第五圖、京濱地方に至る水力電氣の圖を参照せよ)
- 二、近畿中國には大都市はあつても大河が少いから水力發電所が少い。そのかはり近畿地方には火力發電所が澤山

尋常小學地理書卷二より



ある。四國の水力を大阪方面に使用することは、海を距てゝゐるために多大の困難があるのである。

【電燈や動力】

わが國の發電力は水力三百萬キロワット、火力百六十萬キロワット 昭和六年)であつて、世界第六位、水力のみでは第四位である。その發電總量の約六割は工業用で、残りが電燈と電車とに半分づつ使はれる。わが國の工業動力は略九割が電力である。

【沿岸の平地】

川の沿岸には通例平野がある。それは河の上流や中流にある盆地か、又は下流や川口附近にある海岸平野かである。随つてかゝる平野は河水を引いて来て灌漑することが出来るから農業に都合がよい。

平野であるから交通の便がよい。河の下流ならば水路も利用される場合が多い。川口は又港として好都合であることも少くない。

盆地では附近の山地の経済的中心となる。海岸の平野は大往還の一部となつたり、海面や島嶼へも勢力を延ばすので産業が盛になり都邑が起る。

【その主なものは……】

關東・濃尾・越後・筑紫・大阪の諸平野はわが國に於ける平地の主なもので、その中でも商工業の盛な、都邑の多いのは關東・濃尾・大阪の諸平野である。

關東 東京・横濱等の大都市、京濱工業地帯。

濃尾 名古屋市、名古屋附近工業地帯。

大阪 大阪・神戸等の大都市、阪神工業地帯。

越後平野はあまり工業が盛でない。それは位置が北方に偏して居るからである。筑紫平野も多少位置が偏して居ると、附近に北九州の工業地帯があるからである。

福岡縣の北部に一大工業地帯があつて、そこに多數の都市が発達して居るが、決して大平野で無いのは一の例外である。但し大平野では無くても丘陵性の土地で殆んど平地に等しいのである。『九州北部の諸平野』とあるけれども筑紫平野以外に名のある平野は無い。

川の沿岸の平地は産業交通に利用され殊に大きな川の下流や川口附近の海岸には割合に廣い平地がある。その主なものは關東平野、越後平野、濃尾平野、近畿地方の諸平野、九州北部の諸平野、石狩平野及び臺灣の平野である。中でも關東平野、濃尾平野、大阪平野、九州北部の諸平野は商工業の大中心地となり、交通も便利で、都邑も発達してゐる。東京、大阪をはじめわが國の大都市は、多くはこれ等の平野にある。わが國の耕地は總面積の約六分の一に過ぎないが、氣候地味共に農業に適してゐるので、農業は古來わが國の重要な産業となつてゐる。

尋常小學地理書卷二より

【米てさへも輸入……】

昭和二年頃まではわが國の米の不足は大問題であつたが、その後事情が一變して、今では政府は過剰米の處分と米價下落の防止とに努力せねばならぬ様になつた。これには大體三つの原因がある。

一、朝鮮と臺灣に於ける産米増殖計畫が進行して、年に一千万石以上餘るので、これを内地に移入すれば平年でも充分不足を補ひ得ること。

二、内地では昭和二年、五年、八年と引續いて大豊作があつたこと。

三、昭和三四年頃から不景氣のために消費額が減じた。今後凶作でもあれば特別だが、今では外米の輸入は特殊の用途に限られてゐる。教科書の訂正を要する。(一七頁参照)

【綿】

綿は國民の最も重要な衣服原料であるが、氣候が綿作に適しないため殆んど内地には産しなくなつて、大部分が外國からの輸入である。昭和七年には、

合衆國から 三億二千七十萬圓

日本の總説

尋常小學地理書卷二より

農産物の主なものは米、麥、豆、さつまいもである。又さつまいも、きび、茶、煙草、蔬菜、果物の産額も少くない。これ等の農産物は大部分は食用に供せられ、一部分は工業品の原料に用ひられてゐる。茶、薄荷等が多少輸出されるのみで、その他は大に國內の需要を充たすに足らず、米てさへも輸入を待たなければならぬ。わが國の工業上最も必要を原料たる綿は殆ど全部を外國に仰いてゐるので、その輸入額の多いことはわが國の輸入品中の第一位を占め、大部分がアメリカ合衆國、印度から來る。

印度から 九千一百萬圓

支那から 一千八百萬圓

合計四億五千萬圓で、全輸入品中の大關である。朝鮮は氣候が好適して居るといふので、大に栽培を奨励して居るが、尙移出高二百萬圓に過ぎない。

但しこの多額の綿が全部國民の衣服になるのではなくて、綿絲や織物となつて海外に輸出されるものゝ多大であることは勿論である。

【年々増加】

明治維新後人口の増加著しく、六十年間に約二倍となり、近頃は毎年九十萬人から百萬人も増加するから、この勢で進めば昭和三十四年には内地だけで一億になる勘定で、この外に朝鮮その他の人口増加は内地よりも高率である。かゝる増加は勿論出生死亡の差に基くものである。

【原料の需要】

原料品として農産物の輸入が今後益増加するのは必然の勢であつて、又決して憂ふべきことではないが、食料としての農産物輸入の多くなることは好ましいことではない。工業原料に供せられる農産物中わが國に産するものは茶種、葉煙草・茶・甘藷・麻等で、その産額は農産總額の二割内外に過ぎないし、それさへ全然自給し得るものは稀である。而して輸入されるものでは綿が最も主なるもので、その他は採油原料・生ゴム等二三に過ぎない。

【農作物の肥料】

わが國の耕地には無肥料耕作の出来る様な肥沃な土地は全くない。故に肥料の問題は最も重大である。

肥料の中で國産を以て自給してゐるのは魚肥だけで、その他は輸入に俟つものが多い。但し油粕及び人造肥料は輸出もされてゐる。

主な輸入肥料は、(昭和七年)

大豆粕 二千八百萬圓 主として滿洲より。

硫安 七百萬圓 主としてドイツ・イギリスより。

燐礦石 一千一百万圓 主として合衆國・エジプトより。その他茶種粕・綿實粕・硫酸加里・骨粉・獸骨等。

である。

我が國の人口は年々増加して食料の需要が多くなり、又工業が発達するにつれて原料の需要も増加する。然るに耕地の擴張、農業の發達はこれに伴はないから、今後農産物の輸入は益々多くなるであらう。

農作物の肥料には人造肥料魚肥油粕等が盛に用ひられ、その産額が近年著しく増加してきた。しかしなほ滿洲から豆粕・ドイツ・イギリスから人造肥料が盛に輸入されてゐる。

我が國は世界第一の養蠶國で、繭の産額が多く、生絲絹織物の製造の技術も進んで、その製造高も多い。養蠶業

尋常小學地理書卷二より

【生絲】

生絲の輸出高は年々三億乃至四億圓で、その九割以上がアメリカ合衆國に向ひ、フランス・イギリス等への輸出は極めて僅少である。

故にアメリカに於ける財界の状況は直ちにわが生絲貿易に影響し、ひいて國家經濟に關係する處が頗る大である。

【絹織物業】

絹織物の産額は昭和七年の調べによると、(單位百萬圓)

福井 八九 京都 七八 群馬 四九 石川 四一
東京 二六 栃木 二一 新潟 一八 山梨 一一

即ち悉く近畿以東の府縣であつて、關西方面には多く産しない。中國・四國は殊に少く、九州も福岡と鹿児島が稍多いのみである。これは、

- 一、原料の生絲が多く近畿以東に産すること。
- 二、冬が寒く又は雪が多くて農業の出来難い地方に發達したること。

三、爲政者の獎勵や個人の努力等特殊の事情。

【氣候・地味・地勢の關係上】

日本の總説

尋常小學地理書卷二より

の殊に盛なのは長野群馬愛知埼玉の諸縣で、これ等の諸縣では製絲業も盛である。

生絲は我が國第一の輸出品で、主として横濱神戸からアメリカ合衆國へ送られる。絹織物業は主として京都・關井群馬石川の諸府縣に發達し、富士絹織・絹羽二重等は主を輸出品となつてゐる。

我が國は氣候・地味・地勢の關係上、牧畜はあまり振はない。殊に羊の牧畜が進まないから、近年著しく需要を増して来た羊毛は殆ど全部毛織物の一部、これを外國から輸入してゐる。牛馬は各地で飼養されて、大てい需要を充たしてゐるが、まだ牛皮牛肉は輸入が少くない。

わが國に牧畜の發達しないのは

- 一、氣候 概して夏の氣温が高く且つ雨が多いので柔かい草が育たない。北海道の氣候は稍好適してゐる。
- 二、地味 到る處地味が良好で農業に適するから牧畜が行はれないのである。地味が牧畜に適せぬのではない。
- 三、地勢 山地が多くて牧畜をやる様な廣い原野がない。尚この外に人口が稠密で牧畜の餘地の無いことも大原因である。牧畜には概して廣い土地を要するから。

【森林】

わが國は土地が狭くて人口が多く、耕地の不足を來してゐるにも拘はらず、森林の面積が非常に多い。これは地勢が到る處急峻で、耕地とすることの出來ない傾斜地が多く、それが大部分森林となつて居るからである。傾斜地を耕地にすると、土壤が雨のために流れて作物が出來ないが、森林は木の根で土壤を固定し、枝葉が繁つて雨水を一度に落さないから都合がよいのである。

故に我が國森林の分布は主として地勢に關係し、氣候との關係はあまり重要でない。尋五用九〇頁、一一七頁に重大な誤謬があるから注意を要する。

【需要が年々増加】

建築や薪炭としての消費も年々著しく増加するが、更にパルプとしての需要が非常に増加するので、或人の計算によると全消費額は全國森林の樹木の生長量よりもすつと多く全然輸入を見ずにこのまゝで行つたら、三十年ばかりで全國の山が悉く禿山になるとの事である。

故に木材の輸入は今や非常に著しくなつた。そこで國民は

植林に努めると同時に、一面薪炭の消費を大に節約することを考へなくてはならぬ。

【パルプ】

パルプは木材を機械的又は化學的に處理して作つたボール紙様のもので、製紙の原料である。

昭和四年の生産額は約六十五萬噸で、需要額の九〇%を供給してゐる。原料木材は樺太材六百萬石、北海道材二百五十萬石、朝鮮材二十四萬石である。

林業

森林はその面積が我が國の總面積の約二分の一に當つてゐて各地で木材が伐出されてゐる。木材の主なもの、木曾谷阿里山のひのき、米代川吉野川各流域の杉、鴨綠江流域のてうせんまつからまつもみ、北海道本島、樺太のといまつえぞまつである。

製材の業も處々に發達し、秋田縣の能代港、臺灣の嘉義、朝鮮の新義州には大きな製材所がある。

木材は産額が少くないにもか、はらず需要が年々増加するので不足を告げ、アメリカ合衆國、シベリヤ、カナダから輸入したものでこれを充たしてゐる。木材を原料とするパルプの製造業及び製紙業は近年

尋常小學地理書卷二より

【特有な魚類】

暖流の水産物 鰯・鱈・鰱・鰒・鰯・鰺・鰯・鰯・鰯・鰯等。寒流の水産物 鮭・鱒・鱒・鱒・鱒・鱒・鱒・鱒等。併し水産業の盛な理由は海流のためのみではない。

一、海岸線が長く漁場が澤山あること。

二、海岸の屈曲と島嶼とに富み漁港が多いこと。

三、陸に牧畜が榮えないので、魚肉の需用が殊に多いこと。

四、臺灣以外は氣候が水産業に適して居る。

【世界第一の水産國】

世界主要國の水産業を比較して見ると、(一九三一年)

國	漁獲高	價格	漁船數
日本	二、八五二 <small>千噸</small>	二二九、四〇〇 <small>千圓</small>	三五九、二九五 <small>隻</small>
米國	一、一一五	一七二、〇〇〇	八八、七八九
英國	一、〇七八	一六九、八二四	一二、七〇八
諸國	一、一四一	四八、二七六	六八、七二四

【漁場が大いに廣まり……】

漁船に發動機を備付ける様になつてから、特に遠洋漁業の發達が著しくなつた。漁具の改良、漁港の設備、冷蔵船に



尋常小學地理書卷二より

大いに發達し、北海道本島樺太等て生産する高が次第に増加して、今や需要の大部分を充たしてゐる。

我が國の近海には暖流や寒流があつて、それによつて特有な魚類が多く、隨つて我が國は古來水産業が盛で、今では世界第一の水産國となつてゐる。近年漁港の設備をはじめ、漁船漁具等が改良せられると共に、漁場が大いに廣まり、遠く小笠原諸島やカムチャツカ

よる鮮魚の遠距離輸送等の開けたこともその原因である。かくて北はカムチャツカから南はフィリピンの近海へも盛に出漁してゐるのである。

【太平洋近海に於けるいわしの漁獲】(挿繪)

靜岡縣焼津に於て水産講習所生徒實習の光景で、今網を引き寄せて漁獲せんとして居る。水面が波立つて居るのは鰯が跳るからである。如何にその漁獲の多いかを想像することが出来る。

【たひ】

わが國に於ける鯛の主産地は次の通りである。(昭和七年)

- 山口 百十七萬圓 廣島 九十二萬圓
- 愛媛 七十五萬圓 福岡 六十五萬圓

即ち瀬戸内海・朝鮮海峡及び東支那海に多いのであつて決して太平洋近海ではない。然るに『暖流の流れてゐる太平洋近海云々』とあるのは大なる誤謬である。即ち千葉・神奈川・静岡・愛知・三重・和歌山・高知・宮崎・鹿児島九縣の産額を合計しても約百十數萬圓に過ぎない。それよりも愛媛・香川・廣島三縣の産額の方が多のである。舊版にはいかに就て誤謬があつたが、それが訂正されると同時にこの誤謬が附加せられた。

【かに工船内の作業】(挿繪)

蟹工船とは蟹を漁獲するとすぐその船内に於て罐詰にする仕掛けの船であつて、主としてオホーツク海方面に出て「たらば蟹」と稱する蟹を漁獲する。

蟹は網にかけて捕へる。網から引きはなすと片つばしから腹をあげて釜の中に入れて煮る。煮たものを取り出して肉

を離し、目方を計つて紙に包んで罐に詰め、再び加熱密封するのである。

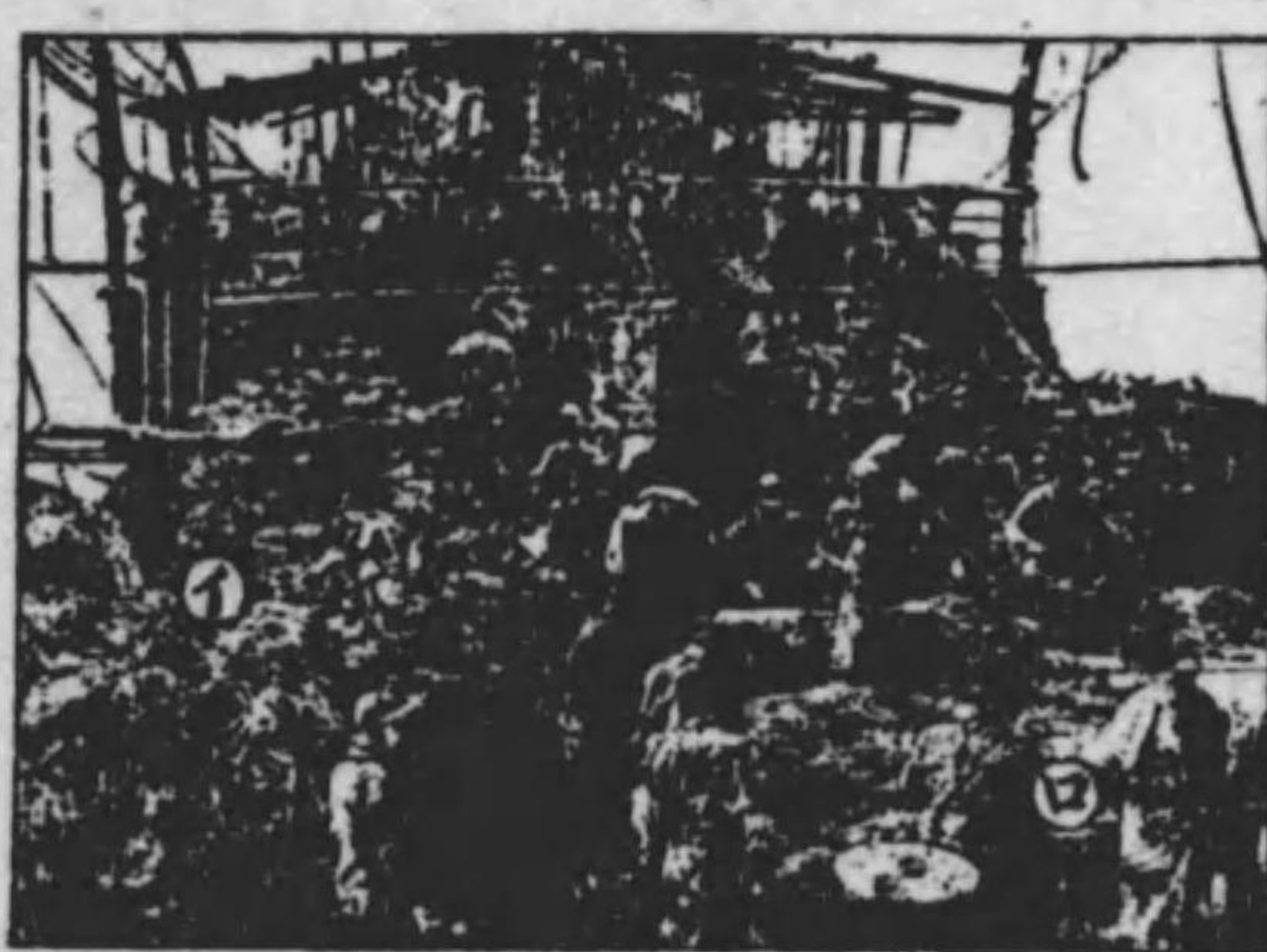
- (イ)山の如く積み上げられた巨大な蟹。
- (ロ)煮た蟹の肉を離す作業。

【主な集散地】

函館は北海道・樺太方面の水産物及水産製造物を集めて内地及び支那に送り、下關は日本海岸、朝鮮及び九州方面の魚類を集めて大阪・東京等に送るのである。

カ半島の近海に出漁するものさへある。

漁獲物の中いあしは全国各地の近海でとれるが、つをまぐるたひは暖流の流れてゐる太平洋近海及び東支那海でとれ、にしんかには寒流の流れてゐる北海道樺太の近海でとれる。



おに工船内の作

尋常小學地理書卷二より

【輸出品として……】

水産製造物中輸出せられるものは、(昭和七年)

- 蟹罐詰 一〇七五〇千圓 鮭鱒その他罐詰 九四三九千圓
- 魚油鯨油 三二三四 寒天 三一六五
- 昆布 二〇一四 錫 一、一三八

輸出總計三千五百萬圓で、近年頗る不振である。これは支那の排日貨と露領に於ける蟹漁業萎縮の結果である。

【製鹽の業】

鹽田は東京灣・仙臺灣・鹿児島灣・伊勢灣・能登半島にもあるが、それはほんの僅かで、大部分は瀬戸内海岸にあるのである。そして内地にあるものは凡て煎熬製鹽であつて臺灣や朝鮮等のは天日製鹽である。天日製鹽によるものは煎熬鹽よりも生産費が著しく安いのであるが、内地では氣候の關係上天日製鹽は行はれない。

- 昭和七年の産額は、
- 内地 五十七萬噸 朝鮮 十八萬噸
- 臺灣 十五萬噸

而して臺灣の外は不足するので臺灣及び外國から移輸入し

尋常小學地理書卷二より

水産製造物の主なものはかつをおしをはじめとし、しめじ、干し椎茸、干し椎茸等である。その中輸出品として重要なのはかにの罐詰、すしめ、こんぶ等である。製鹽の業は瀬戸内海の沿岸に發達してゐる。この他朝鮮臺灣でも製せられるが、それでも不足を告げるので、關東州や支那から輸入を仰いでゐる。礦産物の中最も重要なものは石炭と鐵とである。石炭は主として筑豊三池石狩常磐の諸炭田で採掘され、若松三池室蘭等の諸港から積出される。鐵はもと産額が少かつたが八幡の製鐵所が支那やマレー半島から鐵礦を輸入して製鍊するに至つてから、

てゐるが、朝鮮では需要額五十五六萬噸を全部自給する計畫で擴張の工事中である。内地鹽は製産費が高くて非常に不利益であるが、一朝有事の際を考へると全廢して輸入鹽のみによるわけには行かない。

【支那やマレー半島】

鐵礦は内地に殆ど産しないので、朝鮮及び支那の大冶・桃冲、マレー半島のトレンガヌ等から輸入してゐるのである。釜石の鐵礦は微々たるもの、中國の砂鐵は皆無となつた。

【鐵の需要】

昭和七年度に於ける鐵の需給關係は次の通りである。

内地産額	一、〇〇九、六 ^千 六	鋼鐵	一、九四五、五 ^千 五
輸入額	六四七、八	銑鐵	二二五、五
計	一、六五七、四		二、一七一、〇

鋼材の輸入は需要額の一割内外に過ぎず、それも多くは特殊品に限られる。尙滿洲の昭和製鋼所や内地の製鐵業大合同が出来たら輸入は殆どなくなり、却つて鋼材の輸出に轉向するであらう。銑鐵も殆ど自給の状態にあり、朝鮮から二十萬噸、滿洲の邦人工場から三十萬噸、印度の邦人投資工場から十五萬噸を供給するに過ぎない。『大いに不足するので』『多く輸入する』とあるが、事情は全く變化した。

【鐵や鐵材】

單に鐵と云ふのは鐵塊とか鐵錠とかを指し、鐵材といふのはレールとか管とか板とかに製したものをいふのである。尙鐵には銑鐵・鋼鐵の別があるから、詳しく分類すると銑鐵・合金鐵・鋼・鋼材の四種となり、更に細別すれば鐵塊

鐵錠・テール形鐵・レール・ワイヤロッド・鐵板・鐵線・鐵帶及び籜・鐵筒・鐵管等となるのである。

【室蘭にある石炭積出しの棧橋】（挿繪）

鐵道省の高架棧橋で高さ約二十米、その上へ汽車で積んで來た石炭は自動的に船の中へ落とし込む様になつてゐる。兩側に三四千噸級の船各二隻づつを繋ぎ、一ヶ年の積込能力二百七十萬噸である。突端に I. G. R. COAL PIER の文字がある。背景の山は母戀富士。

その産額が著しく増加してきて、今では石炭に次ぐ重要な産物となつてゐる。しかし諸種の工業が發達するにつれて、鐵の需要は益々増加するばかりで、供給はなほ大いに不足するので、アメリカ合衆國・ドイツ・イギリス及び印度から鐵や鐵材を多く輸入する。その他主な産物には銅金石油がある。銅は別子・足尾・小坂・佐賀關・日立等の諸鐵山で採掘製鍊される額が甚だ多い。それで我が國は世界に於ける銅の



尋常小學地理書卷二より

【銅の主要な産地】

大正八年に於ける世界の銅産額は、（單位千噸）

米 國	二一三	カナダ	一二七
コンゴ	九五	チリ	九〇
日本	七〇	メキシコ	四三
ロシア	四〇		

即ちわが國は世界の第五位であるが、生産費が高いので外國産とは到底競争が出来ず、嘗ては大輸出國であつたが、今では全く輸出されなくなつた。

【金鑛】

昭和六年の主要金屬鑛山中金の産額の最も多いものは、

佐賀關（大分）	五、〇八九	外に銀・銅
日立（茨城）	三、五六三	外に銀・銅
別子（愛媛）	一、五九八	外に銀・銅
生野（香川）	一、四九三	外に銀・銅

この外鹿兒島縣の産は僅かに銀を伴ふ金鑛であるが、その他は銅を主とする鑛石であつて金・銀は寧ろ副産物的である。而して靜岡縣産の鑛石は全部日立鑛山に送られる。

尋常小學地理書卷二より

主要な産地となつてゐる。金鑛は大分鹿兒島靜岡の諸縣北海道本島の北東部朝鮮の北西部に産し、その製鍊高の多い處は佐賀關・日立・別子・朝鮮の雲山・昌城である。石油の原油は主として新潟秋田の二縣で産するが、近來石油の需要が急激に増加してきたので、到底國産のものだけでは足りなから、アメリカ合衆國やマレー諸島から多量の

石油	金	銀	銅	錫	鉛	鋅	鉄	鋼	炭	石
米	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇

【急激に増加】

石油需要の増加は世界的で、主として内燃機關即ち發動機の發達により、各種工業用動力及び飛行機・自動車・モーター船等に多く用ひられ、又石炭に代る燃料としての重油の使用も非常に増加して來たのである。

【マレー諸島から……】

蘭領印度からの輸入は近時激増して米國と殆ど同額となつた。海軍でもボルネオから重油を買ひ入れてゐる。

【近年長足の進歩】

内地工産物總額は左表の如く年々多大の増加を見て居る。

年次	價格	年次	價格
明治四二	七六、四六 <small>千圓</small>	大正一三	六、六四、五〇 <small>千圓</small>
大正三	一、三七、六〇	同 一四	七、〇六、四七
同 八	六、九六、〇六	昭和四	七、七六、七四
同 一〇	五、五九、五元	同 六	五、一七、三五

かくの如く長足の進歩をなせる原因は、

- 一、石炭の産出高が多いこと
 - 二、水力の利用が容易なこと
 - 三、交通機關の發達。
 - 四、學問・技術の進歩。
 - 五、人口多く勞力の供給充分なこと。
 - 六、支那・南洋等有望な市場に近いこと。
- 併し近年經濟界の行き詰りと物價下落で産額が著しく減少したが、最近爲替安その他の關係で輸出貿易大に振興し、漸く好景氣到來の兆がある。

【世界有数の工業國】

世界の主な工業國と云へば英・佛・獨・伊・白等の歐洲諸國とアメリカ合衆國とである。大戰中は世界の市場は合衆國と日本とで二分して居るの觀を呈したが、その後歐洲の諸國が回復したので、今や日本は印度、濠洲等では英國と競争し、支那や南洋では主として米國及びドイツと競争の位置に立つて居る。

尙支那や印度の工業も勃興の氣運にあるから、今後は主として精巧品工業の方面に特色を發揮しなければならぬ。

工業

原油や製品を輸入してゐる。

我が國は石炭の産額が多く、水力の利用も容易であるから交通機關の發達、學問技術の進歩と共に工業は近年長足の進歩をなし、各地に諸種の大工場が出来て、主として機械力によつて、内國産の原料からばかりでなく、外國産の原料からも多量の工業品を製作してゐる。これがため今では我が國は世界有数の工業國となつてゐる。殊に大阪灣の沿岸、東京及び横濱の附近、九州の北部、名古屋附近は、いづれも國內の主な工業地區であつて、製品の種類も産額も極めて多い。

工業品の最も主要なものは、絹國産の生絲、絹織物と、外

尋常小學地理書卷二より

【主な工業地區】

わが四大工業地區は何れも氣候の良好な地帯に位し、人口の稠密なこと、交通の便利なこと等は共通ののであるが、尙各地区夫々多少その原因を異にするものがある。即ち、大阪灣岸は人口稠密で勞力が多い。北九州の石炭を安價に取り寄せられる。良港があつて原料の輸入に便。

京濱地方は人口稠密で勞力が多い。帝都に近いから資本や技術が得易い。良港があつて原料輸入に便。

九州の北部は附近に石炭を多く産する。良港があつて交通に便利。人口も稠密。

名古屋附近は人口稠密で勞力が得易い。良港があつて交通に便利。水力が得易い。

【貿易の盛衰と密接な關係】

わが國の工業は纖維工業を以て随一とする。即ち昭和六年の統計によると、

	全工業	纖維工業	割合
従業者數	一、八五一 <small>千人</small>	九五三 <small>千人</small>	五〇・五%
生産額	五、一七八 <small>百萬元</small>	一、八〇三 <small>百萬元</small>	三五・八%

日本の總説

尋常小學地理書卷二より

國から輸入した綿で造つた綿絲綿織物で、その産額はそれと、遙かに他の工業品の産額を凌いでゐるばかりでなく、我が國の貿易の盛衰と密接な關係を有してゐる。又織物の發達に伴つて染色工業も進歩して來た。

その他の工業品の主なものには酒煙草毛織物人造肥料砂糖洋紙麥粉アルコールビール工業藥品醬油陶器メリヤス等がある。

これ等の工業品は國內の需要を充たすのみならず外國へ輸出するものもあるが、外國から輸入してその需要を充たしてゐるものもある。

而して纖維工業中主要なものは、

- 綿工業即ち綿絲・綿織・メリヤス等
- 絹工業即ち生絲・絹織物類

即ち殆ど半分は綿工業で、世界一の綿工業國たる英國と比肩し、綿花の消費は英國を凌駕し、綿布の輸出亦近年激増して英國に打勝たんとし、人絹工業亦勃興して世界第二位に上り、英・獨・佛等の先進國を見事に打ち破つた。昭和八年以後は實に目覺しい發展ぶりである。

【四十四億圓】

昭和八年の貿易額は

輸出	一、八六一、〇四六 ^{千圓}
輸入	一、九一七、二二〇
合計	三、七七八、二六六

これに朝鮮の外國貿易高約一億二千萬圓、臺灣の同上五千萬圓を加算して總計三十九億圓となる。

近年はわが貿易額も漸減しつつあつたが、昭和八年は前年に比して可成り増加してゐる。

【世界の主な貿易國】

世界各國の貿易をその總額の順序に並べると(一九三三年)

國名	輸入 (百萬圓)	輸出 (百萬圓)	合計 (百萬圓)
英國	六、二二九	三、五七一	九、七〇〇
米國	二、八七四	三、三〇六	六、一八〇
ドイツ	二、〇〇五	二、三三三	四、三三八
日本	一、九二七	一、八六一	三、七七八
佛國	二、三三六	一、四三七	三、七五三
イタリー	七九九	六三〇	一、四一九

【主な貿易取引先】 (グラフ)

貿易に關するグラフは凡て他の統計と同様昭和三年のものを出してあるが、何故もつと新しいものを出さなかつたのであらうか。貿易の統計は殊に敏速に公表せられるのであるから、今少し新しい材料が得られた筈である。

こゝに昭和八年の統計を掲げるから、これによつて兒童にグラフ作製の實習を試みさせ度いと思ふ。

取引國名	輸出 (百萬圓)	輸入 (百萬圓)
滿洲 (關東州を含む)	三〇三・二	一六八・一
支那	一〇八・三	一一三・四
英領印度	二〇五・二	二〇四・七
蘭領印度	一五七・五	五五・七
米國	四九二・二	六〇二・八

【主な開港場の貿易額・同輸出入額】 (グラフ)

昭和八年の統計によると、

港名	輸出 (百萬圓)	輸入 (百萬圓)	總額に對する割合
神戸	六五〇・五	六四二・一	三四・三
横濱	五〇〇・九	四六六・四	二五・三

日本の總説

これによるとわが國の貿易額は世界第四位に上つた。併しその前年まではフランス・カナダ・オランダ・ベルギーの下位で第八位であつた。

近年各國ともに不景氣のために貿易は萎縮しつつある中に獨り我が國のみは著しく増進してゐる。この傾向が何時まで續くかは疑問であるが、兎に角わが産業も世界有数の地位に上つたことは確かである。決して單なる爲替ダンピングのためのみでは無い。



尋常小學地理書卷二より



尋常小學地理書卷二より

【神戸・横濱の二港】

海運の發達は船舶の巨大を來し、これに應ずる港の設備に多額の費用を要するため、各國とも一二の港に主力を注いで主要港集中主義をとつてゐる。わが國も亦この二港に主力を注いでゐるのである。

【著しく延長……】

道路や鐵道は産業の發達に伴つて延長するものであるが、併し一面には道路や鐵道が出來たために産業の發達するといふこともある。産業と交通とは互に原因となり結果となるものであることをよく了解せしめねばならぬ。この文章はその上から云つて誤解を招き易い。殊に北海道・樺太・朝鮮などいふ未開地にあつては、多くの場合交通の開けた後に産業が起る様になつてゐる。

【國內の諸港】

わが内地に於ける港灣の總數は

軍港	三	要港	二
開港	三九	商港	七五七
漁港	五三六	避難港	一二六
合計			一、四六三

これを府縣別に見れば長崎縣の百六十二が最多で、地方別に見れば九州の三百九十八を首位とし中國がこれに次ぐ。

【旅客飛行機】(挿繪)

これは東京市外羽田にある國際空港に羽を休めてゐるフォ

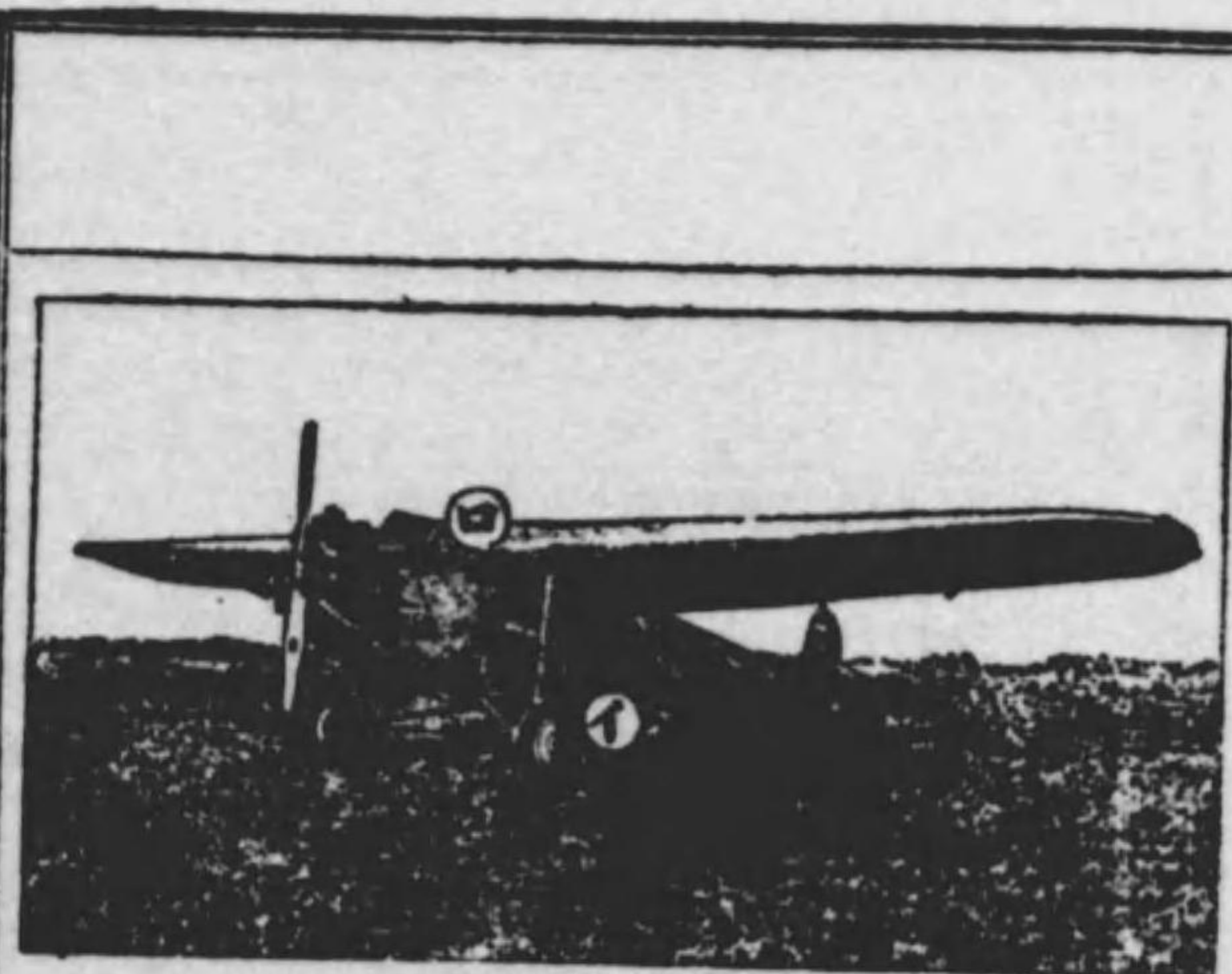
ッカー旅客機の雄姿である。中には四人分の座席があり、設備は善美を盡して乗客の満足を買ふ様にしている。

(イ) 乗降口。

(ロ) 操縦者の座席。

【既に實用に】

始めは單に郵便物を載せてゐたが、今では旅客を運搬してゐて、東京・大阪間、及び内地と朝鮮・滿洲との交通には相當に利用せられてゐる。



著しく延長して國內の陸上交通が便利となつたのはいふまでもなく、國內の諸港は航路が互に連絡し、その主なものは諸外國の諸港とも航路が相通じて、内外共に海上交通の便が大いに開けてきた。又航空の業も既に實用に供せられるやうになつた。航空路の主なるものは東京を起點として大阪に至り、更に福岡・山京城を経て大連に

尋常小學地理書卷二より

【東京大阪間】

東京から大阪までの直距離は約四百軒であるが、これをスパー・ユニバーサル六人乗で飛べば僅かに二時間半である。故に朝東京を立つて大阪に行つて、ゆつくり仕事をした上後の便で東京へ歸ることが出來るといふ便利な世の中となつた。これを汽車に比べると、東京・大阪間の特急は約十一時間を要し、超特急にしても八時間半を要する。更に汽車の無かつた昔に比べると、全くお話にならぬ變り方で、スピード時代だといふことが痛切に感じられる。

【鐵道】

わが鐵道の延長は昭和六年末に左表の通りである。

全國	二九、八四	面積百方	四、四
内地	二三、一〇六	新につき	五、八
外地	七、七三八		二、七

『二萬七千』とあるのは『三萬』と訂正するがよい。

【最新式蒸氣機關車】(挿繪)

五三三四の番號があるから、それによつて四輪連結テンダー機關車であることがわかる。即ち働輪四個を有するもの

尋常小學地理書卷二より

至るものである。東京大阪間の飛行は僅かに二時間半を要するのみである。

鐵道の延長は約二萬七千キロメートルである。幹線は東京を中心とし、北は奥羽地方北海道本島を経て樺太に至り、南は中部近畿中國の諸地方を経て九州の鹿兒島及び長崎に至つてゐる。又朝鮮を縦に走つてゐる幹線があつて、滿洲の我が南滿洲鐵道に連絡してゐる。これ等の幹線を連絡するため

最新式蒸氣機關車

である。

(イ) 火室、こゝで石炭が燃える。

(ロ) 煙胴、この中に煙管があつて水を熱する。

(ハ) 蒸氣溜、發生した蒸氣を集めて置く處。

(ニ) 煙突、煙突を高くすることが出來ないから、汽笛から出た不用の蒸氣を吹き出し、それによつて煙を吐き出す

様にしてある。

(ホ) 汽笛、左右兩側にあつて、これが働輪を回轉する。

【最もよく發達……】

鐵道の地方的分布を見ると次の通りである(昭和四年十月)

國有鐵道	地方鐵道	合計	人口千人	當軒數
奥羽 二、三七〇	四二二	二、七九二	三〇・三	
關東 一、六九一	一、三七四	三、〇六五	二五・五	
中部 二、一九五	一、六八六	三、八八一	三五・一	
近畿 一、四二六	一、〇五六	二、四八二	二四・八	
中國 一、三三四	五二二	一、八四六	三六・二	
四國 四二七	二〇三	六三〇	二〇・〇	
九州 一、八五五	六二六	二、四八一	二七・五	
北海道 二、六一八	四五二	三、〇六九	一一・二	

これによつて見ると比較的未開の地又は地勢のわるい地方等には地方鐵道(私設)が少くて國有鐵道が多い。殊に北海道が著しいのは採算の立つ線が少いことを示してゐる。又人口に對する延長の割合を云ふと關東や近畿の様な稠密地帯には却つて割合に少いことがわかる。併しそんな處では複線又は複々線となつて居たり、列車運轉の回數等が多いから住民の便利は大である。

【總噸數】

わが汽船の總噸數は四百廿五萬噸で、イギリスの二千二百萬噸、アメリカ合衆國の一千三百萬噸に次で世界の第三位であるが、上位との距りはあまりに大であり、一方第四位のノルウェーは四百十七萬噸で日本に近く、第五位第六位のドイツ・フランスも踵を接してゐる。而もドイツの如きは大戰の結果殆ど全部の汽船を列國へ引渡したので、その後の新造船ばかりであり、英米も亦盛に新造しつゝあるのに、日本には老朽船が非常に多い。そこで船齡二十五年以下の有能船のみを計上すると日本は第五位に下り、やがて更に第八位に下らんとする情勢にある。(一三〇頁参照)

【必要な設備】

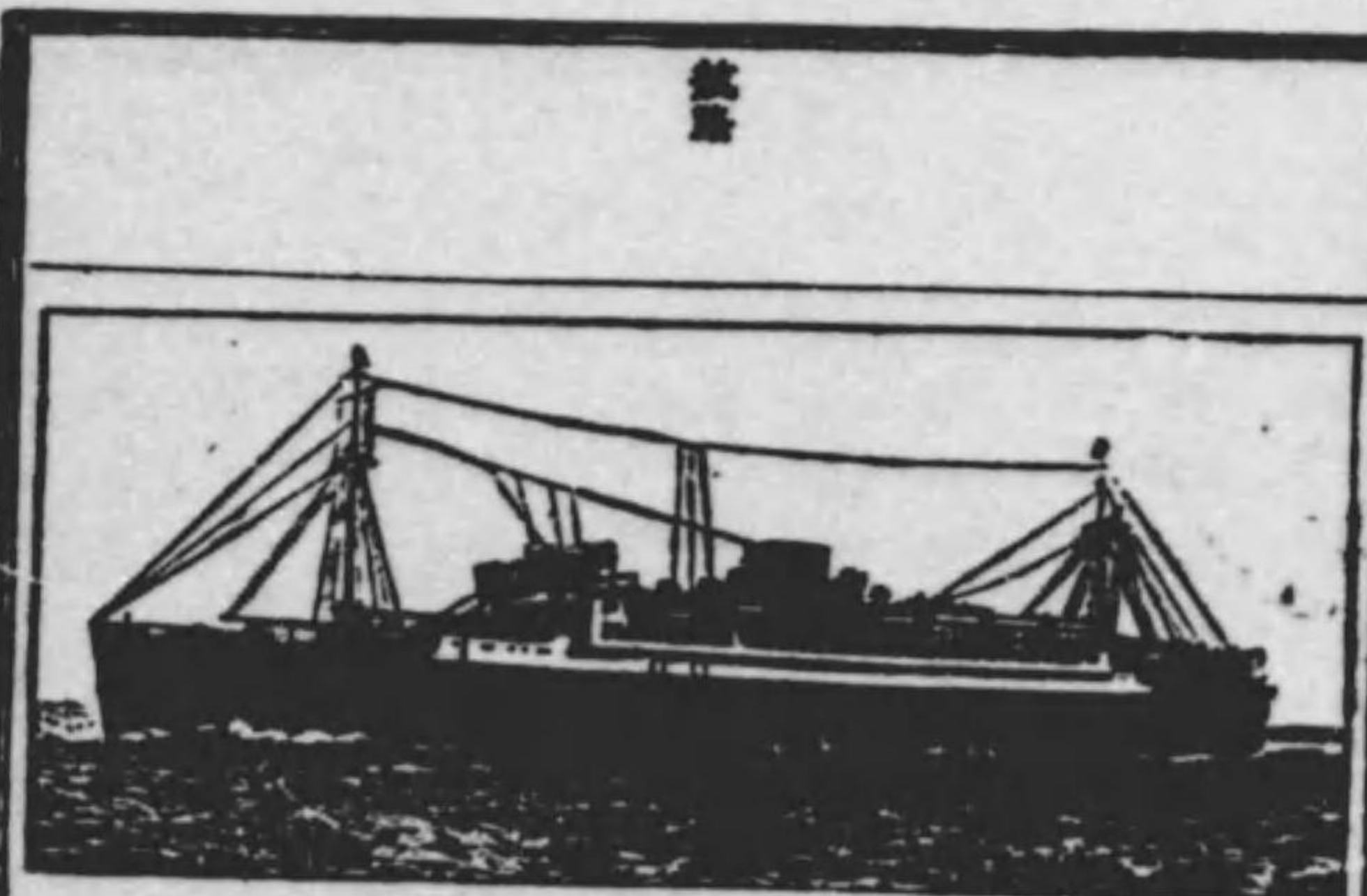
如何に自然の良港と雖も自然のままでは種々の不便があるから、これに若干の人工を加へることは當然のことであつて、これを築港と名づける。今築港の要領を分類すると、
一、船の入港に便する設備 海底の浚渫、港口に燈臺の設備、港の埋もれるのを防ぐ防砂堤、河道の變更等。
二、港内の船を安全ならしめる設備 防波堤、繫船浮標

【造船業】

造船の技術は長足の進歩をなし、列強諸國に比して少しも遜色がない。併し造船設備及び能力は尙英米に遠く及ばない。昭和七年末造船所數五三〇、船渠七二、浮船渠三、同年中の進水噸數五萬九千噸である。

【我がアメリカ航路の大きな汽船】(挿繪)

日本郵船會社の秩父丸で、一萬七千五百噸、現在に於ける我が國最大の優秀船である。横濱・桑港間を航海してゐる。



に海上には鐵道連絡船が往來してゐる。殊に鐵道が最もよく發達してゐるのは關東平野・濃尾平野・近畿地方の諸平野・九州北部の諸平野等である。
航路は横濱・神戸・大阪を主な起點として内外各地の港に通じ、内外の汽船が盛に往來してゐる。
交通の發達、造船業の進歩と共に、船の隻數も噸數も著しく増加し、我が國は今では世界有數の海運業國と

尋常小學地理書卷二より

尋常小學地理書卷二より

して知られるやうになつた。汽船の總噸數は約四百萬噸で中には一萬噸以上のものも少くない。かゝる大きな汽船は大に外國航路に使用されてゐる。海運業の發達に伴つて、我が主な港には必要な設備がととのへられ、又航海上必要な處には燈臺が設けられてゐる。

郵便電信電話は國內到る處に通じてゐて、通信の便は殆ど完備してゐる。

東京中央郵政局長 局所送放

- 三、貨客乗降積卸の設備 岸壁・棧橋・臨港鐵道・起重機・上屋・倉庫・ドック(開門式)等。
- 四、船及船員の補給・休養の設備、ドック(修理用)給水設備、石炭又は石油積込設備、船員の娛樂・保健・休養機關。
- 【新郷放送所】(挿繪)
無線電話J〇AKの放送所の全景である。高い二本の鐵塔にアンテナが張つてある。演奏所から有線で送られたものをこゝで擴大して放送するのである。

【無線電信】

主な無線電信局は

東京局 原町(福島)送信所、福岡(埼玉)受信所 對米。

岩槻(埼玉)送信所、検見川(千葉)受信所 對南洋
名古屋局 依佐美(愛知)送信所、海蔵(三重)受信所 對歐

平野郷(大阪)受信所 對歐

この外に海岸局として主として近海の船舶と通信するものは銚子局を始めとして全国に四十餘ヶ所あり、又船舶に備付けられた移動局は數百に上つてゐる。

【面積】

アジア洲の面積は屬島を合算して約四千二百五十萬方籽、世界陸地の總面積は約一億三千二百萬方籽であるから、その三分の一より稍小で、日本全面積の約六十四倍。

東西三千九百籽、南北三千四百籽

【世界の人口】

世界の總人口は約二十億と概算される。

人口統計は極めて精確な地方もあるが、又全く統計の無い地方もあつて、一局部の人口から推算したり、生産や消費

【獨立國】

日本 五大強國の一、アジアの指導者。

支那 國內亂れ國勢が振はないが、兎も角も獨立してゐる。
シヤム 英と佛との緩衝國となつて辛うじて獨立。

ペルシヤ 英國の勢力範圍である。

アフガニスタン 國勢振はず、英國の勢力大。

トルコ 獨立して居るが國勢はあまり盛でない。

滿洲 昭和七年に獨立、九年に帝政實施。

イラク 英國の委任統治國であつたが、最近獨立。

パレスチナ・ケラク等は英の委任統治下にある半獨立國。

【いくつもの大山脈】

パミル高原を起點として

東方へ 喜马拉雅・崑崙・天山・アルタイ等。

南方へ スリマン。西方へ ヒンヅークシ。

【ヒマラヤ山脈】 (挿繪)

圖はヒマラヤ山脈の東部と、ダージリン市の一部とを示したものである。

ヒマラヤ山脈にはエベレスト・キンチンジャンガ・ドウラ

の現象によつて人口を推定したりする部分が澤山あるから到底全世界の精確な數を得られないのは全く已むを得ないことである。

アジア洲の人口を一二四四〇萬とすると、世界總人口の五十五%にあたる。

人口の密度はヨーロッパが第一で、アジアは第二位にある。支那や印度の様に極めて密な部分もあるし、アラビヤや北部シベリヤの様に殆んど無人の地もある。

外國航路が發達するに隨つて、諸外國との通信は益便利となり、又海底電線無線電信によつて世界の各地と連絡してゐる、又ラヂオも盛に利用されてゐる。

第八 アジヤ洲亞細亞洲

一 總論

世界の陸地はこれを六大洲に分つ。アジア洲はその中で最も大きく、その面積は世界の陸地の約三分の一、その住民の總數は十一億餘、世界の人口の半分以上を占めてゐる。世界の中で最も早く開

アジヤ洲
アフリカ洲
北アメリカ洲
南アメリカ洲
ヨーロッパ洲
大洋洲

六大洲の面積の比較

尋常小學地理書卷二より



尋常小學地理書卷二より

けた支那や印度もこの洲の中にあるけれども今ではこの洲の大部分は歐米諸國の領地で獨立國は極めて少く、僅かに我が國、滿洲、支那シム等のみである。中央部は土地が極めて高く、パミル高原を起點として、ヒマラヤ山脈をはじめいくつもの大山脈が諸方に走つて本洲の主な分水嶺になつてゐる。中でもヒマラヤ山脈は、ギリ・モルシヤチ・ゴサイタン等八千米以上の山が五つある。隨つて沖繩縣と同緯度にあるけれども頂上は常に雪を頂いて居る。圖中の最高峰(イ)はカイラス山で、岩骨露出して一木一草も生ぜず、氷河が谷に沿うて流れて居る。ダージリンは海拔二一八二米の地にあつて有名な避暑地である。カルカッタから汽車で一日の行程で、夏には來住するものが多い。十月頃からは空が晴れるので、ヒマラヤの雄姿を仰ぎ見るによい。

【エベレスト山】

この山は世界の最高峰で海拔八八四〇米である。富士山は三七七六米であるから約二倍三分餘になる。

麓から九百米までは熱帯林で、その上に暖帯・温帯・寒帯の各森林があり、三千六百米からは殆んど植物を生じない。山容雄偉崇高で、大に印度人の宗教心を鼓舞して居る。

【川といふ川もなく】

高原は多くは雨が少いので川がない。

但し天山やヒマラヤの山脈には雪が降るので、それが融けて諸大河の源流をなして居る。中でもチベット高原を流れるサンポー河(ブラマプトラの上流)の如きは巨川である。アラビヤ高原の如きは高い山脈がないから全く雨がなく又川もないのである。

川が無いから沙漠になるので無いが、川があればその沿岸のみはオアシスとなる。

【中アジアの草原】(挿繪)

圖は裏海の東方に於ける草原の様で、所々に草の生へ始めた春の光景である。間もなく草は一面に擴がつて青毛氈

を敷きつめた様になるが、秋には悉く枯れてしまふのである。随つて冬は全く沙漠と異らない。


(イ)小山、沙漠は決して平原のみでなく、所々に山もあれば谷もあるものである。

(ロ)外裏海鐵道の汽車。

(ハ)砂丘。これはバルハン型と云つて、盆を半分に分つた様な形にえぐり取つた様になつて居る。沙漠にはこの形の砂丘が頗る多い。

マラヤ山脈は雄大無比の大山脈で、主峯のエベレスト山をはじめ八千メートル以上の高い山々がたくさん立連なり、四時氷雪をいたゞいて大空高くそびえてゐる。

これ等の諸山脈の間には西蔵、蒙古等の廣大な高原がある。又パミル高原の南西にはイランの高原があり、更にその南西にはアラビヤの高原がある。これ等の高原は雨量が極めて少いので、川といふ川もなく、草原や沙漠ははるく



中アジヤの草原

尋常小學地理書卷二より

【遊牧の民】

純然たる沙漠には人間は住むことが出来ぬ。併し泉があつたり川が流れてゐればそこでは農業が行はれる。

アジアの沙漠には多少草の生へる處がある。これは半沙漠とも稱すべきもので、草原と沙漠との中間である。草原や半沙漠では草のある處を搜し廻つて羊や牛を飼ふ遊牧の民が住んでゐる。併しその移轉する場所と範圍とは大體定まつてゐて、無暗に何處までも移つて行くものではない。

大體草原にせよ半沙漠にせよ草の生へる時季が一定してゐるから、彼等の移轉も季節によつて循環し年々同一の順序を繰り返すのが常である。

彼等は常に移轉するためによく天幕の中に住み、家具等も至つて少く、食料は殆ど乳ばかりである。

【寒氣が極めてはげしい】

シベリヤ平原は全部北緯五十度以北であるから、一般に冬が永くて寒さが烈しく、大部は土地が凍つて草木を生じない(五五頁参照)。西南の一部に農業や牧畜が行はれるのは氣候が大陸性で夏が割合に暑いからである。

尋常小學地理書卷二より

と違なつてゐて、寒暑の差も甚しい。随つて住民は極めて少く、大い遊牧の民である。

中央部の高地と海岸との間には、諸方面に低い大平地がある。その中北のシベリヤの平地と西の中アジアの平地とが、相連なつて世界最大の平地となつてゐる。シベリヤの平地は、大部分は寒氣が極めてはげしいので、産業が盛でなく、随つて住民も少ない。たゞオビ川・エニセ川等の上流地方には農業牧畜が發達してゐる。中アジアの平地は雨が少いので、草原が多い。それ故に一般に牧畜が主な産業となつてゐるが、たゞ裏海及びその他の湖の沿岸や、これ等の湖に流れ込む諸川の沿岸には

【湖の沿岸】

中アジア平原中農業の行はれるのは湖と川との沿岸地方である。

裏海の沿岸は割合に雨が多し(裏海の水蒸氣が雨になるから)故にそこには農業が行はれて居る。

シル川・アム川等はパミルや天山附近の雪解の水を流して來るので、沿岸ではその川水を利用して灌漑農業を行つて居る。これ等の川は下流ほど水が少くなる。

【裏海】

裏海は世界一の大きい湖で、元地中海から北極海につゞく海の一部であつたが、地盤の隆起によつて海は陸となり、その深い部分のみが残つて湖となつたのである。面積四十四萬方呎で、全日本をもつてこの湖を埋めるとすれば朝鮮だけが残る勘定となる。

その水面は海洋の水面よりも二十六米だけ低い。これは流入する水量よりも蒸發量が多いからであつて、そのために水は海に出ることの無い無口湖であり、水は鹽分が溜つて鹹水となつてゐる。

【黃河の鐵橋】 (挿繪)

これは山東省濟南の北方六呎餘にある津浦線の大鐵橋で、一九一二年に竣工したもの、ドイツ人の技師によつて技術上の最善を盡したと云はれ、工費六百萬圓を費した。長さは千三百八十米で、鴨綠江の鐵橋よりは長いけれども臺灣下淡水溪の鐵橋には及ばない。

(イ) 鶴山と云ふ高さ百米の岩山。川を上下する帆船の夥しきを見よ。黃河は水運の便が極め

【諸川の沿岸の平地】

こゝに云ふ諸川とは滿洲の遼河、支那南部の珠江、印度支那半島のメコン河・メナム河等を指すものである。これ等諸川の沿岸には夫々平野が開けて居て、人口も稠密で物産も多い。

【マレー諸島】

マレー諸島の中で最もよく開けてゐるのはジャワ島で、次はフィリピン諸島である。スマトラ・ボルネオ・セレベス等の諸島はあまり開けて居ない。こゝに日本諸島を擧ぐべきではあるまいか。外國地理だから日本のことは云はないと云ふのも妙な話で、次の九十頁にも日本のことが云つてある位だから、やはりこゝも『東部の日本群島や東南部のマレー諸島』と云ふ様に云つた方が穩當であると思ふ。併し態々訂正する程の事ではない。單に注意を與へたらよからう。

【鐵道】

鐵道の最もよく開けた場所としては、印度一約七萬呎

て少いが、下流はこの通りで數千隻のジャンクが往復してゐる。

【地味が肥え……】

黃河の流域は主として黄土と稱する風成土壤で非常によく肥えてゐる。

揚子江・ガンジス川・インダス川等の流域は概ね川の運んで来た堆積土壤である。何れも土地が肥えてゐるから無肥料で農業が出来るほどである。

農業が行はれてゐる。裏海は世界中で最も大きな湖で、その水面は海洋の水面よりも低い。太平洋方面には支那平野があり、印度洋方面には印度平野がある。支那平野は揚子江・黃河等に灌溉され、印度平野はガンジス川・インダス川等に灌溉されてゐる。この兩平野は共に地味が肥えてゐて、古來農業が大いに發達し、人口が甚だ密で、アジヤ洲の住民の半分はこの兩平野に住



黃河の鐵橋

尋常小學地理書卷二より

尋常小學地理書卷二より

この兩平野に次いで開けてゐる處は太平洋及び印度洋に流れ入る諸川の沿岸の平地や、本洲南東部のマレー諸島である。鐵道の發達はヨーロッパや北アメリカ洲に比べると遙かに遅れてゐる。たゞ印度・シベリヤに於ては相當に發達し、又シベリヤにはアジヤ洲とヨーロッパ洲とを連絡する鐵道の幹線がある。

揚子江・ガンジス川は水量がゆたかたかて流がゆるやかであるから水運の便が多い。殊に揚子江は川口から二千五百キロメートルの上流まで汽船を通ずることが出来る。

日本一約二萬呎 (内地)
 ジャワ一約五千呎
 支那一約一萬九千呎

尙大陸を横斷するものはシベリヤ鐵道一線のみでその延長約九千五百呎、中アジヤには中アジヤ鐵道・外裏海鐵道、西アジヤにはバグダード鐵道・ヘチヤス鐵道等がある。こゝにも『たゞ印度』の次に『日本』の二字を入れるべきである。

【漢口と揚子江】(挿繪)

これは漢口の埠頭を示したものである。

(イ)碼頭即ち棧橋で、こんなのが無數に河岸に並列してゐる。

(ロ)舢舨と稱する小舟で、二本の櫂を両手に持つて前に押しながら舟を進める。(ボートのオールを後ろへ引くのと正反對である)

(ハ)碼頭に横付けしてゐる日本の汽船。揚子江の水運は大部分日本人の經營する處である。

對岸が見えないから河幅の大であることを想像させることが出来る。この邊河幅二千四百米で、水量は冬と夏とで約八米の差があるが、最も深い時は十四五米に達する。故に航洋汽船の數千噸のものが、樂に上ることが出来るのである。

【世界海上交通の要路】

世界に於ける海上交通の主要路を其頻繁度の順序に記すと
北大西洋—歐・米間。
南大西洋—ヨーロッパ・南米間、ヨーロッパ・アフリカ間。

【上海港】(挿繪)

上海は揚子江の河口に近い一支流の黃浦江の左岸にあつて合流點から約二十軒の上流にある。中部支那に於ける最大の開港場で、揚子江筋一帯を背域として盛に仲繼貿易を行つて居る。又工業も近時大に勃興した。市内には佛・英・米等の各國租界と同居留地とがある。何れも大夏高樓が立ち並んで繁華な町である。

圖はその埠頭で、日本郵船や日清汽船がそれ／＼専用棧橋を持つてゐる。一萬噸級の巨船でも横付けされる。

【北極海】

普通には北極洋 (Arctic Ocean) 又は北氷洋と呼んで居るが、面積その他種々の點から云つて、太平洋・大西洋・印度洋等とは比べものにならないので、洋といふ名は不適當である。即ちこれは歐亞大陸と北米大陸とに挟まれた一の内海と見るべきで、そのため特に北極海と云つたのであらう。これを船で通過したものはノルデンシュョルドの探險船あるのみである。

【新に興つた國】

印度洋—歐・亞間、ヨーロッパ・オーストラリア間。
太平洋—アメリカ・アジア間、東アジア・ヨーロッパ間。
概して云ふと大洋横斷の航路は文明國と未開國、若くは人口稠密地と人口稀薄地と相對してゐる處に盛であり、大陸沿岸の航路は産業の盛な地方に最も繁昌する。

アジア洲の沿岸で交通量の最も多い處は紅海の入口とシンガポールと臺灣海峡とである。アデン・シンガポール・香港を有する英國が大なる強味を有するのも當然である。



尋常小學地理書卷二より

尋常小學地理書卷二より

れ等の港からはいづれもヨーロッパ・北アメリカ・大洋洲等各洲の諸港に航路が相通じてゐて、我が國及び歐米諸國の船がたえずその間を往來してゐる。我が國横濱神戸支那の上海イギリス領の香港シンガポール及びコロロンボ等は、アジア洲に於ける海上交通及び貿易の中心地である。
北極海は大部分が年中結氷してゐるから、まだ船の交通には殆ど利用されてゐない。

二 滿洲
滿洲は朝鮮の北西に連なつて居る我が國の隣接國で、昭和七年新に興つた國である。面積は約百二十萬平方

長い間軍閥の惡政に苦しめられてゐた滿洲人は、昭和六年九月十八日に起つた滿洲事變を機とし、日本の援助によつて遂に獨立することとなり、七年三月一日を以て建國式を擧げ、國號を滿洲國、年號を大同と定め、首都を長春に置き、これを新京と稱することになった。
そして昭和九年三月一日、執政であつた溥儀氏が皇帝の位に上られて、こゝに滿洲帝國となり、年號も康徳と改元せられたのである。

【西の部分】

西部にある興安嶺は山脈といふよりも寧ろ蒙古高原の縁邊で、それから西は一面の高原になつてゐる。こゝに『山地』と云つてゐるのは稍穩當を缺く。

【北滿洲】

北滿洲・南滿洲の區別は地勢上から云つたもので、松花江と遼河の分水線が大體の境界であるが、そこには著しい山脈がないから、實際には極めて不明瞭である。

【沃野が廣く】

滿洲中央部の平野は實に廣大なもので、日本では到底想像することも出来ぬ。又その土質は黄色の細土で非常によく肥え、肥料を與へなくても作物はよく出来る。


近時は餘程開墾が進んだが、まだ人口が稀薄であるから極めて粗放なやり方である。開拓は南から進んで行つたので、今では未墾地は主として北滿の方面にあつて、今後尙多數の移民を收容し得る見込である。

【高粱畑】 (挿繪)

高粱は黍の一種である。支那平野の北部から滿洲一帯に栽

培される植物で、高さは三米餘に及び、八月中旬頃に穂を出す。圖はその穂の出た頃の景色で、一度その中に踏み込めば容易に出ることも出来ない。匪賊がこの中に隠れるので、近頃は鐵道沿線では栽培を禁じてゐる。穀粒は地方の主要食料品で、又高粱酒の原料ともなる。その稈は屋根となり壁となり、箒や蓆などもなり、又燃料にも供せられる。最近には製紙原料として高粱バルブも製せられてゐる。

キロメートルもあるが人口は約三千五百萬に過ぎない。奉天吉林黑龍江興安熱河の五省に分れてゐる。滿洲は中央に廣い平地があつて、東の部分と西の部分とは大てい山地である。松花江はこの平地の北部である。北滿洲を灌溉して黑龍江に合し、遼河はこの平地の南部である。南滿洲を灌溉して渤海湾にはいる。この二川の流域には沃野が廣く連なつてゐて農業が盛である。



尋常小學地理書卷二より

【大陸的】

冬は随分寒く、新京でも零下三十度に降ることは珍らしくない。北部は一層甚しく、零下五六十度に降る。併し空氣が乾燥してゐるから割合に凌ぎよい。

夏の温度は随分高く、處によつては四十度近くにもなるが、朝夕が涼しいから非常に爽快である。この季には雨も多いので農作には最も好都合である。併し一年中可能農業日數は百五十日から二百日位に過ぎない。

【豆粕・豆油】

滿洲に産する豆類には黃豆・綠豆・豌豆・蠶豆等八種類あるが、その中最も盛なのは黃豆即ち日本に云ふ大豆である。大豆は滿洲人の副食物として、菜食のみの滿洲人に脂肪を補給してゐる。又これを搾つて得る油は豆油と稱し、點燈用・料理用・油紙用・機械用・石鹼製造用・セルロイド製造用等に供し、その搾粕は豆粕と稱して肥料・豚の飼料等に用ひられる。

大連と營口とは豆油・豆粕の製造が頗る盛である。その製造所を油房といふ。(五五頁参照)



氣候は大陸的で、冬は非常に寒くて乾燥してゐるが、夏は可成り暑くて雨が多いので農業に適してゐる。農業は主要な産業で、農産物中重要なものは大豆小麦高粱である。その中大豆は世界的農産物で主産地は北滿洲であるが、南滿洲でも多量に産する。大豆はそのまゝ、多量に輸出されるばかりでなく、豆粕豆油としても多量に輸出さ

【新京に於ける大豆の野積み】 (挿繪)

如何に多くの大豆が集積してゐるかを見よ。これは凡てズツクの袋(ガンニーバッグ)と稱し、黄麻製の粗布で製した褐色の袋)に入れたものである。收穫時期後は雨の少い氣候であるから、野積みにして置いても心配は無い。

大豆の栽培は日本人の奨励によつて發達したもので昭和六年の産額五百二十萬石、世界總額の七七%を占めてゐる。

九三

【小麦は北満洲】

北満洲は冬が寒いけれども、夏の温度は小麦の耕作に充分である。故に六月に種を播いて八九月に收穫する。所謂春麥であつて、氣候が大陸的であることが非常に都合がよいのである。

ハルピンは製粉業の中心であるが、今では国内の需要を充つことが出来ないで、日本などから多く輸入する。

【牧畜は一般に】

空氣が乾燥してゐるので牧畜には適してゐるが、在來種は何れも品種が劣つてゐるから、近時改良に苦心成功し、漸次優良種を普及しつゝある。

満洲の農業は所謂有畜農で、各戸少くとも三四頭の役畜を有しないものは無い。又西部の半沙漠地方には遊牧を事とする土人も居る。

【撫順炭坑の露天掘】 (挿繪)

これは撫順市街の南方にある古城子の露天掘で、この外に尙二ヶ所の露天掘と七ヶ所の坑内掘とがある。

露天掘は炭層が極めて地面に接近して存在する場合に行は

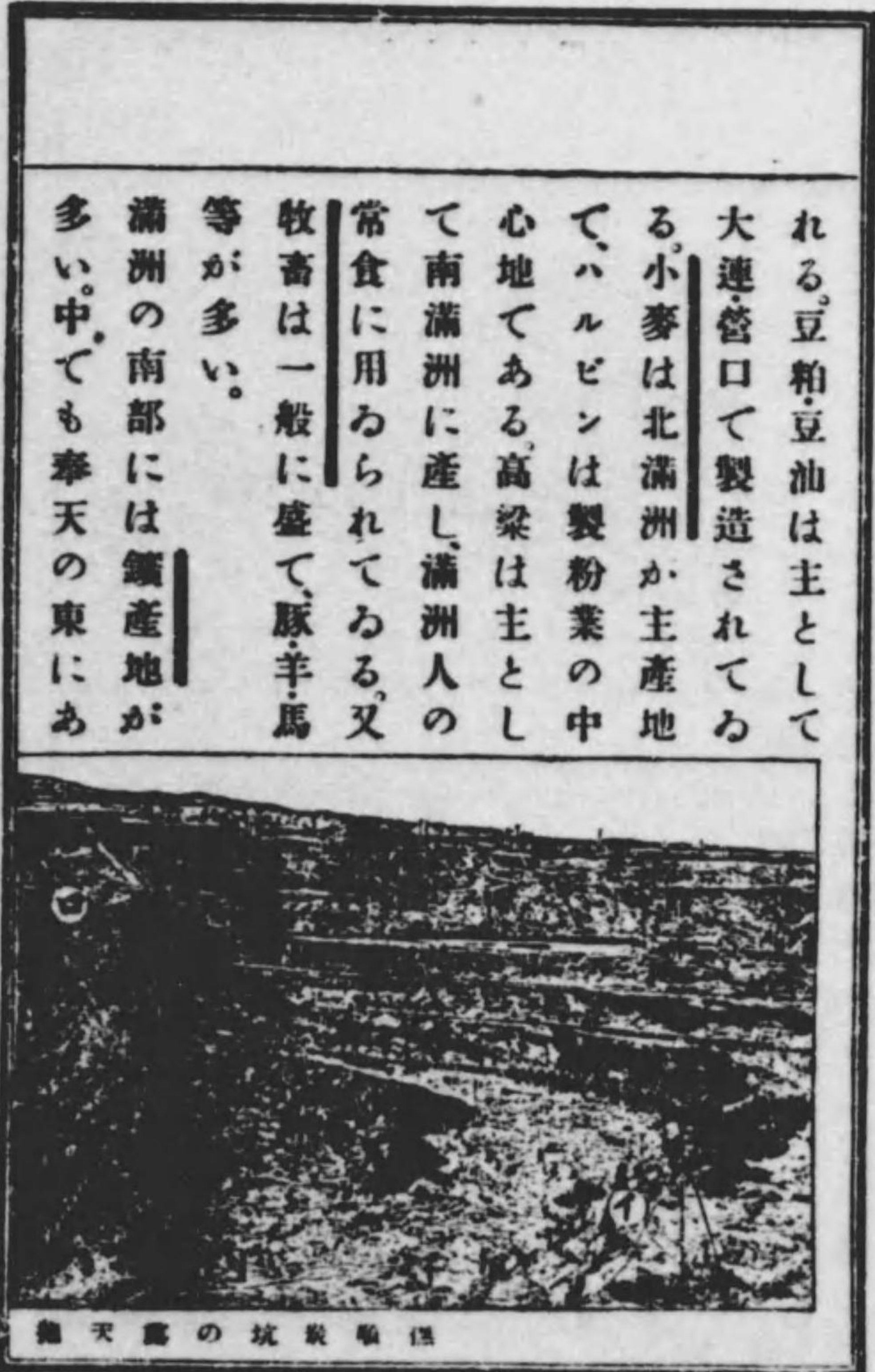
れるもので、上盤を除いて直接炭層を掘り下げて行く。炭田の廣さは東西十九軒南北二軒、炭層は最厚百三十米、平均四十米で炭量約九億噸、従業者は邦人二千七百、満洲人三萬八千、一日の出炭高二萬五千噸である。

尙上盤をなす頁岩には石油を含んでゐるので、これが乾溜

事業も大に盛になりつゝある。

(イ) 大仕掛の機械で掘つてはトロツコで運ぶところ。

(ロ) インクラインで引き揚げてゐる。



撫順炭坑の露天掘

尋常小學地理書卷二より

れる。豆粕豆油は主として大連管口で製造されてゐる。小麦は北満洲が主産地で、ハルピンは製粉業の中心地である。高粱は主として南満洲に産し、満洲人の常食に用ゐられてゐる。又牧畜は一般に盛で、豚・羊・馬等が多い。

満洲の南部には鑛産地が多い。中でも奉天の東にあ

【鑛産地】

南満洲に於ける鑛産地の主なものを挙げると、日本人の關係してゐるもの以外にも、

撫順東北の磐石・銅・鉛。

奉天西方の新邱・石炭。

【鞍山鐵山に於ける鐵鑛の積込み】 (挿繪)

鞍山鐵山は西鞍山・東鞍山・大孤山等八個の鑛山より成り推定鑛量二億一千万噸で、南滿鐵道會社經營の鞍山製鐵所の原料に供せられる。鑛石は赤鐵鑛である。

圖はその西鞍山に於ける鑛石積込みの光景で、トロツコで運んで來た鑛石は直ちに貨車の中にうつし込まれてゐる。

一日四五百噸を採掘して居るが尙百七十年間を支へるだけの鑛量がある。(二千八百萬噸)

因に鞍山製鐵所は大正五年に着手したもので、その後大戦後の不景氣の影響を受けたが、大正十年には完成して一ヶ年三十萬噸の鉄鑛とセメント・硫安肥料・鑛滓煉瓦などを生産する。殊に珍しいのは貧鑛整理工場で、含鐵量四五%から五〇%の貧鑛を所理してゐる。



鞍山鐵山の鑛石の積込み



る。撫順東北の磐石・銅・鉛。奉天西方の新邱・石炭。鞍山鐵山は西鞍山・東鞍山・大孤山等八個の鑛山より成り推定鑛量二億一千万噸で、南滿鐵道會社經營の鞍山製鐵所の原料に供せられる。鑛石は赤鐵鑛である。圖はその西鞍山に於ける鑛石積込みの光景で、トロツコで運んで來た鑛石は直ちに貨車の中にうつし込まれてゐる。一日四五百噸を採掘して居るが尙百七十年間を支へるだけの鑛量がある。(二千八百萬噸) 因に鞍山製鐵所は大正五年に着手したもので、その後大戦後の不景氣の影響を受けたが、大正十年には完成して一ヶ年三十萬噸の鉄鑛とセメント・硫安肥料・鑛滓煉瓦などを生産する。殊に珍しいのは貧鑛整理工場で、含鐵量四五%から五〇%の貧鑛を所理してゐる。

尋常小學地理書卷二より

【これ等は皆……】

日本人の關係してゐる鑛山は、

天寶山(銀・銅) 南滿大興會社。

撫順炭坑 南滿鐵道會社所屬。

煙臺炭坑 前者の支坑。

本溪湖炭坑 日支合辦の本溪湖煤鐵公司の經營。

鞍山站鐵山 日支合辦の振興鐵鑛公司の經營で、採鑛の全部を滿鐵會社に賣渡す契約がある。

【北部には大森林】

北部即ち大小興安嶺方面の森林はまだよく開發されてゐないが、廣大な處女林があるから、前途は有望である。東部から南東部にかけて有名な森林は、鴨綠江流域、日露戦後盛に伐採されてゐる。松花江上流、前者の北方、第二松花江の源流地方。豆満江上流、牡丹江上流にもある。樹種はまつもみかしわしなのき等二十餘種で、針潤混淆林となつてゐる所が多い。

【日・滿兩國人協同】

明治四十一年に設立せられた鴨綠江採木公司是、日支合辦事業の嚆矢で、今は日滿共同となつてゐる。資本金三百萬圓は兩國折半して出資し、役員も兩國から同數出すことになつてゐる。伐採地域は帽兒山から二十四道溝までの間で、その他に滿洲人の採木業者に資金を貸付けて、その伐採した木材を買収し、又別に製材事業も行つてゐる。

【一輪車】（挿繪）

一輪を有する車で推車又は小車と呼ばれてゐる。わが中國

地方等に稀に見るネコ車もこの一種である。道の狭い所に利用するに輕便なもので、滿洲にも支那にも到る處に用ひられ、上海等の市中にも澤山見受けられる。圖は鄭家屯附近で撮影したもので、一望廣漠たる平野であるが、道路は極めて不完全である。大豆を運搬してゐるところである。又客をも乗せ、犬に先曳させてゐる。これは運賃が低廉で、下層社會には重寶な交通機關である。所によつては帆を用ひるものもある。



尋常小學地理書卷二より

【海岸の各地】

主に遼東灣の沿岸、營口・蓋平・復州等に行はれてゐる。その方法の詳細は己に五三頁に説明した。目下年産額一億八千萬疋と稱せられてゐるが、地勢上及び氣候上から云へばまた擴張の餘地がある。

【南滿洲鐵道】

本線 連京線、大連・新京間、七〇〇軒、急行で十三時間を要す。

支線の安奉線は實は奉天の南の蘇家屯から分岐してゐるのであるが、列車は凡て奉天から發着する。

南滿洲鐵道會社はわが政府と民間との共同で經營する所で鐵道の外に鑛山・製鐵・旅館その他の事業を行ひ、又鐵道附屬地の行政をも行つてゐる。近時滿洲國內の鐵道全部を委託經營することになつた。

【北滿鐵道】

元ロシヤの敷設したもので東支鐵道と云つてゐた。軌幅がロシヤ式の廣軌で一・五二米となつてゐるが、滿洲國に買収の曉は他の諸線と同一の標準軌幅一・四八米に改築せら

我が國人の關係してゐるものである。滿洲の北部には大森林があるがまだよく開發されてゐない。東部から南東部にかけても處々に大森林があつて、日滿兩國人協同の製材業が盛である。鴨綠江流域では安東松花江流域では吉林がその中心地である。海岸の各地では天日を利用する製塩業が行はれ、又近海ではたひたら等がとれる。

尋常小學地理書卷二より

我が南滿洲鐵道の連京線は大連を起點として北に向ひ奉天に於て支線の安奉線及び奉山鐵道と會し、更に北に向ひ新京に達してゐる。北滿鐵道は新京からハルビンに至る線を南部線、ハルビンからウラヂポストク方面に向ふ線を東部線、滿洲里に向ふ線を西部線といつてゐる。奉山鐵道は奉天から山海關に向ふ線で、山海關で支那の鐵道と連絡してゐる。



れるであらう。シリベヤ鐵道に連絡して世界に於ける往還幹線の一部をなしてゐる。

【新京停車場】（挿繪）

南滿・北滿兩鐵道の連絡驛である。

(イ) 北滿鐵道の列車。

(ロ) 南滿鐵道の列車。

プラット・フォーム一つを隔て、乗り換へる様になつてゐる。伊藤博文の暗殺せられた所として名高い。

【水運の便】

遼河は本流は河口から九百軒の鄭家屯まで民船を通ず。松花江は吉林から河口まで九百軒は汽船を通じ、又支流の嫩江は齊々哈爾まで小汽船が通る。黒龍江は河口から三千二百軒のストレンスクよりまた上流までも汽船を通ずるので、満洲國境の部分は全部が可航区域である。満露兩國に於て使用しつゝあつて、満洲國はこゝに軍艦を置いてゐる。

【營口港】 (挿繪)

營口は遼河の河口から二十六軒程遡つた所の左岸にある。この附近は九米の水深を有するが、下流に淺洲があるので吃水五米の船は満潮の時でないとい入れない。圖はその埠頭から北に向つて眺めた處で、遙かに對岸が見えてゐる。一、多數のジャンクが碇泊してゐるし、沖合には汽船が居るから、本文にある様に『河海兩交通の連絡地』であることが明瞭である。二、ジャンクに積んでゐるのは豆粕である。大豆・豆油・豆粕の主要輸出港であることが想像出来る。

【内地人の在住】

在満洲内地人数(昭和七年十月)

男 三、八九一 女 六、六六六 計 一〇、五五七

これ等は主として鐵道沿線の都市に居住し、内地人のみの一區劃を形成してゐるのが多い。満洲國獨立以來年々二三萬人を増加してゐるから現在はいもつと多いだらう。開墾のため田舎に入るものも近年稍多くなつた。

【新京】

もと長春と云つて人口十二萬餘の小都會であつたが、帝都となつてから急激に増加しつゝあつて、第一期國都建設五ヶ年計畫が完成したら、少くとも三十萬を突破するであらう。舊市街の北方に日本人の新市街があつたが、新國都は更にその西方に大規模に設計工事中で、滿鐵は市の中央を貫き、軌道を低下して平面陸橋を架設し、市の中央に停車場が出来る。そして直交式と放射式とをうまく調和させた街路系統、中央の大同廣場をめぐつて堂々たる官衙、その西には大規模の官城が營まれ、それから南方への順天大街は中央政府各機關の所在地となる。

【冬期結氷】

黒龍江はニコライエフスク附近に於て九十日間結氷する。遼河は十一月頃から二月まで、松花江は十一月から四月まで結氷する。かく結氷する間は舟行全く絶えるけれども、却つて車馬の交通路として利用される。これは満洲は一般に道路が不完全であるから、凸凹の少い氷の上の方が道路よりもすつと便利がいからである。



尋常小學地理書卷二より

尋常小學地理書卷二より

洲鐵道の沿線には都邑が多くて、我が内地人の在住してゐるものが多い。新京はこの國の首府で政治交通の中心であるばかりでなく、大豆木材の集散地である。奉天は満洲第一の大都會、ハルビンは奉天に次ぐ大都會で共に商業交通の中心をなしてゐる。營口安東は大連に次ぐ満洲の主要門戸である。満洲は我が國と地續で國防上産業上極めて密接な關係にあつて、我が國の生命線となつてゐる。日清日露の兩戰役及び昭和七八年の満洲事變に於て、我が國が多額の犠牲を拂つたのも、皆そのためである。それ故満洲

【國防上・産業上】

満洲がわが國防上重要な理由は、その地理的位置を見れば明瞭で、大陸から來る勢力を防ぐには朝鮮半島では不充分であること云ふ迄もない。陸の満洲、海の南洋諸島と共にわが國防の第一線である。産業上からは、わが國に缺乏する諸種の原料品の産地であり、又わが製品の需要地でもあるから、彼我相補つて經濟プロックを形成するに足るのである。

【國際聯盟をも脱退】

滿洲を獨立させることが、東洋平和のために唯一の有効な方法であると、わが國はこれを確信してゐるのであるが、世界の各國は悉く意見を異にし、あくまで滿洲の獨立に反對するので、我が國は遂に國際聯盟を脱退することになつたのである。脱退通告は八年三月で、その一年後に實現したわけである。

【數部に分れ】

現在の支那政府の實力は、單に支那本部の大部に及んでゐるだけで、その他の各部は悉く他國の勢力下にある。即ち蒙古・新疆はロシアの勢力下に獨立を宣言してゐるし、青海・西藏はイギリスを背景として全く支那政府の統治下を脱してゐる。そして支那本部にも政府の命令に服しない部分が相當に多い。

【首府南京】

古來屢々首都となつたところで、揚子江岸に近く丘陵に沿ふて瓢形の城廓をめぐらしてゐる。人口は約五十萬、政治の中心であり、學校や軍隊があるため繁榮を維持する町で、

【南京の埠頭】 (挿繪)

南京埠頭の市街を下關と稱し、近時南京まで殆ど市街が連続するに至つた。上海に通ずる滬寧鐵路の終端驛のあるところで、江の對岸浦口からは津浦鐵道が起つて天津に通じてゐるから、こゝは交通の要點となつてゐる。

【平野の北部】

北部即ち黄河の流域は、支那で最も古く開けたところであつて、風成の黄土が廣く分布して居り、土質は決して瘦せてはゐないが、冬が長くて酷寒であるため農業可能の期間が短く、且雨が少いので麥・豆・高粱などを主産物とし、民度は極めて低く飢饉が屢々襲つて來る。殊に黄河の下流では洪水の害が極めて多い。

【揚子江の流域】

支那で最も氣候のよい地帯で、隨つて住民も最も稠密であり、産業も盛で支那に於ける經濟力の重心點となつてゐる。併し海岸を除けば氣候は大陸的で、寒暑共に烈しいことが國とは比較にならぬ。即ち漢口の年平均温度はわが九州の南部と略同一であるが、一月の平均は中國地方に似、七

産業については特筆すべきものは無い。

【總人口】

支那には戸籍といふものが全然無いし、國勢調査など無論行つたことが無いから、その人口が何程あるか極めて不明瞭である。政府の發表する數字の如きも、何處まで信頼していかかわからない。大體の見當は四億乃至四億七千萬位で、その九割が支那本部に住すると見て三億六千萬乃至四億二千萬位であらう。

が支那から獨立するや、我が國は直ちに之を承認し、次いで國際聯盟をも脱退して、東洋の平和とこの國の開發のために非常な努力をしてゐる。

三 支那

支那は面積が我が國の凡そ十五倍もあつて、人口が世界の總人口の凡そ五分の一もある大きな國である。國內は支那本部蒙古新疆青海西藏等の數部に分れてゐるが、その中でよく開けてゐる處は支那本部である。首府南京は揚子江の下流にある。又北平はもとの首府である。

支那本部の住民は支那の總人口の九割餘を占め、大部

尋常小學地理書卷二より

尋常小學地理書卷二より

支那の工業

分は支那平野に住まつて農業に従事してゐる。この平野の北部は雨が多く、寒暑の差が甚しく、その主な産物は麥・豆・高粱である。この平野の南部の中で、揚子江の流域は氣候が溫暖で且雨量が多いので、米・茶・麻等の産額が多い。隨つて製絲製茶の業が各地に發達し、殊に上海では綿絲紡績業が盛である。又南方の珠江の流域でも米・茶・麻



支那の工業

月は臺灣よりも高温である。

【綿絲紡績業】

- 日本人の經營するものが最も多く、支那人の經營がこれに次でゐる。發達の原因は、
- 一、背後に綿の産地を控へてゐること。
 - 二、人口稠密で勞銀の安いこと。
 - 三、揚子江流域數億の住民がよい華客であること。
 - 四、水陸交通の大中心であること。

【香港】(挿繪)

こゝはイギリスの領地であるが、住民の大部は支那人である。市の名をビクトリヤと云ひ、香港島の北岸に沿つて約八軒の細長い町で、狭い街路が三條通つてゐるだけで、背後は直ちに急傾斜の山につゞき、山の中腹以下に住宅や旅館などが澤山ある。

圖は町の西半部で、各方面への汽船の發着點である。海岸に沿ふ巨大な建築物の中には日本郵船などの支店もあり、日本領事館もこの附近にある。

背後の山は所謂ピークで、ケーブルカーで昇れば眺望が非常によく氣候も涼しい。そこにも多くの住宅や別荘のあるのが見えてゐる。

【牧畜】

一般農家には肉用として豚を多く飼つてゐる。又役用には北部では馬に類する驢・騾等が多く、南部では水牛が多い。羊も亦飼はれてゐるが、優良な羊毛は産しない。

【種々の礦物】

鐵・石炭の外に中央部に水銀・アンチモニー・鉛、南西部に

銅・石油・食鹽・大理石・錫等がある。

【鐵礦と石炭】

鐵山は十數ヶ所あつて推定量五億噸と稱せられるが、現今採掘してゐるのは大冶・象皮山・繁昌等である。

石炭の總量は二千二百億噸、その中無煙炭百三十五億噸と稱せられる。有名な炭坑は北の開平、南の萍郷で、前者は英國人の經營で瀋州の産と共に開瀋炭と稱せられ、滿洲の撫順炭と競争の地位に立つ。



尋常小學地理書卷二より

【大冶の鐵山】

揚子江岸から三十軒の地點にあつて、埋藏量一億噸と稱せられ、この國第一の鐵山である。鑛區面積五百八十方軒、大露頭十四を算し、目下はその一部に露天掘を行つてゐる。採掘量は一ヶ年十數萬噸、主に赤鐵鑛の鑛床である。その採掘は官民合辦の漢冶萍煤鐵公司の經營で、萍郷の炭田及び漢陽の製鐵所をも經營する。わが國もこの會社に多大の資本を投資してゐて、その鑛石の一部をわが八幡の製鐵所へ供給せしむる特約を有する。現今わが國に要する鑛石の約一割がこゝから輸入せられる。

揚子江岸石灰窯までは鐵道で運び、そこから船に積み込む。日本の専用棧橋もあり、三四千噸の鑛石船四隻を同時に繋留し得られる。

【萍郷の炭坑】

萍郷の石炭はその埋藏量二億噸で質も良好であるが、近年戰亂のために産額が減少して僅かに二十萬噸即ち開平炭坑の十五分の一を出すに過ぎない。従つてこの地方の需要を充すことが出来ないで、盛に河北省や山西省方面の諸炭坑



漢陽に於ける製鐵所と漢口

尋常小學地理書卷二より

から供給を仰いでゐる始末である。

【漢陽にある製鐵所と漢口】(挿繪)

漢陽と漢口とは漢江といふ揚子江の支流を隔て、相對し、更に揚子江南岸の武昌と共に鼎足の狀を呈してゐる。

(イ) 漢口の一部。

(ロ) 漢江。水は右の方へ流れる。

(ハ) これが製鐵所で漢陽鐵廠と云ひ、漢冶萍煤鐵公司の經營である。

【交通が便利】

支那平野は北部と南部とで交通の状態が大に異なる。北部は主として陸路が発達し、不完全ではあるが、道路は縦横に通じ、轎や一輪車や馬車の類が澤山用ひられてゐるが、水路はあまり利用されない。黄河は部分的に小帆船が通ふのみである。(八八頁挿繪参照)
南部は一般に水路がよく発達し、揚子江の本支流は勿論、人工の運河も非常に多いが、陸路は却つて不便である。かく北部は陸路、南部は水路を主とするので、古來南船北馬の語がある。

【大部分は船が通り】

揚子江の本支流中汽船の可航延長三千九百五十軒、小汽船の可航延長五千六百軒、帆船の可航延長一萬一千二百軒に及び、實に全國可航水路總延長の六割を占めてゐる。

【揚子江の上流】(挿繪)

これは名高い三峡の險の一部である。四川盆地から湖廣平野に出るまでの間、石灰岩と砂岩とを交互に貫き、石灰岩の部は兩岸絶壁をなして水深く、砂岩の部では谷が開けて

淺瀬となる。約二百軒の間、舟行は危険だが、風景のよい水路が続いてゐる。

【水陸交通の要地】

漢口は航洋汽船の航極點で、これから上流は淺吃水の河用汽船でなくては廻れない。又地形上湖廣盆地の中心になつてゐるので、盆地内の豊富な物産を集散するため、水路が各方面に通じてその大中心となつてゐるのである。(九〇頁挿繪参照)



尋常小學地理書卷二より



尋常小學地理書卷二より

への鐵道に北寧線と命名した。然るに滿洲が獨立して、山海關以北は奉山線と稱せられ、今では國境の山海關で連絡する様になつてゐる。

【天津の日本居留地】(挿繪)

各國居留地と支那街との中央にあつて最も通商上よい位置にある。圖はその中心街たる旭町で、實に堂々たる店舗が並んでゐる。

(イ) 日本領事館。 (ロ) 某雜貨店。

上海は航洋大汽船の入港する港であるから、洋上と内陸水路との接続點として極めて重要な地位にある。又鐵道も三方に通じてゐる。附近には無數の小運河が蛛網狀に通じてゐる。上海は揚子江岸にはなくて、支流の黃浦江岸にあるのだから注意を要する。(九〇頁挿繪参照)

【鐵道の幹線】

主な鐵道が悉く南北に通ずるのは珍らしい現象である。世界の大鐵道は凡て東西に延びる傾向があつて、シベリヤ・北米・印度・濠洲等皆然りであるが、支那とアフリカのみは例外である。

支那には南北の方向に水路が無く、川は悉く東に流れ、海岸は比較的出入が少なくて良港を缺き、沿岸航路が発達しない。そこで自然的交通路を補ふために南北の方向に鐵道が発達したわけで、大運河の如きも同様の意味に解することが出来る。併し貨物の動きは東西の方向に多いのであるから、將來は東西方向の鐵道も大に發達するであらう。

【北寧線】

支那では奉天省を遼寧省と云つてゐるので、北平から遼寧

【膠濟線】

本線は青島・濟南間三九六軒、支線博山線三七軒。この線は元來ドイツが敷設したもので、一九〇三年六月に竣工したが、一九一四年の日獨戰の結果一時日本の管理に歸し、その後これを支那に還付すると同時に借款契約を結んだので、つまりわが國の投資鐵道である。

この線は資源の多い山東省を横斷して青島の良港に通ずるものであるから、産業上最も重要な線路である。目下一日二回の直通列車を運轉し、石炭・大豆・豆粕・落花生・雜質等を運搬してゐる。

【青島】 挿繪

元ドイツの租借地であつたのを、日本が占領して數年間經營してゐるが、後に支那に還附したのである。

この圖は市の東南にある八幡山頂上から西を眺めた光景である。

- (イ) 南北に通ずる大街で、元大村町と云つてゐた。
- (ロ) 東西に通ずる大街で、濱松通りと云つてゐたもの。
- (ハ) 青島驛。

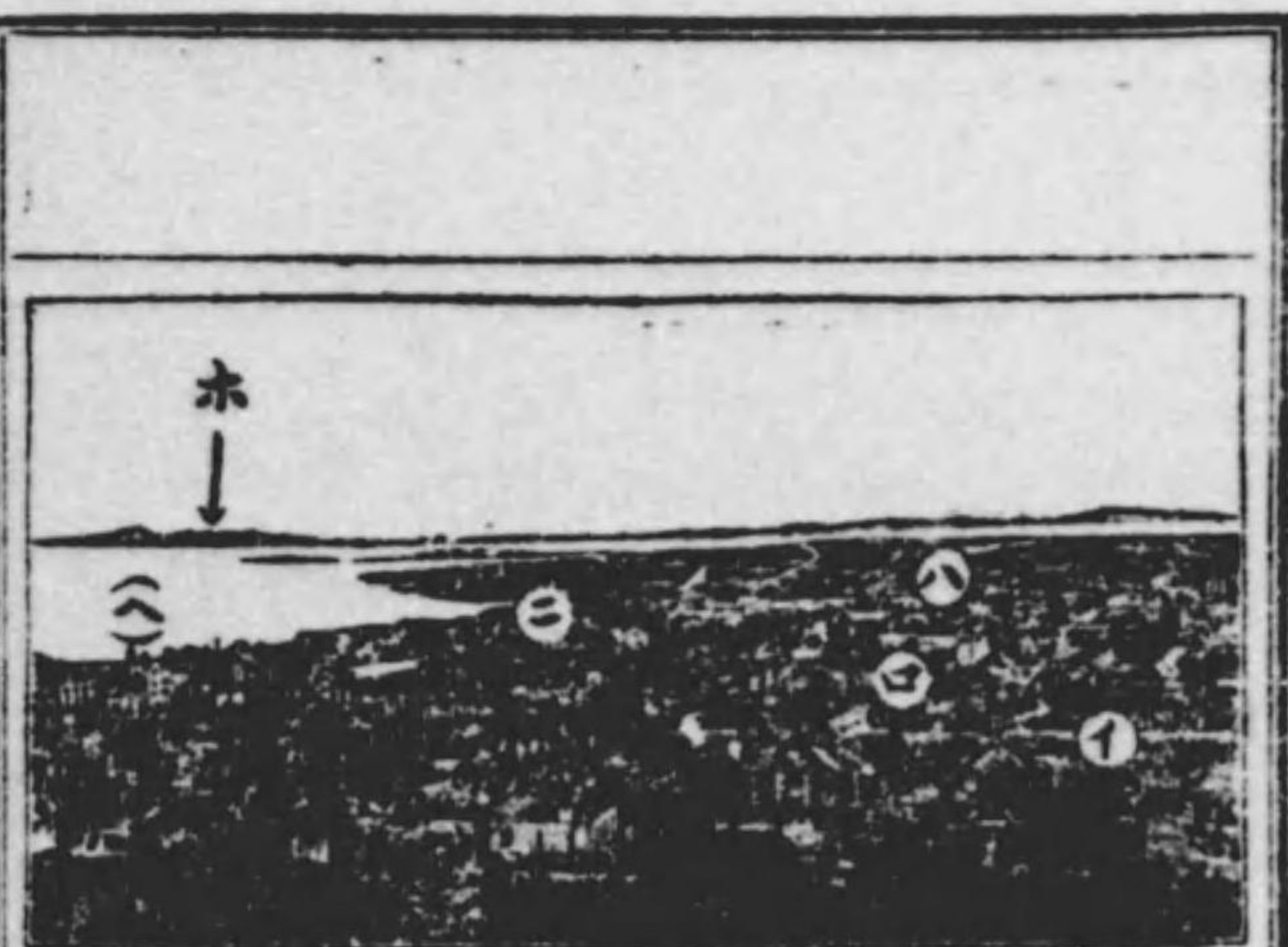
(ニ) 埠頭。

(ホ) 對岸の海西半島。

(ヘ) 膠州灣。

【海岸線の出入】

「支那本部は」と云つても、海岸線の出入の少いのは主として揚子江口から北で、揚子江から南は随分海岸の出入が多く、島も亦澤山あつてわが瀬戸内海に似た景觀を呈する部分がある。随つて又自然の良港も決して乏しくないが、た



線は北寧線の要驛天津に起り、南の方揚子江下流の浦口に至つてその對岸の南京から上海に至る鐵道と連絡を保つてゐる。
この外の主な鐵道は膠濟線、膠州灣沿岸の青島に起り、濟南に至つて津浦線に連絡してゐる。
支那本部は海岸線の出入が少く、良港に乏しい海岸の主な港

尋常小學地理書卷二より

後背地が狭い等のために發達しないのである。

北部の海岸は山東半島以外は概ね低平な砂濱で、遠淺となつて葦の生えてゐる所などは、どこが海岸線であるかわからぬ様な處もある。

【川を利用した港】

川を利用した港として、わが國には新潟・伏木などの例があるが、勿論支那のものとは比較にならぬ。支那の川は日本の入海ともいふべき大きさで、或支那人は瀬戸内海を川だと思つたといふ挿話もある位であるから、川口から随分遡つた處に立派な港が出來てゐるのである。

たゞ支那の川水は一般に甚しい濁水であるから、わが國の港とは又自ら景觀を異にするものがある。

【上海・香港の二港】

港名	輸出	輸入	合計	世界各港中の順位
神戸	百五〇	百五〇	百五〇	第六位
横濱	五〇〇	四六六	九六六	第八位
香港	二八三	三三九	六二二	第十二位
上海	二二七	四〇九	五三六	第十七位

アジヤ洲 支那

尋常小學地理書卷二より

として北部の青島南部の香港の二港があるばかりである。しかし川を利用した港には天津上海漢口廣東等の諸港があつて共に海上交通の要地となつてゐる。中でも上海香港の二港は我が横濱神戸の二港と共に本洲の太平洋方面に於ける交通及び貿易の大中心地となつてゐる。

蒙古は支那本部の北部に位す

太平洋岸ではこの外にシンガポールが神戸に次で第七位、大阪が第十位である外にはあまり盛な港は無い。天津や廣東はずつと貿易額が少いのである。

【廣東】 (挿繪)

珠口の河口から汽船で六七時間遡つた處にある。この圖は大新公司といふ百貨店十二階の窓から眺めたものである。
(イ) 沙面と稱する外人居留地、日本人もこゝに多い。
(ロ) 對岸芳村方面。(ハ) 南岸にある河南の街。

【概ね沙漠】

蒙古は高原であつて且海から遠いので雨が少く、ために多くは沙漠又は半沙漠となつてゐる。半沙漠といふのは一年の或時期には草の生えてゐるもので、勿論沙漠と云つても時には雨が降つて草の少し位生えることもあるから、その間に判然たる區別は無い。こゝに不毛の荒地と云つたのは或はかゝる半沙漠を指したものとと思はれる。

【ゴビ沙漠と隊商】 (挿繪)

ゴビ沙漠は所々に半沙漠を交へてゐる。これを旅行する商人は隊伍を組み駱駝に乗つて行く。そして部落に到着しては土人と物品の賣買交換を行ふのである。支那本部から茶をもつて行くものが多い。蒙古人は非常に茶を好むからである。

前景に波の如く見えるものは砂丘である。

【水草を追ふて轉住】

通例冬は一所に定住してゐるが、夏になると若草を求めて所々に轉住し、天幕の家に住んで家畜の番をする。

主に馬や羊を飼つてゐるが、それは彼等自身の需要を充し

得るのみで、他に賣り出すほどの物産は無い。たゞ茶などと交換するために多少の羊毛を提供する。

【蒙古人の住家】 (挿繪)

これは冬の住居である。楊柳の枝を編んで骨組とし、草で屋根を葺いてゐる。前に立つてゐるのは蒙古人で、袖が長いのは寒さを防ぐためである。右の方にあるのは土で塗つたものである。こんな家が通例數戸乃至數十戸集つて部落を形成してゐる。



る廣大な高原
て中央にある
ゴビ沙漠によ
つて内蒙古外
蒙古に分たれ
てゐる。土地は
概ね沙漠か又
は不毛の荒地
て住民は多く水草を追うて轉住
し、牧畜に従事してゐる。しかし内蒙古の東部には定住
して農業を営むものが次第に増加して來た。

尋常小學地理書卷二より

【支那の影響】

日本文明が支那の影響を受けてゐることは、已に國史で學んでゐることだから簡単に復習するがよい。それと同時に日本の近世文明が支那に影響を及ぼしつゝあることも併せて説く必要があらう。實に日本は支那の開発のためには、數回の戦争までしたのみでなく、平和の時にも多大の經濟的及び精神的犠牲を拂つてゐるのである。

【商業・工業・海運業】

わが内地人の支那本部に在住するものは、商業に従事するものが最も多く、工業・交通業・公務自由業等が順次これに次ぎ、鑛業・農業・水産業に従事するものは極めて少い。商業は各地に於て行はれ、工業は上海・青島その他に於て紡績業を經營するものが多く、交通業の中では揚子江一帯の航運業に従事するものが大部分を占める。

【豆油・大豆・綿】

昭和八年の貿易額は、(單位千圓)

輸入 (我國へ)	二二三、三三三
輸出 (我國より)	二〇八、二五三
綿	一三、三三八
花	一三、三三八
採油種子	九四、六
アジヤ洲	支那

尋常小學地理書卷二より

我が國は古來支那と關係が深く、昔は我が國の文明は支那の影響を受けることが少くなかつた。しかし日清戦役以後は我が國は却つて支那の開発のためには多大の犠牲を拂つた。その結果彼我が國の關係は益々密接となり、今では我が國人の支那に在留するもの五萬餘、山東省をはじめ各地で商業工業海運業等に従事してゐる。隨つて彼我が國の交通貿易も益々發達し、彼より大豆・大豆油等を輸入し、我よりは綿織物・砂糖等を輸出してゐる。支那はアメリカ合衆國に次いで我が國の貿易の品目として主として支那と我が國が

輸入額	輸出額
二二三、三三三	二〇八、二五三

我が國の貿易品目として主として支那と我が國が

輸入額	輸出額
二二三、三三三	二〇八、二五三

植物その他	六、九三	麩	六、〇六
綿織物	二五、六〇五	精糖	六、二天
機械	四、九五	紙類	四、七六

その貿易總額は印度及び滿洲よりも少くなつてゐるから、『合衆國に次いで』とあるのは訂正を要する。又こゝに出てるグラフも昭和三年のもので、滿洲が含まれてゐるから現状とは頗る異なつたものである。

【オビ・エニセー・レナ】

オビ河はアルタイ山に發源し、河幅は中流に於て三百米から七百米に達し、深さ十一米乃至四十三米、長さは五千二百軒に及び、支流の數千二百五十餘、舟楫を通ずる處は本支流を合して一萬四千軒に及ぶ。但し水運の期は四月下旬から十一月上旬までで、その餘は氷結する。夏には漁業が盛に行はれる。

エニセー河は北蒙古に發源し、全長五千二百軒、河口は幅六十軒にも及ぶが、殆んど三百日間氷結してゐるから水運の便は少い。

支流の上流には所々に砂金を産する。

レナ川は長さ四千六百軒、河口は十數派に分れて廣い三角洲を作る。下流は夏と雖も氷結して融けない。中流は船を通じ又魚類を産する。

【凍原ととなかい】 (挿繪)

圖はシベリヤの凍原の景觀である。滿目蕭條たる中に僅かに馴鹿の群を見るのみである。

凍原は大體北緯六十五度以北の地で、河岸地方では地下二

百米まで凍結して居る。夏は表面一米位融解し、各種の苔類や雜草等が生じ、水禽や馴鹿が群集するが、冬は凡ての動物が森林地帯に逃げ去る。馴鹿は鹿に似て四肢短かく、雌雄共に長大な角を有する。主として苔類を食とするから極北の地で飼養するに適して居る。主に樺を曳かせるが又肉を食し乳を飲み皮を衣服の原料とする。歐亞の北部にのみ住むが近頃北米の方へも移された。



尋常小學地理書卷二より

【最も深い湖】

バイカル湖は長さ六百五十軒、幅百軒、周圍二千二百軒に及び、アジヤ州の淡水湖中第一の大湖で、且つその深さは千五百二十三米に達し、世界最深の湖と稱せられる。

これは大斷層に沿ふて出來た湖で、アフリカのタンガンイカ湖と形も深さも非常によく似てゐる。

【森林地】

北緯六十五度から五十五度の邊までを森林帯といふ。松・樺・樅・落葉松等が密生し、夏は炎熱で蒸し暑く無数の蚊虻人畜を害し、冬は零下四五十度に降り、四方寂として極度の靜穩を保ち、野鹿は千百群をなし肩背相摩して暖を取る。

【南部の平地】

これはオビ川上流の地方を指したものであらうから『南部』は南西部と訂正した方がよい。

【ウラチボストツク港】 (挿繪)

浦鹽斯德は金角港に臨んで居る、金角港は西の方をアムールスキー半島に限られ、南にムラビヨフ半島があつて、その間にへの字形に入り込み、幅約四軒、長さ十數軒に達す



川の上流にあるバイカル湖は世界で最も深い湖である。シベリヤの北部は一年中大てい凍結してゐる凍原中部は一帯の森林地帯、いづれもまだ開けない。しかし南部の平地の部分は地味肥えて、夏の氣温が割合に高いから、移民が次第に増加して、小麦の耕作、牛羊の牧畜が盛となり、都市も處々に出來てゐる。又南部の山地には金銀等の礦産物が少く

る良港で、四五千噸の汽船六十隻を泊し得る。圖はムラビヨフ半島から埠頭の附近を見たもので、後方には直ちに丘陵があるので、市街は階段狀に建設されてゐること長崎などに似て居る。港の東半分は軍港になつて居るがこの圖では右の方に逸して見えない。この地の缺點は氣候のよくないことで、夏は雨が多く、冬は十二月から翌年四月まで結氷するので、碎氷船もあるけれども事實上交通杜絶の状態となる。

【我が國から出漁】

オホーツク海沿岸に日本人の出漁する権利は、最初日露戦後の講和條約によつて定められ、その後ロシアに革命があつて無條約國となつたが、更に改めてソヴィエト政府と條約を結んだ。併し近年兎角日本人の権利を無視する行動があるもので、年々むづかしい問題が起るの遺憾である。

年次	經營漁區	汽船	帆船	漁獲高	漁獲蟹尾數
大正一一	二七三	一四	一三	六〇	—
昭和二	二四八	二五	三三	二六六	八、五八
同 六	二七	一三	一〇	三〇五	四、三九

この表によつて見ると汽船が増加して帆船は減少し、漁獲高は寧ろ減少の傾向がある。大體昭和四五年頃が頂上で、露人進出のため次第に不振の傾向が著しい。

【定期航路】

敦賀・浦鹽間の定期船は毎週一回で、土曜日の午後四時に敦賀を出帆して月曜日の午前十時に浦鹽に着し、水曜日の正午に浦鹽を出て金曜日の午後六時に敦賀に歸る。即ち片道四十二時間である。

【シベリヤの鐵道の幹線】

ウスリ線||ウラヂポストック・ハバロフスク間。
黒龍江線||ハバロフスク・クエンガ間。
外バイカル線||クエンガ・イルクーツク間。
シベリヤ線||イルクーツク・チェリヤピンスク間。
古くは右の四線を總稱してシベリヤ鐵道と云つて居た。
ウラヂポストックの北方ニコリスクから支線を出してポグ
ラニチナヤで東支線に接続し、ハルビン・滿洲里を経てカ
リムスカヤで本線に合する。
ヨーロッパに入ればモスコ・ワルソー・ベルリン等を経
てパリに至る幹線と連絡する。

【ノボシビルスク】

舊名ノボニコライエフスクと云ひ、オビ川の右岸に位しシ
ベリヤ鐵道に沿ひ、更にアルタイ鐵道の起點ともなつてゐ
るので水陸交通の焦點となり、近時急激に發達しつゝある
都市である。

この地名が附圖に乗せてないのは不都合である。トムスク
の南西、鐵道の分岐點と指示するがよい。

【イルクーツク】(挿繪)

バイカル湖から六十軒、アンガラ河の右岸に位する都會で、
人口約十萬、交通上の要地で毛皮・象牙・貴金屬・茶・絹
布等の取引が盛である。

圖中の高い塔はお寺であつて、ロシア都市の特徴である。
家は悉く木造で、丸太又は角材を積み重ねて壁とし、窓を
二重ガラスにして寒氣を防いで居る。森林地帯に近く材木
が多いからかゝる建築が發達したのである。



ある、我が敦賀との間に定期航路が開かれてゐる。この

ない。
太平洋方面の近海は世界の
大漁場として名高い處で、夏
季には我が國から出漁する
ものが甚だ多く、さげすみた
らばにの産額が多い。又沿海
の川からはさげすまがたく
さんとれる。
ウラヂポストックは日本海に
臨む港で、シベリヤの門戸で
定期航路が開かれてゐる。この

地を起點とするシベリヤの鐵道の幹線は、世界の鐵道
の幹線の一部であつて、東支鐵道と連絡し、シベリヤの
南都を通つてヨーロッパの鐵道に接続する。又東支鐵道
によつて我が滿洲鐵道とも連絡してゐる。
シベリヤの鐵道の幹線に沿つてイルクーツク・ノボシ
ビルスク・オムスク等の都會がある。
印度はイギリスの領地の中で最も重要な國であつて、
ヒマラヤ山脈の南に位し、我が國に比べて面積は五倍
以上もあるが、人口は約四倍である。首府デリーはガン
ジス川の上流の地方にある。

【面積・人口】

面積は約四百六十七萬方軒。但しこれは印度帝國の面積で
あるから、東はビルマ、西はベルチスタンを含み、又セイ
ロン島は除いてある。故にビルマとベルチスタンとを除い
て地理上の印度の面積は約三百七十萬方軒となり、わが國
の約五倍半となる。

人口は帝國全體で三億二千萬、半島だけで三億五百萬、故
にわが國の三倍七分餘。

【熱帯性の氣候】

熱帯性の氣候と云へば暑熱の甚しいのは勿論であるが、雨の降り方によつて又種々の相違があつて、年中雨の多い氣候もあれば雨の極めて少い氣候もあり、又一年が雨季と乾季に分れた地方もある。印度は即ちその後者で、六月から九月までは雨季、十月から五月までは乾季である。カルカッタの年平均温度は二十五度九分、最も暑い四月の平均は二十九度八分である。故に外國人などは到底堪へ切らないで、氣候の冷涼な山地に避暑するのを常とする。

【印度に於ける綿の採集】 (挿繪)

【茶摘】 (挿繪)

アッサム地方に於ける茶摘みの状況で、土人の女が背に籠を負つて、茶を摘んでは籠の中に入れてゐる。頭には布を被つてる。(中に被らないのが一人居る) 中央に洋服の男が居るのは監督者である。

この地方は土質も氣候も茶に適してゐるが、その發達は主として英人の努力によるもので、労働者は土人であるが、經營指導者は凡て英人がこれに當つてゐる。

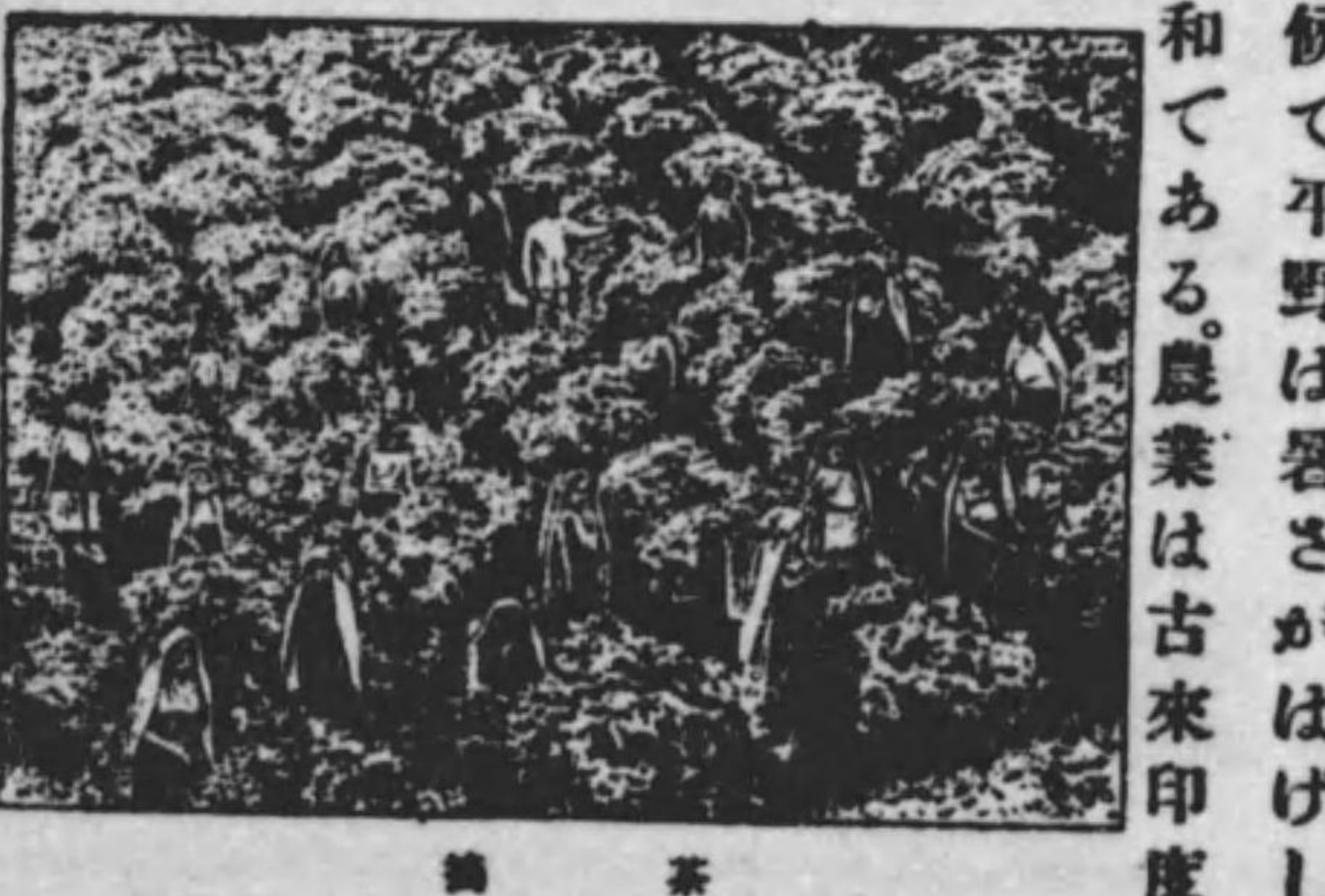
【ジュート麻】

ジュート麻は又黄麻と云ひ、熱帯原産の一年草で各地に栽培せられるが印度が最も名高い。莖から採取した纖維で綱・繩・草履裏・粗布・帆布等を製し、又製紙の原料ともする。俗にズックと稱する黄色の布はこれである。

【茶】

茶は世界第一の産地でアッサム地方は最も盛である。これは土地が高く排水がよく、而も雨量が非常に多いので茶の栽培に適してゐるからである。

印度の大部分は熱帯性の氣候で、平野は暑さがはげしいが、山地は一般に氣候が温和である。農業は古來印度第一の産業で住民の大部分はこれに従事してゐる。米小麦綿ジュート麻茶はたうきび等の農産物が甚だ多い。これ等の農産物は印度の主な輸出品となつてゐる。又牛や羊



尋常小學地理書卷二より

【カルカッタとボンベ】

甲谷陀はガンガ河分流のフーグリ河に沿ひ、河口から百三十軒にある港で人口百三十萬餘、實に印度第一の大都會である。

海からあまりに離れてゐると、途中に淺瀬があるのであまり理想的の港ではないけれども、印度の東岸にはこことマドラスの外には良港がなく、殊に住民の最も多いインド平原の門戸としてはこゝより外に無いのであるから、ために今日の盛大を來すに至つた。主要輸出品は麻・穀類・皮類等で、主な輸入品は綿布その他の加工品である。

孟買は西岸第一の良港で、廣いデカン高原を背域とする大貿易港である。綿の大集散地で日本人が多くその取引に従事して居る。

氣候は良好で暑すぎることなく、年中單衣一枚で通せる所である。カルカッタの様に雨季に避暑に出掛ける等の必要がない。

【カルカッタ港】 (挿繪)

我が國への輸入品

品名	数量	備考
麻
...

の飼養も盛で牛皮の産額が多い。礦産物では石炭鐵の産額が多い。カルカッタとボンベとは印度の東西の門戸で、交通や貿易が盛である上に、共に紡績業織物業が盛である。カルカッタからはジュート麻茶等、ボンベからは綿小麦等の輸出が多い。セイロン島のコロンボはヨーロッパ。



尋常小學地理書卷二より

圖はカルカッタの埠頭から河を距て、對岸のハウラーの町を望んだ處である。外洋航行の巨船が多數繫留して居る。(イ)馬車鐵道、市内交通機關。(ロ)パトナ方面に向ふ鐵橋。(ハ)ハウラーの市街。

【紡績業】 綿の産地に近いので近年大に盛になつたのは當然であるが日本の製品が賣れなくなるのは遺憾である。

【海上の交通の要路】

ヨーロッパとアジアとの海上交通は印度洋を経ること勿論であるが、印度洋では東の出口シンガポールと西の出口アデンとの中央に、都合よく突出したセーロン島があつてそこにコロンボの港が出来てゐる。實にコロンボは印度洋を通過する船にとつて最も適當な休み場であり、寄り道する必要のない都合のよい位置に存在するのである。

【我が國の汽船】

わが汽船の印度航路は、カルカッタ線、横濱・カルカッタ間、ボンベイ線、横濱からボンベイを経てカラチまで。尙歐洲航路の船は必ずコロンボに寄航する。

【ゴム液の採集】 (挿繪)

これはマレー半島にある南亞公司のゴム園に於て、ゴム液を採集してゐる模様である。南洋のゴムはブラジルの様な天然ゴムでなくて、凡て人工で植え付けてゐるのであるから、一定の大きさのゴムの木が規則正しく間隔を置いて一直線に植はつてゐる。

(イ)樹皮に肋骨形の切り傷を付けると、それから樹液が流れて出るので、亞鉛製の小さい筥によつてこれを茶碗に受けてゐる。

(ロ)これをバケツに集めて廻つてゐる。通例一日に一回集めて廻ることになつてゐる。集めたゴム液は白い乳の様な液で、これを濾過して大きな甕に入れ醋酸を加へて凝固させる。これを更に精製して種々の用に供するのである。



ゴムの採集の様子

尋常小學地理書卷二より

【山地が南北に連り】

印度支那半島には數條の山脈が南北に並行して走つてゐるこれを總稱して印度支那山系といふ。その山脈と山脈との間には深い谷があつて、それら大きな川を有し、扇の骨を擱げた様に南に向つて流れてゐる。ソンコイ・メコン・メナム・サルウイン・イラワヂ等の諸川がそれである。谷が南北に通じてゐるために古來支那との關係が深い。その人種も多く支那系統のものが入り交つてゐるし、今日も支那人の在住するものが頗る多い。印度はヒマラヤ山脈が東西に亘つて支那との間を全く遮断してゐるが、印度支那は全くこれに反してゐる。『印度支那』といふ名からして支那に關係の深いことを示してゐるのは面白いことである。

【米の産額】

この地方の平野は米を多く産する。その理由は、
一、土地がよく肥えてゐる。毎年洪水があつて泥土を沈澱するので無肥料でいくらでも出来る。
二、雨が多いので充分に灌漑することが出来る。
三、氣温が高くて最も米作に適する、通例一年に二回づつ、

アジア 東南アジア

尋常小學地理書卷二より

等を輸入し、我が國からは綿織物絹織物綿絲等を輸出する。

五 東南アジア

印度支那半島及びマレー諸島を東南アジアといふ。印度支那半島は大體山地が南北に連なり、主な川はその間に深い谷をつくつて南流してゐる。これ等の川の下流の沿岸には平地があつて米の産額が多い。米はイギリス領のラングーン、シム、の首府バンコク、フランス領のサイゴン等の諸港から輸出され我が國へ來る額も少くない。マレー半島はゴムの木の栽培が盛で、こゝに在留して

收穫する。

【我が國へ來る額】

外米の輸入は昭和二年が頂上でそれ以後年々減少し、今では極めて少量になつてゐる。それは臺灣や朝鮮の産額が増加して、少し豊作の年は忽ち供給過剰となり、價格が暴落して政府も始末に困るほどだからである。併し麥酒用・工業用・飼料用等特別の用途にあてため、年々百萬石位は必ず輸入される。

【我が國人も多く之に従事】

マレー半島に於けるゴム栽培は、日本の南洋に於ける投資事業の一として頗る重要なもので、ジョホール・シンガポール・馬來聯邦等各地に經營され殊にジョホールに多い。藤田男爵・古河鑛業會社・森村男爵・三井合名會社・三五公司等は主な經營者で、總面積は三萬ヘクタール以上だらうと云はれる。

【錫及び鐵鑛】

錫はマレー半島のペラク・セランゴール等を主産地とし、昭和三年に五百三十萬圓を輸入、鐵鑛は同半島のジョホール・トレンガヌから九百萬圓を輸入してゐる。

【やしの木】 (挿繪)

圖はココヤシの林である。ココヤシは椰子類中最も重要なもので、高さ五十尺に及ぶ。材は建築及び器具材に、葉は屋根や敷物に、未熟の實の中の汁液は飲料とし、熟して固まつたものは乾してコブラとする。

【やしの實】 (挿繪)

右は果實の全形、左は斷面である。果實の外には棕櫚の

毛の様なものを被つて居るのでこれを探つて綱具などをつくる。

- (イ) 芽
- (ロ) 内果皮の部であつて極めて堅いから食器等に作られる、わが國で花活けなどに用ゐるのもこの部である
- (ハ) 胚乳であつて多量の油を含む。これを乾したものがコブラで、油を搾つて石鹼や蠟燭を製し、搾粕は家畜の飼料とする。

ある我が國人も多くこれに従事してゐる。又錫及び鐵鑛の産額が多く共に我が國へも多量に送られる。半島の南端に近いイギリス領のシンガポールは世界交通上の要地であつて、各國の船舶の出入が多く貿易が頗る盛である。

マレー諸島ではさたらうきびゴムマニラ麻やし等の栽培が盛に行はれてゐる。

中でもオランダ領のジャバは世界の砂糖の主産地である。




尋常小學地理書卷二より

【石油】

スマトラ島には北部と南部とに油田がある。又ボルネオ島の東部にもタラカン島その他有名な油田がある。タラカン島は南北三十軒、東西十二軒ばかりの小さい島であるが、全島悉く石油に浮んでゐると云つてもよく、數百の井戸から一ケ年に百五十萬噸を産してゐる。わが海軍はこゝから年々五萬噸の重油を買入れる契約を結んで、軍艦の燃料に供してゐる。

【マニラ麻の乾場】 (挿繪)

蒸餾たる椰子樹の下に竿を横へて打ちかけてあるのがマニラ麻の纖維である。

マニラ麻は芭蕉の一種であつて麻の類ではない。原名をアパカと云ふがその纖維をマニラから多く輸出するのでこの名を得た。その莖の纖維を採るのであつて琉球の芭蕉布を得る芭蕉とよく似て居る。


纖維は非常に強靱であるから艦船用の綱とし又は粗布を織り或は眞田に組んで帽子に製し、又紙の原料ともする。學校にある綱引用の綱は大抵マニラ麻である。又女生徒の帽

尋常小學地理書卷二より

産地である。又ジャバ島の北にあるボルネオ島と北西にあるスマトラ島からは石油を出す。石油と砂糖とは共に我が國へもたくさん輸入される。

アメリカ合衆國領のフィリピン群島からはマニラ麻やコブラが多く輸出される。

マレー諸島は近年我が國人の渡航するものが次第に多くなり、



我が國が輸入されるもの (等三級品) 總量千七百餘人輸送

【我が國人の渡航……】

近年南洋方面への渡航者が激増した。昭和六年中の渡航者フィリピンへ千百、蘭領東印度へ四百で歸國者は一人も無い。昭和六年十月一日の現在、

フィリピン群島

一萬九千七百

蘭領東印度

六千八百

【彼我の貿易】

南洋方面はわが國にとつて最も重要な市場で、殊に昭和七
年下半期以來爲替安に乗じてわが商品は雪崩の如くに進出
して行つた。ために蘭領印度に於ては昭和七年にはわが國
からの輸出はオランダ本國を追ひ越して首位を占むるに至
り、昭和八年には更に激増して前年に五割を増加すること
となつた。ためにオランダでは輸入制限について我が國と
交渉を開始した。

尙フィリピンへの輸出も激増した。これ等は何れも綿織物、
絹及び人絹織物、並に各種雜貨の飛躍によるものである。

【半島状の大陸】

ヨーロッパはアジア洲の一大半島に過ぎず、面積も小であ
るからこれを獨立の大陸と呼ぶことは地形上からは意味を
なさない。故にアジアに加へてユーラジヤと呼ぶこともあ
る。たゞ人文上から云へば強國が澤山あるから、その意味
から大陸と呼ぶことになつて居る。

【面積・人口】

ヨーロッパの面積は九百五十萬方呎、アジア洲は四千二百

【我が國に及ばない……】

彼の本國のみと比較するならば日本も本國のみを以て比較
すべきであらう。下駄を穿いた人間と跣足の人間と並べて
背丈を比べる様なものである。但しこの書物では日本の植
民地なるものは認めてゐない。(一七六頁参照)

國名	本國		屬領	
	面積 千方呎	人口 千人	面積 千方呎	人口 千人
日本	三三三	五、七三六	二九二	二三、七六九
佛國	五五五	四、七三三	一〇、三〇〇	五、四、〇〇〇

即ち佛國のみはその面積が日本よりも遙かに大であるのだ
からこの點特に注意しなくてはならぬ。

【主要國】

日・英・米・佛・伊を以て五大國とすることは、世界大戰
の講和談判の頃から定まつたことで、獨逸との平和條約の
冒頭にこれ等五國を以て『主たる同盟及び聯合國』と記し
たのでも明かである。併し五大國と同等又はこれに次ぐ強
國としてドイツとロシアとを擧ぐべきであらう。

【アルプ山脈中の高峰】(挿繪)

ヨーロッパ

萬方呎となつてゐるから、四分の一よりもすつと少い。こ
れは列國國勢年鑑によつたのであるが、理科年表によると
アジアは四千四百三十一萬方呎、ヨーロッパは九百九十一
萬方呎となつてゐる。
人口はアジア洲十一億二千四百萬、ヨーロッパ洲四億八千
五百萬で二分の一よりすつと少い。人口密度はアジア洲二
十七人、ヨーロッパ洲五十一人となり、他の大陸は何れも
十人以下である。

その事業も漸く發展し又我が國の汽船はマニラ・シン
ガポール・パタヤ・スラバヤ等の諸港に定期に往來し
てゐるので、彼我の貿易も漸次に發達して来た。

第九 ヨーロッパ洲(歐羅巴洲)

ヨーロッパ洲はアジア洲の北西に連なつてゐる半島状
の大陸で、北には北極海、西には大西洋をひかへ、南は地
中海を隔ててアフリカ洲と相對してゐる。面積はアジ
ヤ洲の四分の一にも足りないが、人口は凡そ二分の一
で、人口密度はすべての大陸中で最も大きい。
本洲はイギリス・フランス・ドイツ・イタリア・ロシア・オラ

尋常小學地理書卷二より

ンダ・ベルギー・イスパニ
ヤ・ポルトガル等大小三
十餘國に分れてゐる。イ
ギリス・フランス・イタリ
ヤはその本國の面積と
人口に於ては我が國に
及ばないけれども、いづ
れも世界の主要國の一
で、他の大陸に廣い領地
をもつてゐる。中でもイ
ギリスはその領地の面



尋常小學地理書卷二より

積はスイス國の中央にあるツーン湖の北岸なるセンピーテ
ンブルグから東南にユングフラウ山を眺めた景色である。
(イ) ツーン湖。

(ロ) ユングフラウの頂上、海拔四一六六米で富士山より
すつと高い。頂上附近は氷河に蔽はれてゐる。その尖つた
峰はホーンと稱せられ、わが國で鎗・劍など云ふに等しい高
山特有の形である。(尋五地理五四頁参照)

(ハ) 板屋根に石を乗せた所は我國にも見られる一形式。

【あまたの山脈】

アルプ山脈以外の主なる山脈は、西にピレネ。南にアペニン・チナルアルプ。東にカルパチヤ。

これ等は何れも交通上の障害となつてはゐるが、その最も甚しいのはピレネー山脈で、アルプの如きは高峻ではあるが谷が深いので、脈中所々に峠があるし、殊に氷河があつて夏も涼しく且つ風景がよいので、各地から登山するものが非常に多く、この山脈中に國をなすスイスはヨーロッパの公園と稱せられて居る。

【一般に流が……】

- 1 ヨーロッパの川の特徴は、
 - 1 長くて流れがゆるやかなこと。
 - 2 支流が多く本流と直角に交ること。
 - 3 水量が多いこと。
 - 4 河口は打開けて港となつたものが多い。
- 右の中(1)(2)は地形の低平なため、(3)は雨量の多いため、(4)は土地が沈降しつゝあるためである。

【運輸・灌漑】

「灌漑の便が多い」とあるけれども、ヨーロッパの農業は日本などとは違つて畑作物ばかりであるから、川水を引いて灌漑するといふことはあまり盛ではない。又ヨーロッパは相當に雨もあるから、沙漠地方の様に灌漑の必要が大では無いのである。この點誤解させぬ様に注意を要す。

【暖流の影響】

ヨーロッパは概して高緯度にある。即ちイタリヤの南部は奥羽地方、フランスは北海道やカラフト、イギリスはカムチャツカ半島と同緯度にあるので、アジア洲に比べたら餘程寒くなくてはならぬ筈であるのに、英・佛の氣候もわが四國・九州と大差がないのは、全く暖流の影響によるものと考へられる。

ヨーロッパ大陸の西方を北流する暖流はメキシコ灣流（略して單に灣流とも云ふ）と稱し、北米のメキシコ灣から流れて来てスカンヂナビヤ半島の北方に向ふので、これがあるがために大陸の北端でさへも海水が凍らない。

【番菜畑と甜菜】（挿繪）

【中部ヨーロッパの可航河川及び運河】（挿圖）


ヨーロッパの川は分水界が一般に低いので、よく上流まで舟楫を通ずるのみならず、二河の上流を連絡する運河を開鑿することも容易であるので、殆んど全部の河が一河系をなして居る。たゞ全く別の系統になつて居るのはイタリヤとイベリヤ半島とスカンヂナビヤ半島だけである。故に裏海・黒海・白海・バルチック海・北海・大西洋の各海悉く連絡されて相互に舟で往來が出来るのである。



本洲の南部及び南西部はアルプ山脈をはじめあまたの山脈があつて平地が少く、北部のスカンヂナビヤ半島も亦平地が少い。しかしその他の部分は大きい大きな平地で殊に東部のロシアから中部のドイツへかけての平地は最も廣大である。この方面に多く、一般に流がゆる

緩が世界の陸地の四分の一、人口が世界の人口の四分の一に上つてゐる。

尋常小學地理書卷二より



ヤカで運輸灌漑の便が多い。その上これ等の川は運河によつて互に連絡されてゐるところが少くないので、黒海方面とバルチック海や北海方面とが川によつて航路が相通じてゐる。

ヨーロッパは西の大西洋近海を流れるメキシコ灣流と稱する暖流の影響を受けるから、アジア洲や北アメリカ洲の同緯度の地方に比べると氣候が遙かに温暖であり、

尋常小學地理書卷二より

圖はドイツの中央部ナウエン附近に於ける甜菜畑を示したもので、廣漠たる畑地に畦も作らず、雜然と植え付けて居るは所謂ドイツ式の栽培法なのである。（米國では畦をつけて規則正しく植える）

切圖は其の根の形で、大小形状様々であることがわかる。大根に似て居るから俗に砂糖大根と呼ぶけれども大根とは全く違つた植物であつて藜科に屬する。雨の多い冷地に適するので我が國では北海道東部に多く産する。（七頁参照）

【沙漠がない】

六大洲中沙漠の無いのはヨーロッパだけである。その理由は

一、區域が狭く灣入が多くて、海からひどく離れた土地の無いこと。

二、絶えず西方から風が吹いて濕氣を持つて來ること。

三、海岸に海風を遮る様な山脈がないので、濕氣がよく内

部まで入り込み得ること。
等によるものである。沙漠の成因はたゞ雨量の少いことのみよるものであることをよく教へねばならぬ。

【甜菜糖の製造】


甜菜の根を水洗して截斷器で薄く小口切りにし、鐵槽に入れ湯を注いで糖分を滲出せしめ、この液を濾過し加熱して結晶せしめるのである。純白に精製しないものは一種の臭氣があつて調味料にならない。

世界に於ける砂糖の三割五分は甜菜糖で、ドイツの産が最も多く、チエツコ・ロシヤ・ポーランド等が之に次ぐ。

【オリーブの收穫】 (挿繪)

これはイタリアのオリーブ園で今收穫をやつてゐるところである。
オリーブは木犀科の植物で葉は黄楊に似、指頭大の果實を結ぶ。この果實は鹽漬として食用に供し、又オリーブ油を採るに用ひられる。

オリーブはフランスにも栽培されるが、オリーブ油の産はイタリアとイスパニヤとが主で盛に海外に輸出せられ、食用に供せられ又粗油でマルセーユ石鹼を製する。



しかも大西洋方面から十分の濕氣をもたらすので雨量が多く、隨つて本洲には沙漠がない。
農業は廣く行はれ、東部から中部へかけては麻、中部では甜菜、ジャガイモ等がたくさんとれる。ロシヤ、ポーランドでは麻織物、ポーランド、ドイツ、フランスでは甜菜糖の製造が頗る盛である。
又地中海方面ではぶどう、オリーブ、レモンなどの栽培が盛である。フランス、イタリアではぶどう酒がたく

尋常小學地理書卷二より

【フランスのぶどう畑】 (挿繪)

佛國のシャンパーニュ洲に於ける葡萄園の様である。廣いゆるやかな丘陵地が一面の葡萄園となつて居る。今ふさ／＼とよく實つて居る様が見える。前方の人物は收穫作業をして居るものであらうが彫刻が拙いので明瞭でない。

葡萄の作り方は甲州葡萄の様な棚作りでなくて垣作りと稱するもので、高さ一二米の杭を立て並べ、針金を三段位に張り渡し、それに莖をく／＼り付けて垣の様にするのである。わが國でも近時この垣作りが所々に行はれる。(尋五地理書七七頁と比較對照せよ)

【アルプ山中の牧畜】 (挿繪)

これはスイスのアルプ山中に於ける牧畜の状況で、飼つてゐる動物は乳牛である。

こゝは山の中腹以上であるから冬は全く雪に蔽はれる。其間牧丁は谷間に下り、夏を待つて又上つて來る。夏は冷涼で柔かい草が豊富である。随つて乳の生産が非常に多く、乾酪・牛酪・煉乳及びミルクチョコレートを製する。

【バター・チーズ】

尋常小學地理書卷二より



さん製造される。
牧畜は廣く各地に行はれ、殊に羊、牛、馬の飼養が盛である。中でもロシヤでは南東部に、廣い草原がある。原から、牧畜が殊に盛であつて、皮類の製造業も發達してゐる。オランダ、デンマークでは牛の飼養が盛で、バター、チーズが多く製造され、外國にも

バター即ち牛酪は牛乳から分離せしめた脂肪の塊で、低級揮發性脂肪酸のグリセロイドを含んで居るから、他の動物性脂肪よりも消化がよい。一般に西洋の食卓には缺くべからざるものとなつて居る。近時は植物性の脂肪から製した人造バターもある。
チーズ即ち乾酪は牛乳中の乾酪素カゼインを凝結せしめたもので、蛋白質に富んだ滋養品である。製法によつて種類が甚だ多い。

【森林】

森林が中部以北に多いといふことには二つの理由がある。即ち

一、森林はやゝ氣候の寒冷な處に多いものである。樹種も寒い地方ほど軟材が多くて用途が廣い。

二、森林は人口の稀薄な地方に多い。人口が稠密になれば森林は伐り拂はれて農場又は牧場となるから。

ロシア・スエーデン・フィンランド等に森林の多いのはそのためである。ドイツにも森林が多いがこれは主として植林で、南ドイツの山地方面に多い。

【我が國へも……】

バルブは近年樺太に澤山出来る様になつて、殆ど國內の需要を充し得るに至つたけれども、尙イギリス・ドイツ・スエーデン・ノルウエー・合衆國・カナダ等の各方面から輸入せられる。その中最も多いのはカナダで六百萬圓、次でノルウエーから百五十萬圓、合衆國百三十萬圓、スエーデン百二十萬圓である。近年スエーデンが激減してノルウエーが増加した。

【ノルウエーの漁船】（挿繪）

これはノルウエーの海岸、ロフォデン諸島附近に於ける漁船集合の様様である。

ノルウエーは世界有数の漁業國で、海岸の漁港では毎朝魚の市場が立つこと、わが國に於けると同様である。漁獲高では日・米・露・支・英に次で世界第六位である。

漁船には汽船が多く又發動機を有するものも少くないが、圖の前景に見えるものは大抵帆船である。



船漁のーウケルノ

多く輸出される。又地中海方面では羊山羊の飼養が盛である。中部から北の諸國には森林が多く殊にロシア・スエーデン・フィンランド・ドイツ等には廣い森林があつて木材の産額が多い。又スエーデン・ノルウエーでは木材から盛にバルブを製造する。このバルブは我が國へも輸入される。

尋常小學地理書卷二より

【屈指の大漁場】

ノルウエーの近海から北海にかけての地方は世界三大漁場の一つに數へられる。これは主として次の原因による。

一、氣候の冷涼であること。氣候が熱いと漁業は發達し難い。それは作業も困難であるし、捕つた魚數の腐敗を防ぐにも面倒だからである。

二、海底の状況がよいこと。即ち適當に浅い海底でないと漁業は困難である。北海の中央には有名なドッガーバンクと稱する浅瀬がある。（七一頁参照）

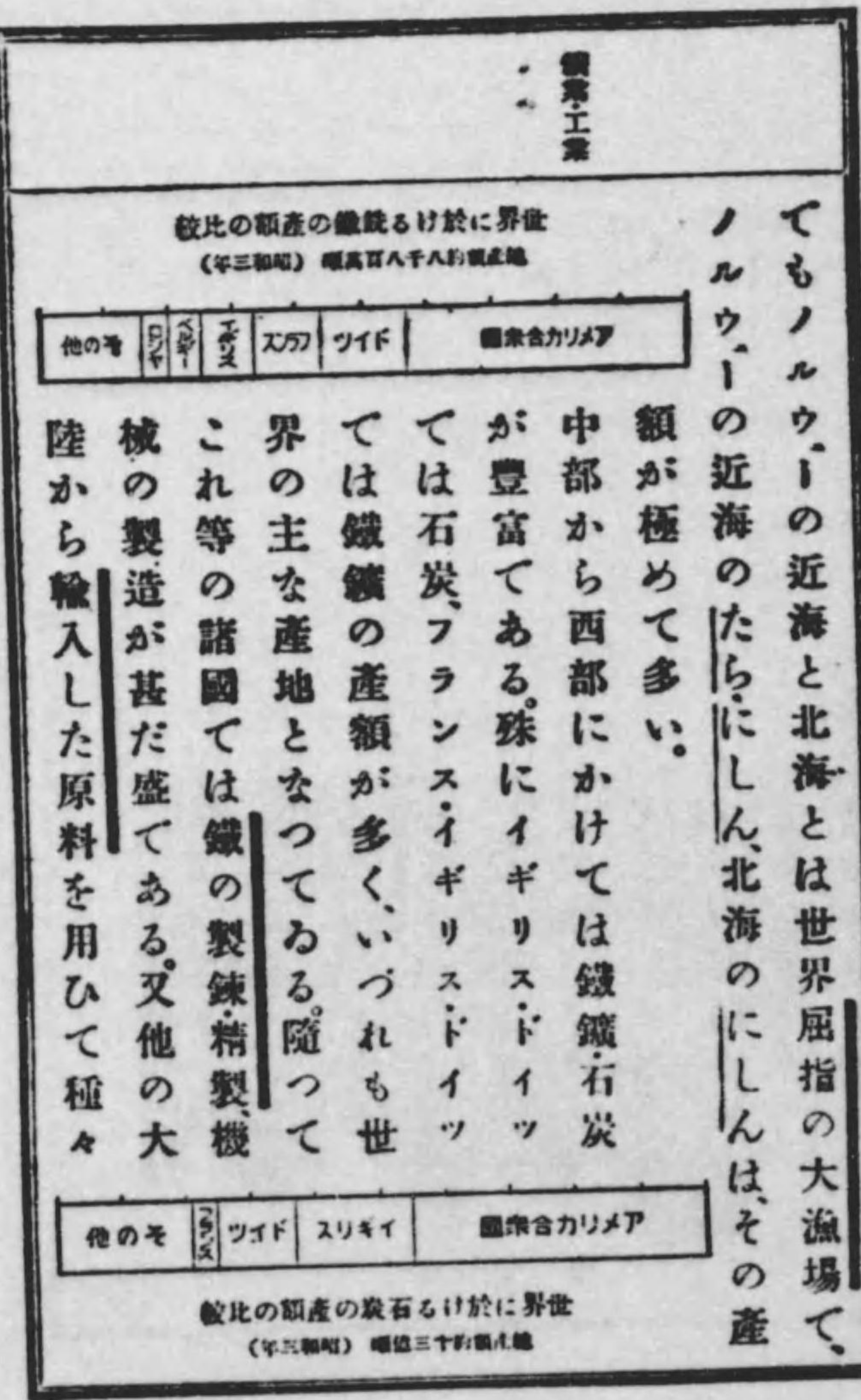
【鐵の製鍊・精製】

鐵の製鍊とは鐵礦から鉄鐵を得る作業を指したもので、鐵の精製とはこの鉄鐵から諸種の鋼鐵を得る方法を指したものである。

鉄鐵は鐵に二・三乃至四・五%の炭素を含むもので、鋼鐵の原料となる外鑄物として煖爐・竈・鍋釜・鐵瓶等に作られる。鋼鐵は鐵に少量の炭素を含有するもので、軟鋼・硬鋼の別があり、又製法によつてベセマー鋼・トーマス鋼・シーメンス鋼などがある。又タングステン・モリブデン等

ヨーロッパ

尋常小學地理書卷二より



を加へたものを高速度鋼と云ひ、硬度が頗る高いので軍器の製造に缺くべからざるものとされて居る。

【輸入した原料】

綿糸や綿織物の原料たる棉花は、主として印度・エジプト・米國等から。毛織物の原料たる羊毛は濠洲・南米等から。船と機械は鐵を原料とし、藥品は多く石炭から得るのであるから、これは原料をヨーロッパに産する。

一二七

【中部ヨーロッパに於ける石炭・鐵鑛の産地】(挿圖)

中歐・西歐の諸國は何れも鐵と石炭とを産し、殊にその兩者の産地が相接近して居るのは頗る便利のよい點である。たゞベルギーとドイツは炭田が多い割合に鐵鑛が少く、フランスは鐵鑛に對して石炭が幾分不足する。この外イスパニヤ及びスエーデンに多くの鐵鑛を産するが、兩國共に石炭を産しないので、鑛石のまゝ英國及びドイツに輸出して居る。

この圖は單に産地の擴がりを示したものであるから、これによつて産額の多少を連斷することは出來ぬ。

【各種の工業】

ベルギーに盛な工業は織物業と製鐵業とで、織物業についてはヨーロッパに於ける最先進國である。毛織と麻織を主とし熟練職工の多いこと、石炭の豊富とで將來益有望である。その他レース・硝子・敷物・人絹・化學工業品・紙等。オランダは鐵も石炭も殆ど産しないから、工業としては酪乳業を主とし、その他に陶器・土器・タイルの類・金剛石細工・織物・造船等が行はれる。

【鐵道が極めて發達……】

西ヨーロッパ諸國鐵道發達の狀況を日本と比較すると、

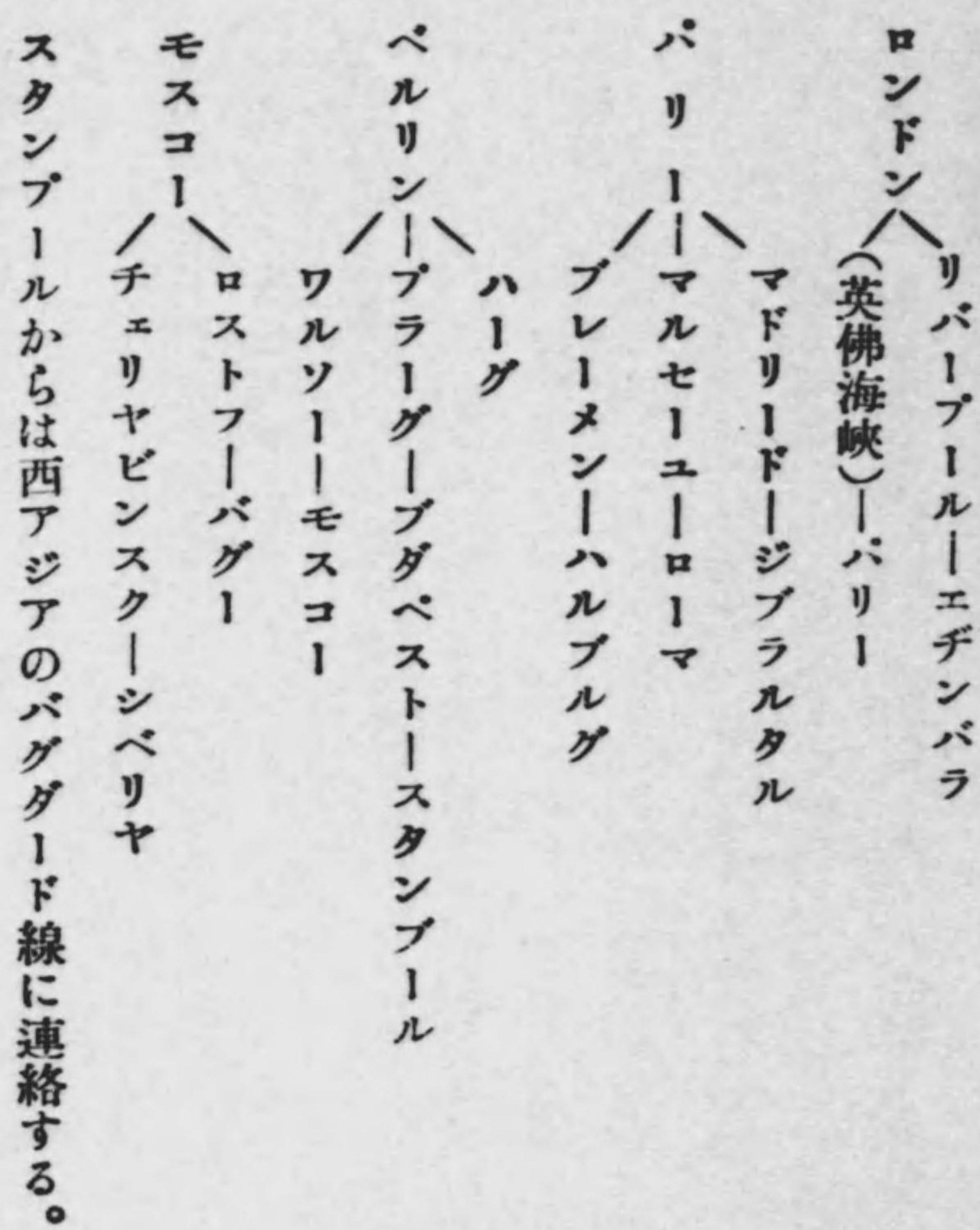
國名	全長	面積百方寸に付	人口萬に付
日本(内地)	二〇・二〇〇	五・三	三・四
ベルギー	四・七八〇	一五・七	六・一
スイス	五・八〇八	一四・一	一四・七
イギリス	三二・八一九	一〇・五	七・三
ドイツ	五八・〇八九	一二・四	九・一



の工業品を製する中ても綿織物・毛織物・船薬品機械はその産額が甚だ多く、廣く各國にも輸出される。この外ベルギー・オランダにも各種の工業が發達してゐる。本洲は産業の進歩と共に交通の便も大いに開け、鐵道は到る處に敷設されてゐる。中でもベルギー・スイス・イギリス・ドイツ等の諸國では鐵道が極めて發達してゐる。

尋常小學地理書卷二より

【鐵道の幹線】



【到る處に良港】

ヨーロッパに良港の多いのは一は海岸線の出入の多いためでもあるが、それよりも多くの河の河口が打開けて良港をなすものゝ多いのよることが大である。そして大西洋と北海・バルト海方面には河口港が多く、地中海方面には灣港が多い。これは地中海方面は川多くその河口に三角洲

尋常小學地理書卷二より

鐵道の幹線はロンドン・パリ・ベルリン・モスクワ等を中心として四方に通じてゐる。ロシアを通ずる幹線はシベリヤの鐵道の幹線と接続する。又バルカン半島を通ずる幹線は西部アジアの幹線と連絡してゐる。又近時航空事業が發達し、主を都會の間に定期航空路が開かれてゐる。本洲は海岸線の出入が多く、又川の下流は大きな船が通れるから、海岸にも、川岸にも、到る處に良港があつて、水上の交通は甚だ便利である。イギリスのロンドン・パリ・ベルリン・ドイツのハンブルグ・フランスのマルセイユは、いづれも世界で名高い港であつて、世界各地の諸港が出來て居て淺いからである。

ロンドンはテムス河の三角江。リバプールはマーシー河の三角江。ハンブルグはエムベ河の三角江。その他尚ブレメン・アンベルス・ルアーブル・ポルト・リスボン等何れも三角江を利用した港である。マルセイユ及びゼノア・ネーブルスなどは海灣の一部に防波堤を築いて始めて良港となつて居る。

【ハンブルグ港】(挿繪)

ハンブルグ市は河の兩岸に跨り、南岸には多數の岸壁を設備して巨船幾十隻を同時に繋留することが出来る。一ヶ年の出入船舶一萬六千隻、定期航路百六十七線ある。川の北岸は市街地で、西方にはアルトナの接續町村がある。南岸一帯の地は自由港區となつて居て物資の輸出入に課税しない。故に他から原料を輸入し、加工して再び輸出することが非常に有利であるから、自然工業の隆盛を來すのである。そのため此港の貿易高は頗る多い。わが國にはかかる自由港區の例がない。

この圖はハンブルグの埠頭の一部分を上空から見下したもので、左が川の南岸である。

【世界の海運業】

主要圖の船舶隻數及び噸數は、(八三頁参照)

國名	汽船隻數	同噸數	帆船隻數	同噸數
イギリス	九、五三	三、三〇七	七〇	二四〇
合衆國	三、二八七	一、三六〇	五六	六九七
日本	一、七五〇	四、〇九	一、八五	二七

【世界無比】

本國の面積二十四萬五千方軒、屬領の面積三千百五十七萬方軒あり、人口は本國が四千五百萬で屬領は三億九千百萬に及び、これを合計すると實に世界一の大國である。(一一二頁に『世界の陸地の五分の一、世界の人口の四分の一』とあるを参照)

たゞ遺憾なことにはこの國の領土は各方面に分離してゐるので、漸次本國から離れんとする傾向が著しい。

【紡績業・織物業】

この國に紡績・織物業の盛になつたのは主として、

- 一、氣候が濕潤で紡績・織物の作業に適すること。
- 二、石炭を多く産すること。

といふ二つの自然環境と諸種の人爲的原因とによる。この點日本と事情がよく似てゐる。

【ロンドンの市街】(挿繪)

圖はロンドン市の目貫きの通りでチープサイド街と稱し、ロンドン橋の北詰から西北にイングランド銀行の傍を経て進むとこの市街に出る。建築の美麗と市街交通の頻繁な有


ノルウェー	一、九六五	四、〇七八	五	一
ドイツ	二、〇七一	三、八七七	一三	一三
フランス	一、五二一	三、四六九	二六	四
イタリヤ	一、〇五二	三、〇九二	三六	五

【貿易の中心】

イギリスが貿易の中心になつてゐることは、その貿易額は勿論・入港船舶の噸數を見てもわかる。即ち一九二八年の入港船舶六千萬噸で世界第一位である。

と航路が相通じ、船の出入が極めて多い殊に大西洋上に於ける船の交通は最も盛である。

水上交通の發達、造船業の進歩と共に、本洲諸國の船舶は愈その數を増加し、イギリス・ドイツ・フランス・イタリア・ノルウェーはいづれも世界の海運業に於て優勢の地位を占めてゐる。中でもイギリスは世界で最も海運業の盛な國であつて、世界の貿易の中心になつてゐる。



尋常小學地理書卷二より

尋常小學地理書卷二より

イギリスはその本國は我が國より小さい島國であるが、海外に領地を有し、世界無比の廣い領地と多數の人口とをもつてゐる。この國には多量の石炭が産出するの、その領地や諸外國から種々の原料品を輸入して、これに加工する工業が極めて盛である。中でも綿羊毛の紡績業・織物業の盛なことは世界



様を想像せしめるを要す。

(イ) バウ寺。

(ロ) セントポール寺の背面、最も有名な寺でネルソンやウエリントン等の墓がある。

(ハ) ロンドン市長官舎。

(ニ) 二階付の乗合自動車。

(ホ) 二頭立の馬車。自動車が多いにも抱はらず、尙かゝる馬車を多く見受けるのはさすがに保守的の國である。

【領地との同】

本國と領地との間に貿易の盛に行はれることはこの國の一
大強みである。それは

一、領地の地勢や氣候が多様多様である。例へばカナダの
様な寒帯や印度の様な熱帯がある。それ故に各地各様の
物産があつて互に交換する必要がある。

二、植民地は概して天産物に富み、人口が多くても印度の
様に文明が低いか、然らざればオーストラリアの様に人
口が極めて稀薄であるから、主として食料品や原料品の
みを産し、工業がまだ盛んでない。それが本國と著しく
事情が異なるので相互貿易の發達を促す。

【相待つて發達】

一、國內に鐵や石炭が多いので(鑛業)そのために工業が盛
になる。

二、植民地の原料を取り寄せ、製品を又植民地へ賣る便宜
があるので工業が盛になる。

三、植民地と本國との間の交通や貿易が盛になり、その他
の諸外國との間にも商業や海運業が盛になる。

四、商業や海運業が盛なために一層工業の發達を促す。

【バーミンガム】(挿繪)

所謂ブラックカントリーの南端にあたり、マンチェスター
に次ぐ大工業都市で、主な工業は鐵、眞鍮その他あらゆる
種類の金屬工業である。附近に鐵鑛と石炭とを多産するた
めに起つたものであること云ふ迄もない。

煙突の林立して黒煙天を蔽ふ様を見よ。機械の響ハンマーの
音は常に耳を聳するばかりである。



にその比を見ない。又鐵鑛の産出も多いから製鐵業も
よく發達してゐる。これ等の工業
製品は大部分諸外國へ輸出され
る。隨つて貿易業が本國と領地と
の間に盛であるばかりでなく、諸
外國との間にも極めて盛である。
かやうにイギリスに於ては工業
鑛業商業及び海運業が相俟つて
發達してゐるので、この國が今日
の富強をなしたのは決して偶然ではない。
首府ロンドンにはテムス川の
下流に臨み接続してゐ

尋常小學地理書卷二より

【テムス川の開閉橋】(挿繪)

タワー橋即ち塔橋と云ふ。テムス川に架する橋の中最も
下流にあるもので、上下二重の橋になつて居り、下の橋は
中央から折れて兩側へ跳ね上る様になつて居る。圖は即ち
橋の開いて居る時で、船が橋下を通つて居る。この時人は
上部橋を通るので、上り下りはエレベーターによるのであ
る。橋の開閉は水壓、エレベーターの上下は電力によつて
居る。開閉橋には種々あるがこれは跳上り式と云ふので、
鴨綠江の回轉式(四八頁参照)と比較對照を要する。この外
に吊上式・引き込み式等があるが、交通が盛で頻繁に開閉
を要する處にはこの式が適する。

【世界の大貿易港】

ロンドン・リバプール二港の貿易をわが神戸と比較對照
して見ると

港名	調査年	輸出	輸入	總計
ロンドン	一九二二	百九十四	百九十四	百九十四
リバプール	一九二二	二、五七〇	三、五七七	六、一四七
神戸	一九二二	一、〇六六	一、二八五	二、三五一
神戶	一九二二	六、五〇〇	六、五〇〇	一、二九二

ヨーロッパ

尋常小學地理書卷二より

る町を加へると、人口が約八百
萬世界第一の大都會である。又
ロンドンにはリバプールと共に、
世界各國の船舶の出入が頗る
盛な處で世界の大貿易港であ
る。

フランスは海外に廣い領地を
有し、本國とその領地とを合は
せると、その面積の大きなこと
では世界の第三位で、イギリス、
ロシアに次いでゐる。氣
候が一般に温和で、南部の地中海
沿岸地方は殊に温暖

橋開閉の川テムス

即ちロンドンには神戸の五倍の貿易を行ひ、その他港に擡
でて世界第一位、リバプールは世界第三位である。わが神
戸は第六位、横濱は第七位)

【海外に廣い領地】

フランスの海外領土は面積に於て本國の十九倍であるが、
サハラ沙漠の様な荒涼たる無人の地が廣いので、人口は本
國より三割ばかり多いに過ぎないし、經濟上にも本國を益
する所が少いのである。

【ぶどう酒】

ぶどう酒を多く産することはこの國の一特色である。一九三一年に五千九百萬ヘクトリットルを産し、世界第一の位置を保つて居る。併し大部分が國內で消費されるから輸出額は少い。(一二五頁参照)

【絹織物】

フランスの工業は世界大戰の禍を受けたが、今や復興成り面目一新した。

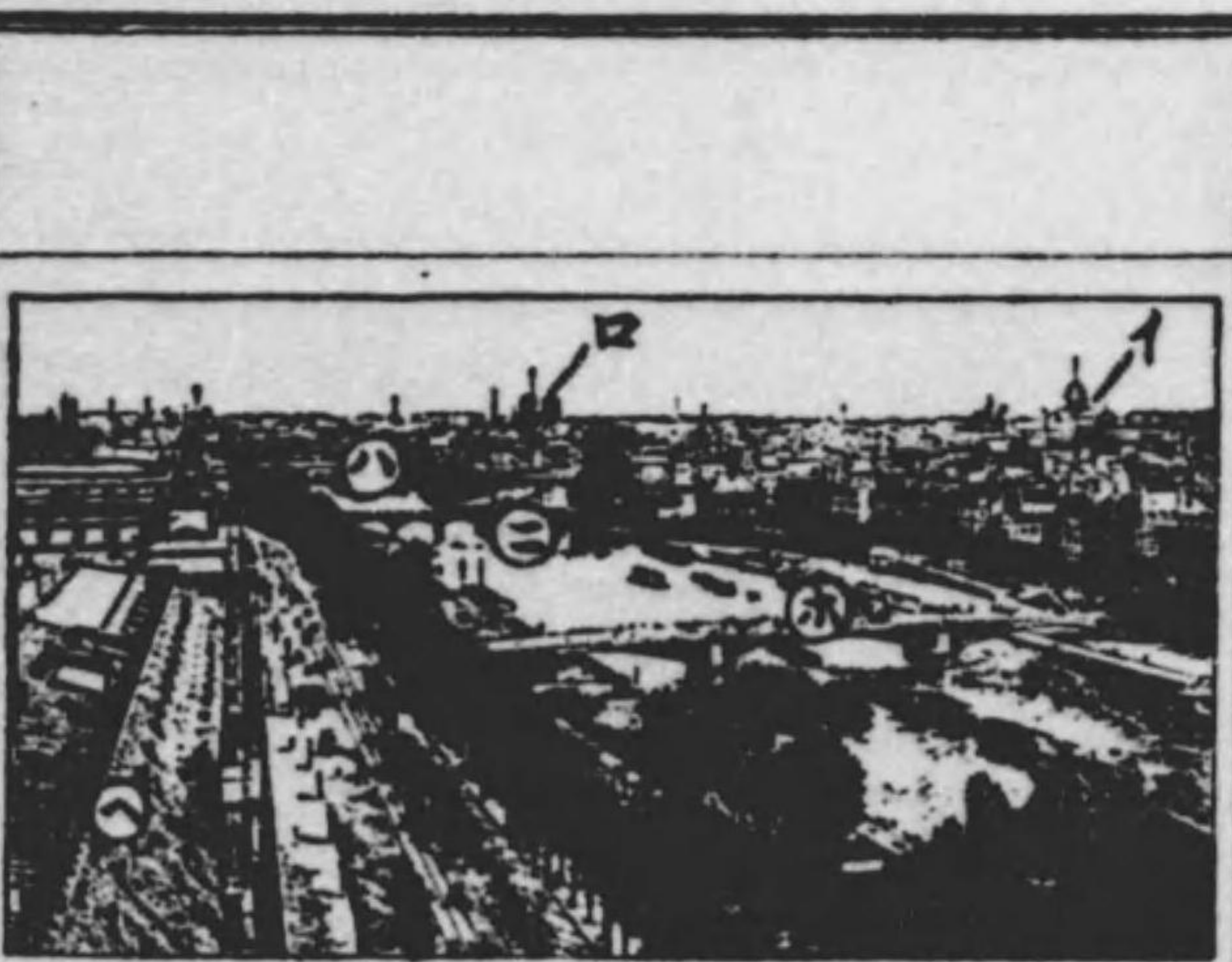
織物業はこの國の主要産業で、各種織物及び衣類はこの國最も重要な輸出品、その原料たる棉花と羊毛とは最大の輸入品である、中でも絹織物の精巧なことは世界に比類がない。又人絹が非常に盛である。日本の生糸はアメリカ合衆國に次でこの國へ澤山輸出される。

【パリーの市街】 (挿繪)

これはルーブル博物館の高塔から東南に向つてセイヌ河の上流を眺めた景色である。七つの橋が一目に見えるといふので名高い處である。町の建築の壯麗なこと、美しい並木の模様、セイヌ河を上下する夥しい小舟等に注意せしむる

を要する。

- (イ) パンテオン寺、佛國名士の墓のある處。
- (ロ) ノートルダム寺。
- (ハ) ヌーフ橋、シチー島といふ河中の島に架る。ノートルダム寺はこの島上にあつてパリーの中心部である。
- (ニ) アーツ橋。
- (ホ) カルゼール橋。
- (ヘ) ルーブル博物館の南側の一部。



てある。氣候がよく、地味の肥えた耕地が多いから、農業が盛で、小麦ぶどう等の産額が多く、ぶどう酒の製造が盛である。又石炭鐵の産額が多いから、工業も發達してゐる。中でも絹織物は有名であるが、その原料は主として我が國や支那から輸入されるのである。首府パリーは人口が約三百萬

尋常小學地理書卷二より

【美術・工藝】

パリーは文學・美術の盛なこと世界第一。フランス人は美術に長じてゐると、石炭の産が割合に少いので古くから家内工業が發達した。金糸・銀糸を織り交ぜて美しい模様を出したりボンヤ、精巧目を奪ふレースなどは特にパリー人の得意とするところで、これをパリー雜貨と稱して世界に名高い。

【我が國のやうに……】

- 一、山地が多く平野が少ないこと。(ロンバルヂヤ平原のみ)
- 二、火山に富み地震も多いこと。(ベスピオ・エトナ等)
- 三、大河が少く交通の便に乏しいこと。(ポー川のみ)
- 四、水力が豊富で石炭の不足を補ふこと。
- 五、國民は美術に長じて居ること。
- 六、養蠶業の盛なこと。
- 七、國內風景がよく氣候も良好で遊覽者の多いこと。


【ローマの市街】 (挿繪)

圖はローマ市の西部にあるセントピーター寺の高塔から東

尋常小學地理書卷二より

美術工藝の盛な都會である。

イタリアは我が國のやうに山地が多く、火山に富み地震も多い。川は交通にはあまり利用されないが、發電には大いに利用され、その電氣は國內に石炭の産出額が少ないので、主として工業の動力に用ひられる。



- に向つて市街を瞰下したものである。
 - (イ) 多くの人形が並んで居るのは屋上裝飾のもの。
 - (ロ) 寺の前にある大廣場、柱列を以て圓形に圍まれた中は何かから何まで大理石を張りつめて雪白に輝く。
 - (ハ) チベル河、右に向つて流れてゐる。これより右側が繁華な商業街である。
 - (ニ) 議事堂。
- 歴史上有名な大建築が澤山あつて美術の都と稱せられる。

【ポー川の平地】

ポー河の流れてゐるロンバルチヤ平原は長さ四百軒幅百三十軒の大平野である。北方にはアルプの峻嶺が聳えて風景が頗るよく、又多量の水力を供給する。故にこの平野はイタリア中最も重要な生産区域で、農業及び蠶業が盛に行はれ、小麦及びぶどう・いちぢく・オリブ等の果實を多く産す。又各種の工業も頗る隆盛である。河の上流には大紡績工業地帯がある。

【ネーブルス港】(挿繪)

圖はネーブルス市の西北方の丘上から市街を距て、遙かにベスピオ(ベスピヤス)火山を望んだ光景である。(イ) 軍港。防波堤のかけに多数の艦船が見える。(ロ) 繫船壁。(ハ) 商港。(ニ) ベスピオの中央火口丘、今盛に活動しつつある。(ホ) ベスピオ火山の外輪山の一部たるソニマ山。この火山は三重式の火山で、紀元七九年の破裂に際しては山の麓ボンベイ・ヘルクラネウムの二市を全く埋没し終つ

た、その後も屢々破裂し、今も盛に黒煙を吐いて居るのである。併しこの火山あるがためにネーブルスの風景は一段引き立つのである。青い海に浮ぶ船、晴れた空に包まれた町、山麓に見えるぶどう畑、立ち上る火山の煙、それ等が合體して一篇の詩となり一幅の繪となつて居る。『ネーブルスを見て死ね』See Naples and then die! と云ふ諺のあるのも尤もである。



北部のポー州の平地は農業が發達し、工業も盛である。又この國は地中海の交通の要路に當つてゐるので、海運業貿易業も近年大いに發達して来た。首府ローマは古來有名な處で、ネーブルス港は景色が好い港である。ドイツはもと海外に廣い領地を有してゐた大國で、商業工業海運業などが極めて盛であつたが、世界大戰の結果、本國の一部と海外の領地の全部

尋常小學地理書卷二より

【國力が一時大いに衰へ……】

世界大戰のためにドイツの受けた創痕は實に容易ならぬものがあつた。

- 一、本國の一部はポーランド・佛國等へ割讓した。それには多く鐵と石炭の産地がある。
- 二、海外領土は全部國際聯盟へ引渡した。
- 三、艦船・車輛・石炭・家畜その他多数の物資を佛・白等の諸國に引渡し、又多大の償金を數十年間に亘つて支拂はねばならない。

併しドイツ人は非常な努力を以て復興に力を盡した。殊に學問の應用が盛であるから、石炭の不足を泥炭で補つたり、瘦せた土地を開墾して沃土に變じたり、空氣中から窒素を採集したり、種々の驚くべき發明をなして世界を驚歎せしめて居る。

そして今や着々として國力を回復し、貿易に於ても海運に於ても將又工業に於ても、目覚ましい發展を見せつつあるのである。

【ベルリンの市街】(挿繪)

尋常小學地理書卷二より

を諸外國に譲り渡し、これと共に鐵礦産地の大部分と炭田の一部分をも失ひ、又多数の大きな船を諸外國に引渡したため、國力が一時大いに衰へたが、國民が復興に努力したので、今や各種の産業が再び盛になつて来た。又この國は學術の研究及びその應用が盛で、殊に化學工業が最も發達してゐる。首府ベルリンは人口が約四百萬、ヨーロッパに於ける陸上交通の



圖はシュプレー河の左岸から東方を望んだ光景である。

- (イ) ウイルヘルム一世紀念像。
- (ロ) 舊王宮。
- (ハ) マリヤ寺。(ニ) ドーム寺。
- (ホ) ルストガルテンと稱する遊園地。
- (ヘ) シュロス橋。これを渡つて左に行けばベルリンの銀座通りとも云ふべきウンテル・デン・リンデン街である。
- (ト) シュプレー河。

【ロシア】

ロシアの本名は『ソビエト社会主義共和国聯邦』 Union of Soviet Socialist Republics. であるが、昔の國名をそのままにロシアと稱する慣例になつてゐる。

【寒気がはげしい】

北部はツンドラと稱し殆んど年中氷結して居て、夏になつても表面が僅かに解けるに過ぎないから、農業などは全く行はれない。

【ロシアの農場】 (挿繪)

圖は茫漠たる大平野に展開する大農場で、今當に黄熟した小麦を刈り取り中なのである。收穫機は簡単な機械で馬二頭で曳かせる比較的小規模のものである。(一五〇頁参照) ロシアでは未だ農民の智識が進まず、機械も漸く近年用ひ始めた位で、土地は廣いけれどもアメリカ式の大農法はまだ發達してゐない。併し近年政府は盛に農具を輸入して農業の工業化を計畫してゐる。

【本國の面積】

ここに本國と云つたのは何を指したのか明瞭でない。『アジ

ヤ。洲に廣い領地』とか『領地のシベリヤ』とか云つてゐるのから見ると、昔のヨーロッパを本國と見た様であるが、それは何の根據もないことである。即ちこの國はロシア・ウクライナ・白ロシア・コーカサス・ウズベグ・トルコマン・タジックの七共和國の聯邦であつてその中最大のロシアを本國と見ればこれは歐亞に跨つてゐて、シベリヤの大部は本國そのものである。又ヨーロッパの部は三個の國に分れてゐて一つのものでは無い。



要地、商工業も盛な處である。ロシア(ソビエト聯邦)は一般に平地で大きな川が多く、水運漕漕共に便利であるが北の大部分は寒気がはげしいので産業が發達しない。しかし南部は割合に温暖で、農業や牧畜が甚だ盛である。殊に小麦の産額が多い。

尋常小學地理書卷二より

【深い關係】

わが國はオホーツク海の沿岸に於ける漁業、北カラフトに於ける石油採掘等の權利を有してゐるので、この地方に住するものも千五六百人を算し、彼我の貿易も亦漸次盛にならんとしてゐる。

【モスコの市街】 (挿繪)

圖はモスコ市街の中央にあるクレムリン城を示したものである。城は十八塔五門を有する城壁で囲まれた一廓で、城内には大小の寺院が頗る多い。尖塔と圓頂屋とはロシアの特徴である。

河はボルガ河の支流モスコ河。

モスコはその位置が恰も東ヨーロッパの中央にあるので鐵道の中點となり水路も亦四方に通じてゐる。

【我が國よりよほど小さい】

オランダ 三萬二千方軒 わが近畿地方と略同一。
ベルギー 三萬方軒 わが關東地方から神奈川縣だけを除いたものと略同一。

【廣い領地】

尋常小學地理書卷二より

接近してゐるので、我が國とは殊に深い關係がある。首府モスコは世界の陸上交通の要地である。

オランダ・ベルギーはその本國だけではないけれども我が國よりよほど小さいが、共に海外に廣い領地を有してゐる。オランダは農業牧畜が盛な處で、ベルギーは工業の發達してゐる處である。又これ等の二國は我が國

併しこの兩國は海外に廣い領地を持つて居る。オランダは主としてマライ諸島等であつて、その總面積は本國の殆んど六十倍。その中にはジャワの様によく開けて産物の多い土地があるので大に本國を助けてゐる。ベルギーは主として中部アフリカにあつて、その總面積は殆んど本國の八十倍。大部は氣候のよくない密林地方であるけれども、近時銅その他の豊富な鑛床が發見せられて、急激な開發を見つゝある。

【オランダの風景】 (挿繪)

これはオランダのボルデー即ち海面下の部分の風景である
(イ) 縦横に通ずる水路。これが交通を助けることが大であるのは勿論、畑と畑の區切りともなり、牧場の周囲の垣の代用ともなる。

(ロ) 有名な風車で、主に餘分の水を海へ酌み出すためのポンプを動かしてゐるが、中には麥粉をひいたりしてゐるものもある。

【人口の密度】

世界の主な人口稠密國は次の通りである。(一方杆に付)

ベルギー	二六六	日本(内地)	一六九
オランダ	二四三	ドイツ	一四一
イギリス	一八三	イタリヤ	一三四

【登山の設備】

國內到る處に汽車や電車を通じ、又眺望のよい山などには登山鐵道が出来て居る。

又氷河等の探險者に対しては山中所々にアルプ小屋と稱する無料宿泊所が設けてある。そして小屋と小屋との間には

【アルプ山中のケーアルカー】 (挿繪)

これは架空ケーアルと稱するものでわが國では比叡山中にその例がある。スイスには至る處に架せられてゐるし、この外地上のレールの上を引き上げる普通のケーアルもあり、又アプト式等の特殊鐵道もある。

【二十餘箇國】

目下ヨーロッパに於けるわが條約國は次の二十二國である

イギリス	フランス	ベルギー	オランダ
デンマーク	ドイツ	ロシア	フィンランド
スエーデン	ノルウエー	スイス	オーストリア
ハンガリー	ポーランド	チェッコスロバキヤ	
ラトヴィヤ	ルクセンブルグ	ギリシヤ	イタリヤ
イスパニヤ	ポルトガル	ユーゴスラビヤ	

【大使館・公使館】

條約國には大使又は公使を派遣するのが普通である。大使と公使とはその地位が違ひ、大使は君主を代表するが公使は單に政府を代表するのである。

大使派遣國にトルコを數へてあつたがこれはヨーロッパ

道路もよく整つて居り、又小屋には諸種の食料品など自由販賣をやつてゐる所もあつて大變に便利である。又非常に熟練した案内者が澤山居る。

この國に遊覽者の多い理由は、單に風景がよく且つ登山等の設備がよく出来て居るばかりでなく、その位置がヨーロッパの中央にあることも忘れてならぬことである。

列國會議がよくスイス國內に開かれ、國際聯盟の本部がこの國に置いてあるなども無論位置がよいからである。



ヤイギリスと共に、人口の密度が世界で最も大きな國である。ポーランド、チッコスロバキヤは世界大戦中に起つた國々である。スイスはアルプ山中にある小さい國であるが、水力を利用した各種の工業が發達してゐる。又山水の風景が美しいので、遊覽地として世界に知られ、登山の設備等も行届いてゐる。それ故諸外國から來遊するも尋常小學地理書卷二より

尋常小學地理書卷二より



我が國との關係
國には大使館を置き、その他の條約國には大抵公使館を置いてゐる。
我が國と歐洲諸國との交通は甚だ便利で、イタリヤ、フランス、イギリス、ベルギー、オランダ、ドイツの主要港には、我が國と歐洲航路及び大西洋航路が通じてゐる。貿易も

【歐洲航路及び大西洋航路】

の國ではなくてアジヤ洲の國であるから省かれた。
こゝに大西洋航路と云つたのはどれを指したのかわからないが、目下我が國とヨーロッパ各國との間の定期航路としては次の四線がある。(外に大西洋横斷の不定期航路もある)

- 1、歐洲線(受命船、アントワープ行)
- 2、リバプール線
- 3、ハンブルグ線
- 大阪商船會社 歐洲線(ブレイメン行)

【主な取引先】

昭和八年日本との貿易状況を見ると、

イギリス	輸出 八七、八四九	生絲・繻詰・絹及人絹等。
	輸入 八二、五五九	鐵・機械・毛織物等。
計	一七〇、四〇八	
フランス	輸出 三六、七六六	生絲・絹及人絹・薄荷等。
	輸入 三三、七二二	機械類・合成染料等。
計	七〇、四八八	
ドイツ	輸出 一三、四三二	魚油・ボタン類・眞田等。
	輸入 九五、八〇三	鐵・機械類・硫安等。
計	一〇九、三七一	

【エジプト外二箇國】

エジプトは名義上は完全な獨立國であるが、尙多少英國の干渉を受けて居る。元トルコの領分、後イギリスの保護國となつて居たものである。

アビシニヤ。
リベリヤは黒人の國。

南アフリカ聯邦は英國の一部であるが、殆んど半獨立的

【諸國の領地】

アフリカの大部分が歐洲諸國の領地となつてゐて、獨立國の極めて少い理由は、

- 一、地形も氣候もよくないために住民の文化が進まないの
- 二、自ら強固な獨立國を立てることが出来ない。
- 三、ヨーロッパの住民が洲外へ發展せんとする時第一の目標となつて早く分割せられてしまつたこと。

益盛になつて行く。殊にイギリス・フランス・ドイツは我が國の貿易上の主な取引先で、我が國から輸出するのは生絲と絹織物が主である。生絲はフランスへ、絹織物はイギリス・フランスへ行くものが多い。我が國へ輸入するのはイギリス・ドイツからの毛織物・機械・人造肥料が主なものである。

第十 アフリカ洲(アフリカ洲)

アフリカ洲は大いさに於ては世界第二の大陸で、人口は凡そ一億五千萬、獨立國はエジプト外二箇國だけで、大部分はイギリス・フランス等歐洲諸國の領地となつ

尋常小學地理書卷二より

【たくさんの湖】

東部高地に沿ふて一大地溝帯がある。土地の大きな割れ目に沿うて落ち込んだもので、多くの湖となつて居る。アルバート・タンガンイカ・ヌヤサ等はその重なるものである。何れも極めて細長く且つ非常に深くて地溝の形態をよく表はして居る。

ビクトリア湖はこの地溝帯の東側にあつて、わが北海道と略同じ面積を有し、世界第二の淡水湖である。

タンガンイカはコンゴ河の水源、ビクトリアはナイル河の水源である。

この大地溝帯は北に續いて紅海となり更に世界一の窪地たるヨルダンの谷となる。

【下流が急流や瀧...】

地勢が高原をなして居て海岸に平地が少いため、多くの川は上流や中流が緩やかに流れて下流に瀧や急流がある。これ全くアフリカの河川の一大特徴である。そのために中流と海との水路が連絡を断たれて居る。

コンゴ河はその標式的なもので、中流は水量も多く流れも

尋常小學地理書卷二より

てゐる。

本洲は北部に廣く、南部に狭い。大體高原狀で、殊に印度洋沿岸の土地が高く、且この方面にはたくさんの湖があつて、ナイル川・コンゴ川などの源となつてゐる。高原が海岸近くまで迫つてゐる處が多いので、大い

の川は下流が急流や瀧などになつてゐるから、水運上河海の連絡が不便である。又海岸線の出入が少いから良港良港に乏しい。

本洲の大部分は熱帯にあつて暑さはげしい。その中部の地方は雨量が多いので、到る處に大森林があるけれども、交通が不便だからあまり利用されてゐない。緩やかで大きな汽船を通じるが、海との連絡がとれないので、下流のレオポルドビルからマタチまで鐵道を敷いて、僅かにその不便を補つて居る。

【大森林】

赤道の附近即ちコンゴ河の流域は暑くて雨が多いために大森林が生ひ茂つて居る。その状は南米アマゾン河流域のセルバによく似て殆んど足を踏みこむことが出来ない。又海岸地方にはマングローブが茂つて水陸不明の地が多い。

【サハラ沙漠】

サハラ沙漠を誤つて「サワラ」と發音する人が多い。これは正しく Sahara と發音しなければならぬ。東西五千軒、南北千五百軒、面積はわが國の九倍ある。山岳丘陵の起伏した一大高原であるが所々に非常に低い盆地もある。東部は殊に炎熱甚しく、砂は火で風は焰だと云はれて居る。

雨は極めて少いが稀に短時間の豪雨がある。土地の低い處などには湧水があつて、植物が發生し人の住んで居る處がある。これをオアシスといふ。

【ナイル川の洪水とピラミッド】 (挿繪)

圖はカイロの附近にあるギゼーのあたりで、ナイル河の下流から上流に向つて寫したものである。

ナイルの水が氾濫して居るので、土人が駱駝を乗り入れて居るのが見える。岸には椰子が茂つてゐる。

(イ) 少し高くなつて居るので水が來ない。そこには四角な水平屋根の家が見える。

多くは泥土で作つた家で、中には屋根の無い家もある。

雨が少いからである。併し圖でははつきりしない。(ロ) これはピラミッド中最大のもので、古代エジプトのクフ王の墓だといふ。四角な石を積み重ねて作つたもので、高さ百五十米、約四千九百年前のものである。(ハ) スフィンクスであるらしい。(一四六頁参照)ピラミッドは大小約七十ある。こゝには三個だけ大きいものが並んでゐる。中の死體はミイラになつて居て、多くは運び出されて各國の博物館等にある。



ナイル川の洪水とピラミッド

南部及び北部の内陸は雨が少いので廣い草原や沙漠があるばかりで、交通も産業も共に發達してゐない。殊に北部のサハラ沙漠は世界第一の大沙漠で、その面積は本洲の五分の一ほどもある。ナイル川は本洲第一の大きな川で、ビクトリア湖から出て、北に流れ地中海にはいつてゐる。下流は流がゆるやかに水量が多く、古來運輸に利用さ

尋常小學地理書卷二より

【綿や穀物】

綿は世界に於ける主要産地の一で、殊にその質が良好であるため細糸用に適し、わが國にも輸入される。

穀物としては小麦・大麦・玉蜀黍等が多い。

農業の出来る範圍は川に沿ふた極めて狭い土地に限られてゐる。少し遠方は土地が高いので水を引くことが出来ない。

そこで近年アスアンに大堰堤を築き、増水期の水を貯へて減水期に使用し、從來不毛であつた沙漠に灌漑して綿の栽培面積が激増するに至つた。

【上流地方に雨……】

ナイルの上流は白ナイルと云つてビクトリアその他の湖から出てゐるから、この方面は雨が降つても洪水を起すほどのこともなく水も亦綺麗で泥土を流すことは無い。

然るにアビシニヤ方面から流れて來るアトバラ及び青ナイルは最も多量の泥水を流すのである。青ナイルも湖から出るけれども、その後多くの泥土を集めるから川水が青黒くなつてゐる。青ナイルの名はそれから起つた。

【ナイル川とカイロ】 (挿繪)

尋常小學地理書卷二より



ナイル川とカイロ

圖はナイル川の左岸から河を距て、カイロ市を望んだ光景である。遙かに見えるのがカイロの市街、(イ)の尖塔は回教の寺院である。エジプトは雨の降らない國で、本來なら沙漠となるべき筈の處を、ナイル川あるがために産業も起り人口も稠密になつたのである。椰子の並木、河岸の舟、何れもナイル河が灌漑運輸に貢獻して居ることを示す。

【古代の文明】

エジプトは世界最古の文明國である。その文明の遺物として最も名高いのはピラミッドとスフィンクスである。ピラミッドは國王の墳墓(一四四頁参照) スフィンクスは身體が獅子で頭が人面又は羊等になつて居る像で、王宮・墳墓・神殿等の入口を飾る石像である。その最大なものにはギゼーの大ピラミッドの附近にある。一四四頁の繪の(ロ)はそれらしいが彫刻がわるくて明瞭でない。

【南アフリカ聯邦に於ける駝鳥の飼養】 (挿繪)

圖はケープ州のドラケン山脈の南側にある大カール原野に於ける駝鳥飼養の様様である。駝鳥は世界最大の歩行鳥で身長三米に達する。その羽毛は白色を呈し頗る美麗で、歐洲婦人の帽子の飾りに用ひられる。

(イ) 仙人掌、これは乾燥地に特有の植物である。この地方が非常に乾燥した半沙漠であることがわかる。

(ロ) ドラケン山脈の一部。

(ハ) 駝鳥の番人で概ねこの地方の土人即ちホツテントツ

ト又はカッフィル人である。
(ニ) 車に積んでゐるのはサボテンで、これは駝鳥の飼料に用ひるのである。

【南端の喜望峯】

南端とあるけれども喜望峯は眞の南端ではない。南端は實はアグリヤス岬である。喜望峯と云つても山峯ではない。實は喜望岬と云ふべきである。(Cape of good hope)



その附近には古代の文明を物語るピラミッドやスフィンクスがある。
イギリス領の南アフリカ聯邦は世界での金や金剛石の主産地であつて、羊の牧畜、駝鳥の飼養も亦盛である。南端の喜望峯に近いケープタウンはこの聯邦の門戸に當つてゐる。本洲の内地は地勢氣候等の關係によつて、交通が不便で、長い間開けなかつたが、近年ヨーロッパ、

尋常小學地理書卷二より

【交通の便】

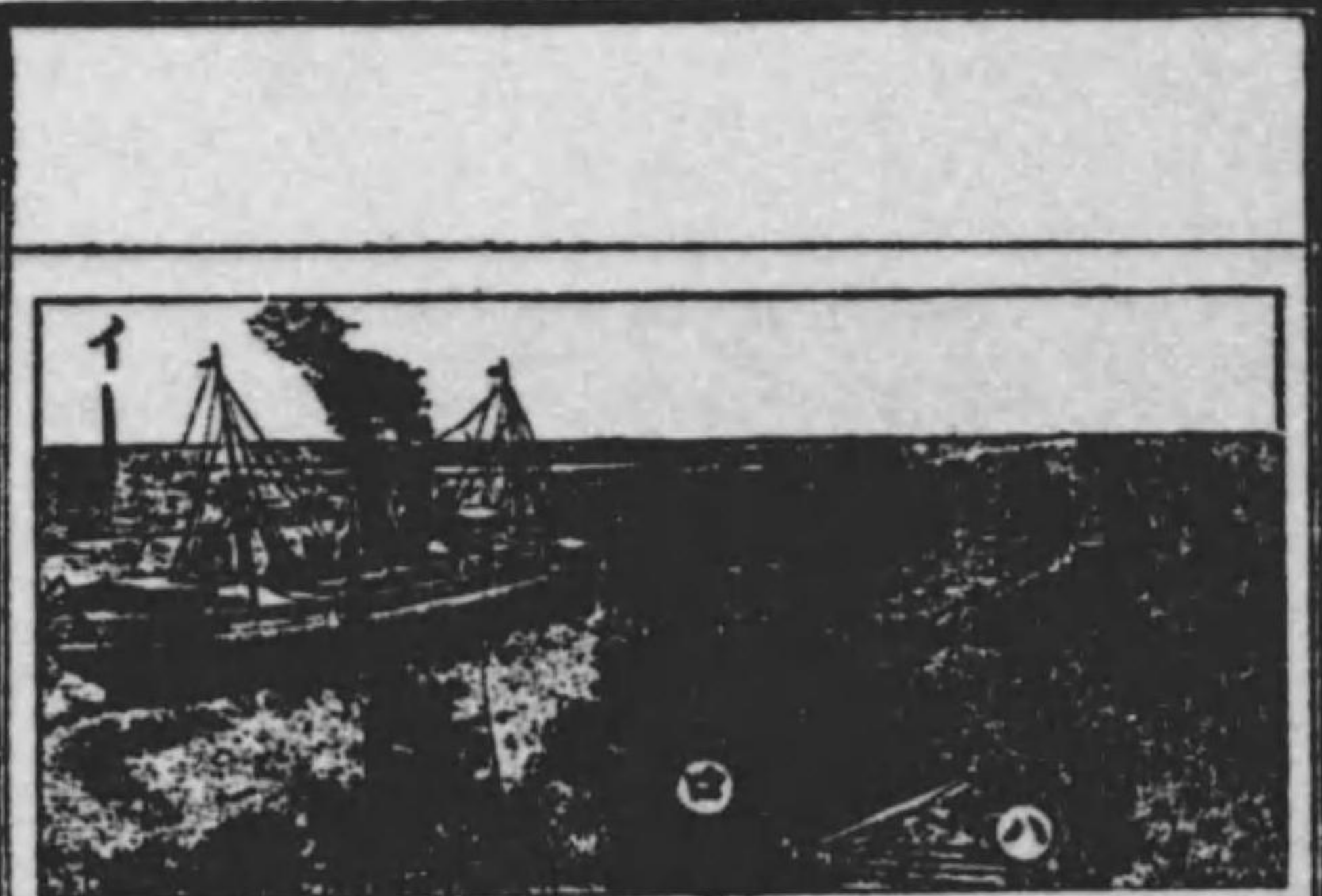
地勢は高原で海岸に良港がなく、川は下流に瀧があり、氣候は酷熱多雨で密林繁り、ために容易に入り込むことが出来なかつたが、近時各方面から鐵道が敷設せられて餘程便利がよくなつた。

【縦貫する鐵道】

北は地中海岸からナイル河に沿つてその上流まで。南はケープタウンからコンゴ河の源流附近まで。その中間はベルギー領コンゴを通過する線と、英領のウガンダ・タンガンイカ等を通過する線と二線計畫されてゐるが前者が一部分開通してゐるだけである。

【スエズ運河】 (挿繪)

(イ) 見渡す限り廣々とした沙漠。
(ロ) たゞ僅かに運河の岸に點々こゝした藪が見られる。運河は幅が百米ばかりしか無いが、ところ／＼に待避の溜り場が設けてあつて、待ち合せる様になつてゐる。沿岸所々に監視所があつて、信號塔で信號をして兩端の港や通過中の船舶との間に常に聯絡を保つてゐるのである。



尋常小學地理書卷二より
パ人が漸次開發の歩を進めたため、次第に交通の便が開けてきた。カイロとケープタウンとの間を南北に縦貫する鐵道も工事が進んでゐるから、完成される時期も遠くはあるまい。
スエズ地峡に切開かれたスエズ運河は長さが約百六十キロメートル、ヨーロッパとアジア州との間の海上交通の幹線で、船の往來がたえない。

(ハ) 多分その監視所の建物であらう。速力は一時間十軒と定めてあるから早くして十五時間位を要するが、待ち合せの都合では二十時間もかかる。この運河は三千年前から計畫され、ナイル川の一部を利用して小規模ながら實行されて居た。今の運河は五十年前あまり前に出来たもので佛人レセツプの努力による。通航料は一噸二圓七八十錢、大きな船は約二萬圓を支拂はねばならぬ。

【面積】

北アメリカ洲の面積は約二千七百七十萬方呎である。アジア洲は四千二百五十萬方呎であるから二分の一より僅かに大きい。

【イギリスの領地が處々に】

北米に最も多く移住したものはイギリス人であるから、今もイギリスの領地は各地に散らばつてゐる。その主なものは、

カナダ

ニューファンドランド

ホンジュラス（中央アメリカ）の一部

ジャマイカ（西印度諸島中の一島）

小アンチル列島中に七八個の小島を所有する

ベルムダ諸島（合衆國の東方沖合にある島）

【ロッキー山脈】

ロッキー山脈と云ふ名稱は廣狹二義に用ひられる。こゝには北米大陸の西部に南北に長く連なる高地、所謂太平洋高地全體を指して居る。

【處々に火山】

前頁に記したマツキンレー・ローガンの外に、メキシコにポボカテペトル・オリザバ等澤山火山がある。

【アパラチャ山脈】

合衆國の東部にある山脈で、北はラブラドル高地に続き、所謂大西洋高地の一部をなして居る。山脈と云つても極めて低い山脈で、最高點のミッチェル峰も二千米餘である。全山到る處蒼鬱たる森林に蔽はれて、所々に肥沃な平地を介在し、又鐵・石炭・石油等の有用礦物を澤山埋藏して居るので、合衆國の發達には非常に深い關係を持つて居る。

【ナイヤガラ瀧】（挿繪）

エリー湖からオンタリオ湖に流れて行くナイヤガラ河の中央にこの瀧がある。中央にゴート島があるので瀧が二つに分れ、東北の部はアメリカ側にあつてアメリカ瀧、西南の部はカナダ側にあつてカナダ瀧と云ひ、又その形によつて馬蹄瀧とも云はれる。高さは各約五五米であるが幅は前者が三二七米、後者が八七三米あつて、所謂横瀧となつて壯觀を極めて居る。瀧の下流には橋があり、兩岸には大きな

併し普通にはこれをコルデレラ山系と呼び、その東邊の山脈のみをロッキー山脈と呼んで居る。

この狹義のロッキー山脈と並行してカスケード・シエラネバダ等の山脈があり、その間に大盆地・コロラド高原等をはさんで居る。

又その南方メキシコに於てはアナワク高原等がある。

最高點はマツキンレー山で海拔六二四一米、これに次ぐロガン山も六千米に近い。

第十一 北アメリカ洲北亞米利加洲

北アメリカ洲はほぼ三角形の大陸で、北西はベーリンダ海峽を隔ててアジア洲に對し、南は細長い地峽となつて南アメリカ洲についでゐる。面積はアジア洲の凡そ二分の一であるが人口は凡そ一億五千萬である。カナダをはじめイギリスの領地が處々にあるが、その他は大小あまたの國々に分れてゐる。多くは國力が振はなないが、たゞひとりとアメリカ合衆國が世界の主要國の一として富強を誇つてゐる。

西部にはロッキー山脈が南北に長く連なつて、本洲の大

分水嶺となつてゐる。この山脈はヒマラヤ山脈に次ぐ雄大なもので、その中央の部分は山脈がいくすぢにも分れ、處々に廣い高原のや盆地をはさんでゐる。又處々に火山もそびえてゐる。



東部にはアパラチャ山脈が北東から南西に連なつてゐるが、ロッキー山脈に比べると甚だ低い。これ等東西兩山脈の間の中央部は南はメキシコ灣が

都會が出来て居る。又瀧の周圍は公園になつて居て遊覽の設備が整つて居る。圖は下流の橋から眺めたものである。

(イ) カナダ瀧、又馬蹄瀧ともいふ。

(ロ) アメリカ瀧。

(ハ) 兩者を隔てるゴート島。

(ニ) 展望臺の一部

この瀧は大きさに於て世界一ではないが、文化の開けた地方にあるので見物が非常に多く、又水力發電も盛である。

【凍原】

中央平野の北部は多く凍原をなして居る。(凍原に就いては一一〇頁を見よ)これはシベリヤと同様に北方に山脈がなく北風を遮るものがないので氣候が一層寒いからである。北岸にある北極洋群島の如きも、海水が凍つて居て水陸の區別の判然しない所さへある。グリーンランドはシベリヤの一部と共に世界最寒の地として知られて居る。

【五大湖】

スペリオル・ミシガン・ヒューロン・エリー・オンタリオの五つを五大湖と云ふ。水は一続きになつて居てやがてセントローレンス河に注ぐのである。随つてセントローレンス河は短かいけれど水量の非常に多い河である。

五大湖は位置に高低があるから自然のまゝでは相互に交通することが困難である。故に各都に運河が開かれて居る。殊にエリーとオンタリオとの中間には有名なナイヤガラの瀧がある。

これ等の湖は何れも氷河の作用によつて出来たもので、運輸を助けるのと水力を供給するので沿岸一帯には大工業地

【運河】

エリー湖から南方オハイオ河に通ずる運河があり、又ミシガン湖からミシシッピ河にも運河によつて出られる。

エリー湖から東に向つてハドソン河に出で、一方はニューヨークに出るし、一方は更に北に向つて運河があつてセントローレンス河に出られる。

【ミシシッピ川】

支流のミズーリ川の水源から測ると、この川の全長は六千五百三十軒で世界第一の長流である。河口附近では幅が一千里、深さ四十米に達し、二千軒上流のセントルイスでも水深三米である。河口から八百軒のメンフィスまでは橋が無いから、汽車も渡船によつて河を渡るのである。

【綿の集積】 (挿繪)

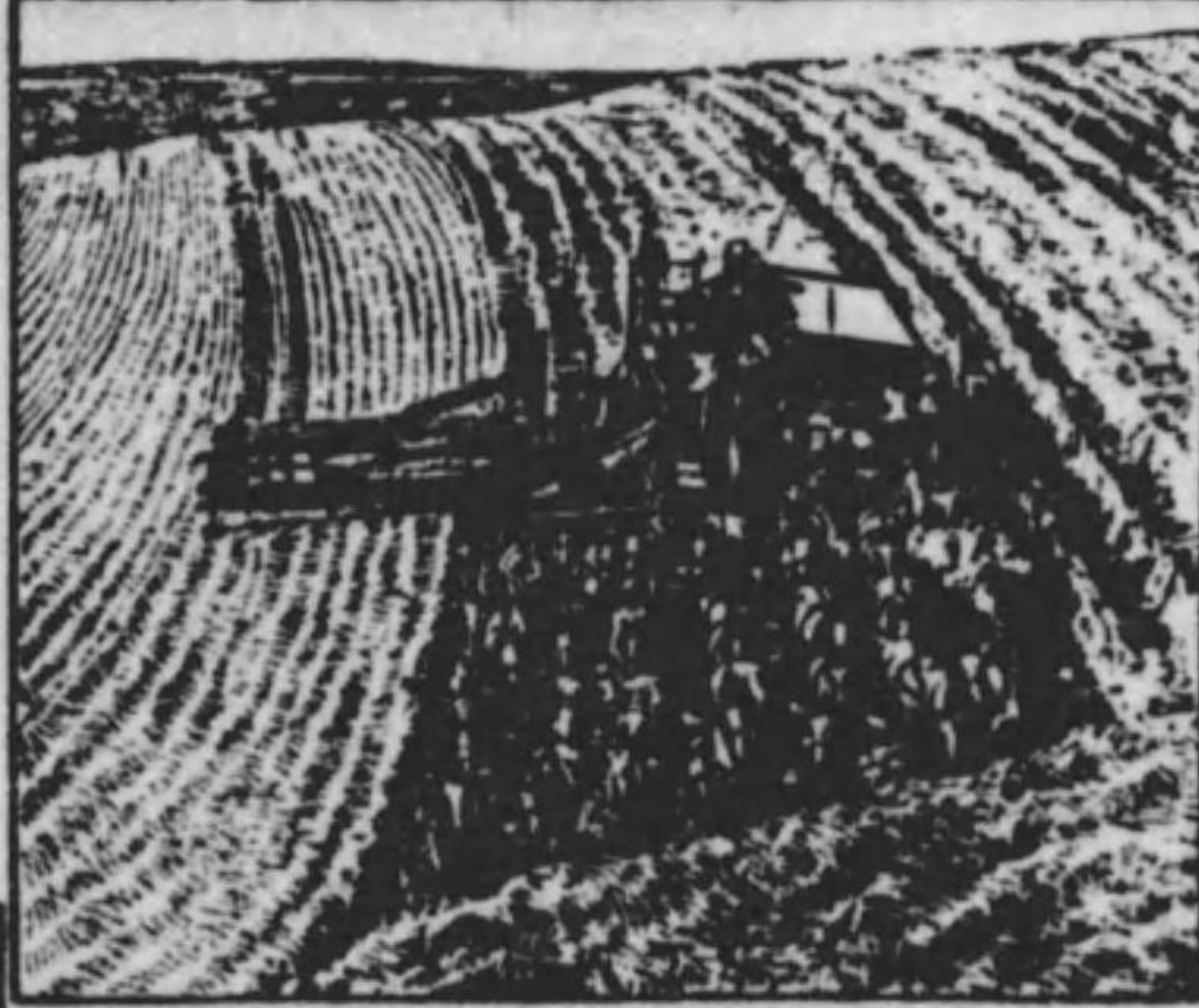
これは田舎の驛に綿の集積してある模様で、綿は堅く締めつけて鐵の輪をかけたある。

これを汽車で港まで送る。そして航洋汽船に積み込んで諸外國に出す高が頗る多く、わが國にも年々多量に供給されてゐる。

帯が形成されてゐる。

【合衆國に於ける小麦の收穫】 (挿繪)

中央大平原に於ける小麦收穫の模様で、土地が廣くて人口が少いから大仕掛けの器械で極めて粗放な農業を行つて居る。即ち馬二十四頭(三十二頭のこともある)で曳かせると車の回轉に従つて麥は刈り取られ寸断され、旋風器にかゝつて程は吹き飛ばされ、實だけ残つて一定量づゝ袋に入り投げ出されるのである。近時は發動機も盛に用ひられる。



合衆國に於ける小麦の收穫

ら北は北極海に至るまで一帯の大平原である。その北部は寒気がはげしいので凍原が多く、人口も少く、産業も進んでゐない。中部はスペリオル湖・ミシガン湖等のいはゆる五大湖をはじめ湖が多く、南部は大體ミシシッピ川の流域である。五大湖は船の交通が至つて便利で、その航路は運河によつてセントローレンス川及びミシシッピ川につづ

いてゐる。ミシシッピ川は世界第一の長流で、水量がゆたかた、流もゆるやかであるから、船の交通が甚だ便利である。又灌溉の便も多く、發電にも五大湖と共同に大いに利用されてゐる。

中部から南の平地はかやうに水運灌溉の便がきり、地味も肥えてゐて、氣候も温和であるから、農業牧畜が盛で、いづれも大規模に営まれてゐる。殊に合衆國は小麦綿たうもろこし煙草の産額が世界

積出港はミシシッピ川の川口にあるニューオルリヤンス及びその西方のガルベストンが主なものである。

【いづれも大規模】

アメリカの産業が概して何れも大規模に営まれて居るといふ理由は、
一、土地が非常に廣くて人口が割合に少いこと。
二、天産物が非常に豊富であるのに人口の少いこと。
三、住民は文化が進んで居るのでよく學理を應用すること

【合衆國から輸出する木材の筏】 (挿繪)

これは合衆國のワシントン州附近に於て、筏を川に下して居る模様である。乗つて居る人物と比較して如何に巨材であるか、又その筏が如何に大きいものを想像することが出来る。日本などの筏と違つて、鎖で緊結して葉巻煙草の形に作られて居る。そしてこれを汽船で曳くのである。

【木材】

わが國は近年材木の不足のため、アメリカから澤山輸入する様になつた。これを總稱して米材といふ。その中にはアメリカ松(米松)の外に米杉・米檜・米樅・米梅等がある。一般に巨木であるから長大材が得られるし、木理が真直で節が少く、材質が軟かで加工し易く、且つ價格が安いから廣く建築材その他に用ひられて居る。昭和七年のわが木材輸入額三千五百萬圓、その中二千萬圓はアメリカ合衆國から来る。又パルプの輸入額は千三百萬圓で、その中六百萬圓がカナダから来るのである。

【果物】

合衆國の太平洋岸は氣候が暖かで雨量が少ない。即ち夏の半年は殆んど無雨である。そのため灌漑設備を施して果樹の栽培を行つて居る。ぶどうの如きは乾葡萄酒を製するのに空氣が乾燥して居て非常に都合がよい。この地方は冬に雨の降る地中海式氣候であるから、地中海岸と同様に果實に適するのである。



合衆國太平洋岸の木材を運ぶ筏

第一、牛豚羊の頭數も極めて多い。又カナダでは小麦の産額が甚だ多く、我が國へも多く輸入される。カナダの東西兩部と合衆國の西部には大森林があつて木材の産出が多く、パルプの製造も盛である。木材やパルプは我が國へも多く輸入される。合衆國は果樹の栽培が盛で種々の果物を産する。中でも太平洋沿岸のオレゴン、ワシントン、カリフォルニアのオレゴン等が殊に名高い。なほ中央アメリカや西印度諸島

尋常小學地理書卷二より

【合衆國の太平洋沿岸にある果樹園】 (挿繪)

これはカリフォルニア州南部地方に於ける日本人經營のオレンジ畑である。この地方は雨が非常に少ないので、ほつて置けば沙漠になつてしまふが、遙かの東方にある山から水を引き、又は掘抜井などによつて灌漑して、數千百軒に亘る廣い果樹園が出来てゐる。點在するは日本人の住宅。秋は見渡す限り橙色の果實が花の様に輝いて、その美觀は實に形容することも出来ない。背景はシエラネバダ山脈。

【砂糖の産地】

一九三三年に於ける世界砂糖の産額は總計二千三百萬噸であつて、その主な産地は次の通りである。

- 印 度 四、二二二千噸
- キューバ 二、〇〇二
- ジャマワ 一、三五一
- フィリピン 一、〇七一
- ドイ ツ 一、〇八四 (甜菜糖)

【世界屈指の大漁場】

世界の三大漁場とはアジアの千島・カムチャツカ半島附

北アメリカ洲

尋常小學地理書卷二より

てはさたうきびバナナ畑草
コーヒー等の栽培が盛である。殊に西印度諸島のキバ島は砂糖の産地として世界に知られてゐる。

カナダから合衆國の北東部へかけての大西洋沿岸は水産物が豊富で、たりにしんの漁獲が極めて多い。殊にニドランドの近海は世界屈指の大漁場である。又合衆國

合衆國太平洋岸の果樹園

近、ヨーロッパのノルウェー海岸と北海、及びこのニュールランド近海である。何れも北温帯の北部にあることは注意すべきことである。これは、
一、海底が浅いからよい漁場となつて居る。
二、暖流が流れて来るので魚族が多い。
三、寒いから魚類が腐り難く漁夫の働くにもよい。
四、市場に近い。
等の理由によるものである。

【かきの養殖】

アメリカ合衆国ではかきの養殖が最も重要な水産業となつてゐる。その本場は東海岸のチェサピーク灣で、多くは罐詰にして賣り出してゐる。アメリカ人は非常に牡蠣が好きであるから、その消費高は莫大なものである。

【鑛物が豊富】

一九三二年に於ける各種鑛産物の産額は、

種類	産額	世界總額に對する割合
鋼	五、三〇五	二七
石炭	三三、〇六六	四
石油	一〇七、一八〇	六〇
銅	二六三	二六
アルミニウム	四七六	三
鹽	六、六七五	六

以上何れも世界一で、前年までは世界總額の過半を産するものが多かつたが、この年から石油の外悉く激減して割合が大に下つた。これ主として不景氣のためである。

【ニューファンドランド近海のたらつり】

この邊は幅數百杆に亘る淺瀬で、二十米乃至三百米位の深

さである。六月から十一月頃まで鱈つりが非常に盛んである。鹽藏又は乾製して食料とし、肝油を採つて藥用に供する。この淺瀬は寒流によつて運ばれた氷山が、南から來る暖流のために融け、その伴つて來た土石を堆積して出來た淺瀬である。故にこの地方では春夏の候氷山の流れて來ることが多く、ために氣温は下り、漁夫の活動するには極めて都合がよいのである。



國の東海岸やメキシコ灣岸に於けるかきの養殖も名高い。カナダやアラスカの太平洋沿岸の川ではさけが多くとれる。合衆國・メキシコ・カナダはいづれも鑛産物が多い。中でも合衆國は種々の鑛物が豊富であつて、鑛石炭石油銅の産額の多いことは到底他國では見ることの出來ない程である。又カナダのニッケル、メキシコの銀及び石油は共にその産額が甚だ多い。

尋常小學地理書卷二より

【合衆國の太平洋沿岸の油井】

圖はカリフォルニア州のロスアンゼルス附近の油田の光景である。

ロタリー式の石油井が數限りもなく立ち並ぶ様は眞に壯觀といふ外は無い。

合衆國の石油は最初東部のペンシルバニア方面が主産地で、次で中部平地に多く産し、後カリフォルニア州にその中心が移動したが、今や同州も盛りを過ぎた感があつて、今後はメキシコ灣岸方面が主産地となるであらう。

石油槽については本書五用六九頁に詳しい。

【北東部に送られて……】

こゝで北東部といふのは主としてエリー湖の附近を指したものである。鐵鑛がかく石炭の産地に送られるのは、鐵鑛が石炭よりも軽いからでもあるが、又製品たる鐵の需要地に近い所を選ぶからでもある。

【各種の工業】

合衆國の東北部とカナダの東南部、即ち五大湖の附近は概ね工業が隆盛である。これは、

尋常小學地理書卷二より

合衆國で石油を多く産する地方は大平原の南西部及びカリフォルニアであつて、その産額は世界の殆ど三分の二を占めてゐる。鐵鑛はスペリオル湖附近で多く産する。この鐵鑛は五大湖を利用して石炭を多く産する北東部に送られて製鍊される。隨つてこの地方は合衆國に於ける最大の工業地帯であつて、各種の工業が著しく進歩してゐる。ニール・ヨーク・ラデル・ファヤをはじめ合衆



合衆國の太平洋沿岸の油井

- 一、鐵と石炭を多く産するので鐵工業が盛になつた。
- 二、石炭と石油を多く産し動力が充分なために諸種の工業が盛になつた。
- 三、ナイアガラ瀧等の水力の利用によつて工業の發達を促した。
- 四、五大湖及び附近の河川運河の交通が便利なため工業を營むに都合がよい。
- 五、附近の平野には諸種の原料を澤山産する。

【ニューヨーク港】（挿繪）

これはニューヨークの中心地区を北東の空から見下したものである。

(イ) 市の西部たるジャーシーンチー方面。その手前はハドソン川。

(ロ) 市の中心たるマンハッタン區。

(ハ) ウィリアムブルグ橋。こゝを東川といふが、實は本陸とロング島との間の海峡である。

(ニ) こゝから半島の先に至るまで橋の齒の様に岸壁が並んでゐる。無論ハドソン川の兩岸にもある。

(ホ) マンハッタン橋。

(ヘ) ブルックリン橋。

(ト) ロング島の尖端ブルックリンの町。

ニューヨークは高層建築の多いので有名である。それは中心地区たるマンハッタンが一半島であつて、周圍を水で限られて横に擴がる餘地が無いから、已むなく空中に延びるに至つたものである。(ロ)から向ふの方に澤山の摩天閣があつて、中には六十七階といふのがあり、更に百十階とい

ふのが設計されてゐる。

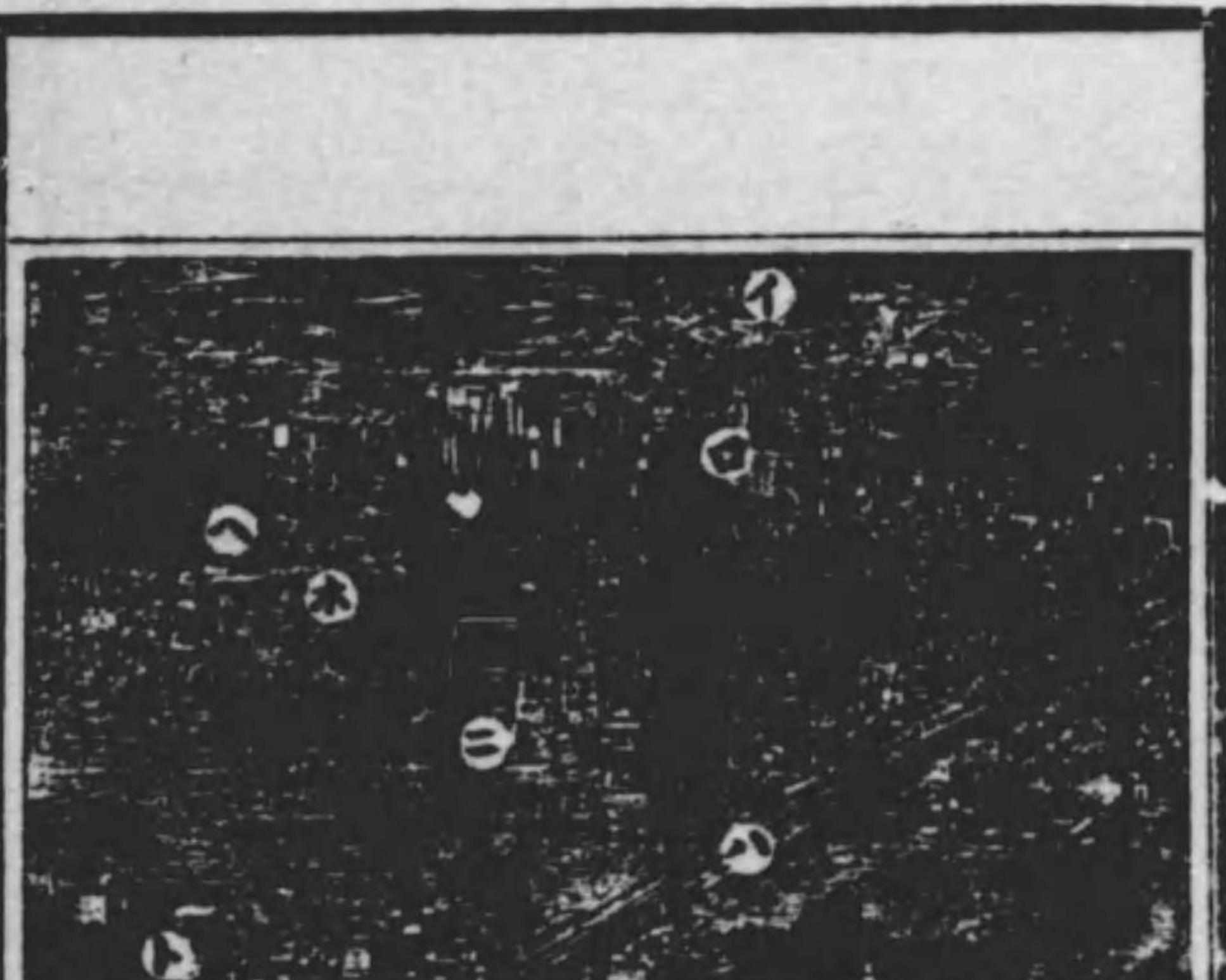
【貿易額】

一九三二年のニューヨーク貿易高は、

輸出 九七、七六^千 輸入 一、三六、三二^千

總計 二、三三、九〇

即ちロンドン・ヴェニス・アイレス・ハンブルグ・リバープールに次で世界の第五位となり、久しく第一位であつたのも昔の夢となつた。不景氣の深酷さがわかる。



國の大都會がこの地方にたくさんあるのも偶然ではな
い。中でもニューヨークは人口
約七百萬、ロンドンと並び稱
せられる世界の都會で貿易
易額の多いことは世界第
一である。シカゴは合衆國の
中部地方にある大都會で、交
通の要路に當り、人口約三百
萬、農産物の大集散地である
上、工業も極めて盛である。又

尋常小學地理書卷二より

【合衆國の貿易】

一九三三年の世界各國貿易額は、七八頁に記した通りイギリスが第一位で米國が之に次でゐる。

併し總額は六十二億圓ばかりで、『二百億圓』とあるのは數年前のことであり、『イギリスと肩を並べ』とあるのも事實が變つてゐる。

主なる相手國はイギリス・カナダ・日本・ドイツ・フランス等
輸入品は生糸・砂糖・珈琲・ゴム等、

輸出品は綿・小麦・石油・機械・自動車等。

この國が輸出超過であるのは、

一、土地が廣く資源が豊かで物資を澤山に産すること。

二、人口が少くて消費の少いこと。

【兩洋を連絡する幹線】

カナダにあるものは大幹太平洋鐵道・カナダ太平洋鐵道。
合衆國にあるものは大北鐵道・北太平洋鐵道・ユニオン太
平洋鐵道・南太平洋鐵道等。

メキシコにあるものメテファンテベック鐵道。

その他尙澤山あるが完全に一線で兩洋を連絡するものは少く

尋常小學地理書卷二より

ワシントンは合衆國の首府で、オタワはカナダの首府である。
合衆國の貿易は年額が約二百億圓に上り、その額の多いことはイギリスと肩を並べてゐる。又輸入額に比べて輸出額が遙かに多い。
鐵道が最もよく發達してゐるのは合衆國及びカナダの南部であつて、大陸を横断して太平洋・大西洋を連絡する幹線がいくつもある。合衆國にはこれ等の幹線の大部分がある。

港—バ—ン—ク—ー—

多くは中途で別の線と連絡して居る。

【バンクーバー港】（挿繪）

バンクーバー港はバンクーバー島にあるのでなくて、本陸の海岸にある港である。

圖はその港内を俯瞰したもので、如何に良港であるかわかる。カナダ太平洋鐵道が開通してから俄然として勃興した町で、東洋に對する交通貿易の大中心として、又造船・精糖・製粉・製材等の工業地として榮えて居る。

【自動車の利用】

アメリカ合衆國に於ける自動車の總數は二千四百萬臺で、世界總數の約八割を占め、他の諸國とは全く桁はづれである。即ち人口五人強につき一臺の割合で、イギリスの三十人に一臺、日本の約六百三十人に一臺とは比較にならない。一家の中に父と母と兄と姉とが夫々自分の自動車を持つてゐるなどは珍らしくないのである。

かく自動車の利用の盛になつた理由は、

- 一、土地が廣くて人口が少ないので迅速交通の必要なこと。
- 二、石油が安い。自動車も大量生産で非常に安いこと。

【外國航路】

北アメリカ洲と他大陸との交通線中最も盛なのは北大西洋航路即ちヨーロッパ洲との間の航路で、これに次ぐは南米航路・東洋航路・濠洲航路の順序である。

北大西洋航路の盛な理由は、

- 一、北米と歐洲とは大部が同一人種であるから、その間の交渉が頻繁なこと。
- 二、北米には食料品及び原料品を多量に産するが、歐洲は

これ等に不足して居るので、これを北米から取り寄せる必要あること。

- 三、北米には近年各種の工業が勃興したけれども、尙ヨーロッパから澤山工業品を買入れる。

【サンフランシスコ港】 (挿繪)

主要街を西の上空から見たもので、前面の海はサンフランシスコ灣、その向ふの山は對岸オークランドの方面である。眞四角な家の集合はこの國の特色である。



外には鐵道が到る處に通つてゐて、その延長は四十萬キロメートルを超え、世界の鐵道の總延長の約三分の一に當つてゐる。又自動車の利用も極めて盛である。外國航路は大西洋方面からヨーロッパの諸港に通ずるものが最も多い。又太平洋方面から東洋南洋の諸港に至るものも次第に増加してゐる。港の主なものは大西洋方面ではニューヨーク、ラデル

尋常小學地理書卷二より

【ロスアンゼルス】

カリフォルニア州の南部にあつて、近年勃興した市街であるが、今やサンフランシスコを凌駕して太平洋岸第一の都市となつた。かく急激に發展した理由は、

- 一、附近に石油が澤山出ること。
 - 二、氣候が非常によくて避寒に來る人の多いこと。
 - 三、廣い平野は主として日本人の努力によつて夥しい果實や野菜の産地となつたこと。
 - 四、港は桑港よりも良港であること。
 - 五、メキシコに對する貿易の盛なこと。
- 目下日本人の在住するもの約二萬人である。

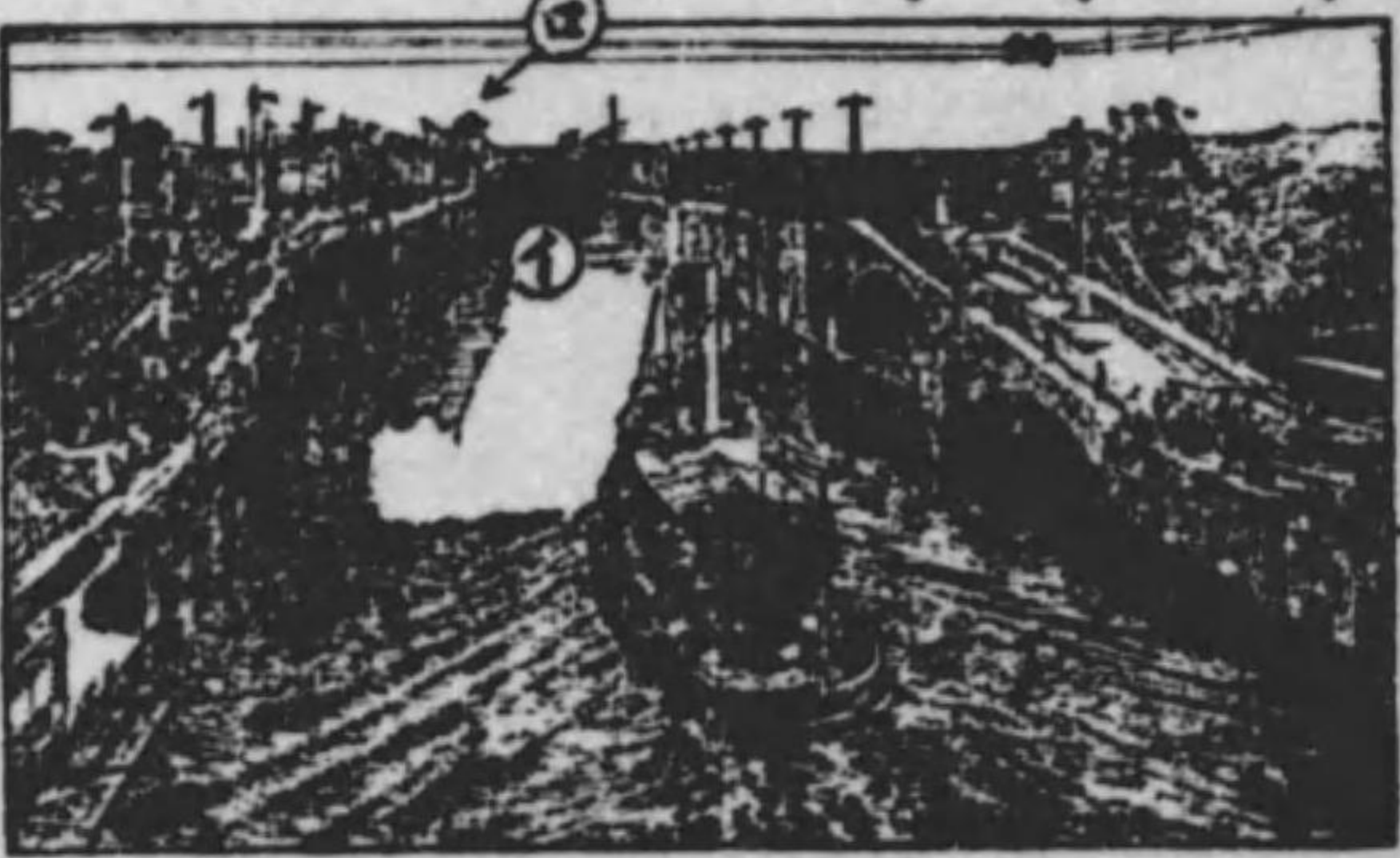
【水門式の大運河】

パナマ運河はスエズ運河の様な水平のものでなくて、中途の海面よりも高い處に淡水湖があつて、それから流れ出る河を水門によつて上つて行くのである。その水門は北側に三ヶ所、南側に四ヶ所ある。つまりこの運河は二つの海の間へ淡水の橋をかけた様なものである。

【パナマ運河】 (挿繪)

尋常小學地理書卷二より

フヤをはじめ、セントリオール、ボストン、ボルチモア、フィラデルフィア、ニューヨーク、サンフランシスコ、ロサンゼルス、シヤトル、サンフランシスコ、ロスアンゼルスがある。パナマ運河はパナマ地峽を切開いて造られた延長約八十キロメートルもある水門式の大運河である。この運河が開通してから太平洋と大西洋を連絡する航路はその距離が著



圖は大正三年にこの運河が開通した時、ガツン號と稱する船が始めて通過しつゝある光景で、兩岸には多數の群集が見物して居る。

(イ) 開門、今閉じてあるから、第二の開門はその向ふに少し見えて居る。

(ロ) 開門を開閉する電氣機關室。大きな船舶の通過する際は兩岸の電車で船を曳く様になつて居る。全部を通過するに約十二時間を要する。

【短縮され……】

米國の東岸から西岸に行くに、南米を迂回するに比して約一萬五千杆の短縮。

大西洋から東洋へ来るには約六千八百杆の短縮。

【我が國の汽船】

日本郵船—桑港線・シャトル線・ニューヨーク線、大阪商船—バンクーバー線・ニューヨーク線。

日本の品物をアメリカ東岸へ送るにも、大陸を汽車で横断するよりは船でパナマを通過する方が運賃が安い。アメリカの綿が日本へ澤山来る様になつたのもその爲である。

【我が國人の農園】 (挿繪)

太平洋岸即ち主としてカリフォルニア州に於けるわが在留民は、その大部分が農業に従事し、中でも果樹及び蔬菜園藝に於て成功してゐるものが多い。この圖はサンフランシスコに近い地方の苹果園の一部を示したものである。

元來この地方は不毛の荒地であつたものを、主として日本人が開墾して緑地としたもので、且その生産する蔬菜果實等は、米國人の需要の大部分を充してゐるのであつて、こ

【合衆國との貿易】

わが貿易額を國別に見ると、アメリカ合衆國は實に飛び離れて第一位を占めてゐる。これ國情の相違によつて物産の種類に大差があるからである。即ち米人の最も好む絹は、アメリカに於ては一絲も産しないし、日本に於ける國民の衣料となり、又重要な輸出品の原料となる棉花は殆どわが國には産しない。

而して合衆國から見ると、わが國との貿易額は總額の一割内外に過ぎないが、輸入品では主にわが國から行く生絲が第一位で、輸出品の主たる綿の三割足らずは日本へ向けられるのである。

【我が國人の在留】

在留日本人は昭和三年には十四萬であつたが、その後年々減少して今や十萬三千ばかりとなつた。これは排日のために次第に歸國者が多くなるのと、不景氣のための一時的歸國も多いからである。

【面積・人口】

南アメリカ洲の面積は約千八百七十萬方杆で、北アメリカ

の點から云ふと、米人は排日など口にもすべきものではないのである。

【我が國と合衆國との貿易】 (グラフ)

昭和八年の日米貿易額は、

輸出品	価格 (百萬元)	輸入品	価格 (百萬元)
生絲	三、五八	棉花	三、一六
罐詰類	一、七六	石油	五、九
陶磁器	一、〇一	鋼	二、七六
玩具	六、九	木材	三、七
			三、八



我が國との貿易額は、太平洋方面の諸港ばかりでなく、大西洋方面の諸港にも定期に航海してゐる。かやうに彼我の間の交通が便しく短縮され世界の交通の上に大きな影響を與ふるやうになつた。

我が國の汽船は太平洋方面の諸港ばかりでなく、大西洋方面の諸港にも定期に航海してゐる。

我が國の汽船は太平洋方面の諸港ばかりでなく、大西洋方面の諸港にも定期に航海してゐる。

我が國の汽船は太平洋方面の諸港ばかりでなく、大西洋方面の諸港にも定期に航海してゐる。

利となるに随つて貿易も益發進して行く。殊に合衆國との貿易が最も盛んで、我が國は綿木材、鐵及び鐵材、機械自動車、石油小麥等を彼から輸入し、生絲、絹織物、陶器、罐詰等を彼に輸出する。又合衆國の太平洋方面には我が國人の在留してゐるものが約十萬人あつて多くは農業に従事してゐる。

第十二 南アメリカ洲 南亞米利加洲

南アメリカ洲は北アメリカ洲に似てほぼ三角形の大陸で面積は北アメリカ洲よりやや小さく、人口もその半分に及ばない。一部分はイギリス領フランス領オラ

洲の八割六分餘に過ぎない。『北アメリカ洲ほどもある』とは少々無理な云ひ方であらう。

但しメルカトル式の世界全國では北米は南米の二倍位の大さきに見えるので、兒童の頭に非常に誤つた印象を残すことになる。この點特に注意を要する。

附圖の第二十一圖は面積が非常に不同であるから、第二十二圖によつて讀圖する様指導を要す。

人口は六千六百五十萬であるから北米の半分に足りない。

【十箇の獨立國】

ブラジル・アルゼンチン・チリ(南米の三大強國A・B・C)その他の七國はベネズエラ・コロンビヤ・エクアドル・ペルー・ボリビア・パラグアイ・ウルグアイである。

【三つの部分】

南アメリカは西部高地・中部低地・東部高地の三つの部分に分れて居る。この状態は全く北アメリカ洲と同様である。そして東西兩高地の一方が峻峻で一方が低夷なことも南北全く符節を合した様になつて居る。兩大陸を對比すると、ロッキー山脈—アンデス山脈。

アパラチヤ山脈—ブラジル山脈。

セントローレンス河—アマゾン河。

ミシシッピ河—ラブラタ河。

【あまたの高い火山】

北部にコトバクシ・チンボラソ等。

中部にソラタ・イリマニ等。

南部にアコンカグア。

右の中アコンカグア山は七〇二〇米、南米第一の高峰であ

【アマゾン川】

アマゾン川は長さ六千二百軒で、日本の千島からフィリピン群島の南端までである。ミシシッピ川に次で世界第二であるが、流域の面積はミシシッピ川の二倍を超え、且つ世界一の多雨地であるために、水量の多いこと全くこれに匹敵するものがない。殊に流れが極めて緩かであるから、川幅も廣く水も深く、巨船が深く内地まで溯つて行ける。

河口附近の幅は八十軒乃至百軒、河口から八百軒の上流でも幅が十六軒位ある。

深さは二三十米から五六十米、最も浅くても七八米はあるから、一萬噸位の船はマナオスまで一千六百軒を平氣で上つて行くし、小さい汽船は更に上流のイキトス(川口から三千五百軒)まで行ける。そして本支流を合せて汽船の航行し得る區域は二萬四千軒に達する。

【ラブラタ川】

パラナ・パラグアイ二河の合流したものをラブラタと稱するので、一大三角江をなして居るから、川口は幅二百七十軒に達する。即ち海とも河ともわからない位である。

るのみならず、火山としては世界第一の高さを有する。

【アマゾン川の沿岸の密林】 (挿繪)

アマゾン川の流域は暑くて雨が多いので熱帯性の樹木が多数密生して、晝尙暗き密林をなして居る。

樹幹の曲つて居ること、これに纏繞する蔓性植物の多いことなど、よく熱帯林の特徴が見えて居る。

この密林をセルバスと稱する。アフリカのコンゴ川流域と凡ての事情がよく似て居る。



アマゾン川の熱帯の密林

ンダ領になつてゐるが大部分はブラジル・アルゼンチン等十箇の獨立國に分れてゐる。

本洲の地勢は大體西部中部東部の三つの部分に分れてゐる。西部には太平洋の海岸に沿うて南北に走つてゐるアンデス山脈があつて本洲の大分水嶺をなしてゐる。この山脈は中にあまたの高い火山がそびえ處々に高原があつて地勢が甚だ高く又けはしく、ロッキー山脈に勝るとも劣らぬ雄大

な山脈である。

東部にはブラジル山地があるが、これは一般に高原状になつてゐてあまり高くない。

この兩山地の間の中央の部分は一帯に廣々とした平地で、その北部ではアマゾン川が東に向つて流れ、南部ではラブラタ川が南に向つて流れてゐる。いづれも水量が多く流がゆるやかで、大きな船も通ることが出来るから、本洲の主要な交通路となつてゐる。殊にアマゾン川は大洋を航行する大きな汽船も、川口から一千六百キロメートルの川上まで往來することが出来る。本洲の北半部は熱帯にあるので、低い處は暑さがはげ

上流はアマゾン川の支流との間に僅かに五軒を隔てるのみで、而もそこは平野であるから、運河によつて容易に兩河を連ねることが出来る。

【低い處は暑さが……】

熱帯の低地は何處でも暑さが甚しくて濕氣の多いを常とする。即ちアマゾン沿岸に於ては年平均溫度約二十八度内外で四季の變化は殆ど無い。併し海風がよく吹いて來ると大森林がある等のためにアフリカよりも凌ぎよい。決して住み難き猛惡氣候では無いのである。

【土地が低く、氣候が悪いから】

この文章ではアマゾン流域の森林の利用されてゐない理由
は(一)土地の低いこと、(二)氣候のわるいこと、の二つで
ある様に考へられるが、實はそうではなくて本文の意味は
『土地が低くてそのため、氣候がわるいから』といふ一理由
なのだから誤解があつてはならぬ。

氣候がわるいと云つても全然居住の出来ない程の不健康地
では無い。近時日本人でこの方面の開拓に着手してゐるも
のが少くないので、將來は大に利用せられるであらう。

【高原では...】

土地の高さと共に溫度の低くなることは云ふ迄もない。そ
の割合はアンデス山中で測定された處によると高さ百米に
ついて攝氏の〇・五三度であるといふ。故にマナオスの年
平均溫度は二十八度でも、エクアドルのキトは二千八百
米の高さであるから約十五度低くて平均十三度である。

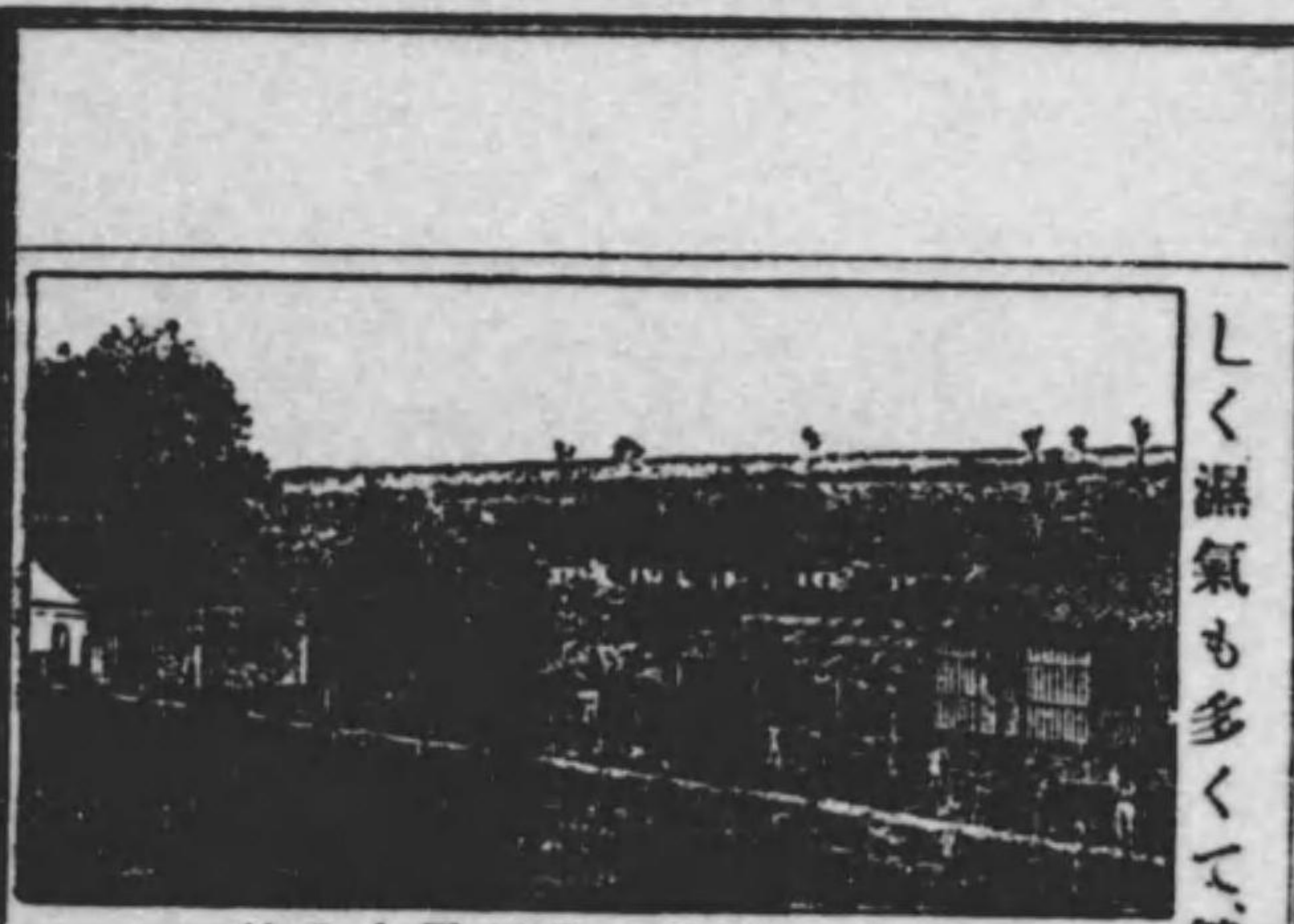
それ故この地方は早くから開け、アルパカ・リヤマ等の牧
畜が行はれ、又金・銀・銅・錫・鉛等の産が少くない。

【南米に於ける我が國人の村】 (挿繪)

圖はブラジルに於けるわが移民の村落を示したものでサン
パウロ州内である。

この地方の日本移民は主にコーヒーの栽培に従事してゐる
が、コーヒーの外にも種々の農作物が出来、米作を試みて
ゐるものもある。東岸地方では砂糖や煙草・棉などが頗る
有望である。

廣い農場を經營して安らかな生活を營むことが出来てゐる
模様を想像せしめ、大に移民思想を鼓吹すべきである。



しく濕氣も多くて、健康に適しないから、産業も發達し
てゐない。アマゾン川流域の大平
地にある大森林の如きも、土地が
低く氣候が悪いからあまり利用
されてゐない。たゞゴムの木から
ゴムが採集される位のことであ
る。これに反して太平洋方面のア
ンデス山脈中の高原では、農業牧
畜が行はれ、又大西洋方面のブラ
ジル山地では農業、鑛業、牧畜が行
はれてゐる。

尋常小學地理書卷二より

【諸外國からの移民】

ヨーロッパ諸國殊にイタリヤ・ポルトガル・イスパニヤ諸
國からの移住者が最も多く、これに次ぐはドイツ・トルコ
等でその次が日本人である。

日本人の總數は昭和七年に十三萬三千、その九割以上がサ
ンパウロ州である。尙年々數千人づゝ増加(昭和六年に一
萬三千人)しつゝあつて、アマゾン方面に向ふものも少
ない。

【コーヒーの實】 (挿繪)

コーヒーはアビシニヤ(アフリカ)の原産で、茜草科に屬す
る常緑樹である。熱帯の各地に栽培せられるが殊にブラジ
ルが有名である。

實は指頭大で、數個づゝ集つて葉腋の處について居る。色
は黄又は淡緑である。花は白色で香氣がある。

果實は中に二個の種子を有する。その形は子安貝に似て居
る。これを炒つて粉末とし、熱湯に入れて飲むので、香氣
に富み興奮性があつて食物の消化を助けるのみならず、滋
養分にも富んで居るので歐米人に盛に用ひられる。

尋常小學地理書卷二より

しかし南半部は温帯に屬してゐるので、氣候も温和で
地味もよく農業牧畜に適してゐ
る。中でもブラジルの南部やアル
ゼンチンの
中部ではこ
れ等の業が
最も盛であ
つて諸外國
からの移民も多い。ブラジルのコ
ーヒーは殊に名高く、世界の總産
額の大部分を産出し、主としてサン
トス港から各國に




咖啡の收穫

【コーヒーの收穫】 (挿繪)

廣いコーヒー畑で子實を收穫して居る模様で、サンパウロ
州に於ける光景である。働いて居る人物は日本人であるか
も知れない。

收穫したコーヒーの實は袋に入れ、馬車に積んで運びつゝ
ある。これを調製工場に集めて皮をとり、日に乾した上で
大小をよりわけ、更に袋につめて汽車と汽船とで海外に賣
り出す。

【サントス港に於けるコーヒーの積出し】（挿繪）

前頁に於ける二圖と共にコーヒーに關する繪が三つも出て居るから、彼我對象して充分に知らせることが出来よう。蓋しブラジルと云へばコーヒーの國と云ふことを聯想するほど、コーヒーは實にブラジルの生命であり、又日本移民が多くその栽培に従事して居る點からも、我が國と關係の深い産業である。

圖はサントス港に於けるコーヒー積出しの盛況で、馬車で運んで来た袋入のコーヒーは人肩によつて長蛇の如く船内に荷ひ込まれて居る。

この勞働者は多くは黒人で、六十疋入りのコーヒー袋を首の後ろに乗せて小走りに走つて居る。岸壁には一萬噸級の大汽船が横付けとなつてゐる。

【アエノスアイレス港の小麥の倉庫】（挿繪）

前面の水はラプラタ河で、大汽船が多數岸壁に幅横して居るのは小麥を積込むためである。

河岸に建て連ねられたのが小麥の倉庫で、これによつて如何にその輸出の盛大であるかを想像することが出来る。

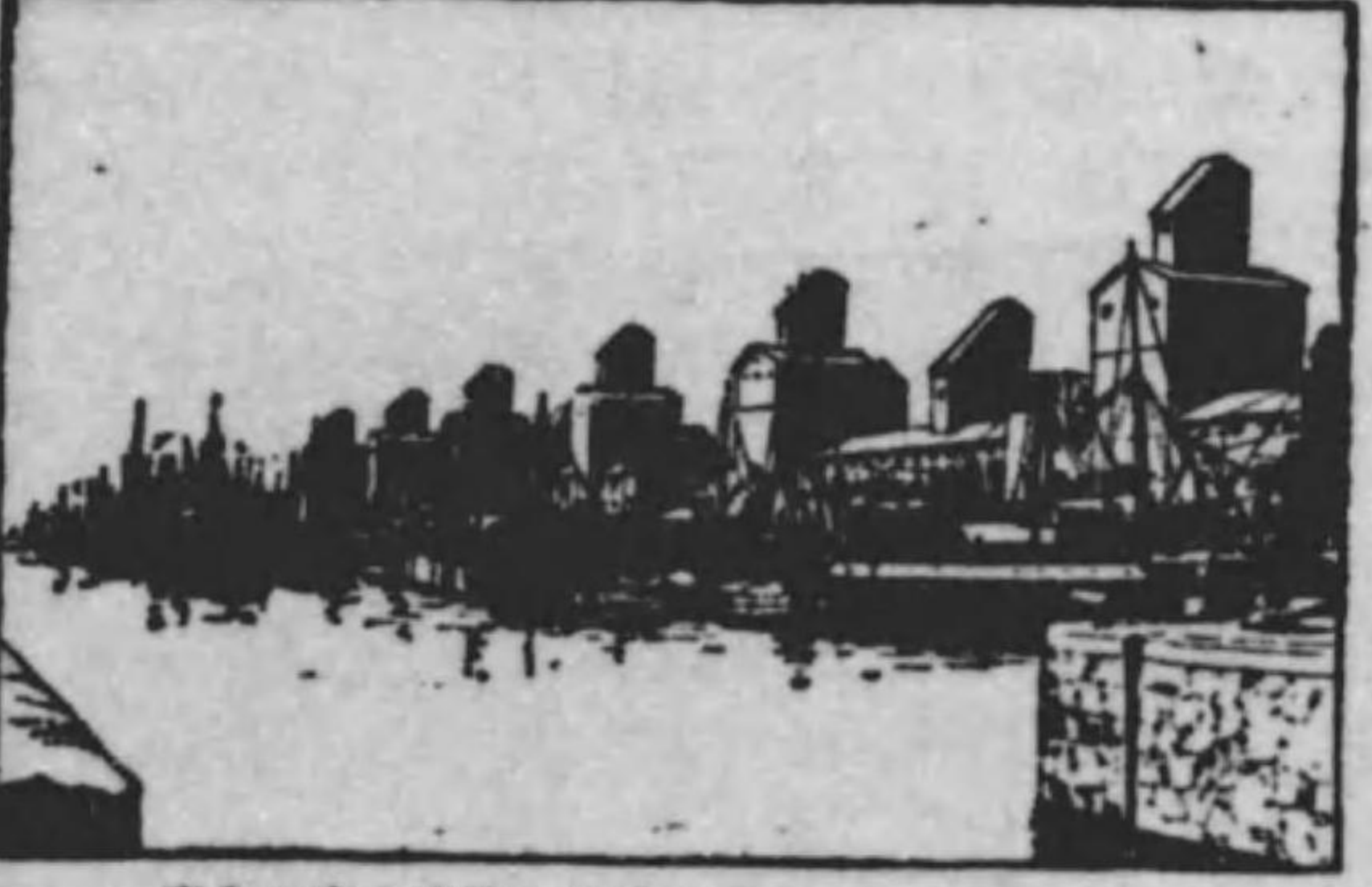
アルゼンチンに於ける小麥の産額は約五百萬噸で、世界で第六位、アメリカ合衆國の三分の一に過ぎないけれども、人口が少ないから輸出する高は非常に多いのである。

【肉類】

肉は牛肉と羊肉とを主とし、乾肉・鹽漬肉又は肉エキスとして盛に輸出せられる。肉エキスは肉を熱湯の中に入れて脂肪を去り、これを煮つめて糖蜜の様にし陶器の壺に入れてもので、病後等に用ひて大効ある滋養食料である。



牧羊場の毛の積出し



肉類の産額も甚だ多く、小

尋常小學地理書卷二より

【アルゼンチンの羊毛の市場】（挿繪）

圖はブエノスアイレス市の羊毛市場の盛況を示したものである。羊毛には非常に多くの種類がある。その種類毎に積み重ねた中に立つて、商談を進めて居る光景で、（イ）は事務所の一角である。

アルゼンチンの羊の頭数は三千六百萬、牛は三千七百萬、馬も九百萬頭を算する。この國の人口は一千萬に過ぎないから、家畜の数は人口の八倍以上である。

又羊毛の産額は一九三一年に十五萬噸で、濠洲・米國・ロシア・南阿に次で第五位となつた。

【海上の交通】

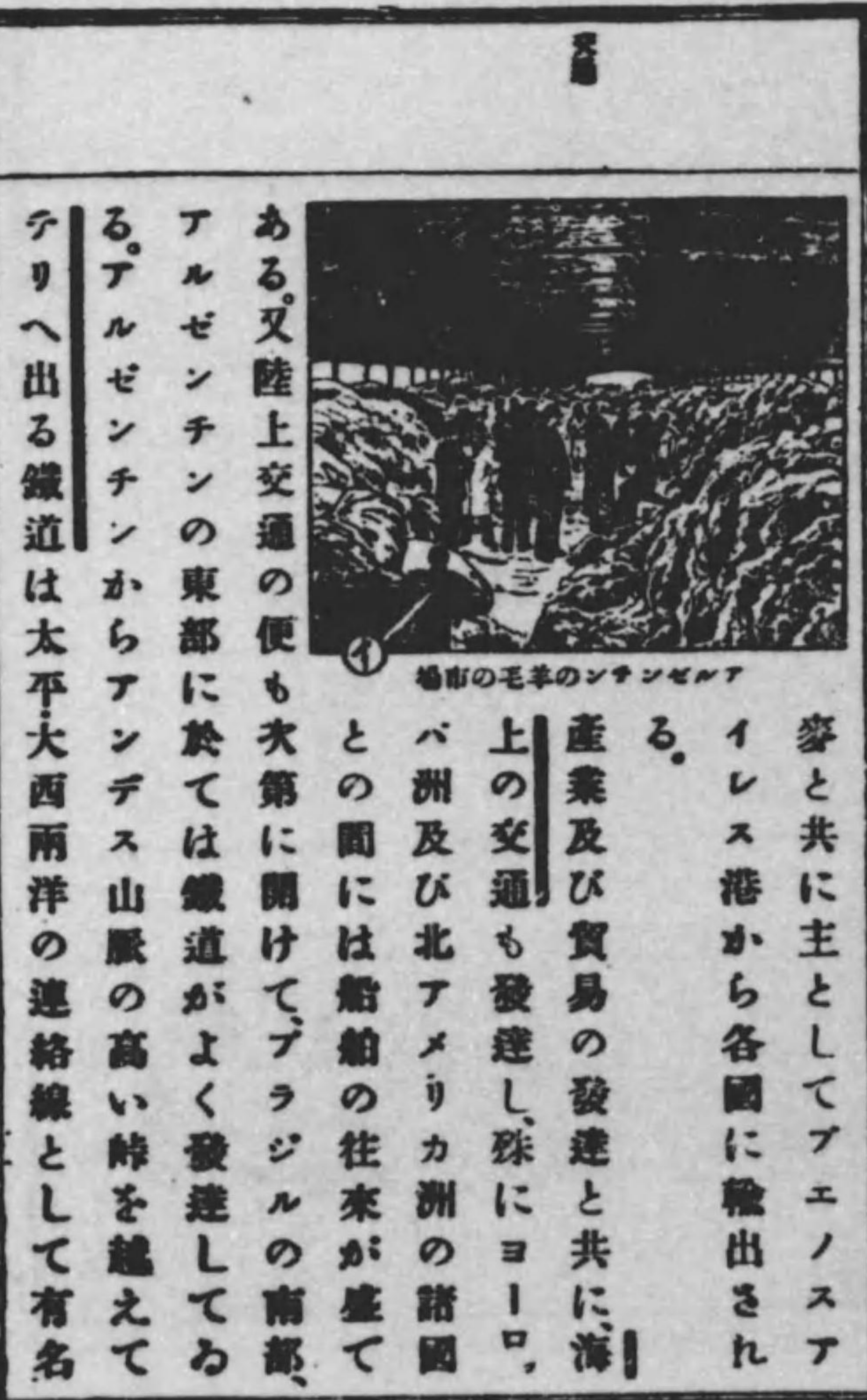
ヨーロッパに對しては食料品・原料品を供給して各種工業品を輸入するので、この間の交通貿易も盛である。殊に世界大戰後は著しく盛になつた。

北米との交通はこれに次で盛である。パナマ運河が開けてからは北米東岸と南米西岸との交通が便利になつた。

アジア洲との交通は更にこれに次で居る。

わが國からブラジル又はアルゼンチン方面に行くには、太

尋常小學地理書卷二より



チリへ出る鐵道

平洋を横ぎつても、又印度洋からアフリカの南端を廻つても大體同じ距離である。即ち地球の中心を貫いて正しく日本と反對の位置（對蹠點）にあり、日本から最遠距離の地にあるわけである。

【チリへ出る鐵道】

アルゼンチンのブエノスアイレスからチリのバルパライソまで千四百三十軒、アコンカグア山の麓海拔三千餘米のペンメボ峠を越えてゐる狹軌鐵道である。

【リオデジャネイロ港】(挿繪)

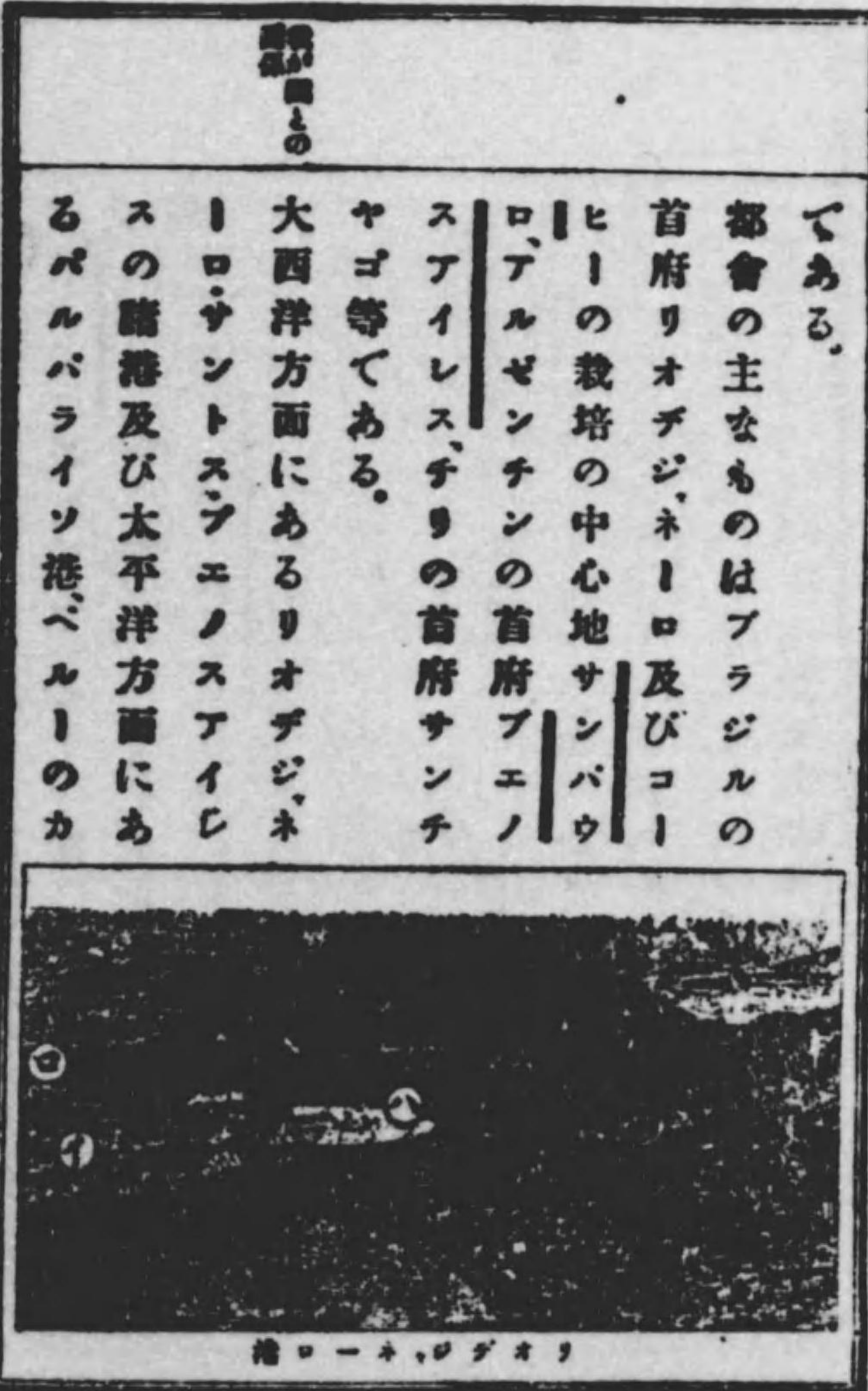
世界有数の天然の良港に臨んで居て、首府であり商港であり且つ軍港を兼ねて居る。人口百二十餘萬で南米第二の大都會である。市街は壯麗宏大で、各種官廳や寺院等が多く、附近農産物集散の一大市場であり、又製糸・煙草・織物・製革等の工業も盛である。又灣内に八十八個の島があつて風景のよいこと世界無比、伊太利のネーブルスと濠洲のシドニーと共に世界三景の一と稱せられてゐる。

この圖はリオの市街の南端の一部を北方の空から眺めたもので、郊外の住宅区域であつて商業の盛な中心地區は圖外に逸してゐる。随つて岸壁のある處もこの圖のすつと手前の方で、巨船の輻輳してゐる模様は一切見えない。
(イ) ポタフオゴ灣
(ロ) この半島の先の方に有名な棒砂磨岩がある。
(ハ) 灣岸半圓形の大道路は夕方自動車を驅るによい。
【サンパウロ】
コーヒー栽培の最も盛なサンパウロ州の首府である。随つ

てコーヒーの集散が頗る盛である。附近には日本人が澤山住んで居る。又伊太利人が多いのでこの邊を俗に新伊太利とも呼んで居る。

【フェノスアイレス】

南米第一の大都會で、又實に南半球第一の大都會である。全國政治・經濟・交通の一大中心で、外國貿易も亦甚だ盛である。風俗の華美な町で『南半球のバリー』と稱せられる。



尋常小學地理書卷二より

【我が汽船】

わが汽船の南米航路は、日本郵船西岸線(香港から横濱を経てカイヤオ・イキケ・バルパライソまで)東岸線(神戸からサントス・リオデジャネイロ・ブエノスアイレスまで)大阪商船南米線(郵船の東岸線と同様歸途はパナマ經由)

【彼我の貿易】

國名	輸出	輸入
ブラジル	二、七六六千圓	一、〇〇八千圓
アルゼンチン	二、三、三二二	六、七三九
ウルグアイ	二、四五二	三、八
ペルー	三、九〇〇	一
南米總計	三〇、三三九	三、八七二 (昭和八年)

【ブラジルに在留】

在南米日本人總數は昭和七年十月の調によると、ブラジル 十三萬三千人、ペルー 二萬一千人

尋常小學地理書卷二より

イヤオ港と我が横濱神戸との間には定期航路があつて、我が汽船のこの間を往來するものが多く、彼我の貿易も次第に發達してきた。又我が移民の數も年々増加し、中でもブラジルに在留してゐるものは約十二萬人である。

第十三 大洋洲

大洋洲は世界の大陸中で最も小さいオーストラリア(濠洲)と太平洋の中部から南部へかけて散在してゐる大小あまたの島々をいふのである。總面積はヨーロッパよりや、小さく、人口は八百餘萬で、その中七割餘

アルゼンチンその他の諸國に約六千人。

ブラジルへは尙年々二萬人内外の渡航者があるが、近時排日の問題が起り始めたのは遺憾である。

【面積】

大洋洲の總面積は約九百萬方呎、その中オーストラリアが七百七十萬方呎を占め、その餘が無数の島嶼に屬するのである。ヨーロッパの面積は千四百四十萬方呎であるから、大洋洲はその八割一分に相當するわけである。

【一部分は……】

大洋洲中イギリスに属しない部分は極めて少い。フランス領ニューカレドニア島・ソシエテ諸島・タヒチ島・パウモツ諸島等。アメリカ合衆國領グアム・ハワイ諸島・ミッドウエー島・サモア諸島の一部等。オランダ領バプア島西半部。

【中部から西部】

中部及び西部が沙漠又は草原となつて居る原因を、一、雨量が極めて少く。二、寒暑の差が甚しい。の二つに歸して居るのは少しく變である。寒暑の差の甚しいために沙漠や草原が出来るといふ理由は不可解である。單に『雨量が少い』だけの理由でよからう。『寒暑の差の甚しい』のは沙漠であるために起ること、原因ではなくて結果である。故にこの文章は次の如く訂正を要す。雨量が極めて少いので、大部分は沙漠又は草原となつてゐて、ために寒暑の差も甚しく、人の生活に適しない。

【金がたくさん出る處】

オーストラリアの西南部には金の産地が澤山ある。カルグールリー・ラバートン・ナンニン等はその重要なものである。これ等の土地は沙漠であるけれども坑夫が集まつて小さい町が出来て居る。又海岸には金を輸出する等のためにパース・アルバニー等の港も出来てゐる。但しこの海岸のあたりには多少雨があつて全くの沙漠ではなく、附近には牧畜も行はれて居る。金はこの外東南部にも産する。小麦・羊毛と共に極めて重要な物産である。

【山脈】

東部の海岸にある山脈はオーストラリアアルプ山脈で、この山脈の附近は割合に雨が多い。それは一月に東風が盛に濕氣を吹きつけるからである。併し多いと云つても五百耗以上千耗以下であるから、我が國の最も雨の少い部分よりもまだ少い位である。

【羊毛の刈取り】（挿繪）

羊毛刈取りの様様を示したもので、一列にならんで一人が

【オーストラリアに於ける牧羊】（挿繪）

(イ) 牧場を區劃する柵。電線を張つて羊の散逸を防ぐ。(ロ) 羊小舎。(ハ) 管理人。常に馬に乗つて見廻つて居る。如何に多數の綿羊が群集せるかを見よ。綿羊には色々の種類があるが、オーストラリアに最も多いのはメリノ種である。羊毛の外に肉は食用となり、乳はチーズの原料、皮は鞣皮に作られ、脂は蠟燭や石鹼の原料に供せられる。

Diagram showing sheep management methods in Australia, including fencing, shepherds on horseback, and sheep pens. Includes a small landscape illustration.

尋常小學地理書卷二より

尋常小學地理書卷二より

Diagram comparing wool production per sheep between Australia and other regions. Includes a small illustration of sheep shearing.

一部分は沙漠又は草原となつてゐて、人の生活に適しない。しかし南西部には金がたくさん出る處があるの、都會も出来てゐる。東部の海岸には南北に連なつてゐる山脈があつて、これがために雨が割合に多く、この山脈から流れ出る川は灌溉に利用される。一頭づゝの羊を受持ち、毛刈機を手にして毛を刈つて居る。刈つた毛は側に積み重ねてある。その頭上には車が回轉して居る。これによつて機械が運轉して毛刈機を動かすのであるから、その取刈りは極めて迅速なものである。熟練したものは一日（八時間）に三百頭も刈るといふ。オーストラリアは氣候が乾燥して居るので羊毛に光澤・純白・靱強・細美等の特質があつて、世界の市場に於て極めて優越の地位を占めて居る。

【氣候も温和】

シドニーの年平均温度は十七度二分でわが鹿兒島よりも暖いが、一月は二十二度で秋田の夏と等しく、七月は十一度三分で八丈島よりもまだ暖い。

こんなによい氣候であるから健康には頗るよい。殊にタスマニヤ島の如きは最もよい氣候の土地として、世界に名高い保養地となつてゐる。

【イギリス本國へ輸出】

小麦や肉類は食料品として、羊毛は毛織物の原料として、共に盛に英本國に輸出せられる。肉は凡て凍肉とし輸送するから決して途中で腐敗することはない。

もつと近い所へ輸出しないで遠いイギリスへ輸出するのは何故かと云ふと、こゝは英國の領土であるから本國との間に關稅を取られない。それで近い外國へ賣るよりも運賃を差引いて尙有利であるからである。

【シドニー港】 (挿繪)

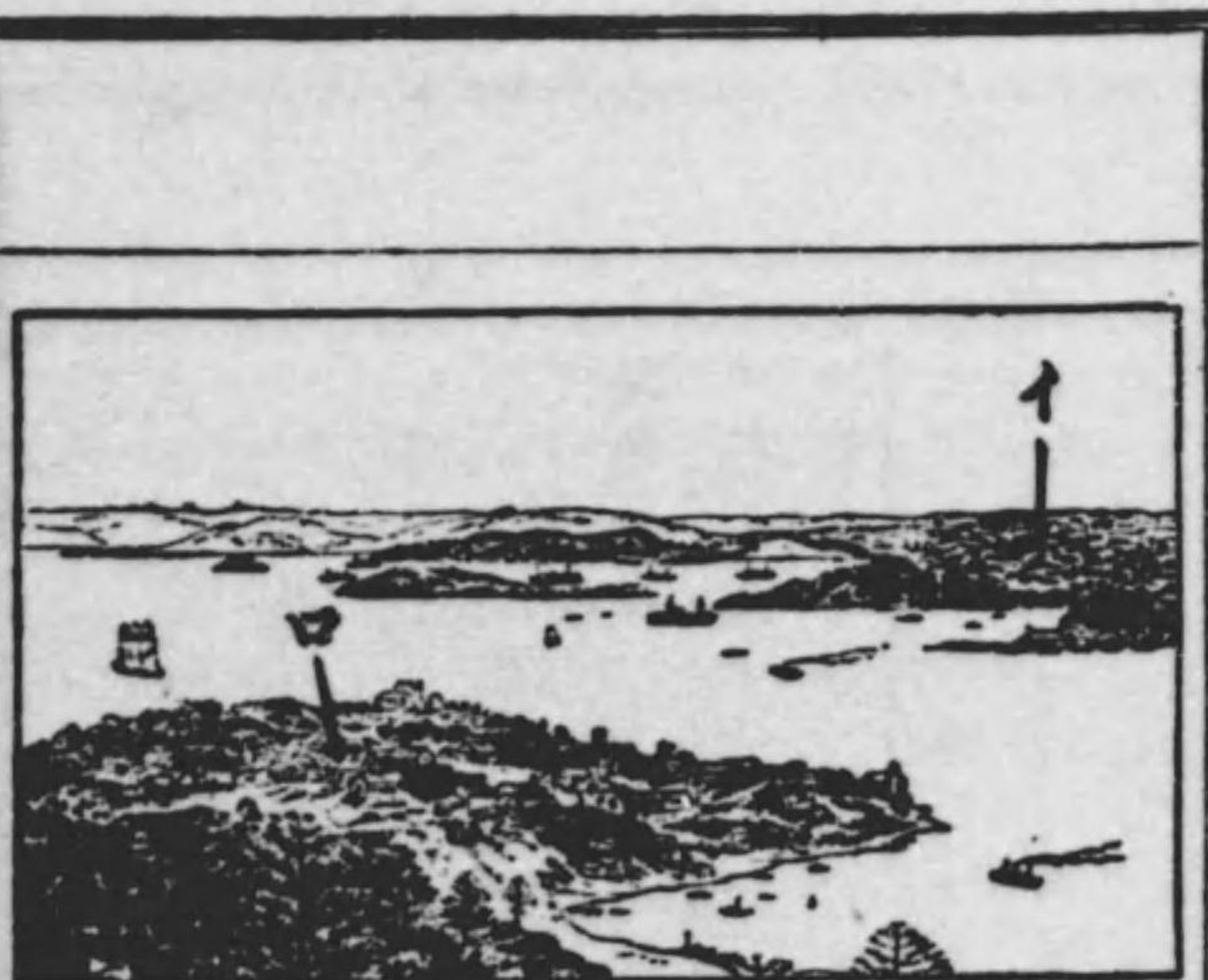
ニューサウスウェールズ州の首府でオーストラリヤ最古の都會である。屈曲の極めて多いジャクソン灣に臨んで居る

が、港内は水が深く風波が無く、リオデジャネーロ及びニューヨークと共に世界に於ける天然の三大良港と稱せられる。オーストラリヤ第一の商港で又濠洲艦隊の根據地ともなつて居る。

圖は灣の北岸から南岸を見たところで、右は灣奥、左は灣口である。

(イ) シドニー市街。

(ロ) 郊外町として北岸に發達した北シドニー。



殊に南東部は氣候も温和であるから農業牧畜が發達してゐる。中にも小麦の栽培牛や羊の牧畜は最も盛で羊毛の産額は世界第一であり、小麦肉類の産額も甚だ多い。これ等の農産物畜産物の大部分はイギリス本國へ輸出される。又鑛業も盛で石炭金の産出が少くない。南東部はかやうに産業が盛

尋常小學地理書卷二より

【カンベラ】

濠洲聯邦の首府として新に建設せられた町で、附近の土地は聯邦の直轄としてどの州にも屬しない。

町はモロングロ川に臨み、最新の研究を應用して理想的に計畫を立てられたもので、池と森とに包まれた同心圓形と放射狀式との組合せの街路系統である。

鐵道はあるが水路の便が無いから工業の盛になる見込はない。單なる首府として靜かな町である。

【太平洋上の諸島】

太平洋中に散在する小さい島は凡て大陸とは地質的に關係のないものであるからこれを洋島と呼ぶが、その洋島に二つの種類がある。即ち、

- 一、高い島、火山より成る。(火山島)
- 二、低い島、さんご礁より成る。(さんご島)

但しこゝに注意すべきは火山島の周圍にもさんご礁が出来かゝつて居るし、さんご礁の島も元は火山島であつたものらしいことである。

【さんご礁の島】 (挿繪)

太平洋上の諸島はバブア島とニューギランド諸島との外は、大抵高い火山か低いさんご礁で、いづれも面積が

この島は略菱形をなし、中に長徑六十軒の礁湖を圍み、その周圍は所々に切れ目があつて外海に通じて居る。主島は長さ二十軒幅五十米、高さは海面上二米を出でない。

(イ) 主島の一部に出來てゐる道路。

(ロ) 椰子の林。

(ハ) 礁湖。六千噸の汽船も入れる。

(ニ) 北東水道から今汽船の入りつゝある所。

尋常小學地理書卷二より

【政治上・軍事上】

大洋の孤島と雖も種々の意味に於て重要である。即ち、

- 一、海底電信線の仲繼所、無線電信局の設置所。
- 二、漁業の根據地、商船の避難港。
- 三、軍港、海軍要港又は貯炭所。
- 四、飛行機の着陸又は着水場。
- 五、コブラ・燐礦等の物産のあること。

近年起つた問題で最も著しい例を挙げると、

- 一、ヤップ島を日本が委任統治するに就て米國が故障を申出て、遂に無線電信局を使用させることになつた。
- 二、小笠原島に砲臺を築造することも軍縮會議の結果中止することになつた。

【氣候がよく】

ホノルルの氣温は全年平均が二十三度六分でわが琉球の石垣島と同じであるが、絶對最高温度も三十度六分を超えたことなく、最低も十三度三分が極限である。如何に四時良好な氣候であるか知らう。

【ホノルル港】（挿繪）



ホノルルはオアフ島の南岸にある。港内は水深く、埠頭の設備がよく整つて居るので極めて便利である。圖はその埠頭を沖合から眺めたものである。

(イ) 岸壁に上屋の建つてゐるもの。

(ロ) これに繫留した巨船。

市街は綠樹の間に隠見して風景頗る清楚である。港は吃水六米の船を入れるが港口に淺瀬がある。

この西北に眞珠灣と稱する有名な海軍根據地がある。

小さく住民は極めて未開なものが多いため、産業も發達してゐない。しかし太平洋上の交通の要路に當つてゐるために政治上軍事上重要な島々が少くない。

ニージーランドはイギリスの領地で南北二島に分れ一般に山勝ちて火山も多い。氣候が温和であつて羊の牧畜が廣く行はれ羊毛の輸出額が多い。

ハワイ諸島はアメリカ合衆國に屬し熱帯にあるけれども氣候がよく地味が肥え、さとうきびの栽培が盛である。住民の

尋常小學地理書卷二より

【六大洲】

アジア・ヨーロッパ・アフリカ・北アメリカ・南アメリカ・オーストラリアを六大洲又は六大洲といふ。この外に南極大陸を加へて七大洲とも云ふが、南極洲は無人の大陸であるから通例はこれを加へない。

この中アジアとヨーロッパとは地形上別の大陸でなくて一大陸である。これをユーラシアと呼ぶ。併し人文上から云へばヨーロッパには多數の強大國があるから、別の大陸としてもよいわけである。

【早くから開け】

世界最古の文明はエジプト・メソポタミヤ・印度・支那の四ヶ所に起つた。その中始めの二つは合一してギリシヤ文明となり、遂に今日の西洋文明に發展したが、東洋の二文明はその後の發達が止まつたので、今日西洋文明に比べると精神的方面では負けないにしても物質的方面では非常に劣つて居る。

それ故に今日の文明國は西洋文明の國のみである。アメリカも日本も西洋文明の流入によつて今日の文明國となり得

尋常小學地理書卷二より

約四割は我が國人で、その數約十四萬である。ホノルル港はこの諸島の門戸で、太平洋交通上の要地である。

第十四 世界と日本

六大洲の中アジアとヨーロッパとは早くから開けて、世界の文明國は多くこゝに起つた。随つてこの兩洲は人口が多く、世界の住民の約八割はこゝに住まつてゐる。現今最も國勢の盛なのは、アジア洲では我が國、ヨーロッパ洲ではイギリスフランスイタリヤドイツ等の諸國である。

南北兩アメリカ洲は新大陸と呼ばれてゐて、開け初めたのであるから。

【國勢の盛なのは……】

世界の強國は凡て北温帯の海岸に存在する。(合衆國は大陸國であるがその本國と見るべきは東岸地方である)これは氣候が良好であり資源も豊富で交通も便利だからである。文明と人口密度とは必ずしも一致しない。印度や支那の様な例外があるから。併し新大陸を除けば概ね文化の高い地方は人口も多い。

【主要國の面積及人口】(グラフ)

國名	面積(本)	同(他)	人口(本)	同(他)
日本	三六二	一三	六八、四五	一五、七四
イギリス	二四五	二九	四、〇三	三九、二〇〇
合衆國	七、七〇一	一、八五四	一三、七五	一四、一三
フランス	五五〇	一〇、四〇〇	四、三四	六三、五三
イタリア	三〇〇	三、〇〇〇	四、六〇五	二、三三
ドイツ	四七〇	一	六、一六五	一

但しグラフでは日本は全部が本國となつて居て、本國以外の領地なるものは認めて無い。これはこの教科書を臺灣や朝鮮で使用する場合のことを考へて遠慮したものである。故に内地に於て若くは内地人のみの學校に於て使用する場合には、普通一般に用ひられてゐる内地(本國)と植民地との區別をも教ふべきであると思ふ。

【アメリカ合衆國】

合衆國はその廣い國土がイギリスの様に離れ々々になつて居ないし、ロシアの様に寒帯でなく、フランスの様に沙漠も多くない。實に理想的のよい國土である。

【アフリカ洲・大洋洲】

この二洲には獨立國が少くて大部は歐米各國の領地となつて居る。それは、

- 一、地勢や氣候がわるくて文明が進まない。(アフリカ)
- 二、あまり隔絶して居て開發が後れた。(大洋洲)

【航路が最も多く】

大西洋は世界の大洋中最も交通の頻繁な海である。それは最もよく開けたヨーロッパと最も資源の多い北米とを連ねるからである。(一五八頁参照)

この海の航路に従事する船はイギリス・アメリカ合衆國・フランス等を始めとし、ドイツ・ノルウエー等の諸國の船も頗る多いのである。

【大西洋航路の大きな汽船】(挿繪)

大西洋を航海してゐる四五萬噸の巨船である。

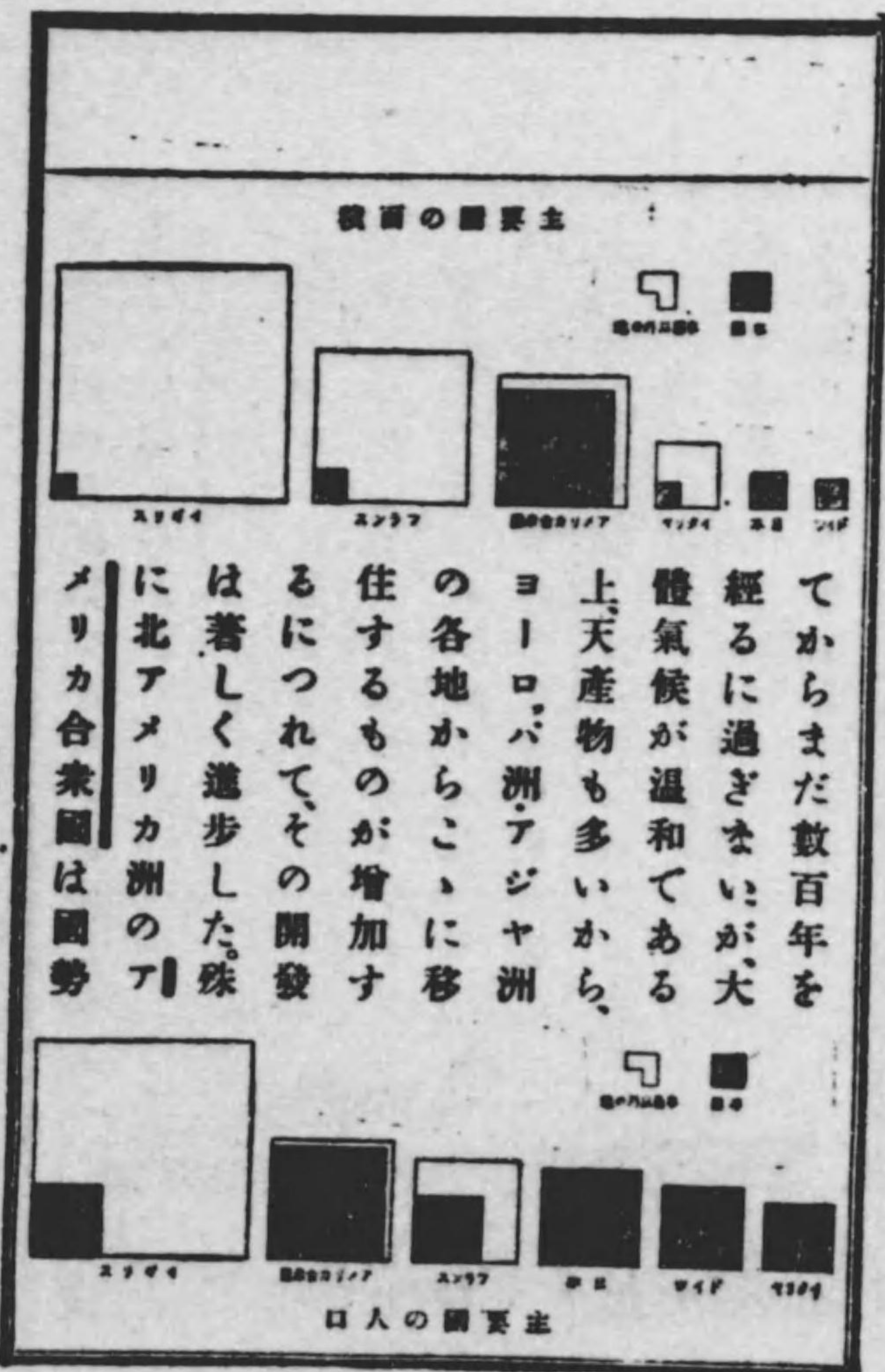
(イ) ここにその船を所有する會社の旗を掲げるのが普通で、帆檣の上の旗は概ね信號旗である。

(ロ) 無線電信のアンテナ。

(ハ) ここに舵取室や船長室がある。

アメリカ洲では合衆國のみが繁榮して他の國はあまり振はない。これには色々の理由もあるであらうが、

- 一、合衆國は最も氣候がよいが、他にはこれに負けない様な良氣候の地はない。
- 二、鐵・石炭等の天然資源が非常に豊富であるが他はこれに及ばない。
- 三、合衆國は最もヨーロッパ及びアジアに近くて位置が他に比して良好であること。



尋常小學地理書卷二より

尋常小學地理書卷二より

が極めて盛で、世界で一二を争ふ強國となつてゐる。アフリカ洲大洋洲は殆どその全部がイギリス・フランス及びアメリカ合衆國等の領地となつてゐる。

三大洋即ち太平洋大西洋印度洋の中で大西洋はヨーロッパと南北兩アメリカ洲との海上交通の要路で、航路が最も多く、又交通する船の數も最も多い。

船代なき大の路航洋西大

(ニ) 船尾にあるのがその船の所屬國の國旗。

世界の巨船は昭和八年現在によると

船名	所有者	總噸數
レヴィエザン	USNS	五九、九五七
マゼスチック	ホワイト・スター	五六、五五一
ペレンガリヤ	キューナード	五二、二二六
オリンピック	ホワイト・スター	四六、四三九
ブレイメン	北獨逸ロイド	四六、〇〇〇

【印度洋】

この大洋の周囲の國々はまだ大に發達して居ないので、獨立して交通の發達を促すことは少い。故に印度洋の交通は太平洋と大西洋とを連ねる一連鎖としての交通である。これは他の二大洋に比べて著しい差である。即ち太平洋にある日本や支那と、大西洋にある西ヨーロッパとを連ねる交通線が主なもので、印度・アフリカ東岸、濠洲西岸等の相互間の交通はあまり盛ではない。

印度洋航路の大きな缺點は、その大部が熱帯にあるといふことである。精巧な機械の如きは暑さのために狂ひを生ずることがある。

【スエズ運河】

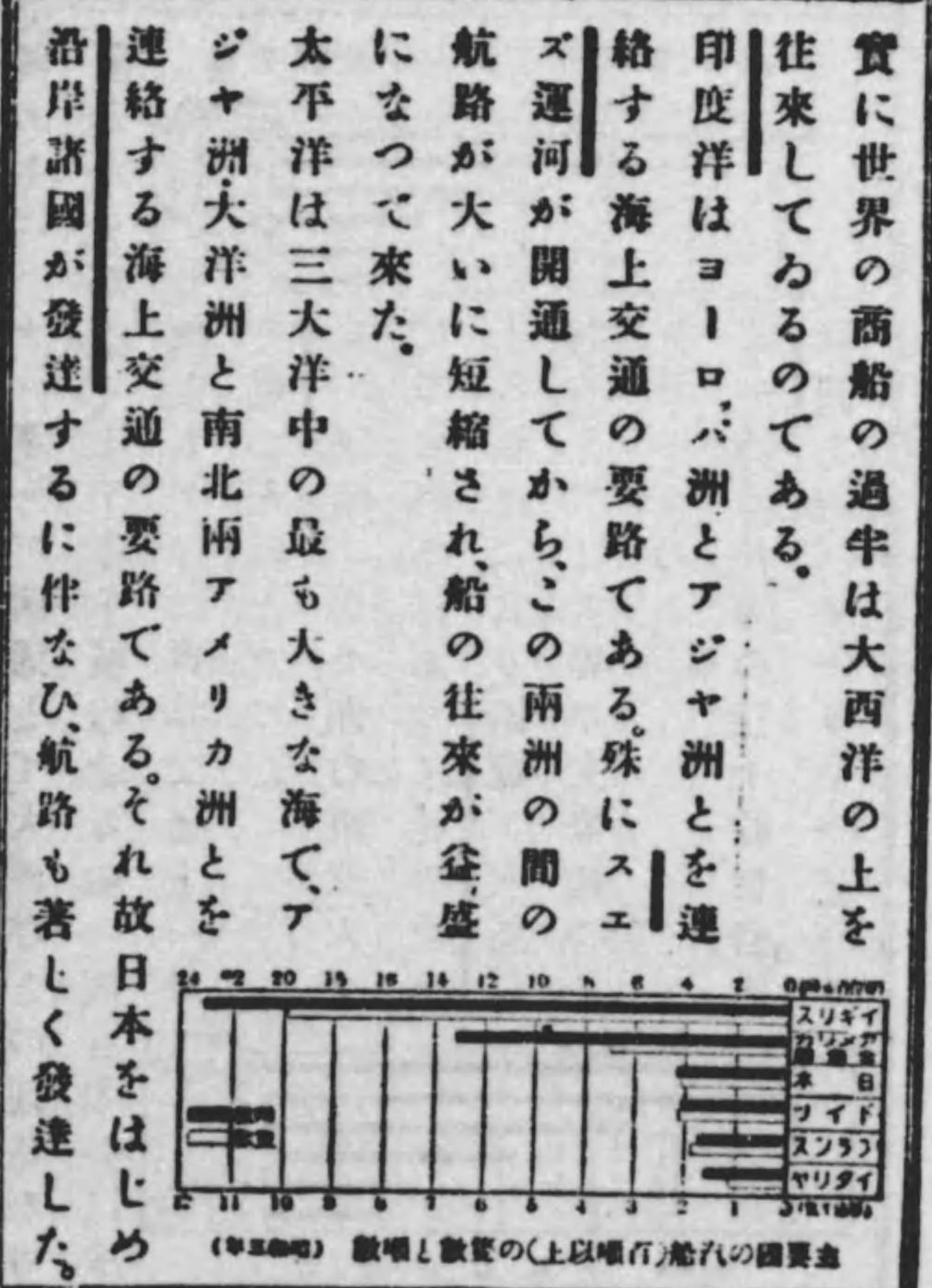
この運河が出來たために、西ヨーロッパと東アジアとの交通が非常に盛になつた。それはヨーロッパ諸國に於て需要の多い香料の類が東アジアにしか産しないので、これを取り寄せるには陸路によるか又はアフリカを迂回するの外はなかつたからである。

又印度が開けてからは、そこに産する綿や穀物は盛にイギ

リスその他に輸入せられる様になつて、スエズ運河の價値が一層大となつたのである。

【沿岸諸國が發達……】

太平洋の交通は最も後れて發達した。即ちアメリカ合衆國の太平洋岸が開發せられ、又日本が國を開くに至るまではこの大洋の交通は殆んど行はれなかつたと云つてもよい。今後尙支那の文明が進めば、その資源も開發せられて太平洋交通の發達を刺激することであらう。



尋常小學地理書卷二より

【我が國は……】

わが國の位置は一方世界一の大陸たるアジア洲に接し、一面世界一の大洋たる太平洋に臨んで居る。アジアの富源が開發せられ、太平洋の交通が盛になるにつれて、益々國運の進展を見るであらう。

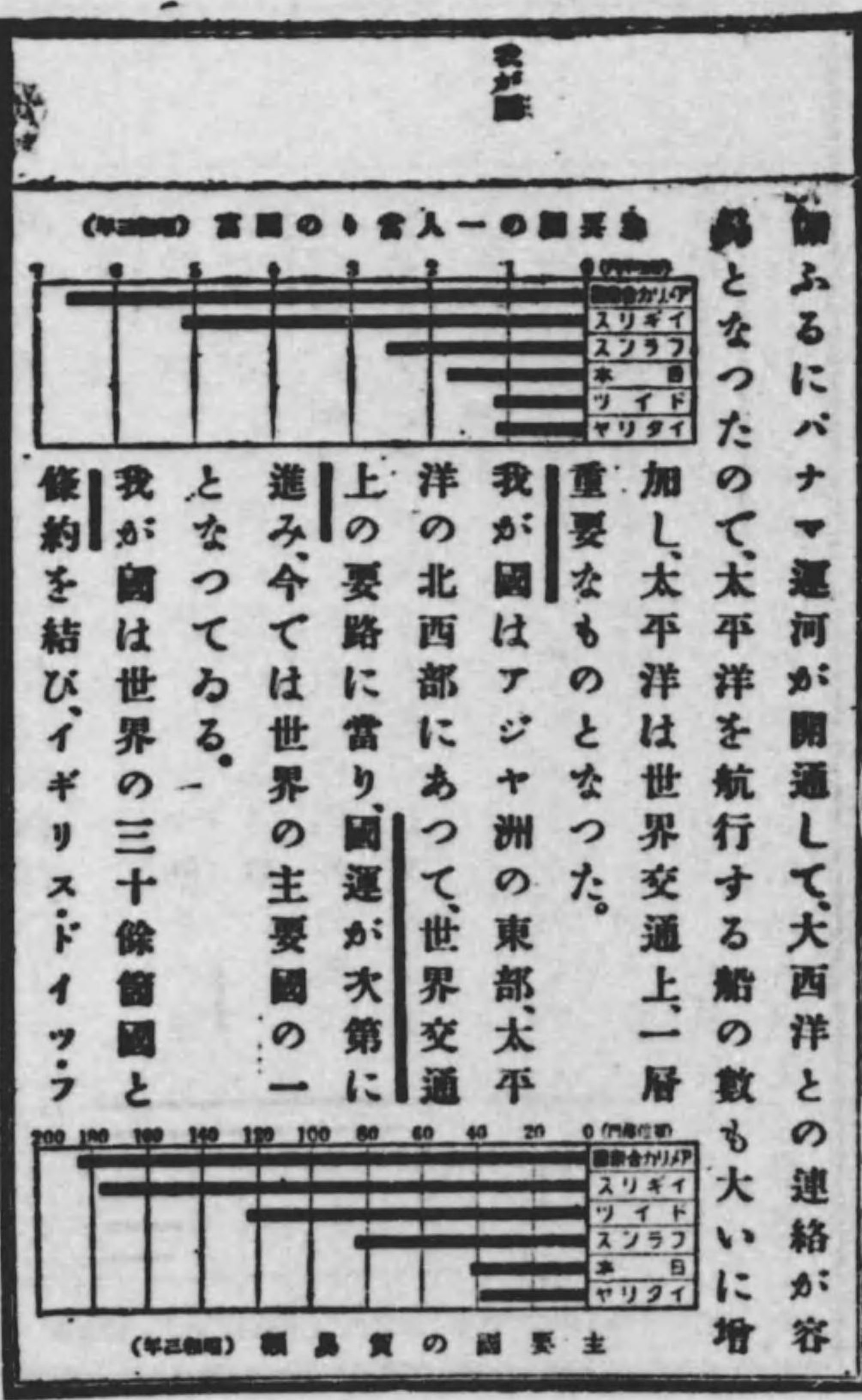
我が國がアジア大陸の内部、又は太平洋の真中にあつたらどうかを考へさせると面白い。

【國運が次第に進み】

明治維新後六十年間に於けるわが國の發達は實に目覺しいもので、その急速なること世界に比なしと稱せられる。併しドイツなども過去五十年間の發達の急激さは決して日本に劣らぬとも云はれて居る。

日本のこの間に於ける發達は、それ以前に暫く發達の鈍つて居た反動として、一時に躍進したわけであるから、今後同様の割合で發展するとは限らない。

日本の發展を日清・日露・日獨等の戦役に歸し、『戦争毎に日本は強くなる』と考へるのは間違つて居る。強くなるから戦はねばならぬ様になるのであり、實力が充實するから



尋常小學地理書卷二より

勝ちもするのである。この點特に兒童の誤解のない様に注意せねばならぬ。

【條約】

單に條約と云つても色々ある。不戰條約は三十七ヶ國、萬國郵便條約は五十二ヶ國間に結ばれてゐる。こゝに條約と云つたのは或一國との間の修好通商等に關する一般的條約を指したもので、通商航海又は修好條約など名づけてゐる。現在は三十三ヶ國。

【主な国には大使館】

わが特命全權大使の駐在して居る国は、

イギリス	フランス	ベルギー
ドイツ	イタリア	ロシア
トルコ	ブラジル	アメリカ合衆国
ヨロッパ洲に十ヶ国	アジア洲に三ヶ国	
北アメリカに二ヶ国	南アメリカに三ヶ国	
合計十八ヶ国		

尙條約国ではあつても大使館の置いて無い国があつて、これは他の大使館で兼務してゐる。又大使館ではないが國際聯盟事務局に公使が二名派遣してある。大使と公使との區別に就ては一四一頁を見よ。

【輸入額は輸出額を超過...】

わが國の貿易は年々輸入超過が著しい。

年次	輸出	輸入	差額
大正十四年	二、三〇五、五九〇 <small>千圓</small>	二、五七二、六八八 <small>千圓</small>	二六七、〇九八 <small>千圓</small>
昭和元年	二、〇〇四、七六八	二、三三七、四八四	三三二、七一六

【形が球のやう】

地球は球形であるけれども、兩極直径は赤道直径よりも四十三軒短かいから、つまり蜜柑の様な形になつて居るのである。併し精密に云ふと赤道の部にも膨れた所と凹んだ所があり、北半球と南半球とも對稱をなして居ない。極めて不規則な形をして居るのである。

地球の直径を知るには、太陽又は星の高さを二地點で測つて、その差によつて二點間の角度を知り、それから地球の直径を計算して出すのである。

【大部分は北半球】

南北兩半球水陸面積の割合は

	北半球	南半球
陸地	三九・四%	一九・〇%
海洋	六〇・六%	八一・〇%

而して陸地の最も多いのは北緯六十度から七十度迄の間で七十一%に及んでゐる。

【経緯・緯線】

地軸とか兩極とか云ふものは要するに地球が回轉するから

地球の表面

同五年	一、四六九、八五三	一、五〇六、〇七一	三六、二一八
同七年	一、四〇九、九九二	一、四三三、四六〇	二三、四六八
同八年	一、八六一、〇四六	一、九七三、三三〇	一五二、二八四

併し島國や人口稠密國は入超となるのが常態で、イギリス佛國・伊國等凡て入超國、米國が著しい出超國でありドイツ國が近年僅かに出超に轉じた外は、概して入超國が多いのである。故にこの入超を決済するための別途受入勘定(例へば海運の運賃、移民の送金等)を増さねばならぬ。

ランス・イタリヤ・アメリカ合衆國をはじめ主な國には大使館を置き、その他の國には大い公使館を置いてゐる。かくて汽船は互に往來し、通信は迅速に交換せられ交通や貿易は年を追うて益々發達して行く。

今や我が國は世界の海運上及び貿易上に於て相當の勢力を占め、國勢が甚だ盛になつて來た。しかしイギリスやアメリカ合衆國に比べると、その間にかの隔りがある。且貿易に於ては輸入額は輸出額を超過してゐる。それ故國民は更に一層の努力を要する。

尋常小學地理書卷二より

尋常小學地理書卷二より

地球の表面

地球は形が球のやうで、その直径は凡そ一萬二千七百キロメートルであるが、東西の直径は南北の直径よりも凡そ四十三キロメートル長い。

地球の表面は高低が一樣でなく、高い處は陸地となり、低い處は海洋となつてゐる。陸地の面積と海洋の面積との比は三と七である。

海洋は三大洋に分たれ、陸地は六大洲に分たれる。陸地の大部分は北半球にある。

地球の南北の直径を地軸といひ、その北の端を北極南の端を南極といふ。地球の表面に於て南北兩極を結び

定めることが出来るので、回轉しなかつたら地軸と云ふものを想像することも出来ず、南極・北極を定めることも出来ないものである。

又地球が球状であればこそ経緯・緯線といふものを想像することが出来るが、若し四角や三角であつたらやはり緯線の定め方がないであらう。

して見れば地球の球状であること、及びその回轉して居るといふことは吾人の生活に大關係のある事である。

【子午線】

子は北、午は南を云ふから、南北線の子午線といふのである。これと同じ呼び方で緯線即ち東西線を卯酉線とも云ふがあまり用ひられない。

【経度・緯度】

経線・緯線と経度・緯度との區別をよく混雑せぬ様に了解せしめる必要がある。経線は南北の線であるから、これを數へるには東西に數へる。即ち経度は東西に數へるのであり、緯線は東西の線であるから、緯度は南北に數へねばならぬ。緯度は経線に沿うて數へ、経度は緯線に沿ふて數へるわけであるから間違へてはならぬ。

緯度の方は赤道を中心として數へるからよいが、経度の方は數へ始めが定まつて居ない。そこで英國のグリニチを通過する線を零度と定めたのである。これを本初子午線と名づける。これによると百八十度の線は、恰も太平洋の中央を通ることになつて何角に好都合である。後にある日付變更線もこの邊に定めてある。但しそれを理由としてこの本初子午線を定めたのでは無い。

【地球表面のあらゆる地點】

経緯度によつて始めて地點の位置を定めることが出来るのであるが、それが何の役に立つかと云ふと。

一、一九一五年に巨船ルシタニヤ號がドイツの潛航艇に撃たれた時、自分の位置が北緯五一度西經九度にあることを無電で知らせたので、救援船は直ちにその地點に行つて多くの溺死せんとするものを救つた。

二、廣い海洋を航行する船は、いくら自分の速力と進行方向とを知つて居ても、風や海流のために流されて正確な位置を知ることが出来ない。それ故時々経緯度を測つて自分の正しい位置を知るのである。

三、経緯度がなかつたら陸上でも一々距離と方向とを精密に測つて行かねばならぬ。それは非常に手數のかゝることとで又正確を期し難い。故に地圖を描くには先づ経緯度を測定してかゝるのである。

この點から見ても地球の圓いことゝその回轉して居ることゝは人生に非常に必要なことである。

【東京天文臺】

【グリニチ天文臺】

ロンドン東南の郊外グリニチ公園内にあつて、今から二百五十年ばかり前にチャールス三世王によつて創立せられたものである。二十センチの子午環、七一センチ六六センチ等の屈折機、七一センチの反射機等を供へてゐる。又入口の煉瓦塀には標準時計が出してある。

この経線を本初経線とすることは、一八八四年に米國のワシントンで開かれた萬國會議の時に定まつた。



尋常小學地理書卷二より

尋常小學地理書卷二より

緯線は赤道を零度とし、これを本として、北のは北緯何度、南のは南緯何度と數へ、各九十度で終る。北緯九十度は北極、南緯九十度は南極といづれも點である。経度も緯度も一度は六十分、一分は六十秒に分ける。経線は南北の線で、緯線は東西の線であるから、地球表面のあらゆる地點は、この兩線によつて明らかに指示することが出来る例へば、東京天文臺は東經百三十九度四十四分四十一秒の線と北緯三十五度三十九分十六秒の線とが交つた處にあるといへば、その場所が極めて明らかに知られるのである。地圖をつくるには経線と緯線とを本として、實際の大

東京天文臺は東京市内麻布と市外三鷹村との二ヶ所にあつて共に東京帝國大學の經營である。前者は明治二十一年の創立、後者は大正十三年の創立である。ここに引例してあるものは麻布天文臺の方で、三鷹の天文臺はこれより西十數軒の處にあり、東經百三十九度三十二分三十秒、北緯三十五度四十分二十一秒である。陸地測量部の五萬分一地形圖によつて、郷土の経緯度を見出さしめるがよい。